

Title	河上公章句『老子道德経』古活字版本文系統の考索(上)
Sub Title	Comparative study of the early printed editions of the Kajoko-Shoku text of the Roshidotokukyo (1)
Author	山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu)
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1999
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.34 (1999.) ,p.37- 345
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000034-0037

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

河上公章句『老子道德経』

古活字版本文系統の考索（上）

山城喜憲

緒言

河上公注本伝流の概観

一 本邦伝来の古鈔本そして古活字版

今日通行する河上公注本『老子道德経』は、大別すれば三つの系統、即ち道藏本系、宋刊本系、及び古鈔本系に部類される。この三系とは別に、敦煌出土の唐写本四種が伝存するが、何れも零本であり、また、唐景龍二年（七〇八）河北易県龍興觀道徳經碑及び唐廣明元年（八八〇）江蘇鎮江焦山道徳經幢は、河上公本と想定されているが、ともに注文を欠いている。各系統、

相互の間の伝流關係については、概略、次の様に図式化して示すことが可能であろう。

廣明幢

景龍碑

……道藏本

（經典釋文） 敦煌写本

中国 注成立↓（六朝写本）↓唐写本↓宋刊本↓明世徳堂刊本

←（宋刊本）

日本 〔唐写本〕↓古鈔本←

古鈔本↓古活字版

道藏本、宋刊本、古鈔本の何れも、唐写本を祖本とするが、

それぞれ、現存伝本について相互に比較してみると、構成体式の形態上の違いのみならず、本文に及んで顕著な相違が認められよう。宋刊本と世徳堂刊本、或いは古鈔本の一本と古活字版との異同の程度を比較すれば、三者間の乖離は瞭然と明らかである。その乖異を生むに至った要因としては、唐代既に複数の異本が存在し、それぞれの底本が同一ではなかったことが考えられよう。また、宋刊本刊行時の編刊者による校改、道蔵本についても編纂開版に際しての改訂が、祖本である唐写本からの隔たりを多方向へと広め、そのことがテキスト上の乖張を促したと推測される。唐土に於ける河上公注本の伝流、変移の様相については未だ充分に解明されたとは言えず、敦煌写本又、碑幢本とともに、本邦伝来の古鈔本を視野に置いた伝本研究並びに本文考察が要められる¹⁾。

伝来の古鈔本は、宋刊本、道蔵本が開版に際して被った変改の程度に比べれば、本文上の変化は少なく、渡来した唐写本が、概ね忠実に伝承されたものと考えてよいようである。この点において、宋刊本以前の唐写本に直結するテキストとして、注目されて来た。しかし、奈良時代以後、一度となく将来されたであろう唐鈔本はもとより、平安時代に遡る書写本も発見されて

いない。従って、唐写本伝来の事実を確認し、古代から中世初期における河上公注本の利用享受の実態を捉えようとするれば、当代の史乗、目録、諸家の日録隨筆等を隈なく繙くほかになく、或いはさらに、その本文如何を窺い知ろうとするならば、古辞書、類書、諸注釈書また書入れ等に引かれた同本文辞の博搜が須められる。この手続きの成果の一斑は、特に道教、道家或いは老莊思想受容の問題に関する先学諸氏の論考の内に覘うことが出来る。諸氏の研究の成果を據り所に、些かの鄙見を滄えて、河上公注本『老子道德経』の我が国の文運に残した痕跡を掬ってみたい²⁾。

『維摩經義疏』に引用された經文二条（卷中一弟子品第三に一条、卷下二菩薩行品第十一に二条）は、唐写本を遡る本文として別格であつて、それが何本に拠る引用なのかの考察は、河上公注本のみならず、王弼注本を肇とする諸本の伝流と、その本文が明らかになって初めて可能である。今後の検討課題であろう。

釈智光撰『浄名玄論略述』は王弼注とともに河上公注を引く。卷二本に次の二条の引用が確認される。一条は、第七十九章からの引用で「老子徳経云、是以聖人執左契而不責於人、河上公

注曰、古者聖人執左契符信无文法、刻契合符以爲信也、但刻契爲信不責人、以他事也」、又一条は「老子道經云、故有无之相生、難易之相成、長短之相傾、高下之相傾、河上公注曰、見有而爲无也、乃至見高而爲下也」で、注に節略があるが第二章の経注文である。二条ともに諸本の間で異同が多い所で、校勘に資する遺文として注目される。

石上宅嗣の「小山賦」(『経国集』卷一)に散見する『老子』の辞句は、河上公注本に拠った可能性が高いとの指摘がある。³⁾

菅原是善が清和天皇に奉授した『羣書治要』紀伝諸子の文⁴⁾は、当然『老子』が含まれ、これは河上公注である。

安倍真勝⁵⁾、和氣貞臣⁶⁾、名草豊成⁷⁾、僧由蓮⁸⁾が学んだ『老子』、また、滋野安成が勅命を奉じて講義⁹⁾したという『老子』は其の本を明らかにしない。しかし、河上公注本である蓋然性は低くはない。

そして、『日本国見在書目録』は「老子二月柱下史李耳撰漢文時河上公注」を著録する。同書に著録された『老子』注疏注釈の多くが失われたのと対照的に、河上公注本は、現存古鈔本の多さに端的に示されるように、中古中世を通じて永く授受伝習されていった。

具平親王撰『弘決外典鈔』に使用された『老子』は、河上公

注本に相違なく、「老子經云」「老子云」の標記に続く「河上公注云」の引用が卷二に一箇所、卷三に二箇所認められる。その外、単独の引用が卷二、卷三にそれぞれ一箇所あり、賈大隱の『老子述義』とともに、河上公注を引証とする疏文が少なくない。特に、卷三の「河上公云一元氣也道之子一本云一無爲也」の一文は、第三十九章冒頭经文「昔之得一者」の注であるが、既に異本が存在していた事実を確認出来る点において重要である。此の異文はそれぞれ現存古鈔本にそのまま継承されている。

文章博士大江維時は醍醐・村上両帝に『老子道德經』を奉授し、匡衡は一条帝の御読に近侍した¹⁰⁾。江家代々の証本も、河上公本であったに違いない。現存する古鈔本の書入れに散見する「江本」「江説」の標記はこの推測を裏付ける。

藤原敦光撰『三教勘注抄』は河上公注を引用し、覚明撰『三教指帰注』もまた同様である。

藤原頼長が、初めて『老子』を学んだのは、保延六年(一一四〇)であろう。『台記』康治二年(一一四三)九月三十日の条に、「所見之書目六(録)載左」とし経家三百六十巻の内に「老子二巻抄 保延六年受夫子説十一月十二日始之同十二月六日終之」の記述が見える。

その後も、天養元年(一一四四)の所学目録に「老子經二反四

卷^{加今度}三反」と、久安元年（一一四五）の所學目録に「老子經二

遍四卷^{加今度五反其一反見三深老子}、首付其反合述義見之本註何註」と

記録され、兩年の間に四度の精読を果たしている。度毎に使用

されたテキストは明らかではないが（「三深老子」とは「王注

老子」の譌ではなからうか）、少なくとも久安元年の一遍は、

『老子述義』を参考にして河上公注を学んだものと思われる。

『述義』が河上公注を敷衍した注釈であることは、古鈔本の書

入れに見られる断片的な佚文に照らしても明らかである。頼長

は『述義』を精読し、河上公注の理解を深めたのであろう。

また、『台記』に拠れば、頼長第宅において庚子日恒例の經

筵が開かれる一方で、庚申日を例として、『老子』の講筵が催

されている¹⁴。天養二年（一一四五）正月十四日を初回とするこ

の老子講は、現存する『台記』に拠る限り、久壽二年（一一五

五）十一月十六日を最後とするが、久安四年（一一四八）の元

旦庚申も欠かさず、政務多忙な中、一一年間に渡り、連綿と繼

続されている。この間、庚申日で、「講老子」の記載を欠くの

は、仁平二年（一一五二）正月廿四日庚申の一日に過ぎない。

天養二年正月十四日庚申の初回の記事に「守三戸、懸老子影、

講老子經、講師友業、問者實長^{三重}、孝能^{二重}、據庚申、經夜半

之後、余及客皆向正南、再拜呪曰、彭侯子、黄帝子、命兒子、

悉入窈冥之中、去離我身^{唱三度}、鶏鳴後就寢」とあれば、庚申信

仰が浸潤していたことを示唆する資料としても注目されるので

あるが、此の庚申講が、頼長の個人的な信条によるものなのか、

当時の公卿に一般的な行事であったのか、詳らかではない。そ

れはともかく、此の老子講筵では頼長自らも「講師」或いは

「問者」を勤め、友業（講1問2）、實長（問1）、孝能（講1

問2）、成佐（講3問2注3）、俊通（講5問6）、顯業（問1）、

頼業（講6問5注1）、登宣（講6問7）、敦任（講2問6）、

孝善（講3問5注1）、廣季（講3問4）、遠明（問4）、師元

（講1注1）、敦綱（問4）、頼兼（問1）、憲孝（講6問8）、

頼佐（問1）、親佐（問2）、敦佐（問1）、師長（講1）、師尚

（講1問1）等の廷臣學士が「講師」「問者」「注記」として参

会している（人名下の括弧内は『台記』に記載された老子講全

四二回において、講師、問者、注記を勤めた回数を示す）。そ

して、講筵毎に講論の記録として「論義」が作成されていたよ

うである¹⁵。

上記の参会者の中で、現存『老子』古鈔本との関連で、頼業

の名が注目される。頼業は、久安四年（一一四八）五月（三日

庚申」の記に「依例講老子、講師敦任、問俊通、頼兼、又頼業、作彼論義十帖」(頼兼は或いは頼業の譌か)と、また同年十月六日庚申にも「講老子、講師廣季、問余及憲孝、朝隆朝臣聽之、頼業造進論義」と見えるように論義作成者としても特に記録され、老子講に於ける中心的な存在であったと察せられる。そして、其の「論義」と、杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写存卷上零巻の紙背に見える問答難答の書入れとの関繋の存立に、強い期待が抱かれるのである。

清原頼業は、清家明経道中興の祖として、その経業は周知である。清原家に於いて、経書の講習とともに『老子経』も兼修された事実を傍証する意味でも、この『台記』の老子講筵の記録には関心が寄せられる。その講筵において、頼業が講論に使用した本は、間違いなく、河上公注本であったであろう。『老子』古鈔本では、博士家授受相承の証跡を辿り得る奥書を有つ本は少ないが、その少ない中で最も古い内容を伝えるのは、頼業伝授の奥書である。上記、杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写本に遺存する奥書に「古本奥云〔古〕一字擦り消し」として、承安二年(一一七二)九月五日授主水了 在御判大外記殿 と見える一条がそれで、「大外記殿」は即ち頼業である。「主水」

とは嫡子近業であろう。尚、同文の奥書が東洋文庫蔵〔室町末〕写本にも移写されている。

その後の、清原家の『老子』講学の次第を窺い得る奥書識語として、次の八件を経目する。年次を追って示してみる。

○加一見了

前参河守在判

○正嘉二年(一二五八)四月廿七日書寫畢

外史清原在判

○同年五月廿六日加點了

権少外記直隆

○文永十二年(一二七五)二月六日授申黒田武衛禪了 音儒清

原在判

○正應二年(一二八九)暮春七日相傳之家書紛失於道經重課微躬之下愚早點養性之方術而已 書博士清原教有

○正應二曆暮春二十六日相傳之秘書紛失於德經重課微躬之下愚早點養性之方術而已 書博士清原教有

○永正七年(一一五二)七月十一日終書寫之功即加朱墨訖 少

納言清原朝臣

○永正八年四月廿三日遂書寫之功即加朱墨而已 少納言清原朝臣

前四条は、杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写本に本奥書として見え、以下は、東洋文庫蔵〔室町末〕写本に別本より移写さ

れた奥書である。これら奥書の書写の様態等は後述の「対校諸本略解題」を参照されたい。

第一条は紀年を欠くが、「前参河守」は、北条実時の師として鎌倉幕府の文教の興隆に尽くし、当代第一の碩儒と称された教隆その人であろう。仲隆の第三子、頼業の孫である。音博士、参河守、直講、大外記を歴任し、文永二年（一二六五）七月十九日、六十七歳で卒した。

直隆は、教隆の第三子、少外記、助教を経、後宇多天皇の侍講となり又鎌倉に仕えた。⁽¹⁶⁾ 正安元年（一二九九）八月七日、年六十六歳で卒している。弟俊隆とともに清家相伝の『春秋經傳集解』を書写校点し、北条篤時に伝授したことで知られる。前条の「外史清原某」も恐らくは直隆自身であろう。その『春秋經傳集解』（金沢文庫旧蔵宮内庁書陵部蔵）巻二十に直隆の奥書が見え、

正嘉二年二月十八日以家證本書寫畢／ 外史直隆

正嘉二年三月廿七日以家秘説手身書點了／權少外記清原在判とある。紀年署名の形式が殆ど同じであり、傍証となろう。

「音儒清原某」は、教隆の四子俊隆であろう。⁽¹⁷⁾ 俊隆は少外記、直講、音博士に任じ、鎌倉幕府評定衆となる。正應三年（一二

九〇）二月十七日卒、年五十。北条顕時の師として上記『春秋經傳集解』を伝授している。

書博士教有は、教隆の長子有隆の子である。松平忠房奉納神宮徴古館蔵『古文尚書』の書写加点者、また宮内庁書陵部蔵永仁五年錢塘吳氏鈔本の加点者として周知である。

「少納言清原朝臣」は言う迄もなく、宣賢である。宣賢の書写加点本が存在したことは、此の奥書に拠って、また同本に移写された書入れに「宣賢本」の標記が見えることによっても明白であるが、未だ発見されていない。ただ、宣賢撰述とされる『老子経抄』が遺存する。その講述は、河上公注に沿ってなされておられ、累代の家説を祖述集約しながら、林希逸の新注さらに当代諸家の注説をも斟酌修正し補述敷衍した内容を持つ。⁽¹⁸⁾

僅少且つ断片的で、伝授に関わる具体的内容に乏しいが、これらの奥書によっても、平安末の頼業以来、清原家において河上公注本が証本として存在し、代々相伝されたことが確認出来るであろう。

一方、鎌倉時代以後の禅林において、経史、文学に止まらず、老莊或いは道家の思想に関心が昂揚して行つた。それに伴う『老子』の受容に関して、大休正念、一山一寧、宗峰妙超、規

庵祖円、夢窓疎石、虎関師鍊、乾峰士曇、夢巖祖應、中巖円月、春屋妙葩、絶海中津、義堂周信、愚中周及、岐陽方秀、一曇聖瑞、江西龍派、天隱龍沢、桃源瑞仙、万里集九、景徐周麟ら学僧の語録、日記、詩文或いは抄物に基づいた具体的な指摘がなされている。¹⁹大陸の新しい学問思想の動向に最も敏感で、享受しやすい環境にあつた禅林に在つて、宋学の受容とともに、虞齋口義等の新注をも撰取し、『老子』の解釈に新機軸を産んだであろうことは想像に難くない。しかし、その事実を証する記録、資料は未だ十分に発掘確認されてはいないようである。この問題について、住吉朋彦氏が、岐陽方秀の『碧岩録抄』及び『中峰和尚広録抄』の内にそれぞれ一条づつではあるが、宋林希逸の『老子虞齋口義』からの引用を指摘された²⁰ことは、斯学において得難い貢献であつた。早い時期の林注採用の事例として、重視される。また、芳賀幸四郎氏が夙に注目された²¹万里集九の『梅花無尽蔵』第三下「三教吸酢之圖」前文の「子細探其理者、河上之仙翁、及穎浜遺老蘇子由二人而已」なる一文は、現在未だ当時から伝来本が確認されていない宋蘇轍撰『道德経註』が既に舶載され、新注として受容されていた可能性を示唆している。

新注からの影響は、以上の僅かな事例を認め得るに止まる。住吉氏は、岐陽方秀の両抄における『老子』注の引用は、示された二条を除けば、他は何れも河上公注に拠るとの備考を周到に添えられている。此の指摘も又傾聴に値する。また、『梅花無尽蔵』の一文は『老子』の玄理を釈する者として、蘇轍とともに、或いは寧ろ蘇轍よりも先んじて第一に河上公を推奨するものであり、当時にあつても、河上公注に依拠するのが、老子講学に際しての禅林での共通した認識であつたと見做すべきであろう。林希逸の『老子虞齋口義』が『老子』講読の上で、一般的に参照準用されるようになるのは、室町時代も半ばを過ぎてからのようである。そして、河上公注に代わつて、『老子』理解の指南書として確立し普及するのは、近世の到来を待たなければならぬ。²²

尚、現存する古鈔本は、所在、書写伝領の経緯において寺社桑門と関わりのある本が少なくない。六地藏寺蔵〔室町末〕写本、仁和寺蔵〔室町末近世初〕写本の他、例えば、梅沢記念館蔵應安六年（一三七三）写本（重文）、慶應義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本存卷上、斯道文庫蔵天文一五年（一五四六）写本、東洋文庫蔵〔室町末〕写本、慶應義塾図書館蔵天正

六年（一五七八）写本、大東文化大学図書館蔵天正六年（一五七八）写本の書写者は、何れも僧徒と認められ、又、康應二年（一二三九〇）の施入識語を有つ斯道文庫蔵〔南北朝〕写本をはじめ、宮内庁書陵部蔵〔室町〕写本、大東急記念文庫蔵〔室町〕写本、筑波大学附属図書館蔵天文二年（一五五二）写本、現在未詳の戸川濱男旧蔵〔室町末〕写本等は、桑門僧徒の間で授受伝領された経緯が各本の奥書識語に拠って明らかである。

僧門に於いて『老子』が講学の対象となったであろうことは想像に難くないが、そこで使用されたテキストも一般に河上公注本であったことは、かかる伝本が現存する事実によって、ほぼ間違いないであろう。

河上公注受容の問題で、いま一つ、見過ごすことが出来ないのは、神道との関係である。殊に、伊勢神道の論理形成に道家思想が本質的とも言える影響を及ぼしている。この件については、早く、高橋美由紀氏が『大元神一秘書』の引用典籍、『伊勢二所太神宮神名秘書』及び所謂「神道五部書」の文辞の検証を踏まえて明らかにされた⁽²³⁾。その検証の過程で、『大元神一秘書』の引用では、河上公注が『老子述義』とともに圧倒的に多いこと、『神名秘書』及び「神道五部書」では、神観に関わる

根幹の部分において、『老子』なканずく河上公注の道の観念の影響が顕著である点を示されている。ここで指摘された事實は、河上公注が、教養的修辭、講学学問という表層より、深く日本的思惟の基層にまで浸透して影響を及ぼしている明証と見做され、重大な関心と興味を抱かざるを得ない。そして又、このように神道社家にあっても、依用された『老子』のテキストは河上公注本にはかならなかつたと言えるのである。

所述のように日本においては、河上公注本が『老子道德経』の殆ど唯一のテキストとして、公卿地下又禅林緇流の間で広く通用され、中古、中世を通じ、博士家を中心とした、師資相承の老子講学を全面的に担って来た。更に、日本的思惟の淵源の一つとも言える神道思想、特に伊勢神道の基本理念の形成に甚大な影響を及ぼしている。延いては、文学芸能の面で、それが断章主義の傾向が濃厚であつたとしても、老莊、或いは道家の思想を伴って瀾漫浸潤して行つたのである。河上公注受容に因る影響は、歴史的に長く、文化的には広範に、思想面でも深層にまで及んでいたと言えるであろう。

その享受のあり方を誤認することなく、精確周到に把握するためには、河上公章句本文の解明が何よりも要請されなければ

ならない。その本文とは、言う迄もなく、日本の古代中世において通用された本文であつて、現今流布している宋版系の諸本を以て直ちにその本文と同等に看做して流用することは、甚だ安直で不的確な方法と言わざるを得ない。幸いに、本邦伝来の数多の古鈔本が現存している。此の古鈔本こそ、中古中世において使用された本文をほぼその儘に伝えた本として、重視されるべきは言う迄もない事であろう。

現在知られている最古の古鈔本は、正倉院聖語藏〔鎌倉〕写の存巻下であつて、次いで杏雨書屋藏〔鎌倉末南北朝初〕写存巻上道經殘卷、梅沢記念館藏應安六年（一三三三）写本、斯道文庫藏〔南北朝〕写康應二年（一三九〇）施入識語本が古い。しかし現存本の多くは室町或いは近世初に下る伝写本であつて、これらを以て、平安時代以来の本文継受或いは遷移の実相を、具体的に捉えることはけつして容易いことではない。

諸本の内には、往々諸家の訓法、注説の書入れが見られるが、本文の諸相を窺える点において、別して校合の書入れが注目される。散見する「江本」「中本」の標記は、大江家本、中原家本が存在し、それが、異本として認識されていたことを物語る。此の校異を含む書入れは、大江家、中原家以外の家説と看做さ

れ、従つて清家相承の注説と認められる。清原家相承の証本が存在したことは、上述したように、遺存する累代の奥書によつても、また、無窮会図書館藏〔近世初〕写本の「天文五年八月十二日以清原家藏本書寫了亦朱墨／圈點讀校畢九月五日 藤原□（花押）」との本奥書からも明らかである。この様に、『老子道德經』も家毎に証本が存在した。しかしながら、本文において、それぞれの家本を識別することは困難である。梅沢記念館藏應安六年写本の附訓は中原家の訓法とされるが、その本文に就いて中原家本としての徴証は確認されていない²⁴。また、宮内庁書陵部藏〔室町〕写至徳三年（一三八六）識語本に付された訓説は、清原家説とされるが、この本についても清家本であるか否かはまた別の問題である。

同本の内題「老子道經」の左旁に「此章名家古本无」との書入れがある。此の本は内題の次行から直ちに本文が始まり、章名は題していない。従つてこの書入れは、此の本自体の書入れとしては意味を成しておらず、章名を題する別本（この書入れが清家説であれば清家本）から移写されたものと考えなければならぬ。と同時に、章題の有無に限って言えば、此の本は「家古本」と一致しているが、本文全体を「家古本」と即断す

ることは危ぶまれる。同じ内容の書入れが、杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写存卷上残巻に見え、内題と本文第一行の行間に「道可道章」第一 以後此勸物无古本」とある。同本は遺存する本奥書から清家本とされるが、そうであれば、章題が無い古本と看做さなければならぬ。然るに同様に章題が無い、書陵部蔵本と対校すると、第六章冒頭句において此の本は「谷神不死」に作るのに対して書陵部本は「浴神不死」に作る等、両本間の異同は少なくない。また、東洋文庫蔵〔室町末〕写本には書陵部本と同文の書入れが見られる。此の本は、内題次行に「脩道章第一（低六格）道可道章」と両様の章題が併記され、下の題右旁に「此章名家古本无」とあつて、書陵部本とは異なり此の本の書入れとして意味を成している。しかしながら、同本のこの類の一連の書入れは、本文より後れる別筆で、明かに別本から移写されたものであり、東洋文庫本が清家本である保証は何も無いのである。同本には、併記された章題の上方眉上に「□□宣賢本无下倣之」ともあり、これは「脩道章第一」に見消ちが付されていることから、宣賢所持の本にはその章題が無いことを意味すると解される。

以上の様に、家古本、家本、宣賢本と称され、清家本と言つ

ても決して単一の本では無かつたことが明らかである。他家においても事情は異ならず、累代相伝の間に本文に少なからざる変遷があつたと察せられ、家本相互の交雜した関係も想定される。殊に、杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写残巻、宮内庁書陵部蔵〔室町〕写本にはともに摺本との校合の書入れが認められるように、新たに舶載された宋刊本の本文も参照されている。師資相承の間に、新渡刊本の本文が漸次採り込まれていった可能性も考慮されなければならない。

現存する古鈔本は、これらの本文上の変遷をそれぞれに具現した本であり、諸本相互の関係は、極めて複雑に錯綜した様相を呈し、家本を弁別することはおろか、各本の本文の実態を諸本との関連において把握することは甚だ困難な実状にある。とはいへ、これらの古鈔本は、我が国内において、上代以来連続と伝写を重ねて伝えられた本であり、誤写、衍脱或いは校改が重加されたとしても、淵源を辿れば、平安写本、唐写本に連絡するはずである。

日本に於ける享受の問題から離れて、河上公注本そのものの伝流を窺うためにも、古鈔本の本文の研究は極めて重要な意味を有つ。道蔵本、宋版系諸本、或いは敦煌出土唐写本との関繋

を究明し、更には河上公注本の淵源を探るには、唐写本に直結する古鈔本の実態の解明は欠かすことが出来ない。その為には、諸系諸本の本文の異同を確認し、その異同を比較検証する校勘の作業がなされなければならない。

しかしながら、此の本文研究は殆ど進捗していないと言わざるを得ない。その原因として、一つには、各本ともそれぞれに稀覯性が高く、研究の対象とすることが難しいことが挙げられる。二十本に余る貴重本を、主立った本を選択し複製を利用したとしても、一堂に会して対校することは容易では無かったであろう。或いはまた、宋刊本、道藏本また唐碑との校勘を急ぐあまり、古鈔本相互間の異同を把握する必要性に就いて、認識が希薄であった嫌いも感じられる。しかしそれよりも、更に大きな理由として、校勘の基準となる底本の選択が、技術的に困難なことにあるように思われる。写本の性格として、誤脱は当然少なくないのに加え、諸本間に異同が多く、また使用字体も繁略まちまちで統一性に欠けて異体字も多い。どの本を採つても本文の安定性定着性に欠けるのである。底本を定め難いが為、対校作業は捗らず、異同の実態は捉えられず、諸本の間関係は模糊として明らかでない。

宋建安虞氏刊本を底本とした、古鈔本若干本を含む諸本との校勘の成果があるが、それは、宋刊本との懸隔を認識し、幾ばくかの誤脱を糾す意味において有効なものの、古鈔本各本の本文の実態と相互の関係を捉えるには効果は殆ど期待出来ない。

早く、狩野直喜⁽²⁵⁾、武内義雄⁽²⁶⁾によつて、テキストとしての優秀性について唱道され、大正十三年には現存最古の古鈔本である正倉院聖語藏〔鎌倉〕写本の影印複製本が刊行された。古鈔本が、宋刊本に比べて遥かに優れていると周知されながら、現在も尚、通行善本として専ら四部叢刊影印の宋建安虞氏刊本が流布している。テキストとして学界一般に普及しない理由も、所述のように、本文に異同が多いにも係わらず、校勘の手続きが遅滞しているためと考えられる。古鈔本の典型として、流布するに相応しい一本を選定することは不可能に近く、通行本として利用出来る状況には無いのである。或いは、利用される事があつても、単一の伝本の使用に止まり、諸本の異同について顧慮する事は殆ど不可能なのが現状であろう。

この様な状況の下にあつて、懸案である、古鈔本の本文校勘の為の底本として、『慶長』刊古活字版『老子道德經』が属目されてしかるべきと、考えられるのである。⁽²⁷⁾

古活字版が、本邦所伝の旧本に拠って翻印されたとする見解は、夙に、武内義雄によって提示されている⁽²⁶⁾。武内は、「天文鈔本」(本稿使用の略称で示せば「斯Ⅱ」、以下略称を用いる、後述「対校諸本略解題」及び「諸本異同表凡例」参照)、「近衛公爵家本」(「陽Ⅰ」)、「寶左齋本」(「杏Ⅱ」)を、後に「瀧川本」(「武内」)の四本の古鈔本を経目し、中国に伝来した宋建安虞氏刊本、明世徳堂刊本と比べ本文の相違が甚だ多い事実を指摘し、特に巻首の序文が異なる点に着眼して古鈔本と同じ葛洪の序文を冠する古活字版は、旧鈔本を襲っていると洞察された。

古活字版の本文が、伝来の古鈔本の系統にあることは、古鈔本、宋刊本、道蔵本等と通校してみれば、明かとなるはずである。古活字版と古鈔本との異同は、古鈔本相互間の異同と同等のレベルにあり、宋版或いは道蔵本との異同に比較して、遙かに少ない。本文上、古鈔本の一異本と言うことも可能であろう。古活字版は、累次の伝写を経て、授受伝承されて来た河上公注本の、言うならば収束期の様相を呈し、微妙複雑に揺動し、変遷推移して来た古鈔本の本文を、収斂し定着させた本と言うことも出来るであろう。

現存する古鈔本相互間の錯綜した関係、雑糅した本文の紛綸

を解きほぐすためには、此の古活字版の本文を底本とした諸本の校勘が何よりも有効且つ堅実な方法であると予想される。

研究の目的

古活字版と古鈔本との関係に就いて、伝本状況と部分的な若干の対比結果を根拠として、如上の想定が可能なのであるが、古活字版本文の詳細については周知されているとは言いがたい。

〔慶長〕古活字版『老子道德經』が、日本に於ける『老子』刊行の嚆矢であることは、漢籍受容史の一齣としても記憶されてしかるべきであろう。にも拘らず、古鈔本の偏重と、宋建安虞氏刊本への通行善本としての過大な評価の為に却って、古活字版の本文に対する扱いは不当に冷淡で、関心は希薄であつたように思われる。

この古活字版の態様を諸本と比較校勘する事によって、古鈔本の系統にあるとされる想定を立証確認し、その本文を周知通用せしめることが本稿の主たる目的である。

態様には、形態と内容即ち本文が含まれる。形態面では、分巻、分章次第の相違、章題の有無、題名題署の異相、また、宋建安虞氏刊本との関係においては異なつた序文の由来に就いて

検討されなければならない。内容面で言えば、先ず古活字版本文の実相を把握した上で、諸本との同異を確認し、特に古鈔本及び宋建安虞氏刊本と比較して、その異同を質と量の両面について検証した上で、親疎の關係、是非優劣が勘考されなければならない。

しかして、懸案である古鈔本の本文考察に必要な、校勘のための底本としての信頼性も、更めて認識されるであらう。

研究の方法

古活字版全文の翻印

古活字版の本文を取り扱うのであるから、其の全文を提示して参照引証に備えておく必要がある。現存が確認されている伝本は八本に過ぎず（その内、一は下巻を欠く零本、一は異植字版である）、どの本も、貴重書として所蔵各位の秘蔵する所で、研究者であつても閲覧利用することは必ずしも容易ではない。影印複製本の刊行が期待されるのであるが、伝本の殆どが、訓点をはじめ書入れが多く、使用活字に磨耗が目立ち印字の状態も良好ではなく、本文テキストを得るための影印には適さない。従つて、私に翻字して、後に掲出した。

行字数は、原本の通りとし、字体も、可能な限り古活字の字形に従っている。直接使用した底本は、斯道文庫所蔵の本であるが、異植字版を除けば、諸伝本間で相違する字句は無い。

本文異同の調査

従来の河上公注本校勘の成果として、先ず鄭成海氏の『老子河上公注斟理』（台北 台湾中華書局 一九七六）が挙げられる。宋建安虞氏家塾刊本（一宋版）を底本とし敦煌本、道蔵本、唐強思齋撰「道德真經纂疏」所引の河上公注等凡そ三十三種の本を以て、底本をはじめ諸本の譌脱を校正し、優劣を勘定した労作である。日本の古鈔本系の本として、「鎌倉時代舊鈔河上公注殘本（奈良聖語蔵本）」（一聖語）、「天文十五年河上公舊鈔本」（二斯Ⅱ）、「近衛公爵舊鈔河上公注本」（一陽Ⅰ）及び明陳元贇撰『老子經通考』²⁹を対校本として扱っているが、古活字版は割愛されている。

また、王卡氏校勘の『老子道德経河上公章句』（北京 中華書局 一九九三）がある。同書も、四部叢刊影印の宋建安虞氏家塾刊本を底本としている。参校本は敦煌唐写本四種、道蔵所収諸本、天禄琳琅叢書影印の宋劉氏刊『音註河上公老子道德経』³⁰を主とし凡そ二十一種であるが、日本の古鈔本と古活字版は含

まれていない。

さらに、藤原高男氏の「老子河上公注鈔本集成」上下、「同校勘記」上下（『高松工業高等専門学校研究紀要』第八、十一号、一九七四、七七）が知られる。「集成」は「足利学校遺蹟図書館本」（二足利）、「應安六年写本」（二梅沢）、「正倉院聖語藏本」（二聖語）の古鈔本三種及び「老子經通考」、「敦煌本」三種（S四七七、S四六八一、S三九二六）、「四部叢刊本河上公注老子」（二宋版）の凡そ六本の河上公注を併記一覽し、比較対照に便ならしめてある。「校勘記」は「足利学校遺蹟図書館本」を底本とし、「集成」の六本に加え、「道藏本老子河上公注」（二道藏）、「道德真經註疏」、「道德真經玄徳纂疏」、「道德真經集註」（以上道藏本）、天祿琳琅叢書の「音註河上公老子道德經」、「顧春世徳堂刊六子本」（二世徳）の計十二本を校合し、その間の経文、注文の異同を示してある。

その外、敦煌本については、大淵忍爾著『敦煌道經—目錄編—』（東京 福武書店 一九七八）に、道藏本を底本にして、S四七七、四天王寺大学蔵本A二六、S四六八一・P二六三九、S三九二六の諸本と対校した詳細な校勘記が載せられている（P二六三九の第三十九章中間以下は、S三九二六を底本とする）。

以上の諸氏の業績は、必要に応じて適宜確認参照し利用させて頂いた。しかし、何れの校勘も、古活字版は対象とされず、古鈔本も少数本に限られている。

諸本異同表の作成

古活字版本文を論ずるに当たって、先ず、諸本との字句の同異を全経注文に渡って確認しておかなければならない。その結果を以て、諸本との異同につき、量と、質両面からの対比検討が可能となる。古活字版を底本とし、同系とされる古鈔本諸本と対校し、同時に別系の宋刊本、世徳堂刊本、道藏本、敦煌本、及び羣書治要所収本また天理図書館蔵『老子道德經河上公解〔抄〕』所掲本等を参校し、別に校異表を作成した。その校異表に基づいて、諸本間で異同のある箇所を全て抽出して一覽としたのが、附載した「諸本異同表」である。表作成の次第と、表示方法の詳細については「諸本異同表凡例」を参照されたい。本稿での異文の検討は、基本的に此の表を参照して行われる。

異同の数量化

古活字版の本文と諸本の本文との異同の程度を対比するため、個々の異文に対し、一定の基準で相応の数量を付与し、各本毎にその量数の総和を得て、多寡を比較する方法を採ってみ

た。古活字版と対比諸本との親疎の関係を、数量化して概略的に把握しようとの試みである。

「異同表」の各異文頭に冠した①②等がその異文に付与された量数を示す。付与する数量は、原則として、次の基準に拠つた。

- ①―異体字（俗字・譌字・略字・通用字等）使用、及び誤写に因る文字の異同
- ②―単字の有無・相違、熟語等文字の転倒等に因る異同
- ③―複字句の有無・異字句異同
- ④―複数句にわたる異同

この基準が、果たして妥当であるのか否か、妥当性を保証する道理は何も無いと言える。例えば、単字の有無或いは相違一つを見ても、その字が「也」「之」等の助字であるか、そうではなく実字であるかで、異同の重みは異なるであろうし、同じ助字の有無に因る異同であっても、文脈によってその意味合いは異なる。それらを、一律に量数②として扱うことに合理性があるのかどうか甚だ疑問である。但、諸本を対校する作業を通して、印象として受けた本文上の乖離の程度に付帯する感覚に、漠然と基づくものであって、古活字版と諸本との隔たりを相対

的に緩慢に比較する上で、必ずしも無効な基準ではないものと信ずる。また、これはあくまでも原則としての基準であつて、同一個所に複数の異文が有る場合など、最少限量の按配を加えた所もある。さらに、以上の四段階では律しきれない異同、例えば、章題の有無相違、注の配置の違い、脱文脱簡等当然存在し、個々に裁量した量数を当ててある。何れも、恣意を伴う措置であつて、合理性は保し難いと言わなければならない。しかし、総合し大観してみれば、不確かな要素は多数のもとに捨象され、結果の確からしさと、信頼性は概ね保たれていると思われる。

異同量

個々の異文に与えられた量数を、対校各本について章毎に集計し、其の数を巻毎に累計した（附表1・2）。更に、全巻具わった本については、上下巻毎の累計を通計してみた（附表3）。その累計ないし通計の数量を、古活字版に対する対校各本の異同量と呼ぶこととする。

異同量より察た諸本との親疎の勘定

この異同量の多少によって、古活字版との親疎の関係が視覚的に表示される。しかし、前項で表明したように、個々に与え

られた量数は、一応の基準に従うとはいえ、数値そのものに論理的な根拠が認められる訳ではない。浮動的な傾向は免れ得ず、異同量の少数の差は殆ど意味を成さないと考えるべきである。

しかし、大数を以て概観するならば、乖離の度合いの比較は充分に可能であり、諸本との親疎の關係は概略的相対的傾向として認識することが出来ると思われる。但し、これは、古活字版から見た諸本の親疎の關係を表すものであつて、此處で示された異同量が近いからと言つて、その本どうしが近親な關係にあるとは必ずしも言えない点、注意する必要がある。

異文の検証

異同量の多少を比較することに拠つて、古活字版と諸本との徑庭の傾向を相対的概括的に捉えることは出来ても、此の数量そのものが、本文系統上の親疎の關係の内実を具体的に顯しているわけではない。数量として単純化抽象化されて示されたに過ぎず、異同の諸相は数字の中に埋もれ、杳として捉えられない。個々の異文について具に對比検証して初めて、異同量に反映された異同の実相が把握され、本文に於ける親密、疎遠に關する諸相が、本文系統に關わる問題として明確になる可能性が生じるであろう。異同量に投影された異文の検証が的確に行わ

れなければならぬ。

対校諸本略解題

校異表作成に当たつて使用した比較本は以下の諸本である。

底本の〔慶長〕古活字版については、本論で詳述する。掲出の順序は、古鈔本を先にし、宋版等別系本は後とした。古鈔本の排列は、概ね、異同量から見て古活字版に近接する順としたが、少量の差には拘泥せず、幾分の按配をし、零本及び対校未了の本は末に付した。標題の冊数の下に、本稿で使用する略称を記す。各本それぞれに、伝来、伝系、本文内容、訓点、書入れ等に渡つて考察すべき点が多い。全て別稿に譲り、書誌的事項を主とした説明に留める。

- 1 老子道德經二卷 旧題漢河上公章句 〔慶長〕刊 古活字 大二冊（底本、略称 活I）
 - 2 同 〔慶長〕刊 古活字（異植字版） 天理図書館蔵 大二冊（略称 活II）
 - 3 陽明文庫蔵〔室町末近世初〕写本 大二冊（略称 陽I）
香色覆表紙（二七・八×二一・七糎）、書題簽「老子古鈔本卷上（下）」。
- 元表紙は栗皮表紙、元題簽剥落。反故紙を使用し

て扉となし、左上に「老子經上」と題署、此の扉の右半部分に老子經の經注文三行（反朴第二十八の經文「爲天下谷常德乃足」下の注「止於已也」より、經文「聖人用之則爲官長」下注「聖人升用爲百」まで）が残存、下冊の扉にも一行半弱（愛己第七十二の冒頭經文「民不畏威大威至矣」及び下注、但、注一部欠）が残存、筆跡は本写本書写者と同筆である。

首に「老子經序」（題下五字を隔て「葛洪」と題署）を冠す。卷頭、「老子道經上」河上公章句」、第二行に「體道第一」と章題を掲す。下巻内題は「老子德經」河上公章句」（題下巻次の「下」無し）。尾題は「老子道經上」「老子德經下」と。無辺無界、字面高さ約二〇・五糎、每半葉八行、毎行十四字、注小字双行行十四字に書写、柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、縦点、声点及び朱の句点・ヲコト点が付さる。ヲコト点は紀伝点、明経点が混用されている。奥書、識語の類無し。

「近衛藏」（朱長方）、「陽／明／藏」（朱方）の印記有り。
鄭成海「老子河上公注斟理」対校本。

4 宮内庁書陵部蔵〔室町〕写至徳三年（一三八六）識語本
大二冊（略称 書陵）

縹色古覆表紙（二四・五×一九・八糎）、古題簽に「老子經

道 上、「□子經徳 下」と墨書。一部に裏打ち補修が施される。首に「老子經序」（題下隔四格に「葛洪」と題署）を冠す。内題は序末に接して「老子道經上 河上公章句第一」と題され、下巻内題は「老子德經下 河上公章句」と。尾題は首題に同じ。章題は無く、各章首に於いて改行し、經文第一字頭に朱の「○」を冠す。

烏糸欄単辺、高さ一八・一糎、有界、界幅二・七糎、每半葉六行、行十三字、注小字双行行十三字、柱に「老子經幾丁——」と、細筆で題署してある。朱のヲコト点、墨筆の訓点・声点・濁点・連続符・音訓合符が施されている。ヲコト点は明経点、朱点墨訓は清原家の訓法とされる。

卷下尾題後隔一行に本文同筆の次の識語が有る。
至徳三年五月十二日 主慶秀^{生年三七歳}（小字は朱筆）
また、下冊後表紙見返しに「文主玄瑛」と墨署がある。

行間眉上等に墨筆の書入れが多い。「家古本云々」「江本」「イ本」「才」「述」等諸本との異同校合及び、「賈云」「述幾」で標記された唐賈大隱の老子述義、「王云」の引用引証の書入れは別本からの移写であろう。その他に反切音注、章名標記、朱筆の誤字訂正等の書入れが見られ、序首の「葛洪」兩字の下

に「活版」とあることから、後代、古活字版刊行後の書入れも混入しているものとみられる。

「鈴鹿氏」(朱長方)、「吉田神社／社司中臣隆啓／朝臣之章」(朱方)、「御府／図書」(朱方)の印記がある。なお、両冊とも首第一葉の古印記一顆が朱で塗抹してある。

『圖書寮漢籍善本書目』(東京 宮内省圖書寮 昭和五)、宮内廳書陵部編『圖書寮典籍解題 漢籍篇』(東京 編者 昭和

三五)著録。また、訓法については小林芳規『平安鎌倉時代に於ける漢籍

訓讀の國語史的研究』第四章第四節第六項老子經の古訓法を参照。尚、この本の影写本(林泰輔令写)斯道文庫蔵特大二冊が存する。

5 阪本龍門文庫蔵(室町中期)写本 存首一卷

大一冊(略称 龍門)

後補香色艶出し布目表紙(二六・〇×一九・二糎)、左肩打ち付けに「老子」と墨書。首に「老子經序」(題下、撰者名は題署されず)を冠す。本文巻頭は序末行に直接し「老子道經上 河上公章句第一」と題さる。尾題は首題に同じ。章題は無く、各章首に於いて改行さる。

四周単辺(二一・四×一六・二糎)、有界、界幅約二・四糎、

毎半葉七行、行十四字、注小字双行に書写。各葉表裏二箇所喉近く下方に丁付け(一、三十七)が附さる。序及び第一章に朱のヲコト点、墨訓点、濁点が施され、附訓に散見する「中」の符は中原家訓を指すのであろう。また、「才」との校異、及び音義の書入れが見られる。

川瀬一馬編『龍門文庫善本書目』(上市町 同文庫 昭和二七)著録。

6 無窮会図書館蔵(近世初)写伝鈔天文五年(一五三六)書 写並加點奥書本 大一冊(略称 無窮)

香色表紙(二七・五×一九・五糎)、書題簽「老子經 全」。首に「老子經序」(隔五格「葛洪序」と題す)を冠し、本文巻頭「老子道經上 河上公章句第一品」と題す。下巻首は「老子德經下 河上公章句」と。尾題は「老子道經上」「老子德經卷下」。章題は無く、各章首において改行、章首第一字頭に朱圈を冠してある。

無辺無界、字面高さ約二〇・五糎、毎半葉七行、行十五字、注小字双行行十五字。柱題署無し。朱のヲコト点、濁点、声点、鉤点、音訓合符、連続符、振り仮名、又、墨の訓点が施さる。

章首眉上には「體道一」等の章題の標記が見られ、処々音義注

の書入れがあり、行間或いは眉上に、「イ本」「一本」との校異、又、「述義」の引用が散見する。

下巻尾題前の余白に、次の奥書を存す。

天文五年八月十二日以清原家藏本書寫了亦朱墨

圈點讀校畢九月五日 藤原□(花押)

「井上／氏」(朱方)、「井上頼圀藏」(朱長方、双郭)、「無窮會／神習文庫」(朱長方)の印記がある。

尚、東北大学附属図書館蔵の大一冊(函架番号乙A1・3・

2-25)は、此の本と祖を同じくするか、此の本の転写である。

但、朱筆の書入れは移写されていない。

7 足利学校遺蹟図書館蔵〔室町〕写本 欠巻下首一葉

半二冊(略称 足利)

後補薄茶色表紙(二二・五×一四・八糎)、書題簽「老子経上(下)」。元表紙は欠落。

首に「老子経序」(題下撰序者名の題署無し)を冠す。本文

巻頭は序末行に直接し「老子道経上 河上公 章句第一」

と、巻下首一葉欠落し下巻内題は不明。尾題は「老子経上終」

「老子経下」と題す。章題は不題、每章首に於いて改行さる。

单辺(一七・七×二二・四糎)、有界、每半葉八行、行十六

字、注小字双行。柱中央に細字で「老子経上(下)」と題してある。墨筆(希に朱を交える)の返点、送り仮名、朱のヲコト点を施す。

各章頭の眉上に、両様の章題が併記され(一方のみの場合もある)、天地行間に、墨の校字、また「述」「李」「或」「一本」

「江本」等との校異、「述曰」「賈云」「王弼曰」と標記のある注説の書入れが散見する。

下巻首一葉、即ち第三十八章经文「夫禮者忠信之薄」下注迄を缺く(此の注末字の「也」以下を存す)。

長澤規矩也編『足利學校秘本書目』(東京 編者 昭和八)、

同編『足利學校善本圖録』(足利 足利学校遺蹟図書館後援會

昭和四八 汲古書院製作発売)著録。

藤原高男「老子河上公注鈔本集成」(同校勘記)底本。

8 杏雨書屋蔵〔室町中期〕写本 存巻下徳経

半一冊(略称 杏II)

後補褐色表紙(二三・四×一四・九糎)、書題簽「古本老子

河上公章句徳経」。裏打ち補修が施され、原料紙は高さ約二〇・

二糎。巻頭「老子徳経下四十四章 河上公章句」、第二行

低二格「上徳章第卅八論徳章」と題さる。尾題は「老子徳」の

三字が残るがその下四字分程料紙破損して不明。

四周単辺（一六・一×一一・一糶）、有界、界幅約一・二糶、毎半葉九行、行廿字、注小字双行。柱題署無し。墨の訓点、朱句点、朱引が施される。

眉上、行間に本文と同筆と思われる墨筆で、述義、虜齋口義等の注説、「述本」「江本」「或本」「一本」等との校合、字義音義注の書入れが周密である。

「炳卿珍藏旧／斬古鈔之記」（朱長方）、「藤／虎」（朱方）の印記有り。内藤湖南旧蔵。

大阪府立圖書館編『恭仁山莊善本書影』（京都 小林写真製版所 昭和一〇）、杏雨書屋編『新修恭仁山莊善本書影』（大阪

武田科学振興財団 昭和六〇）著録。

9 筑波大学附属図書館蔵天文二十一年（二五五二）写本

大一冊（略称 筑波）

褐色空押し雷紋繋ぎ洪引き表紙（二六・二×一七・八糶）、

室町期のものと思しき茶褐色の古題簽に「老子經 全」と。首に「老子平序」（題下二字を隔てて「葛洪序 見述義二」と

題署、第二行に「述曰凡五千三百二言道平二千三百八十二字 惠平二千九百二十字」と記

す）、及び「老子經口義發題」（題下隔二格「虜齋林希逸」と題

署）を冠す。尾題後、卷末に、冒頭「九変」と題し、老子変現生誕等の異伝、「論語發題」の孔子生年没年の記事、関令尹喜の所伝、「紹運圖」の周平王より靈王に至る記事を輯めて書写せる二葉を附す。

卷頭、「老子道經上（隔八格）河上公章句」、第二行低二格に「道可道章第一 休道章」と章題がある。下卷内題は「老子德經下（隔八格）河上公章句」、尾題は「老子道經上」「老子經之下終」と。

烏糸欄単辺（二〇・一×一三・九糶）、有界、毎半葉九行、界幅約一・五糶、但し、第三一五葉、即ち葛洪序末葉及び口義發題の二葉、計三葉は無辺無界、毎行廿字、注小字双行行廿字に書写、柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、縦点及び朱の句点・朱引が附さる。

尾題後の余白末行、後付けより前に、次の書写識語が存する。

天文竜集壬子 林鐘七日於入州書之

また、最終葉末行左辺欄に沿って、本文とは別筆で、次の伝授識語がある。

峯慶長十七年正月下旬傳授之権少僧都清尊

その外、第三葉裏の余白に、また別筆で、

此本何国来候共此方へ御□可被下候／此主知等との識語が見える。

「東京文理／科大学附／属図書館／圖書之印」（朱方）の印記がある。

『筑波大学和漢貴重図書目録稿―旧分類の部―』（つくば市筑波大学附属図書館 昭和六二）著録。

10 戸川濱男旧蔵〔室町末〕写本 現所在未詳

大合一冊（略称 弘文）

原本未見。昭和三十五年斯道文庫撮影のマイクロフィルム及び『弘文莊善本目録』（弘文莊待賈古書目）第三十號 昭和三二年一〇月）の解説による。

淡灰色表紙（二六・三×二〇・六糎）、外題無し。総裏打ち補修がなされる。

首に「老子〔經序〕」（下二字虫損、題下撰者名題署無し）を冠す。本文巻頭は第一行に低一格「老子道經□」（隔五格）河上公章句第一、第二行に章題があり、低二格「道可道章第一

一本云時通第一」と題す。下巻首は低四格「老子經下

河上公章句第三」。尾題は「老子經上」「老子經□終」（□は虫損）。

烏糸欄単辺（二二・三×一七・三糎）、有界、每半葉十行、行廿字、注小字双行。墨の返点、送り仮名、朱引を施す。

末に、後の別筆で次の付与識語がある。

元和五年己穀雨十六黃此抄□仰仁海令

附与之了法印豎者□海叟

「残花書屋」（長円）、「資／南」（方）、「寶玲文庫」（長方）、

「月明莊」（長方）の印記。

11 斯道文庫蔵天文十五年（一五四六）写本

大二冊（略称 斯Ⅱ）

丹表紙（二五・三×一八・四糎）、白地の古題簽に「老子道經天」「老子德經地」と題署。料紙は斐楮交漉紙。

首に「老子經序」（撰者名題署無し）を冠す。本文巻頭「老子道經上」（隔五格）河上公章句第一、下巻内題は「老子德經下」（隔五格）河上公章句第三」と題す。尾題は首題に同じ。章題は無く、章頭において提行、但、第二章頭のみは第一章末字に直接し改行は無い。

四周単辺（一九・八×一四・九糎）、有界、每半葉八行、行十八字、注小字双行行十八字、高さ約三・四糎の層格を設ける。柱は、層格部分の上端に黒魚尾を冠して「道平 上（丁付）」

「徳平 下(丁付)」と題してある。層格には、各章頭に「道可道第一 / 體道才一」等と両様の章題を標記する。墨筆の返点、^{一本}送仮名また処々に朱句点朱引、まれに朱の返点が付さる。

本文末尾題に続けて、小字双行本文同筆にて「老子者元氣之宗天地之根也伏犧氏時降居 / 田野号鬱華子云々」と老子変現の記事等を十四行に互って転写し、末に「菊地」の朱円形古印を捺してある。

末尾に、次の書写奥書がある。

天文十五^{丙午}十月上澣 守梁軒圭韵六十五載昏之

守梁軒圭韵の事跡は未考。

「有不 / 為齋」(朱方)、「伊藤 / 蘇印」(白方)、「永 / 夫」

(朱方)、「永夫 / 氏」(朱方)、「賓 / 南」(白方)、「賓 / 南」

(朱方)、「残花書屋」(朱長円)、「月明 / 莊」(朱長方)の印記。

伊藤有不為齋、戸川濱男旧蔵書。

大正から昭和初年頃にかけて、一時大阪府立図書館に保管され、⁽³⁾当時経眼された武内義雄は、「河上公老子唐本攷」また『老子原始』、『老子の研究』、さらに岩波文庫『老子』の「はしがき」に於いて此の本について言及されている。

『弘文莊待賈古書目』第十四號(昭和一五年五月)、同第十七

號(昭和二四年四月)所載。『(斯道文庫)創立十周年記念 近菟善本展観

書目録』(昭和四五年一二月)、^{慶應義塾大学 附屬研究所}斯道文庫貴重書蒐選

^{図録}解題』(東京 同文庫 平成九年)著録。

鄭成海『老子河上公注斟理』対校本。

12 梅沢記念館蔵應安六年(一三七三)写本 重文

大二冊(略称 梅沢)

原本未見。昭和三十五年斯道文庫製作焼き付け写真及び昭和五十三年梅沢記念館刊影印複製本(原裝影印古典籍複製叢刊)に拠る。

淡香色表紙(二五・五×一九・〇糎)、「老子經上(下)」と打付け書き。

首に「老子經序」(撰者名題署無し)を冠す。本文卷頭「老子道經(隔七) 河上公章句」と題し、第二行「體道第一」と章題がある。下巻首は「老子德經下(隔七) 河上公章句」と。尾題は首題に同じ。第六十二章より第六十九章までは、章頭前行を空けてあるが、章題は未写。

無辺無界、字面高さ約二二糎、每半葉八行、行十六字、注小字双行。柱題署無し。朱のヲコト点、句点、墨の訓点、声点、濁点が附さる。朱のヲコト点は紀伝点で、この本の本訓は中原

家の訓法とされる。

行間眉上に音注、イ本との校合、また、述義からの引用等の書入れが見られる。

後見返しに次の書写奥書がある。

應安六年癸丑九月廿六日於播州弘山以一筆書

兩卷訖(以下細字は朱)
同閏十月十六日比較畢

桑門(花押)

卷下第三十八章經文「夫禮者忠信之薄」下注の末尾二字より、第三十九章經文「神無以靈將恐歇」下注首三字までの、ほぼ一葉を缺く。

「今出／川／蔵書」(朱方)、「残花書屋」(朱長円)の印記。

尚、訓法については小林芳規『平安鎌倉時代に於ける漢籍訓讀の國語史的研究』第四章第四節第六項老子經の古訓法を参照。

複製本の別冊として米山寅太郎「梅澤記念館蔵老子道德經

(河上公注)解説・釋文」がある。

藤原高男「老子河上公注鈔本集成」「同校勘記」対校本。

13 慶應義塾図書館蔵天正六年(一五七八)足利学校南春写本

大一冊(略称 慶I)

本文共紙表紙(二八・一×二〇・八糎)、仮綴、「老子經上下」

と打ち付けに墨書、右下方に「南春」と墨署さる。

首に「老子經口義發題」(隔四格に「虜齋林希逸」と題署)、

次に、老子の異聞変現等の記事(上掲9の筑波大学附属図書

館蔵天文二十一年写本卷末附載文と同文)、その末に接して、

「老子經序」(隔九格「葛洪序見述義二」と題し、次行低一格

「述云凡五千三百三言」とある)を冠す。本文卷頭「老子道經

上(隔九格)河上公章句」と題し、第二行低一格に「道可道章第

一」(下方に「体道章」と小書、各章首体式同)と章題がある。

下巻首は「老子德經下(隔九格)河上公章句」と。尾題は「老子

道(德)經上(下)」。

烏糸欄単辺(一九・六×一六・四糎)、有界、界幅約一・八

糎、每半葉九行、行廿字、注小字双行、欄外上端に横線を引い

て上層を設け、其の高さ約四・三糎。柱題署無し。朱の句点、

圈点及び墨の訓点を附す。

上層或いは行間に述義等の旧来の注説の他に、「新」と標記

して虜齋口義の移写書入れが多く、また、江本等諸家本の異訓、

異本との校合等の書入れが周密である。

下巻尾題後、隔一行に、本文と同筆の次の奥書を存す。

長享元年丁未八朔於埜之下州利陽鱣堂之倚

昏旆盖雌霓弄臺之呼訛草章焉馬之差舛句々
有之庶幾乎俟質正於儒林之臣孽者也海棠窠
中之棠菴識旆

於足利學校

于時天正六戊寅三月廿八日南春書之

「殘花書屋」(朱長円)、「賓南／過眼」(朱長方)の印記、戸
川濱男旧蔵。

14 大東文化大学図書館蔵天正六年(一五七八)足利學校真瑞
写本 宝素堂旧蔵経籍訪古志著録本 大一冊(略称 大東)
後補白色艶出し覆表紙(二七・一×一七・六糎)、左端に
「天正六年足利學校抄本老子道德經」と墨書、裏打ち修補され
た改装本。元は本文共紙表紙。原料紙の高さ約二六・一糎。

首に「老子經口義發題」(隔四格に「虜齋林希逸」と題署)、
次に、「九変伏羲時」に始まる老子の異聞変現等の諸文があ
り、その後に改頁して「老子經序」(隔九格に「葛洪序見述義
二」と書され、次行低一格「述云凡五千三百二言」とある)を
冠す。本文巻頭「老子道經上(隔八格)河上公章句」と題し、第
二行低一格に「道可道章第一」(下方に「体道章」と小書、各

章首体式大同)と章題がある。下巻首は「老子德經下(隔十格)
河上公章句」、尾題は「老子道經上」「老子經之下終」と。

烏糸欄単辺(一八・二×一四・〇糎)、有界、每半葉九行、
行廿字、注小字双行。欄外上端に横線を引いて上層を設け、其
の高さ約四・三糎。柱題署無し。朱の句点、圈点及び墨の訓点
を附す。

上層、行間に述義等諸注説の抄録、「新」と標記せる虜齋口
義の移写、また、江本等諸家本の異訓、異本との校異等の書入
れが詳密である。

末に、本文と同筆の次の奥書がある。

于耻天正六戊寅季孟夏下旬寫之関東下野州足利之内學校下 真瑞

「尚質／之印」(白方)、「字／学古」(朱方)、「小嶋氏／圖書
記」(朱長方)、「森／氏」(朱方)、「高島蔵書」(朱長方)の印
記がある。

此の本は、首序、書写の体式、更には書入れの内容に至るま
で、前掲13慶應義塾図書館蔵天正六年足利學校南春写本と殆ど
同じで、体式上相違するのは僅かに、「老子經序」が改頁して
起筆され、巻下の尾題の形式に小異が見られる程度である。兩
本の藍本は同本と看做される。しかし、本文には、少ないなが

らもやはり異同は認められる。

15 慶應義塾図書館蔵大永五年（一五二五）写本 存卷上

大一冊（略称 慶Ⅱ）

後補縹色表紙（二四・八×一七・一糎）、元表紙欠落。

首に「老子經序」（撰序者名不題）を冠す。本文巻頭、「老子經上道（隔七格）河上公章句第一」、第二行「道可道章第一」と章題がある。第二以下章題は一格を低す。尾題は「老子道經上終」と。

烏糸欄単辺（一九・一×一三・五糎）、無界、每半葉八行、行十九字内外不等、注小字双行。柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、縦点及び朱の句点、圈点、朱引が附さる。

眉上、行間に墨筆の書入れが周密である。述義等の引用の他、「新」と標記して虞齋口義の抄録も見られる。

末に、次の書写識語が存する。

于昞大永五天_{乙酉} 七月八日上野新田莊泉瀧院_{之書}

首に添えられた副葉の右側に「明治卅／六月 楓莊散人脩

之（右旁に「浅井」の朱小円印を捺）」と、左端に「老子（元「孝經」と題されそれを墨で消し右旁に書さる）上 寫本 大永五年所寫」の墨書がある。

16 瀧川君山武内義雄通蔵〔室町〕写本 現所在未詳

大一冊（略称 武内）

原本未見。斯道文庫蒐集紙焼写真副本に拠る。

後補刷毛目紋の覆表紙、「舊鈔本河上公注道德經」の書題簽を添える。元表紙には「老子道德經」と打付書き。

首に「老子經序」（隔二格）に「葛洪序 見述義」と題署を冠す。序本文前即ち序題次行、低一格に「述曰凡五千三百二言 道經二千三百八十二字 惠經二千九百二十字也」と書す。卷上本文巻頭は、序末に接して、低一格「牀道章第一（隔五格）河上公章句」と直ちに章題を題し、書名題署を缺く。下巻首は「老子德經下 河上公章句」と題さる。尾題は「老子道德經卷上」「老子德經下」とある。「養身章第二」以下各章題の下方には「天下章」等と別題を並書す。

烏糸欄単辺、有界、每半葉九行、行廿字、注小字双行。返点、送り仮名を附す。

眉上、行間等余白に字義語訓音釈、諸家注説抄録の書入れが周密である。引証注説は、述義、師説等の旧説に加え、新注虞齋口義の引用が多い。特に、第二章から第五章にかけての眉上には、「老子經口義發題」の全文が書き入れられ、引き続き

「九変」以下の、老子変現生誕等の異伝、「論語發題」「紹運圖」

大一冊（略称 東大）

等の諸文が移写されて第十章眉上に及んでいる。これらは、上掲9筑波大学附属図書館蔵天文二十一年写本、13慶應義塾図書館蔵天正六年足利学校南春写本、14大東文化大学図書館蔵天正六年足利学校真瑞写本の巻首或いは巻末に付された内容と殆ど同文で、当時の老子講学の傾向が窺われるとともに、これら諸文の伝写をめぐって、本書そのものの書承関係も想定されるように思われるが、足利学校写本の二本は別として、本文上、それを裏付ける証例を見出すことは難しい。

「瀧川氏／函書記」（長方）の印記。末に「明治乙巳五月 君山手釘装」の墨書が見え、また覆表紙見返し（マツ）の押紙に「宜卿博士研鑽老子有年／偶見此書以為珍籍其著作／中数次言之今将去仙臺留／以為贈人固擇書、亦或擇人／予為此書喜得好主人也／昭和五年六月上浣 瀧川資言」と。武内義雄は「老子原始」及び「老子の研究」で此の本に触れ、受贈後、岩波文庫「老子」の底本として使用された。その後の帰趨は明らかでない。東北大学附属図書館に収められたようであるが、同館目録には著録されていない。

17 東京大学総合図書館蔵〔室町末〕写本

後補淡橙色布目覆表紙（二五・四×一九・八糎）、金切り箔散らし白地の題簽を添え「老子 河上公註」と題署。元表紙は朽葉色唐草紋の空押しがあり、「老子河上公註」と打付けに墨書さる。

首に、老子変現の説を図示せる一葉（表葉に表示、裏面は余白、上辺欄外に「老子変現之圖乎」と右から左へ横書きに題し、太古、三皇、五帝、三代、列國の五段に画し、各段に老子変現異称を記す）を掲し、次ぎに「老子經序」（隔七格「葛洪序

見述義二」と題さる、序題と撰序者名の間の七格分の余白に「述云凡五百三十三言／道二千三百八十二字／徳二千九百二十字」と三行に小書されている）を冠す。本文巻頭「老子道經上（隔十）河上公章句」と題し、次行低二格「體道章第一 導道章」と、両様の章題を併記する。下巻首は「老子經卷之下（隔七）河上公章句」、尾題は「老子經卷之上（下）」と。

四周単辺（二二・〇×一六・四糎）、有界、每半葉七行、行廿字、注小字双行。柱題署無し。墨訓点（マ）が附さる。

眉上、行間に字訓音釈、王弼、口義等の注説の書入れが見られ、また、下巻尾題後隔一行より、約一葉半、二十一行に渡り、

本文と同筆で『莊子』の經注疏文が移写されている(訓点付)。

「梅宇蔵」(朱長方)、「陽春／廬記」(朱長方)、「南葵／文庫」

(朱方、双郭)の印記。伊能穎則、小中村清矩通蔵本か。

18 東洋文庫蔵〔室町末〕甲州七覚山积亮信令写本

大一冊(略称 東洋)

後補水色布目表紙(二七・〇×一九・七糎)、外題無し。

首に「老子經序」(題下およそ七字分を隔て「葛洪序」と題署、第二行低二格に「述云凡五千三百二言道經二千三百八十二字 惠經二千九百二十字」

と記す)を冠す。此の序末行に直接し、以下小字双行で「老子

經口義發題」(題下隔六格「虞齊林希逸」と題署)及び、老子

変現生誕等の異伝以下「紹運圖」の引用至る上掲9筑波大学附

属図書館蔵天文二十一年写本の卷末、13慶應義塾図書館蔵天正

六年足利学校南春写本及び14大東文化大学図書館蔵天正六年足

利学校真瑞写本の卷首、16瀧川君山武内義雄通蔵〔室町〕写本

の眉上書入れと同文の記事が有り、此の本には、更に続けて积

家者流以下九流の説、「拾遺記」の孔子に纏わる異伝が移写さ

れている。

本文卷頭「老子道經上(隔六格)河上公章句」と題し、第二行

低一格に「牀道章第一(隔六格)道可道章」と両様の章題を掲し

て本文に入る。下卷首は「老子德經下(隔六格)河上公章句」、尾

題は「老子道經之終」「老子德經下之終」と題さる。

四周单辺(一九・〇×一五・八糎)、有界、每半葉八行、界

幅約一・九糎の烏糸欄を設け、毎行廿字、注小字双行行廿字に

書写、料紙上端に横線を引き、高さ約四・七糎の上層を設けて

ある。柱題署無し。本文と同墨筆の返り点、送り仮名、やや後

筆と思われる朱の句点、合点、朱引が施されている。上層及び

行間には墨筆・青筆両様の書入れが周密で、墨は本文・訓点と

同筆の如くで、青は明かに後の別筆である。墨筆は、述義、虞

齋口義(「新・采」と標記)等諸書諸注説を抄録した書入れが

多く、青は校異音注の書入れが主で、「宣賢本」の標記が注目

を引く。

最終葉裏面に、本文とは異なる筆跡で、次の墨識語がある。

右老子經甲州七覚山暫息時以佗筆寫之

法印亮信生歳四十六 戒臘三十五

天正八年庚辰七月日修補之

(「亮信」に重ねて朱印印、印文不詳)

また、両卷末に、青筆の次の本奥書がある。

本云承安二年九月授主水正畢

御判

正應二年暮春七日相傳之家書紛失於道經重課
微躬之下愚早點養性之方術而已

書博士清原教有

永正七年七月十一日終書寫之功即加朱墨訖

少納言清原朝臣

(以上卷上末)

本云正應二曆暮春二十六日相傳之秘書紛失於德經重課

微躬之下愚早點養性之方術而已 書博士清原教有

永正八年四月廿三日遂書寫之功即加朱墨而已

少納言清原朝臣

(以上卷下末)

両卷末の青筆の奥書は、本文中の青筆の書入れと同筆と認められる。従って、此の奥書は、此の本の本文とは直接に関係するものではなく、別本の奥書を後の所持者が移写したものと看做すべきである。奥書の内容から、その本は清家伝来の本と密接に繋がる本であるに相違ない。承安二年の奥書は、後掲22杏

雨書屋藏〔鎌倉末南北朝初〕写存卷上殘簡にも見え、既述のように、伝授者は清原頼業に比定され、主水は嫡子近業であろう。又、正應、永正の奥書を有する本は、この本の他には知られず、清家における、『老子』の相伝事相の一端を具体的に伝える史料として注目される。教有は清家庶流教隆の長子有隆の子。少納言清原朝臣は宣賢その人に相違ない。

此の本は、上記書写奥書に拠れば、法印亮信が四十六の年、甲州七覚山（修験道の古刹七覚山円楽寺が知られ、「七覚」は中世戦国期に見える地名として、山梨県東八代郡中道町右左口字七覚に比定されている）に於いて書写させたものと解される。『慈眼大師御年譜』元龜二年（一五七二）の条の義嚴付説に拠れば、亮信は天文四年（一五三五）の生、天正十九年（一五九一）五十七歳の卒とする。此れに従えば、此の本が書写された四十六歳の年は天正八年（一五八〇）に当たり、天正八年七月「修補之」とあることから、此の年の内七月以前に書写されたのであろう。

後表紙見返しには、近時の張紙が有り、『武州東叡開山慈眼大師傳』中より、亮信の行実を覗う一文が移写されている。

「雲邨文庫」（朱長方）の印記、和田維四郎旧蔵書。

東洋文庫日本研究委員会編『岩崎文庫貴重書書誌解題Ⅰ』

(東京 東洋文庫 平成二) 著録。

19 正倉院聖語藏(鎌倉)写本 存卷下 一軸(略称 聖語)

原本未見。大正十三年佐々木信綱刊影印複製本に拠る。

原本、首の部分巻頭第一行に及んで破損があるようで、内題は欠けて明らかでない。存巻の首行は、一格を低して「河上公章句第三」、次行低二格「論徳第三十□」(料紙破損し「八」字を缺く)と題してある。巻尾も傷損し、尾題も又不明である。

居位第六十首前一行に低一格「河上公章句第四」と題され、四巻本の体裁をとる。章題は、為道第六十二まで同様の体式で題されているが、第六十三章以下は、章題の在るべき章前の一行が空行のままとなっている。

烏糸欄、有界、行十五字、注小字双行。

巻末、料紙傷損して、第八十一章に欠字が目立つ。

古鈔本の内で書写年代が最も古く、最善本と言えるが、惜しむらくは前半の道経部分を缺く。影印刊行されたのも早く、諸氏校勘に利用され、学界に裨益する所が多い。複製本には、巻末に狩野直喜の解題、また同氏の「舊鈔本老子河上公注跋」(内容は巻末解題と同じ、但、彼は漢文、此れは和文)を印刷

した一紙を添えてある。⁽³³⁾

鄭成海『老子河上公注斟理』及び、藤原高男「老子河上公注鈔本集成」「同校勘記」対校本。

20 大東急記念文庫藏(室町)写本 大二冊(略称 東急)

後補濃縹色表紙(二五・七×一六・七糎)、古題簽に「換鵝經(上下)」と題署、此の題簽は元表紙の外題と認められる。

首第一行低一格に「老子經」と題し、所謂葛洪序を冠す。題下に「序」字が無く、又、撰者名の題署も無い。

本文巻頭「老子道經(隔六格)河上公章句」と題し、章題を掲

さずに直ちに本文に入る。下巻首は「老子徳經下 河上公章句第三」。また、巻下中間第十四葉第五行(第六十章首直前の一行)に「老子徳經(隔五格)河上公章句第四」と題され、四

巻本の体裁を留める。尾題は「老子道經上」「老子徳經下」と。

無辺無界、字面高さ約二〇・五糎、每半葉八行、毎行十七字、

注小字双行に書写、柱題署無し。章毎の分段改行は無く、本文は各巻首尾連続して書写され、章頭に当る文字に朱の円圈が冠してある。経文に墨筆の訓点(返り点、送り仮名、音訓合符、和訓)が附さる。又、首の序には、朱句点、朱引、本文にも希に朱引がみられる。眉上或いは行間に処々誤字脱文を訂正した

加筆がある。

各巻最終葉末行下方に、「寶幢寺和集軒」と、下冊後遊紙裏左端下方に「大仙常住」との墨書が存す。

外題の「換鵝經」とは、晋の王羲之が老子經を書して、道士の鵝と交換したという故事に拠る。『老子經抄』に講述が見え、当時、老子經の異称として通用されていたことが分かる。

21 斯道文庫藏〔南北朝〕写康應二年（一三九〇）施入識語本

大二冊（略称 斯I）

後補黄檗色艶出し古表紙（二三・四×一八・三糎）、左上に「道德經乾（坤）」と墨書。料紙、斐楮交漉紙。裏打ち補修が施さる。

首に「老子經序」（撰序者名不題）を冠し、巻下尾題後隔一行に「老子道德經序」（格^{低六}）眞人葛玄」と題する序文を附す。

上巻巻頭は首序末に接して「老子道經」、次行低一格に「河上公章句第一」、第三行低一格「體道第二」の章名を題して本文に入る。巻下首内題は「老子經下」河上公章句第三、「尾題は「老子經道德上」、「河上公老子德經下」。上下二巻であるが、十七章及び六十章首前の一行に、それぞれ「河上公章句第二（四）」の小題があり、四巻本の体式を留めている。

無辺無形、字面高さ約一八・九糎、每半葉六行、行十一字、

注小字双行行十一字。柱に「▲老子一（二）之（丁付）（丁付下に墨縦線）」と、版本版心の様式で題記さる。首序には朱句点、朱引、墨訓点を、経注本文には墨筆の句点、返点、送仮名、振仮名、連続符、音訓合符、声点、人名符を付し、行間にまゝ反切音注、希に王弼注、明皇注を抄録した書人が見られる。

次の本奥書及び識語がある。即ち上巻尾題後に、

康應二年正月十九日施入之聖山

不可出寺中

本云 丁酉之歳仲夏十八日一見了

了式判

また尾の葛玄序末隔一行に、

本云 一見了 了式判

有^{本云}三言之過當者君子之所^{ナリ}宜^ク潜^ニ其心^ニ

焉也此^レ經曰絶^レ聖棄^レ智又絶^レ仁棄^レ義

者是其言^ノ之過^{ナリ}當也楊^子曰及^ニ提^シ仁^一

義^ニ絶^ス禮^ニ樂^ヲ吾無^キ取^レ焉耳者是^レ亦

雄^カ言^ノ之過^{ナリ}當也蓋^ニ以^テ意^ニ逆^シ志^ニ乎學^ノ者

若^シ欲^ク觀^ニ老^ノ之過^{ナリ}當^ノ之所^ヲ者試^ニ取^テ雲^一漢

之詩^ヲ而熟參^ク矣^ハ云^フ

不可出寺中

康應二年正月十九日

施入聖山之

康應二年の施入識語の筆跡は、本文及び本奥書より、やや後の別筆と見られる。

本文は、他の古鈔本と比べ、建安虞氏家塾刊本に近く、古活字版との乖離の程度も大きい。古鈔本の中ではテキスト上やや特異な性格を持ち、当時伝存した宋刊本若しくは元刊本の本文が影響していると考えられる。

末に付された葛玄撰と題する「老子道德經序」は他の古鈔本には見えないもので、敦煌出土の五千字本系道德經に冠せられた、「老子道德經序訣」全五段中の第二段の内容に相当し、また、宋版系本の「老子道德經序」の後半部分と同類であるが、互いに措辞文句に異同が見られる。

「雲／關」（白方）、「大／悟」（朱鐔形）の古印、「月明／莊」（朱方）の印記がある。

『弘文莊待賈古書目』第十二號（昭和十三年二月）所載。

『斯道文庫』創立十周年記念近蒐善本展観書目録、慶應義塾大学附屬研究所斯道文庫貴重書蒐選図録 著録。

22 杏雨書屋蔵〔鎌倉末南北朝初〕写存卷上殘簡

一軸（略称 杏工）

後補梨子地色金銀雲霞文表紙（二七・三×二一・二糎）、書題簽「大燈國師」。見返し、金紙。料紙、楮斐交漉黄紙。

表紙を除き全八紙、一紙の長さはもと約五一・二糎、各紙十
九行、しかし切り去られた部分が多く、原状を残すのは第二紙
から第五紙の四紙である。各紙の長さと書写次第は次の如し。
欠脱、錯簡が甚だしい。

第一紙（三九・三糎） 十四行 第一章（尾欠）

第二紙（五一・二糎） 十九行 第三十二章末二行、三十四章

（尾欠）

第三紙（五一・二糎） 十九行 第三章（首欠）、第四章

第四紙（五一・二糎） 十九行 第五章、第六章（尾欠）

第五紙（五一・〇糎） 十九行 第八章末一行、第十章（尾欠）

第六紙（四・九糎） 二行 第三十六章末二行

第七紙（三・四糎） 一行 尾題

第八紙（二〇・六糎） 奥書

本文卷頭「老子道經上（隔五格）河上公章句第一」と題す。尾題は首題に同じ。章題は題さず、章頭にて提行する。

烏糸欄、界高、二一・六種、界幅、二・七種。毎行十四字、注小字双行に書写。朱の句点、ヲコト点、音訓合符、連続符、声点、濁点、墨の送り仮名（少しく朱を交える）が附さる。ヲコト点は紀伝点である。

末に、本文とは別筆で次の如く奥書がある。

本奥書云

正嘉二年四月廿七日書寫畢

外史清原 在判

同年五月廿六日加點了

権少外記直隆

^(標消)
古本奥書云

承安二年九月五日授主水了

在御判大外記殿

加一見了

前参河守在判

以彼秘本書寫了 于時文永十年孟春八日 沙弥

文永十二年二月六日授申黒田武衛禪了 音儒清原在判

以上の奥書から、此の本の藍本は、承安二年（一一七二）清原頼業（大外記殿）が主水（嫡子近業か）に授け、教隆（前参河守）が一見を加え、正嘉二年（一二五八）直隆（教隆の三子）が書写加點し、文永十二年（一二七五）音儒清原某（教隆の四子俊隆か）が黒田某に授けた、清家相伝の証本と認められる。

章頭の眉上に、墨筆で「道冲章第四」等と、また、朱で「一

本云虚用第五」等と両様の章題が併記書き入れられ（第四は一方のみ）、眉上行間に墨の校異、音義注又、「述」「述義」「賈」「王弼」「嚴遵」「顧云」「師云」等諸家注説の書入れが周密である。校異には「中本」「江本」「古本」「陸本」「才」「イ」「或本」「一本」等の標記が見られる。更に紙背には、述義の引証二条、及び、他に類を見ない問答難答の二件九行が書写されている。此の問答論議は頼業「論義十帖」断章の可能性が期待され、若しそうであるならば、藤原頼長私邸での講筵の片鱗を窺い得る貴重な資料となる（上記40頁参照）。

本軸には、古筆琴山の極札二枚が添えられ「大燈國師老子道經墨斎禪師

外題翠山（裏書「紙数五枚半辰八以意」）、「大燈國師道可道翠山」

（裏書「紙数五枚半丙七以意」）とある。

琴山の極めは俄には信ずべくもないが、伝大燈國師筆の同書断簡佐保切三葉（『藻塩草』『翰墨城』『文彩帖』所載）が知られ、本写本とは行字数が一致し、その墨跡は或いは同筆と看做してよいかと思われる程に酷似している。此の三葉の筆跡は、宮内庁書陵部蔵永仁五年（一二九七）呉三郎入道写『古文孝経』と同筆で、同写本の奥書に拠って帰化僧呉三郎入道手筆とされている。同筆如何の審定は別にして、本写本もその頃の書写に

繋ると見て大過は無いであろう。

「藤ノ虎」(朱方)、「炳卿珍藏舊ノ槧古鈔之記」(朱長方)の
印記あり。内藤湖南旧蔵。

『恭仁山莊善本書影』、『新修恭仁山莊善本書影』著録。

23 六地藏寺蔵〔室町末〕写本 単経 半一冊(略称 六地)

原本未見。昭和四十二年斯道文庫撮影紙焼写真副本に拠る。

『六地藏寺善本叢刊』第六卷(中世国語資料)(東京 汲古書院
昭和六〇)所収の影印本参照。

縹色覆表紙(二三・〇×一五・〇糎)、外題朱書「老子經上

下」、中央に「林印」と墨書。元表紙は本文共紙、中央に「老
子經^上」、その下方に、中、右、左とそれぞれ「六蔵寺」、「孝

賢之」、「佛陀院」と本文と同筆で題署されている。扉が有り、
その左肩には、「老子德經^{上卷}」と題してある(別筆か)。

首に「老子經序」(撰序者名不題)を冠す。本文巻頭は、序
の末行より一行を隔て、「老子道經上 河上公章句」と題

し、章題章次数は無く、直ちに本文に入る。下巻首は上巻尾題
に直接し「老子德經下 河上公章句」と題され、尾題は「老

子道經上」「老子德經下」で首題と変わらない。章頭にて改行
分段されている。

無辺無界、字面高さ約一八・八糎、每半葉七行、行十四字。

朱のヲコト点(明経点)、墨の返点、送り仮名、声点等が施さ
れている。

阿部隆一「六地藏寺法寶藏典籍について」(『斯道文庫論集』

第五輯 昭和四二)著録。また、上記影印本は小林芳規博士に
よる解題を載す。

24 陽明文庫蔵〔室町末近世初〕写本 単経

枳形一冊(略称 陽Ⅱ)

第三十九章以下校合未了。

素表紙(二二・二×一九・〇糎)、「老子經^全」と打付けに
墨書。仮綴。

首に「老子經序」(撰者名は題さず)を冠す。本文巻頭「老
子道經上 河上公章句」と題し、章題章次数は無い。下巻

首は「老子德經下 河上公章句第三」とあって、四巻本の形
式の名残が認められる。尾題は「老子道經」、「老子德經下

河上公章句」と。
無辺無界、字面高さ約一八・五糎、每半葉十行、行十六字。

柱題無し。章毎に改行する。墨筆の返点、送り仮名、振り仮名、
声点、音訓合符、連続符を附す。序の一部には朱筆の返点、送

り仮名、朱引が見られる。

巻上、巻下でそれぞれ筆跡が異なるが、ほぼ同じ頃の書写であろう。

「陽／明／蔵」（朱方）の印記。

25 仁和寺蔵〔室町末近世初〕写 大一冊（略称 仁和）

第二章以下校合未了。

香色表紙（二七・二×一九・三糎）、「猶龍録」と題され、その下に細字で「亡父筆痕」と墨書。

首行低二格、「漢河上公老子序」と題し、諸本には見えない序文が冠さる。此の序の出処内容については後攷に委ねる。なお、此の序文は、以下の序及び本文とは筆跡が違っている。次に「老子經序」（題下に直接して「葛洪序」述曰凡五千三百二言道經二千三百八十二字 惠經二千九百二十字）とがある。

本文巻頭は「老子道經卷上（隔六）河上公章句」と題し、次行低一格「道可道章第一体道章」と章題がある。小書きの題は書入れと看做すべきか。下巻首は「老子德經卷下」、尾題は「老子道經卷之上終」「老子德經下卷」。

四周单边（二〇・二×一四・七糎）、每半葉七行、行廿字、注小字双行。柱題無し。返点、送り仮名を附す。

行間に字訓、反切音注、評語の書入れ、朱筆の句点、圈点、合点、朱引があり、眉上に墨筆の校字、また「疏可考」「正義可考」等と標記した注説の書入れが見られる。

26 「南宋」建安虞氏家塾刊本 二冊（略称 宋版）

原本未見。四部叢刊子部所収影印中本一冊に拠る。

原本は、明葉氏蓁竹堂、清黃氏士禮居、瞿氏鐵琴銅劍樓の通蔵を經、北京図書館現蔵。

首に、「老子道德經序」（第二行低六格「太極左仙公葛造」と撰序者名を題す）、及び「老子篇目」を冠す。

巻頭首行「老子道經」、次行低一格「河上公章句第一」、第三行低三格「體道第一」と題さる。下巻首は「老子德經下／河上公章句第三」とあり、尾題は「河上公老子道經卷上」「河上公老子德經終」。淳風第十七、居位第六十の章頭前行低一格にそれぞれ「河上公章句第二」「河上公章句第四」とあり、四巻本の体裁を残している。

四周双边、有界、每半葉十行、行十七字、注小字双行、行廿四字。版心、線黒口、双黒魚尾「老上（下）（丁付）」、左郭外上方に耳格（無郭）があり、章名が刻されている。注末に処々反切音注を附す。

首の「老子篇目」の尾題の後二行を隔てた位置に「建安虞氏／刊于家塾」と双行刊記が有る。「慎」字に欠筆が見られ、南宋孝宗以後の刊行にかかる。

鄭成海『老子河上公注斟理』、王卡『老子道德經河上公章句』の底本、藤原高男「老子河上公注鈔本集成」「同校勘記」の対校本。

27 〔明嘉靖十二年（一五三二）〕世徳堂顧春刊本

大二冊（略称 世徳）

世徳堂刊六子書の一。原刻本は伝存希で、諸所架蔵の多くは桐陰書屋等の覆刻本である。原刻本で管見に入ったのは、内閣文庫蔵の林龍潭書入れ本、及び京都大学人文科学研究所蔵村本文庫の二本である。『弘文莊待賈古書目』第卅一號（昭和三十三年三月）掲載本（抱一上人旧蔵亀田鵬齋自筆識語）の所在は明らかでない。影印本に民国三年（一九一四）右文社刊本、同五十四年（一九六五）台北藝文印書館刊の無求備齋老子集成初編所収本（底本は右文社刊本と同一本）がある。校合は無求備齋老子集成初編所収本に拠った。

首に、「老子道德經序」（「景定改元蒲節前三日石廬龔士高序」）、
「道德經序」（「太極左仙公葛玄撰」）及び「老子道德經篇目」を

冠す。本文卷頭首行「老子道經卷上」、次行低二格「河上公章句第一」、第三行低四格「體道第一」と題さる。下巻首は「老子道經卷下／河上公章句第三」とあり、尾題は「老子道（徳）經卷終」。淳風第十七、居位第六十の章頭前行低二格に「河上公章句第二（四）」とあり、四巻本の体式を残している。四周双辺（一九・一×二三・五糧）、有界、每半葉八行、行十七字、注小字双行、行十七字。版心、白口単白魚尾、「世徳堂刊 道（徳）經卷上（下）（丁付）」注末に○で画し処々音注を附すが、直音表記で宋版とは相違する。

刊年は『六子』末の顧春撰「刻六子書跋」に拠り推定した。鄭成海『老子河上公注斟理』、藤原高男「老子河上公注鈔本集成」「同校勘記」の対校本。

28 明正統刊道蔵本（道德眞經註四卷） 道蔵洞神部玉訣類知
字号所収 （略称 道蔵）

原本未見。民国十三年（一九二四）上海涵芬樓刊影印本に拠る。宮内庁書陵部蔵毛利高標旧蔵の明正統原刊本に就いて、対校する必要があるが、未だ果たしていない⁽³⁴⁾。

序跋無く、卷頭内題は「道德眞經註卷之一（隔八）知一」と題し、第二行低四格「河 上 公 章 句」と小字で

題署、第三行低三格「體道第一」と章題が有る。各巻首とも体式は同じ。天地双辺、無界、毎半葉十行（底本は帖装で見開き半面五行）、行十七字、注小字単行行十七字。版心、上下両端に小円圈を配し、片面中央の柱に往々「知一（一四）（次数）」と題してある。上辺欄外に、版心を挟んで横書きで、表面に「道德眞經註」、裏面に「卷幾第幾」と書名卷数丁数を記す。

四巻に巻立され、巻二は淳風第十七に、巻四は居位第六十に始まる。此の本には、分章の次第が諸本と相違するところがある。諸本では玄符第五十五章末に在る經文「物壯則老、謂之天道、不道早已」の三句及び其の注文を玄徳第五十六章首に配し、淳風第五十七章首の經文「以正治國、以音用兵、以無事取天下、吾何以知天下之然哉以此」四句及び注を第五十六章尾に配してゐる。従つて、玄徳第五十六は「物壯則老謂之天道」に始まり、淳風第五十七は「天下多忌諱而民彌貧」で始まつてゐる。

鄭成海『老子河上公注料理』、王卡『老子道德經河上公章句』、藤原高男「老子河上公注鈔本集成校勘記」の対校本。

29 敦煌出土唐写本

現在知られている河上公注本四種の内、次の三種を対校。大淵忍爾『敦煌道經—図録篇—』（東京 福武書店 一九七九）

所収写真版に拠る。同『敦煌道經—目錄篇—』（同 一九七八）を参照。

I S 四七七 存第三章（前半缺）—二十章（後半缺）
〔唐〕写 （略称 敦I）

第三章經文「弱其志」下の注「讓不處權」より、第二十章經文「如春登臺」まで。首十七行は上半部十字分程を残し、下半は欠損している。二百四行目第十七章首前行に「老子道經 河上公章句第二品」と題さる。章題章次数は無く、各章頭で改行。全二四八行、行十八字内外不等。注大字単行、經注文字の大きさは同じで、經文、注文の間に一字分を空けて区別している。

II S 三九二六 存第三十九章（前半缺）—八十一章
〔唐〕写 （略称 敦II）

第三十九章經文「王侯無以貴高將恐蹙」下注「言侯王當屈已」より以下卷末までを存す。第一行は上半を缺く。二八六行目の第六十章章頭前行に「老子德經下（隔四格）河上公章句第四」と題さる。尾題を存し「老子德經下 河上公章句」と。章題章次数は無く、各章頭で改行、或いは改行もせず連続して書写されている場合も多い。全五六四行、行廿字内外不等。注大字単行。經注文は両者の間に一格を空けて区別し、この書写の体

式はS四七七と同じである。

Ⅲ①S四六八一 存第三十八章(後半缺)

②P二六三九 存第三十八章(前半缺)―七十七章(後半缺)

〔唐〕写 (略称 敦Ⅲ)

①②は、①尾②首に於いて完全に接合する僚卷である。首節は損壊しているが下巻内題を存し「老子徳経下巻下 河上公章句」と題さる。また、第五十九章本文末尾下方の余白に「老子徳経下」と尾題がある。章題章次数は無く、各章頭に於いて改行、一行廿四字内外、注小字双行、行卅字内外不等。

第七十七章経文「能以有餘奉天下唯」までを存するが、普及している写真版の映りが良くなり、校勘は困難である。第三十九章後半以降は対校未了。

鄭成海『老子河上公注輯理』、王卡『老子道德経河上公章句』、藤原高男『老子河上公注鈔本集成』「同校勘記」の対校本。

30 羣書治要卷三十四所収本 (略称 治要)

抜粹本であるが、唐鈔本本文の原様を窺測し得る意味で、校勘上欠かせないテキストである。宮内庁書陵部蔵金沢文庫旧蔵〔鎌倉〕写本の影印複製本(昭和十六年宮内省図書寮刊)に拠る。

同本卷三十四末の識語に、

文應之冬參洛之次、申出蓮華王院御本、校點了、直講清原(教隆花押)

とあり、同卷所収の「老子」も、文應元年(一二六〇)清原教隆が上洛した際、北条実時の委嘱により、蓮華王院宝蔵の御本と校合写点された本である。尚、御本は長寛二年(一一六四)に藤原敦周、敦綱、敦経、清原頼業等が点進した本であることが判明している。小林芳規『平安鎌倉時代に於ける漢籍訓讀の國語史的研究』第四章第四節第六項老子経の古訓法を参照。

鄭成海『老子河上公注輯理』、王卡『老子道德経河上公章句』対校本。但し、王校拠用本は四部叢刊本(尾張藩版を底本とする)であり、鄭校の拠用の本は、明らかではない。

31『老子道德経河上公解(抄)』掲出経注文 存道経三十七章 寛永四年(一六一八)写 (略称 天理)

同書は、天理図書館蔵大二冊、河上公注老子の注釈書で、老子経文、河上公章句の全文を掲出している。注者未詳。

後補茶色空押し疋繋ぎ牡丹紋表紙(二七・二×二〇・〇糎)、外題「道德経抄上下」と打付に墨書。元表紙は本文共紙で、現状では後補表紙の見返しに張り付けられている。上冊の元表

紙には、右肩に「寛永四年八月十一日」、中央に「老子道經河上公解／自一至五」と、また下冊には中央に「道德經河上解／自十八至／二十八」と墨書されている。序跋の類は無い。巻頭、「老子道經上」と本文よりやや大きめの文字で題され、一格を空け、直ちに本文注釈に入る。

無辺無界、字面高さ約二二・三糎、每半葉十三乃至十七行、章題及び經文は大字、河上公章句は「注」字を冠して改行、經文よりやや小さめの文字で書写、行廿三字内外、或いは改行せずに經文下一格を空けて連書される場合も多い。注は低一格、「僕考」「私云」等の撰者按語は二格下げの所もある。また、小字注、小字双行注が混在している。柱題署無し。墨筆の返点、送り仮名、音訓合符、連続符があり、朱の句点、圈点、合点が付され、地名、人名、書名に朱引が施さる。經文頭には、朱の「○」を、章句の一部には朱で「△」の箋符を冠し、章句の全文、或いは注に引用された經文章句の字句の左旁には朱の傍線が施されている。処々に衍字脱字の訂正、行間眉上等には追補の加筆が見られ、小圈、細線で挿入箇所を指示されている。

道經為政第三十七に止まって、第三十八章より八十一章迄の德經部分を欠く。

掲出された本文は、諸本に比し古活字版に最も近いが、異同も少なくない。詳細は、拙稿⁽³⁵⁾並びに後述参照。

凡例

- 一 本論中で〔慶長〕古活字版『老子道德經』の字句を指示、或いは引載するに当たっては、附載翻印の各行頭に冠した、巻次、葉数、表裏、行次数（a bは注の右行左行を示す）の標記に準じて、（ ）内に同本に於ける所在を記した。
- 例：（序4才5）―老子經序の第四丁表、第五行の字句。
- 例：（上3ウ5）―卷上第三丁裏、第五行の經文の字句。
- 例：（下11才6b）―卷下第二丁表、第六行注文左行の字句。
- 一 右標記の行次数下に、「諸本異同表」の通番号を添えて、対照参考に備えた場合もある。
- 例：（上12ウ3b 628）―卷上第一二丁裏、第三行左行の注文で、「諸本異同表」上の628に見える異同字句であることを示す。
- 一 諸本の本文字句の引載は、特に問題とすることが無ければ、異体字は、通行の字体に改める。
- 一 本論中で言及する諸本は、原則として全て略称で標記する。略称は「対校諸本略解題」或は附載の「諸本異同表凡例」を

参照。

一 同性格の諸本を連続併記する場合は、纏まりを明示するた
めに一 一で括って表示した。単独一本の表記の場合も、
それに準じている。

一 参照頻度の高い諸氏の校勘に就いては次の略称を使用する。

鄭校—鄭成海『老子河上公注斟理』

王校—王卡『老子道德經河上公章句』

書誌概要

老子道德經

二卷 旧題漢河上公章句
〔慶長〕刊 古活字

二冊、縹色空押し雷文唐草艶出し表紙(二九・一×二〇・四
糲)、印刷題簽(内辺一八・一×三・一糲)、「老子經上 (下)」
と草体で題さる(陽明文庫蔵本に遺存する元表紙に拠る)。首
に「老子經序」(隔九格に「葛洪」と題署)を冠す。尾跋等後
付け無し。

本文巻頭「老子道經上(隔六格)河上公章句」、第二行低二格
「體道第一」と章名次数を題して本文に入る。巻下首は「老子

德經下(隔六格)河上公章句」。尾題は首題に同じ。

四周双辺(二〇・九×一五・二糲)、有界、每半葉七行、行
十七字、注小字双行行十七字。版心粗黒口双黒魚尾「老子經上
(下)(丁付)」。刊語、刊記、奥付等、出版事情を示す記載は
無い。

上下二卷、上卷三十七章、下卷四十四章、通して八十一章分
章の構成を取る。各章の章名次数の標記は以下の如くである。

老子道經上

體道第一、	養身第二、	安民第三、	無源第四、
虛用第五、	成象第六、	韜光第七、	易性第八、
運夷第九、	能爲第十、	無用第十一、	檢欲第十二、
厭耻第十三、	賛玄第十四、	顯德第十五、	歸根第十六、
淳風第十七、	俗薄第十八、	還淳第十九、	異俗第二十、
虚心第二十一、	益謙第二十二、	虛無第二十三、	苦恩第二十四、
象元第二十五、	重德第二十六、	巧用第二十七、	反朴第二十八、
無爲第二十九、	儉武第三十、	偃武第三十一、	聖德第三十二、
辨德第三十三、	任成第三十四、	仁德第三十五、	微明第三十六、
爲政第三十七			

老子德經下

論徳第三十八、法本第三十九、去用第四十、同異第四十一、道化第四十二、徧用第四十三、立戒第四十四、洪徳第四十五、儉慾第四十六、鑒遠第四十七、亡知第四十八、任徳第四十九、貴生第五十、養徳第五十一、歸元第五十二、益證第五十三、修觀第五十四、玄符第五十五、玄德第五十六、淳風第五十七、順化第五十八、守道第五十九、居位第六十、謙徳第六十一、爲道第六十二、恩始第六十三、守微第六十四、淳徳第六十五、後已第六十六、三寶第六十七、配天第六十八、玄用第六十九、知難第七十、知病第七十一、愛已第七十二、任爲第七十三、制惑第七十四、貪損第七十五、戒強第七十六、天道第七十七、任信第七十八、任契第七十九、獨立第八十、顯質第八十一

版心部材は二本であったことが、印面より確認され、それが概ね交互に現れている事から、植字台二台を使用し、植字組版、刷印、解体が繰り返されたものと推測される。但、序第一丁から、卷上第七丁迄の首十一丁は一方の版心部材が連続して使用されている。

大小二種の活字を使用、使用された活字の延数は、大字が序八一四字、卷上二、六二八字、卷下三、二〇九字、総数六、六一一字、小字は、卷上七、二七九字、卷下八、三九五字、総数

一五、六七四字である。磨滅のやや進行した活字と、新たに作製されたと思われる字画明晰な活字とが混在している。版式と、使用活字の様態から見て、慶長年間後半期の刊行と推定されている。東洋文庫蔵本に加点識語「元和八年二月十一日加朱墨点訖／清家門弟道順」が存し、この紀年から元和八年（一六二二）を下らない事は明らかである。

以下の伝本が知られる。陽明文庫蔵二冊（原装元表紙遺存）、東洋文庫蔵合一冊（和田維四郎旧蔵）、東洋文庫蔵合一冊（小津桂窓旧蔵、清家點書入本）、お茶の水図書館成實堂文庫蔵二冊（経籍訪書志卷五著録本）、斯道文庫蔵合一冊、宮内庁書陵部蔵合一冊、大東急記念文庫蔵存卷上一冊（稲田福堂旧蔵）。

『^補増古活字版之研究』著録の菊亭家旧蔵大阪府立図書館所蔵本の現所在不詳³⁶。

本版には、以下の明かな謬字が指摘される。掲出字句中、字の右旁に私に傍点を付して示す。

- (序) ①上無所舉(序4才574) 「舉」當作「攀」
 (第15章) ②無所不包客也(上12ウ3b628) 「客」當作「容」
 (第19章) ③反初守無(上15才3a789)

「無」恐らくは譌、當作「元」

(第19章) ④塞貧路閉權門也(上15才6a 805) 「貧」當作「貪」

(第31章) ⑤樂教人者(上26才4a 1435) 「教」當作「殺」

(第70章) ⑥吾所言者而易知(下27ウ5a 1339) 「者」當作「省」

(第78章) ⑦愛不祥之殃(下33ウ1a 1637) 「愛」當作「受」

①②④⑤⑥⑦の誤字は、字形の類似に起因し、③は「元」を

「无」と誤認した上で「無」字を使用した事は明らかで、同じく字形の類似から派生した誤りである。しかし、全てが、現存諸本の何れとも一致しないという理由で、本版植工による誤植と見做す事は適当でない。後に詳述する如く、底本としては、後代失われた当時の伝写本が想定されるが、其の底本の書損譌字がそのまま踏襲された可能性も念頭に入れておくべきであろう。例えば③の事例に就いて見れば、「陽工」の当該字は「元」と見るよりは「无」字と判じざるを得ない。底本が「無」に作っていたとも考えられる。

本古活字版の誤植は、多くとも此の七例に過ぎない。使用総字数に比して、意外に少なく、出版に際しての校勘校正の作業は、思いの外、厳密周到に行われた事実が察せられる。

同 (慶長) 刊 古活字 異植字版

前掲古活字版とは異植字版の関係にあり、行款程式は殆ど同じである。但、この方は匡郭内辺縦二一・〇糎、横一五・九糎、版心粗黒口双花口魚尾。

此の版も、二種の版心部材が確認され、交互に解組を繰り返して印行されたと推測される。

本版伝本は天理図書館架蔵の二冊一本が知られるのみである。

なお、行格字数は基本的に前掲版と同じであるが、以下の如く、若干の変動が認められる。第七十九章經文「而不責於人」句下注「但刻契之云々」の「但」字下(下35ウ7a)に「執」一字が増入されたためにこの章が一行増え、従って第八十章以下、即ち下巻第三四葉表第三行より末尾までの二葉弱が、一行送りとなっている。その外(序3ウ2、「故世四」、「世」損)・(上1ウ3a、「觀道」間「大」増)・(上14才2a、「名之」間「號」増)・(上15才5a、「巧詐」間「言」増)・(上19ウ5a、「見所」間「其」増)・(上20ウ7b、「王大」間「亦」増)・(上22ウ5b、「以給」間「爲」増)・(上26ウ1b、「禮上右」、「上」損)・(上27才7b、「谷與」間「之」増)・(上27ウ3b、「以盛力」、「盛」損)・(下8才1a、「辨知」間「者」増)・(下8ウ2b、「能自」間「知」増)・(下10才7b、「用耳」間「其」増)・(下11才6b、「害也」間「人」

増)・(下18ウ3b)、「不放」間「爲」増)・(下18ウ7b)、「之窮」間「所」増)・(下23オ7a)、「不眩」間「欲」増)に文字の増損があるために、(上1ウ3a)は一字分字間が詰まり、その外は、部分的に順送り或いは繰り上げの状態になっている。

又、上記古活字版と同一個所に同一の活字が使用されている例が意外に多い。例えば、序の第一葉では、「洪」(オ1、以下同様に本葉の表裏行次数を示す)、「中」「卿」(オ3)、「微」

(オ5)、「少」(オ6)、「名」(オ7)、「字」(ウ1)、「骨已朽」(ウ2)、「且」(ウ3)、「良」(ウ4)、「威」「貌」「去」「氣」「態」(ウ5)、「淫」「皆」(ウ6)、「若」「謂」(ウ7)の二二字が指摘され、此れは此の葉の総字数二二七の殆ど一割に近い。

多寡の違いはあるが、この事象は全巻に渡りほぼ毎葉に、と言うより、所によっては寧ろ毎行と言えほどの多さで認められる。更に一例を示すならば、巻上第一六葉では、「斂」(オ1a)、「熙熙」(オ2)、「熙熙」(オ2a)、「享」「牢」(オ2)、「兮」(オ3)、「如」「歿」(オ4)、「儻儻」(オ5)、「沌沌兮」「獨」(ウ1)、「昏」「察」(ウ2)、「急」(ウ2a)、「悶悶」(ウ2)、「忽」(ウ3)、「皆」(ウ4)、「獨」「鄙」(ウ5)の諸字が兩版同じ個所で同じ活字が使用されている。組版に際して、意識的

に使用されたのではなく、成り行きとして生じた現象と思われるが、例えば、初版の刊行に使用された活字駒の揃いが、他書の刊行に利用された後に、異植字版の版組が行われたのであれば、このような現象はおこり得ないのではなからうか。初版刊行後殆ど時を置かずに再版されたものと考えられる。

両版の何れが先行したのかについて論定することは、甚だ困難である。同一活字の磨滅の進行の度合いを比較しても、印行時が近接している事でもあり、肉眼では刷りの前後の判定は難しい。此の版の方が、字画の尖鋭さに於いて劣るような印象を受ける個所もある。(上3ウ5)の「沖」、(上8ウ7)の「埴埴」「當」、(上9オ1)の「有」、(同2b)の「視」、(同3)の「以」、(同ウ7)の「厭」等々の字においてその感が強い。しかしながら、墨付き、料紙面の状態、植字版組の良否で印面の微妙な差異は当然生じる事であらうし、印字状態に拠る予断は控えるべきであろう。(上5オ5a)の「性」、(上7ウ1)の「營」、(上8ウ2)の「謂」を比較すれば、或いは逆かと迷わされるのである。相対的に、この方の使用活字が、特に細字駒において、鮮明さを欠き、磨滅が進行していると見てよい様に見える。しかし、古い活字が使用されたのであれば、先に刷

られても、印面は劣るわけであり、印行の前後を判断する指標とは必ずしもなり得ない。この様に、断定は難しいのであるが、先に示した通り、(上1ウ3a)に於いて、字間が詰まり所定の字数が一字増えた状態にある事、及び、誤植と認められる個所が、前掲版に比べてやや多いことから、暫く、此の方が後出であろうと推定しておきたい。

以下の謬字が認められる。

- (第5章) ① 必有禍忠也 (上4ウ6b212) 「忠」當作「患」
 (第6章) ② 徙鼻入藏於心 (上5才4b226) 「徙」當作「從」
 (第7章) ③ 奪人以自輿也 (上5ウ6b259) 「輿」當作「與」
 (第9章) ④ 夫富當賑貧 (上7才4a324) 「貧」當作「貧」
 (第15章) ⑤ 無所不包客也 (上12ウ3b628) 「客」當作「容」
 (第17章) ⑥ 謂上占無名之君也 (上14才2a730) 「占」當作「古」
 (第19章) ⑦ 塞貧路閉權門也 (上15才6a805) 「貧」當作「貧」
 (第21章) ⑧ 大德之人無所不客 (上17才1b912) 「客」當作「容」
 (第30章) ⑨ 果而勿代 (上25才41379) 「代」當作「伐」
 ⑩ 甲死也 (上25ウ1b1398) 「甲」當作「早」

何れも、字形の類似から生じた誤字と見做される。本版が後出であるとすれば、前版誤植の五字即ち「舉」「無」「教」「者」

「愛」がそれぞれ「攀」「元」「殺」「省」「受」と訂正され、⑤「客」、⑦「貧」の二字がそのままに踏襲され、新たに誤字八字が生じた事となる。本版を先行と見做せば、八字が訂正され、二字がそのままに踏襲され、五字の誤りが新たに生じた事になる。訂正された字数が多い方が、校訂が行き届いた結果と見て、後出と考える事も出来ようが、此処ではやはり、版を重ねるに伴い誤植が増えるとの一般的志向に従い、此の版を後出と考えるべきである。⑥の誤植を見ると、前版の「古」字の印字状態は、一見「占」字と見紛う程に、第一の横画の左半の大部分が缺けており、本版の植字工が其の状態を見誤ったことに拠って生じた誤植字とも考えられるのである。

両版の間には、只、誤字脱字による違いにとどまらず、本文上に少なからざる異同が認められる。個々については後に詳述する所であるが、此の異植字版が、偏に増刷を図って版行された訳ではないらしい点に注目したい。異植字版全般に渡って言える事か否かは別として、本異植字版の場合、再版に当たり、本文一部改訂の企図があつたと想定することも可能であろう。

別種異植字版の存在

『補古活字版之研究』等によって従来周知せられている本書

の古活字版は、以上の二版である。しかし、所在を確認できず未だ実見する機会を得ないのであるが、更に別種の古活字版が存在している。それは、『弘文荘古活字版目録』（『弘文荘待買古書目』第四十二号 昭和四七年一月）、『弘文荘古版本目録』（『弘文荘待買古書目第四十五号』昭和四九年一月）、及び『弘文荘善本目録』（『弘文荘待買古書目第五十号』昭和五二年一月）に収載された一本で、此の三つの目録に掲載された「老子經序」

首葉表、及び『弘文荘古活字版目録』掲載の巻上第一葉表の書影を以て上記兩種の版と比較すれば、少なくとも此の部分に限つては、同種の活字を使用し版式も酷似しているが、明かに異版である。殊に、序題下の「葛洪」の両字が見えないことは、大きな相違である。此の三目録の解説及び書影に拠れば、同本は、

大本二冊、栗皮表紙（二八・〇×一九・六糎）、首に「老子經序」（題下の撰者名の題署無し）計四葉を冠す。本文巻頭「老子道經上（隔六格）河上公章句」、第二行低二格「體道第一」と題し、巻下内題は「老子德經」、尾題は内題に同じ。四周双辺、印刷面縦二一・五糎、横一七・一糎、有界、每半葉七行、行十七字、注小字双行行十七字。版心黒口双花口魚尾「老子經上（下）（丁付）」。

紙数上卷（序共）三十四枚、下卷三十五枚、

厚手料紙。虫損多く、裏打ちが加えてあると。宮内庁書陵部、大阪府立図書館、近衛家陽明文庫蔵本と同種とあるが、既述の如く、此の鑑定は当たらない。異植字版であるのか、部分的な改修であるのかは、両書影のみの比較では判定は不可能で、後致を俟たねばならない。

古活字版本本文の実態

諸本と古活字版との系統関係を考察するための前提として、先ず、兩種古活字版の関係を確認しておく必要がある。以下、前に概述した陽明文庫等蔵の古活字版を甲版、それと異植字版の関係にあつて唯一天理図書館に架蔵される本を乙版と称して叙述を進める事とする。又、諸本との関連に於いて言及する場合、適宜「活Ⅰ」「活Ⅱ」の略称も併用する。

両版印行の先後関係

両版の関係において、先ず確認を求められる要件として、版行の先後の問題がある。しかし、この点について何れが先か判定する事は、実証するに足る確かな証例を見出せず、殆ど困難

な現状にある。使用活字駒の磨滅の進行度合いを比較しても、俄には甲乙決し難いこと、上述した通りである。現段階での断定には慎重にならざるを得ない。

只、甲版が先で乙版が後と見る事の妥当性を示唆する印面上の事象として、乙版の(上1ウ3a)に見られる一字分の字間の詰まりと、乙版に僅かではあるが誤植が多い点が指摘される。

字間の詰まりは、一字が挿入されなければならないことによつて、他の部分の字詰めに影響が及ばないように、局部において部分的に処理すべく配慮された結果と考えられる。

また、(上14オ2a)の誤植「占」は、甲版「古」の印字の不良に影響された為と看做しても、あながち牽強付会とは言えないのではないか。

或いはまた、後に詳述する事であるが、両版の異同箇所において、乙版には、古活字版に先行すると見られる現存諸本の何れとも一致しない文が、少なからず存する。更に、其の全てが、後に成立し延宝八年(一六八〇)に刊行される『老子經通考』²⁷(以下、「通考」の略称を使用する)と合致し、また、「天理」と一致すること、諸本と比較して際立つて多い点が指摘される。諸本を通じて、本文の推移を大局から観れば、甲版が先行諸本

に近く、乙版が後行の本により接近していると見做されよう。

論拠としてやや薄弱ではあるが、以上の事由に拠り、断定は保留しつつも、当面は甲版先行、乙版後行であるとの認識に沿つて、以下の叙述を進める事としたい。

両版の近縁関係―同本性

異植字版

甲版と乙版は上記の如く、版式行格等の体式に殆ど差異は無く、同種活字を使用した異植字版の関係にある。一般的には、先行の版を底本として本文そのままに再版されたと考えられるであろう。(上12ウ3b)の「客」、(上15オ6a)の「貧」の如く、甲版乙版同じ個所に、諸本には見られない同字の誤植が存することは、此の両版に直接の継承関係がある事を裏付ける証左と言えよう。従つて、基本的には本文の相違は無く、有るとすれば誤植譌脱による字句の異同に過ぎないものと予想されるのであるが、果たしてそうなのであろうか。この件について確認する為には、両版の本文を逐一対校することによつて異文の有無が検証されなければならない。その対校の結果は、附載の「諸本異同表」に反映されている。

異同量からみた、両版の近縁性

異同表から導かれる、甲版即ち「活Ⅰ」からみた諸本との異同量累計の数値は、(附表1-3)に示した通りである。表示のように、乙版即ち「活Ⅱ」との異同量は、巻上、巻下通計して七〇と、他の古鈔本を含む諸本と比較して極端に少ない。古鈔本の内、甲版に最も近接する「陽Ⅰ」の六二二に比しても一割強の数字である。このことから、甲版、乙版の本文上の隔たりは、甲版と「陽Ⅰ」の隔たりの一〇分の一程と概ね理解され、甲版と「斯Ⅰ」との隔たりを比較するならば、其の三〇分の一程に甲・乙版は近い関係にあると承知して良いと思われる。乙版から見た甲版及び諸本との関係も、殆ど同じ様態である事が示される(附表4参照)。従って、甲版乙版の本文は、古鈔本を始めとする諸本に比して、同一本と認めても差支えない程に極端に近接した関係にあると言える。古活字版本本文の実態を把握するための手続きとして、両版の異同を検証するに当り、先ず此の事実を認識しておく必要がある。

兩種古活字版本本文の相違―異同の諸相

甲版と乙版とは、相対的に極めて近い関係にありながら、七

十の異同量に示されるように、本文字句に於いて次の如き相違が認められる。「己」「巳」「已」は混用される事が多く、また、字形或いは印字の状態によって、いずれとも判断出来かねる場合がしばしばなので、此の三字間の異同については触れない事にする、又、異体字による違いに就いても不問とする。此の異同の様態を確認し、異同が生じた事由について個々に検証しておく必要がある。

異同の確認

先ず、甲乙両版の異同個所を示す。甲版の字句を異同のある字に傍点を付して掲出し、其の下に乙版の異文、及び若干の校語を記す。

(序) ①故世四十五(序3ウ262) 無「世」

②上無所舉(序4才574) 作「攀」、諸本並作「攀」、

「活Ⅰ」譌

(第1章) ③可以觀道之要(上1ウ3a39) 觀道之間有「大」

(第5章) ④必有禍患也(上4ウ6b212) 作「忠」、譌

(第6章) ⑤從鼻入藏於心(上5才4b226) 作「徙」、譌

⑥五性濁辱(上5才6a233) 作「味」

(第7章) ⑦奪人以自與也(上5ウ6b259) 作「輿」、譌

(第9章) ⑧恃而盈之(上7才1 313) 作「特」

⑨夫富當賑貧(上7才4a 324) 作「貪」、譌

(第17章) ⑩謂上古(上14才2a 730) 作「占」、譌

⑪無名之君也(上14才2a 731) 名之之間有「號」

(第19章) ⑫反初守無(上15才3a 789) 作「元」、諸本作「元」、

但、「陽工」作「无」

⑬蒼頡作書(上15才3b 793) 作「造」

⑭絕巧詐偽亂真也(上15才5a 803) 巧詐之間有「言」

⑮當見其質朴(上15ウ2a 820) 作「抱」

(第21章) ⑯大德之人無所不容(上17才1b 912) 作「客」、譌

(第22章) ⑰枉則直(上17ウ5 950) 作「真」、諸本作「直」、

但「通考」亦作「真」

(第24章) ⑱自見所行(上19ウ5a 1057) 見所之間有「其」

(第25章) ⑲王大者無不制也(上20ウ7b 1136) 王大之間有「亦」、

諸本無「亦」、但「通考」有「亦」

⑳勞而不怨(上21才2b 1148) 作「榮」、譌力、但「通

考」亦作「榮」

(第27章) ㉑聖人獨教導(上22ウ5b 1236) 作「猶」、諸本作「猶」、

但、「陽工」作「独」、「治要」無此一字

㉒得以給用也(上22ウ5b 1238) 以給之間有「爲」

(第30章) ㉓果而勿伐(上25才4 1379) 作「代」、譌

㉔早死也(上25ウ1b 1398) 作「甲」、譌

(第31章) ㉕樂教人者(上26才4a 1435) 作「殺」、諸本並作「殺」、

「活工」譌

㉖喪禮上右(上26ウ1b 1454) 無「上」、「斯工」宋版·

世德·道藏一作「尚」、其他諸本有「上」、但

「通考」亦無「上」

(第32章) ㉗如川谷與江海(上27才7b 1507) 谷與之間有「之」

(第33章) ㉘不過以盛力也(上27ウ3b 1516) 無「盛」、「天理」

「通考」亦無、其他諸本有「盛」或「威」

(第37章) ㉙侯王而能守道(上30才3a 1649) 作「若」

(第42章) ㉚廻心始就日也(下5ウ5b 244) 作「如」

(第45章) ㉛大辨知無疑也(下8才1a 360) 辨知之間有「者」

(第46章) ㉜不能自禁止也(下8ウ2b 391) 能自之間有「知」、

「通考」又同、「無窮」道藏「自禁之間有「知」

(第49章) ㉝皆用耳目(下10才7b 476) 用耳之間有「其」

(第50章) ㉞何故不害也(下11才6b 521) 害也之間有「人」、

「通考」又同、「無窮」有「之人」二字

(第56章) ③5 不爲亂世主 (下16才6a747) 作「事」、一「無窮」一「通

考」又作「事」

(第57章) ③6 我無僇役徵召之事 (下17才7a797) 作「僇」、「通考」

又作「僇」

(第59章) ③7 不放逸也 (下18ウ3b868) 不放之間有「爲」

③8 德之窮極也 (下18ウ7b882) 之窮之間有「所」

(第64章) ③9 不爲殘賤 (下23才1b1080) 作「賊」

④0 聖人不眩晃爲服 (下23才7a1105) 不眩之間有「欲」

(第70章) ④1 吾所言者而易知 (下27ウ5a1339) 作「省」、諸本並

作「省」、一「活工」一「譌」

(第78章) ④2 愛不祥之殃 (下33ウ1a1637) 作「受」、諸本並作

「受」、一「活工」一「譌」

(第79章) ④3 但刻契之信 (下33ウ7a1666) 但刻之間有「執」、

一「無窮」一「通考」又同

以上、凡そ、四三方所の異同が指摘される。

次に、以上の個所に於ける諸本の様態と、両版異文とを個々に比較検討する事によつて、これらの異同が生じた事由を諸本との関繋において考えてみたい。

異同の検証

一、両版の誤植に起因する異同

異同四三方所の内、④⑤⑦⑨⑩⑬⑭⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔は、既述した乙版版行に際して新たに生じた明かな謬字であつて(79頁参照)、甲版初め諸本は総て正しく作つてあり、乙版の誤植と見做される。

②⑤④⑫は、甲版の譌字が、乙版によつて訂正された結果生じた異同であつて、諸本は尽く乙版に等しい。以上の十二条は、古活字版刊行に際しての誤植に起因する異同と認められ、現存する諸伝本と対比した限りでは、両版間に孤立的限定的に生じている相違である。従つて、諸本との本文上の関繋に於いて、更めての検討は要しない。

此の十二条を除く三十一条は、旧来伝承されてきた伝本本文上の異同が、両版によつて、それぞれ、両様に継承された結果、生じた異同と見做される。

二、伝本間の異文に起因する異同

I、両版各々が現存伝本の何れかと一致している事例

①③⑥⑧⑪⑬⑭⑮⑯⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺の異同は、甲版、乙版のそれぞれの字句が、現存の古写本の何れかと一致している。従つてこれらは、兩種古活字版の刊行に際して単独、孤立的に発生した異同ではなく、版行以前に既に生じていた本

文の違いが、両版に引き継がれたものと理解される。此の異同例に就いて、諸本の異文とも対照しながら、その発生した事由を検証しておかなければならないであろう。甲版乙版の異文を、同文を有する諸本とともに対比掲出し、研討しておきたい。

① (序3ウ262) (序)

故世四十五 一活Ⅰ・足利・弘文・斯Ⅱ

一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・慶Ⅱ・東洋・

斯Ⅰ・六地

一筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・東大・武内・東急・

陽Ⅱ

甲版の他、一足利・弘文・斯Ⅱの三本に「世」字が認められ、その外の大半の古写本には乙版同様この字が無い。

一斯Ⅱの加点に従って此の前後を訓み下して示せば、

四ヲ以(テ)九ヲ乗(ス)・故(ニ)卅六以ヲモテ禽獸萬

物之剛柔ニ應ス・五ヲ以(テ)九ヲ乗(ス)故(ニ)世ノ

四十五・以(ヲモテ)九宮五方四維九州ニ應ノ・法リ備ハ

レリ因テ(而)之(ヲ)九ニス・故ニ九々八十一數ノ(之)

極ナリ(也)

となり、「世」字の訓みにやや無理が感じられるが、文脈上大きな不都合が生じることは無いとも言える。なお、一足利・弘

文一の両本は「世」に「ヨ、」の振り仮名が見られ、一足利一には「世古本无」と校異の書入れがある。また、一慶Ⅱ一は、もとは「故」字を脱して「世四十五」に作り、「世」を塗抹し、右旁に、「故」字を加筆して訂正されている。「世」字と「冊」字との字形の相似に起因した本文の乱れと見做すことも出来よう。ともあれ、当時伝存した古鈔本諸本に、「世」字を有する一類が有った事は間違いなく、甲版はそれに従い、乙版は別の類の写本に従ったものと考えられよう。

③ (上1ウ3a39) (第1章)

可以觀道之要一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘

文・慶Ⅱ・東大・東洋・梅沢・東急・仁和・

斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

一活Ⅱ・無窮・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・杏

Ⅰ・天理

經文「故常無欲以觀其妙」句下の章句「人常能無欲則可以觀

道之要要謂一也」内の一句で、一斯Ⅱの加点に従って此の章

句全文を訓読するならば、

人常ニ能ク无欲ナルトキハ・(則)以テ道ノ(之)要(ヲ)

觀(ル)可(シ)・要ト云ハ・一ヲ謂(フ)(也)

となる。「大」字の有無について「杏Ⅰ」には左旁に「才无」

と、「慶Ⅱ」は「道」の右旁に「大」との校異の書入れが見られる。本字句に於いて両様の本文が伝承されたのであって、甲版乙版はそれぞれ一方を継承している事が明らかである。

尚、鄭校は、「大」を非とするが、根拠は明らかでない。

⑥ (上5才6a233) (第6章)

五性濁辱 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・杏Ⅰ・宋版・世徳
□味□□ 一活Ⅱ・無窮・梅沢・武内・東大・東洋・敦Ⅰ・東

急・道蔵・天理

経文「是謂玄牝」句下の章句「地食人以五味從口入蔵於膈五性濁辱爲形體骨肉血脉六情其鬼曰魄魄者雌也主出入於人口與地通故口爲牝也」の一句である。「斯Ⅰ」の点に従つて訓み下してみる。

地ハ人ヲ食^{ヤシ}ナウニ五味ヲ以ス・口從リ入テ〔於〕胃ニ蔵ム

五性濁辱ニシテ・形骸骨肉血脉六情ト爲(ル)・其ノ鬼ヲ

魄ト曰(フ)・魄ハ〔者〕・雌ナリ〔也〕。〔於〕人ノ口ヨリ

出入シテ地與通スルコトヲ主トル故ニ口ヲ牝ト爲(ス)

〔也〕

鄭校、王校ともに、「敦Ⅰ・道蔵」等に拠つて「味」を正と

見做す。其の是非は暫く置き、此の異同も旧来より存し、古活字両版は其の一方に従つた事によつて、本文上の違いを生じたものである。

⑧ (上7才1313) (第9章)

恃而盈之 一活Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・武

内・東洋・杏Ⅰ・六地

特□□□ 一活Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ
持□□□ 一陽Ⅰ・無窮・梅沢・東大・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋

版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理

第九章冒頭経文「恃而盈之不如其已」の上句である。此の経文は「武内」の加點に拠れば、

恃^{タシ}ンデ(而)盈^ミツルハ〔之〕・其ノ已^{ヤム}ニハ如^シ不

と訓まれる。「恃」「持」「特」について古鈔本の訓点をみれば、「恃」の訓は「タノン(テ)」一武内・慶Ⅰ・大東・筑波・足利・東洋・杏Ⅰ等、「タノミ(テ)」一書陵であり、「持」の訓は「タノン(テ)」一東急・斯Ⅰ別訓、「タノム(テ)」一陽Ⅰ・無窮・梅沢、「タモ(テ)」一天理・東大、「トシ(テ)」一無窮別訓・斯Ⅰであり、「特」の訓は「タノン(テ)」一慶Ⅱ・弘文・斯Ⅱである。この三字に字義解釈面での大きな違いはない。また、「杏Ⅰ」「恃」字の左旁に「持才」と、東洋文庫蔵甲

版及び「東洋」の同字左旁には「持或本」と、「大東」の左旁に「持イ」の書入れが見られる。従って、早くより、本文に「持」「持」の異同があった事が判明する。両字は通用字であり、文意そのものに違いが生じる訳では無い。「特」「持」は字形の類似によって混用されたものと思われ、それが伝写の際の誤写に起因するのか、或いは通常的に混用されたものなのかは同例の知見を欠き予断は控えざるを得ない。鄭校は「古通」と見ている。何れにしても、乙版が「特」に作る事は、乙版自体の誤植と見做すべきではなく、此の両字についても、先行伝本の異文が継承されたために生じた異同と考えるべきであろう。

⑪ (上14才 2a 731) (第17章)

無名■之君也 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・宋版・世徳・治要一

□□號□□□一活Ⅱ・無窮・筑波・東洋・斯Ⅰ・道蔵・天理一
第十七章冒頭經文「太上上下知有之」下の章句冒頭文の後半句である。同注文は「太上謂上古無名之君也」であり、「武内」の加點に従えば、

太上トハ・上古ノ無名ノ(之)君ヲ謂(フ)(也)

と訓まれ、諸本殆ど同様で、「號」字を有つ本はこの所を「名號無ノ君」と訓じている。「號」字の有無によって文意が大きく変わる事はない。「慶Ⅱ」は「名之」両字の間に小圈を施し右旁に「号」字が加筆されており、此の異同も古活字版版行以前より意識されていた事が分かる。両版のこの字の有無についても、伝写本間の異同が反映継承された結果と考えられる。尚、鄭校は「道蔵」の「號」字を指摘し、後人旁記の譌入と看做す。

⑬ (上15才 3b 793) (第19章)

蒼頡作書一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵一

□□造□一活Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・天理一
第十九章經文冒頭句「絶聖」下の章句「絶聖制作反初守無五帝畫象蒼頡作書不如三皇結繩無文也」(守無、諸本作「守元」)中の句で、此の全文を「斯Ⅰ」の点によって訓めば次の如くである。

聖ノ制作ヲ絶テ・初二反リ元ヲ守ルハ(別訓「レハ」)・五帝ノ畫像モ・蒼頡カ作書モ・三皇ノ繩ヲ結テ文無シニハ如

(カ)不〔也〕

〔武内〕の「作」字右旁書入れに「造也」とある如く、「作」
「造」字義通用すること起因する異同であろう。古活字両版
はそれぞれにその一方の本文をを継承している。

⑭ (上15才 5a 803) (第19章)

絶巧■詐偽亂真也 一活Ⅰ・陽Ⅰ・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅱ・東急・敦Ⅰ

□□言□□□□□□ 一活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・梅沢・慶Ⅰ・

大東・武内・東大・東洋・天理

□□者□□□□□□ 一斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

第十九章経文「絶巧」句下の章句である。一斯Ⅰ・宋版・世

徳一は次文「棄利」下に在って、次の章句へ連接している。

古鈔本の訓読は、大凡次の四類が認められる。

i、巧ノ詐偽ニノ真ヲ乱ヲ絶〔ツ〕〔也〕一斯Ⅱ

(一足利・弘文・慶Ⅱ・無窮)大同、一無窮一は「言」に見

消ちを付し不読)

ii、巧言・詐偽にシテ真を乱(コトヲ)絶ツ〔也〕一梅沢

(一慶Ⅰ・大東・武内)大同)

iii、巧言詐偽ノ真ヲ乱ヲ絶ツ〔也〕一筑波

(一東大・東洋・天理)大同)

iv、巧ヲ絶ト云ハ〔者〕・詐偽ハ真ヲ乱(ルソ)〔也〕一斯Ⅰ

(一陽Ⅰ)類同「巧を絶トハ」と訓読)

「絶巧」の解釈としてはiが解り易いと思われるが、その優
劣はともかく、「言」或いは「者」字の有無に伴って、訓読に
おいても異読を派生している。一無窮一は、「言」に見消ちを付
し、右旁に「イ无」との書入れが有り、一慶Ⅱ一は「詐」字を
塗抹し右旁に「言」字を、下の字間余白に更めて「詐」字を加
筆する等、本文伝承の過程での、混乱が窺われる。此の場合も、
先行諸本間の本文の異同を反映して、甲版は「言」が無い本文
を、乙版は「言」字が有る本文を継承したものであって、改版
に当たって恣意的に改められたのでは無いことは明らかである。
鄭校は「宋版」に従い、「者」が無いのは非、「言」は伝写者
の妄増と疑う。俄には従い難い。

⑮ (上15ウ 2a 820) (第19章)

常見其質朴一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・宋版(質作篤)・世

徳(質作篤)・道蔵・治要(無當字)

□抱□□□□一活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯

Ⅰ・敦Ⅰ・天理

第十九章経文「見素抱朴」下の章句の「抱朴」の注釈に見え

る。其の全文は「抱朴者當見其質朴以示下法則也」であり、例
えば「陽Ⅰ」では次の如く訓読されている。

朴を抱とは〔者〕・當〔ニ〕其質朴を見〔シ〕以て下に法
則を示す「當」し〔也〕
〔書陵〕類同

「抱」に作る諸本は、概ね「質樸ヲ抱テ」と訓む。「梅沢」は
「抱」に作るが、「當抱」両字の間に「見」字の加筆が認められ
る。従つて南北朝以前から、此の両文が併存し、後世双方とも
に伝わつて、古活字版にまで継承されたものである。

鄭校は、「抱」を正とし、王校も「敦Ⅰ」等に拠り「宋版」
の「見」を改め「抱」に作る。

⑱（上19ウ5a 1057）（第24章）

自見■所行一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東
洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・治要一
□□其□□一活Ⅱ・無窮・道蔵・天理一

経文「自見者不明」下の章句「人自見其形容以爲好自見所行
以爲應道」の一句である。此の注文は、「無窮」の訓点に従え
ば、

人自（ラ）其ノ形容を見（テ）以て好と爲シ自（ラ）其の

行ウ所を見テ以て道に應セリト爲す

と訓む。前句「自見其形容」に対応して、此の句の「其」字が
期待されるのであるが、伝本の大勢は此の字を欠いている。但、
「無窮・道蔵」には有り、後出本ではあるが、「天理」「通考」
にも「其」字が見られる。「活Ⅱ」即ち乙版の恣意による増入
ではなく、「無窮・道蔵」系類の本文を継承していると見做す
べきである。

鄭校は、「道蔵」「通考」を証として「其」字が有るのを是と
する。王校も、同じく「道蔵」に従い「其」字を補入する。

⑳（上22ウ5b 1238）（第27章）

得以■給用也一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・慶Ⅱ・東急・宋版・
世徳・道蔵一
□□為□□□一活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・治要・
天理一

第二十七章の経文「不善人者善人之資也」下の章句「人行不
善者聖人獨教導使爲善得以給用也」の末句である。「書陵」の
加点に従つてこの全文を読みくだしてみる。

人（ノ）不善を行者をは聖人・猶（ヲ）・教（ヘ）導（ク）か
「猶」（シ）善を爲使（メ）以て給用とするを得〔也〕（獨作猶）

「為」字の有無による文義の上の違いは殆どないと言えるが、諸本は、この字の有無によって二分され、甲版、乙版はそれぞれ一方を継承している。

鄭校は「一斯Ⅱ」「通考」の「為」字を衍と看做す。

②7 (上27才7b1507) (第32章)

川谷■與江海■一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・慶Ⅰ・大東・慶

Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳一

□□之□□□□■一活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・東急・杏Ⅰ・天理一

□□■□□□□之「道蔵」

第三十二章經文末「譬道之在天下猶川谷之與江海」句下の章句「譬言道之在天下與人相應和如川谷與江河流相通也」中間の句で、此の注の全文は「一斯Ⅰ」の訓点に従えば、

譬へハ道ノ「之」天下ニ在テ・人^ト與相應和スルコト・川谷

ト江海^ト與ノ・流レテ相通スルカ如キノコトヲ言(フ)「也」

と訓め、当該部分の訓は、「杏Ⅰ」を始めとして「之」字がある諸本も不読であつて同じである。「杏Ⅰ」には此の「之」字左旁に「中ナ」の書入れが有る。従つて、早くから伝本によつて相違があつた事が明らかである。甲、乙両版は、此処でもそのそれぞれを受け継いでいる。

鄭校は「一斯Ⅱ」「通考」の「之」字を示し「文義較完」とみる。

②9 (上30才3a1649) (第37章)

侯王而能守道一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・道蔵・治要一

□□若□□□□一活Ⅱ・足利・筑波・梅沢・武内・東大・東洋・

東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理一

經文「侯王若能守之萬物將自化」下の章句「言侯王而能守道萬物將自化效於已也」内の一文である。章句全文は「慶Ⅰ」の加点に従えば、

言ハ侯王而モ能ク道ヲ守ラバ・万物將ニ自化^ヲノ「於」己ニ

效^ヲハント「將」(ス)「也」

と訓まれる。「而」は「シカモ」と、「若」は「モシ」と訓まれ、「慶Ⅱ」には「而能」字間に「若」と加筆がみられ、本文使用字に混乱が認められる。此の両字の異同も、伝写継承され、それぞれに古活字版に引き継がれている。

③0 (下5ウ5b244) (第42章)

始■就日一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利一

■如□□一活Ⅱ・杏Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・斯

Ⅱ・東洋・東急・聖語・斯Ⅰ一

而■□□ 一宋版・世徳・敦Ⅱ・道蔵一
而如□□□ 一梅沢一

経文「萬物負陰而抱陽」句下章句「萬物無不負陰而向陽廻心始就日也」の一句で有る。「弘文」は該字部分の虫損で不明であるが、「始」「如」「而」「而如」と、諸本間に異同が多い。此の章句全文は、例えば「斯Ⅰ」では次の様に訓まれている。

万物・陰ヲ負テ^(ツムイ)〔而〕陽ニ向ハ不ト云コト无(シ)・心ヲ廻ラノ日ニ就カ如シ

「梅沢」も「而」字が多いが大同である。他に「東大」「武内」・杏Ⅱ・筑波・東洋」大同)の如きは、

万物ハ陰ヲ負テ〔而〕陽ニ向テ心ヲ廻ラノ日ニ就カ如(クナラ)不(ト)云コト无(シ)〔也〕

と訓まれる等、「無不」の係る範囲の捉え方で、伝本により異訓があるが、「如」の訓には変わりはない。「始」の訓については「ハシメテ」と訓むしかなないのであるが、「陽Ⅰ」初め加点が判然としない。「陽Ⅰ」に就いて、敢えて読み下せば、

万物・陰を負(テ)〔而〕陽に向ヒ心を廻シテ始日に就(カ)不と云コト无(シ)〔也〕

となろう。「書陵」は「就」に「クカ」の送り仮名が付され、

直前の「始」字に繋がらない。本文と点とに齟齬が有る様である。鄭校も指摘するように、「始」は字形の類似による「如」の誤伝と疑われるが、ともかく、章句本文のこの部分に於いて、二様或いは三様の伝本があつて、その内「始」に作る本文を甲版が、「如」に作る本文を乙版が引き継いでいる。

③① (下8才1a360) (第45章)

大辨■ 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・治要一

□□者 一活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ・道蔵一

経文「大辨若訥」下の章句「大辨(者)知無疑也如訥者無口辭也」の冒頭字句である。此処では、「辨」「弁」「辯」の違いは問わない。「東洋」には此の「者」字に見消ちが有る。「者」字の有無による文義の相違は生じないが、両様の本文が伝承され、其の両方が古活字版に引き継がれている。

③③ (下10才7b476) (第49章)

皆用■耳目 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・弘文・東急一

□□其□□ 一活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋

版・世徳・敦Ⅱ・道蔵一

経文「百姓皆注其耳目」下の章句「百姓皆用(其)耳目爲聖

人視聽也」内の字句である。「東洋」には此の「其」字に見消ちが有る。この字の有無も文義に於いてさしたる影響はない。両様の本文が伝承されたことは明らかで、古活字版はそれぞれ其の一方を継承している。

鄭校は、「陽I」に「其」字が無いのを非と疑い、補うべしとする。

③5 (下16才6a747) (第56章)

不爲亂世主一活I・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖
語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・道蔵

□事□□□一活II・無窮

経文「不可得而貴」下の章句「不爲亂世主不處閭君位也」の前半句である。「無窮」を除く諸本尽く「爲」に作る。鄭校は「通考」が「事」に作るのを「疑非」としているが、「活II・無窮」一両本が同文であれば、非として退ける事は難しくなる。「為」に作る伝本の他に、「事」に作る伝本も存在したのであって、乙版は、其の本文に従って甲版の字を改めたと見做すべきであろう。

③7 (下18ウ3b868) (第59章)

不~~■~~放逸一活I・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・
宋版・世徳

□爲□□一活II・無窮・聖語・斯I・敦II・道蔵

経文「莫若嗇」下の章句「治國者當愛民財不爲奢泰治身者當愛精氣不(爲)放逸也」に見える字句である。鄭校も指摘するように、上句の「不爲奢泰」に対応する句として、「爲」が有る方が勝るとも考えられるが、無くても、文義上大きく変わる事はなく不都合は生じない。何れにしる、本句に於いて「為」字の有無の相違による異なった本が伝承されていたことは明らかで、この場合も、古活字版はそれぞれ一方を引き継いだものと言える。

尚、王校は、「敦II・道蔵」に拠って、「爲」字を補っている。

③8 (下18ウ7b882) (第59章)

窮極一活I・陽I・書陵・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・
敦II・道蔵

所□□一活II・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・
慶I・大東・武内・東大・東洋

経文「無不尅則莫知其極」下の章句「無不尅勝則莫有知已徳之(所)窮極也」内の句である。鄭校は「通考」の「所」字を衍と見ているが、「所」字を有する伝本は多い。此処でも甲版、

乙版それぞれ其の一方を伝承している。

③9 (下23才1b1080) (第64章)

不爲殘賤 一活Ⅰ・陽Ⅰ

□□□賊 一活Ⅱ・書陵・足利・筑波・宋版・世徳・道蔵・大

東? 一

□□□害 一無窮・東大・東洋・敦Ⅱ

□□□敗 一治要

■□□害 一聖語

□□□梅 一梅沢・東急

■□□杏 一杏Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・武内・斯Ⅰ

経文「聖人無爲故無敗」下の章句「聖人不爲華文不爲利色不

爲殘賤故無壞敗也」内の句であるが、此の章句全般に異同が多

い。「大東」は加墨が有る様で手元の副本では「賤」「賊」何れ

か判断し難いが、「賊」と見るべきか。鄭校は「陽Ⅰ」の「賤」

を指摘し、字形の近似に拠る「賊」の譌と見るが、甲版は其の

「賤」に従い、乙版は「賊」に従っている。

④0 (下23才7a1105) (第64章)

不■眩晃 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶

Ⅰ・大東・東急・斯Ⅰ・敦Ⅱ・道蔵

□欲□□ 一活Ⅱ・無窮・梅沢

□以□□ 一杏Ⅱ・武内・東大・東洋

□■□□ 一宋版・世徳

玄■□□ 一聖語

経文「不貴難得之貨」下の章句「聖人不(欲)眩晃爲服不賤

石而貴玉也」内の字句である。此の注も諸本間に異同が多い。

「杏Ⅱ」には「以」字の右旁に「无イ」の書入れが有る。鄭校

は「通考」の「欲」字を指して衍と見做すが武断であろう。

「斯Ⅰ」の点に拠れば、

聖人ハ・眩晃^ケノ服ヲ爲不^セ・石ヲ賤メ^シ〔而〕玉ヲ貴ヒ不

と、「梅沢」一点に従えば、

聖人は眩晃^ケノ爲服ヲ〔別訓「服ヲ爲マク」〕欲セ不^シ・石を

賤(メ)〔而〕玉を貴トヒ不〔也〕

と訓まれ、「無窮」は本句の所を「眩晃を欲(セ)不・服こと

を為(ス)」と訓む。

異同は「欲」字の有無に止まらないのであるが、甲版、乙版

それぞれ其の拠る所に従ったものと思われる。

④3 (下33ウ7a1656) (第79章)

■刻契之信 一活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖

語(之作「爲」)・東急(刻作「尅」)・斯Ⅰ・宋版・

世徳・敦Ⅱ(刻作「剋」)・道蔵(之作「爲」)・治

要(無「之」字)

此の「上」を「尚」に作る。「通考」は「於」を「居」に作るが、「禮右」の間に「上」字が無い点では乙版に一致する。「通考」の加点に従えば「上將軍右(ニ)居(リ)喪ノ禮ハ右ナルハ死人ハ陰ヲ貴ナリ(也)」と訓まれる。此れも、乙版及び「通考」の譌脱とは言い切れない。尚、鄭校は、此の異同には言及していない。

③②は、第四十六章經文「禍莫大於不知足」下の章句、乙版は「富貴而不能知自禁止也」に作る。甲版の他、一陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・治要・敦Ⅱの諸本には、此の「知」字が無い。しかし、「無窮・道蔵」には「知」が有り、但、「自禁」の間に配して「富貴不能自知禁止也」に作る。此処も「通考」は乙版と同文で「富貴ニノ(而)自(ヲ)禁止(ス)ル(ヲ)知ル(能(ハ)不(也)」と訓んでいる。鄭校は「通考」の「知自」は「自知」の倒誤と見て「道蔵」を是としており、指摘したように、「無窮」も「道蔵」に同じく「自知」に作っている。しかし、乙版、「通考」のように、「知自」に作る伝本が他に存在したと想定することも可能であろう。

③④は、第五十章經文「夫何故哉」下の章句、乙版は「問虎兕

兵甲何故不害人也」に作る。甲版他一陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋の諸本は此の「人」字が無く、「無窮」は「不害之人也」に作り、梅沢・聖語・斯Ⅰは「不害之也」に、一東急・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱは「也」字が無く「不害之」に作る等、文末に混乱が見られるのであるが、「通考」は此処も乙版と全く同文で「問フ虎兕兵甲何カ故ソ人(ヲ)害(セ)不ルヤ(也)」と訓む。古鈔本のうちでは「無窮」が此れに近く「人」を「之人」に作っている。「人」字は乙版の衍字では無く、此れもやはり、先行伝本の本文を継承していると考えるべきである。

③⑥は、第五十七章經文「我無事而民自富」下章句前半の注文で、乙版は「我無僮役徵召之事」とし、諸本は「僮」を「僮」に作る(一東洋・東急)は「淫」。「通考」は、此れも乙版と同文で「我僮役徵召ノ(之)事無(シ)」と訓む。鄭校は「通考」につき「誤作僮」と見るが、乙版と同文である故を以てすれば、誤字と断定するには慎重にならざるを得ない。

また③⑧は、第三十三章經文「勝人者有力」下の章句、乙版は「能勝人者不過以力也」と作るが、甲版及び一陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰの諸本には

「以力」の間に「盛」が有る。又、「筑波・梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯工・宋版・世徳・治要」は其の「盛」を「威」に作っている。「通考」及び「天理」は乙版と同文で、「天理」は「能(ク)人二勝(ツ)者ノ(ハ)、カヲ以テスルニ過(キ)不〔也〕」と訓んでいる。鄭校は「通考」を示して脱字と断じているが、この例も、乙版の誤脱とは必ずしも言い切れない。

先にⅠに部類した③⑤④③の事例は、此処でⅡに部類した以上の八例に近い。③⑤④③の両例において、乙版は「無窮」以外の諸本とは一致せず、「通考」とは一致している。「無窮」の存在が知られなければ、Ⅱの八例と同類ということになる。此の事例は、諸本と対比したとき乙版「活Ⅱ」の使用字が孤立しているために、乙版の誤植と見做される危険性を孕んでいる。しかし、そうではなく、或る伝本の本文に依拠して甲版の字を校改した結果、生じた異同と判断される。従って、此の八例の全てが「通考」と合致し、「天理」が良く一致することも、「通考」、「天理」が乙版の誤植を襲った結果と考えるべきではない。乙版と同文を有つ伝写本が類として当時伝存し、三本ともにその本文を参校し、又採択したがために、活字、また整版として、或いは「天理」の如き注釈書の藍本として定着したものと、思量され

るのである。

Ⅲ、甲版の文が現存古鈔本の全てと相違している事例

甲版、乙版に異同のある四三カ所に限れば、此の条件を充足する例は認められないが、此れに近い事例として、⑫⑬が挙げられる。

⑫は、第十九章冒頭経文句「絶聖」下の章句内の初二句「絶聖制作反初守無」(前掲Ⅰ類⑬条下の引文及び訓読文参照)に見られる異同である。乙版は大多数の諸本と同じく「無」を「元」に作る。諸本の内「陽Ⅰ」は、同本内で使用されている「元」「无」の書写字体を対比すれば、この字は「无」と判読され、そうであれば、甲版「活Ⅰ」の「無」に通じる。この場合、「陽Ⅰ」の「无」を「元」の譌と見て、甲版の「無」も「无」に起因した譌と見るのが、一般的であろう。しかし、「陽Ⅰ」に連なる伝本が複数存在したと仮定されるならば、「无」を譌と即断する事は避けなければならない。文意の上からも、「无」「元」何れが是か否か、俄には決し兼ねる面もある。因に「陽Ⅰ」の加点に従えば「聖の制作を絶(チ)、初メに反り无を守(ル)」と訓まれる。此の甲版の「無」字を、乙版は、諸本に従って「元」と校改している。尚、鄭校は「陽Ⅰ」のこの字は「元」

と見たようで、異同について言及していない。

⑫は、第二十七章経文「不善人者善人之資也」下の章句「人行不善者聖人獨教導使爲善得以給用也」の一句である。乙版は「治要」を除く諸本と同じく「獨」を「猶」に作る。甲版の「獨」は「猶」に通じるための混用、或いは字形の類似に起因する誤植と、普通には判断されよう。しかし、この場合も、「陽一」のみは「独」に作り「(ヒト)リ」と訓まれており(訓読文は上記I類の⑫参照)、甲版の「獨」字を譌として、一概に退ける事は出来ない。⑫の例とともに、甲版と「陽一」の近縁性を印象づける事例でもある。乙版は、此れも諸本に従い「猶」に改めている。因に、鄭校は、此の異文についても触れていない。

異同発生事由

以上の検証の結果、両版間に異同が生じた事由として、次の二点が考えられよう。

一つは、②④⑤⑦⑨⑩⑬⑭⑮⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚の十二の例に見られる、甲版、乙版何れかの誤植に伴う譌字及び其の訂正に起因する異同である。誤植は図書刊行という所為には宿命的に生じる事態であって、この限りにおいては、諸本との脈絡は無いと考えられ、甲版、乙版の間で特立的に生じた乖異であると言えよう。

今一つは、伝承されてきた別本文が参照され、それに従って、校改された場合が考えられる。上の十二例を除くすべての三十一の事例が、この場合に該当する。

両版の異同個所に於ける乙版と諸本との一致の状況

若し、此の三十一の異同例の悉くにおいて乙版と一致する古鈔本が存在するならば、其の本は、乙版が甲版を校改した際の依拠本であった可能性が極めて高いと認めなければならない。しかしながら、現存諸本の中には、乙版と三十一全て一致する伝本は存在しない。殊に、前記Ⅱに部類した八例の異同については、乙版の異文と一致する古鈔本は現存していない。

誤植に拠らない三十一の異同個所において、乙版の文に一致する諸本を表示すれば、附表5の如くである。第一行に一致する割合の高い順に伝本を掲出している(「天理」及び「通考」は古活字版以後の成立であるから尾に配した)。第一列は総数を示す順次数、第二列は、異同個所を示す通し番号(前記「異同の確認」の項参照)、第三列は「諸本異同表」の該当番号である。伝本下の各欄に乙版との一致を「○」で、近似を「△」で示す。「一」は欠巻、節略或いは残欠のため該当個所が無いことを示している。最下段に、各本の一致総数(△は半数とし

た)及び一致総数を該当箇所総数で除した割合を、一致率として表示した。

現存の古鈔本の内、最も多く一致しているのは「無窮」であり、三十一箇所中、一致箇所十九、近似箇所二で、一致率65%と、他本に比しやや突出し、乙版は、甲版に比し、本文上「無窮」に近いと言えよう。しかし、諸本多くは一致箇所の割合は少なく、乙版との関係において、其の近縁性に就いて特に注意を払うべき本は無いと思われる。

注目されるのは、後出本である「通考」が、殆ど全事例において乙版と一致し、また「天理」が76%と相当に高い一致率を示していることである。「通考」及び「天理」については、古活字版以後の本文として、系統、変遷に関連し改めて検討する必要がある。但、上述したように、乙版が甲版に比し「通考」及び「天理」により近いことは、甲版、乙版の先後の関係において、乙版が後出であることの傍証として見逃せない。

校改の経緯の推定

甲版の一部、即ち三十一箇所の字句が、別本文に従って校改され、乙版の本文として定着した。此の三十一の異文の出処に

ついて、推考しておく必要がある。乙版の異文の母胎、即ち、校改に際して使用された伝本を、どのように想定したらいいであろうか。本文が校改される状況として、一つには、特定の或る一本が使用される場合、また一つには、複数の伝本が参校された場合が考えられよう。

或る一伝本に基づいて行われたと仮定するならば、異同箇所三十一の悉くが乙版と同じである現存本は存在しないのであるから、其の伝本は、現存古鈔本の内では相対的に「無窮」と近縁な関係にある本で、当時伝存し今は逸失した一本と見なければならぬ。そして、その本は、此の異同箇所以外は甲版と同一文なのであるから、「無窮」はじめ現存古鈔本よりは遥かに甲版に近く、当然、乙版とは極めて近接した関係にある伝本、或いは、乙版と同一本であったと見做さなければならぬ。

また、此の校改が、諸本複数本を比較勘案された結果であると仮定しても、上記の様に、乙版の文が現存古鈔本の何れとも相違している八つの事例があることに因って、今は逸失した或る本を想定しなければならない。

何れの場合にしても、再版校改に当たって依用された伝本を、現存諸本の内特定する事は出来ないものであって、この三十一

の異文に於いて、「無窮」^一、「天理」^二にやや近く、乙版、「通考」により近似する本文を有つ伝本が、当時別に存在したことが想定され、其の本文が乙版の内に取り込まれ、定着したものと推定されるのである。

しかし、異植字版刊行という局面において、諸本を、或いは一伝本としても、対校本として、字々細部に渡つて校合する暇と労力を費やす余裕があつたのであろうかという、素朴な疑問を禁じえない。

古活字版刊行の制度・機構、施設或いは機材部材等の詳細と印刷技法等、未だ明らかでない諸事が多い現状では、どのような情況の元に、どのような手順を経て、再版されたのか、具体的に説明する事は不可能と言わざるを得ないのが実状である。

上述したように、本書古活字版の場合、甲版乙版の同じ個所に同一活字が使用されている例が多見している。このことは、甲版解版の後、時を置かずに、乙版の再組版が行われたと理解するのが自然ではなからうか。その間に、異文校合の余裕があつたとは考えにくいのである。想像逞しく、敢えて徒言を弄することが許されるならば、次の如き仮想も可能なのではなからうか。

乙版の再版に当たつて、甲版とは別の本文が参照採用されたのであれば、普通には自ずと別の底本の存在が予測される。しかし、底本として別に一本が用意されたにしては、甲乙両版の異同は余りにも少な過ぎるのではないか。現存古鈔本との異同量と比較する限り、そう感じざるを得ない。従つて、底本としては甲版、乙版共通して同一写本が使用されたのではなからうか。にもかかわらず、両版に異同が生じているのは、其の底本に、異本との校異が記されていて、両版の内の一方は本文を、一方は其の校異を意図的に採用して植字、組版が行われたのではないか。言う迄もなく、その校異が依拠した異本は、単一本としても、複数本としても、やはり、現存しない逸失した或る本を想定しなければならぬ。其の際、一定量を刷り上げて後、解体された組版の活字を一部再利用して、同じ版面を別の植字台に再度組み上げるといふ仕方で、同時並行的に、植字、組版、刷印、解版、製本が、進化したと推測できるのではなからうか。憶測に過ぎないのであるが、一仮説として、付贅しておきたい。

再版の意義

甲乙両版の間に認められる本文の異同は、誤植に起因する若干を除けば、全て、伝承されてきた本文に依拠しそれを継承するものである。此の事実により、乙版再版時に於ける刊行者の恣意に拠って改竄された可能性は否定される。此の態度は、当然、乙版に限らず、甲版刊行に際しても同じであつたはずで、その意味で古活字版本文の信頼性は、高い。

後出本がただ単に増刷を目的としたのではなく、組版に際しては先行の古活字版の誤植が訂正されたのみならず、結果として諸本間の同異が斟酌され、相応の考勘の成果が反映されている。異植字版ではあるが、微少とは言えない本文上看過出来ない異同が認められるのであつて、そこに異文両存の意図も窺われる。本文を取り扱う上では両版の違いは充分に認識しておく必要がある。

また、乙版は、甲版との異同箇所において、遅れて刊行される「通考」と、或いは「天理」と、一致する文が少なくない。本文の変遷の実相を考察する上で、注目されるところでもある。此の「通考」及び「天理」との関係については、更めて考察さ

れなければならない。

以上、述べてきたように、甲版と乙版の間には、若干の異同の存在が確認された。しかしながら、初めに指摘しておいたように、他の現存諸本との異同量を比較すれば、本文において、両版は極めて緊密な様相を呈しており、相対的に見て、四十三箇所の間異同に但書を付ければ、同一本として取り扱っても支障は無いと思われる。

しからば、此の古活字版の祖本を、どのように想定する事が可能なであろうか。次に、明かとなった古活字版の本文の実態を踏まえて、古鈔本の本文との関係を検証しておかなければならない。

注

1 先駆的な業績として、武内義雄「河上公老子唐本攷」(『藝文』第十四号 一九一九・四)及び「老子原始」(東京 弘文堂 一九二六・一〇)第二章老子伝本攷上、第三章同下、また、「老子の研究」(東京 改造社 一九二七・六)第五章三河上公注の経本、がある。ともに、『武内義雄全集』第五卷老子篇収載。

2 日本に於ける河上公注の受容に就いて扱った論考として、増尾伸一郎「日本古代の知識層と『老子』——河上公注の受容をめぐって」(『豊田短期大学研究紀要』第一号 一九九一、「選集道教と日本」第

- 二卷 東京 雄山閣 一九九七 収載)があり、参考した。
- 3 小島憲之「上代に於ける賦並びに歌学」(『上代日本文学与中国文学』下巻、東京 塙書房 一九六五)
- 4 「天皇讀群書治要、參議正四位下行勘解由長官兼式部大甫播磨權守菅原朝臣是善、奉授書中所抄納紀傳諸子之文」(三代實錄卷二七、貞觀十七年八八七五〇四月二十五日)
- 5 「伊豫守從四位上安倍朝臣眞勝卒、(略)天資質樸、不好祇媚、學老莊、能口自讀如流」(類聚國史卷六六、天長三年八八二六〇九月六日)
- 6 「大内記從五位下和氣朝臣貞臣卒、(略)弱冠從治部卿安倍朝臣吉人、受老莊、吉人奇之、後入大學、研精不息、廿四舉秀才」(文德實錄卷五、仁壽三年八八五三〇四月十四日)
- 7 「散位外從五位下名草宿祢豐成卒、豐成、少學老莊、長讀五經、義理頗通、學徒多屬、天長七年爲大學博士」(文德實錄卷六、齊衡元年八八五四〇八月二十五日)
- 8 「僧由蓮卒、由蓮俗姓源朝臣、嵯峨太上天皇之子也、(略)夙離塵累、歸依佛道、性聰明、多涉內典、兼好老莊、尤有巧思、所作究妙焉」(三代實錄卷四九、仁和二年八八六〇七月四日)
- 9 「有勅、令相摸介從五位下滋野朝臣安成、講老莊於侍從所、令文章生學生等五人預聽之」(文德實錄卷一〇、天安二年八八五八〇三月十五日)
- 10 「頃年以累代詩讀之苗胤。以尚書一部十三卷、毛詩一部廿卷、文選一部六十卷、及禮記文集、侍聖主御讀、(略)又近侍老子道德經御讀、國王理政之法度爰顯、長生久視之道指掌、講竟之日、有所感悟、老子者、天地之魂精、(略)老子未生已前、化胡已來、變爲代々帝王師、(略)於是江氏之爲體、一家相傳、歷季部官之任、(略)就中祖父江納言、以老子經奉授延喜天曆二代明主、今以不佞之身、侍至尊之讀。江家之才德、可謂光古今」(江吏部集卷中 人倫部)
- 11 太田次男「東寺宝菩提院三密藏 三教勸注抄卷五(鎌倉)写本について一附・本文の翻印」(成田山弘教研究所紀要)第二十二号 一九九九・三)
- 12 「台記」天養二年(一一四五)一月九日及び二十七日に、「見三注老子」の記がある。此の三注も王注の譌と思われる。
- 13 「台記」天養二年三月廿五日庚午の記に「酉刻見老子述義十卷了、首付勾要文、抄論議、皆了、其論議抄用闕官帳裏」
- 14 「台記」に見える老子講筵の記事は以下の如くである。
天養二年(一一四五)
正月十四日庚申「守三戸、懸老子影、講老子經、講師友入永〇業、問者實長三重、孝能二重、據庚申、經夜半已〇之〇後、余及客皆向正南、再拜呪曰、影候入彭侯〇子、黃帝子、命兒子、悉入窈冥之中、去離我身唱三之度、鵝鳴後就寢」(〇〇〇〇は宇槐記抄上)
三月十五日庚申「守三戸、講老子、講師成佐、問者俊通二重、友業三重、夜半後有再拜呪等」
五月十五日庚申「守庚申、講老子、予爲講師鳥帽、俊通、顯業爲問者、皆二重」
七月十六日庚申「守庚申、講老子、講師頼業、問者成佐、友業」
久安元年(一一四五)
九月十七日庚申「守庚申、講老子、如常講師孝能問者頼業登宣」
閏十月十九日庚申「守庚申、講老子、講師登宣、問者余三重、敦任二重、余度々絶音、不足言、登宣又如泥」
十二月二十日庚申「守庚申今年七度、講老子、講師敦任、問者孝能、登宣、問答共可謂優、就中登宣殊勝」
久安二年(一一四六)
二月廿二日庚申「守庚申、講老子、講師成佐、問者頼業、登宣、注記孝善、成佐甚拙、登宣獨歩、後生可恐々々」
四月廿一日庚申「守庚申、講老子、如常、講師廣季、問孝善、遠明、注記成佐」
六月廿二日庚申「入夜講老子、依庚申也、但講了就寢、講師俊通、問者孝善、成佐重、注記師元、成佐、有失」
八月廿三日「因例講老子、但不待天明就寢、講師直講師元、問者敦

十月廿四日「依例講老子、講師頼業、問者敦任、注記成佐、但講了就寢」

十二月廿五日「依庚申講老子、講師孝善、問俊通、登宣、注記頼業」
久安三年（一一四七）

二月廿六日庚申「浴潮湯、畢講老子、講師頼業、問者孝善」

四月廿七日庚申「依例講老子、講師廣季、問者頼業」

六月二十八日庚申「今夜、依例講老子、講師孝善、問者頼業、登宣」

八月廿九日庚申「依例、深更講老子、講師余、問遠明重」

十月三十日庚申「守庚申、講老子、講師成佐、問俊通、敦綱、講了、文人相共、作老子論議十條」

久安四年（一一四八）

正月一日庚申「歸家講老子、依當庚申也、余爲講師、孝善、登宣、爲問者」

三月二日庚申「講老子、講師俊通、問廣季」

五月〔三日庚申〕「依例講老子、講師敦任、問俊通、頼兼、又頼業、作彼論義十帖」

閏六月四日庚申「依例講老子、講師頼業、俊通」

八月五日庚申「依例講老子、講師頼業、問遠明、敦綱」

十月六日庚申「講老子、講師廣季、問余及憲孝、朝隆朝臣聽之、頼業造進論義」

十二月六日庚申「是夜依例講老子、講師登宣、問敦任、頼佐」
（久安五年日記佚亡）

久安六年（一一五〇）

二月十三日庚申「依例講老子、講師俊通、問親佐」

四月十四日庚申「依例講老子、講師憲孝所答、問敦任、問敦任」

六月十五日庚申「入夜講老子、講師登宣、問敦任、憲孝」

八月十七日庚申「依例、於五條家講老子、講師孝善、問敦綱」

十月十八日庚申「依例講老子、於大炊第行之、依禪閣仰也、余不臨其筵、講師憲孝、問者敦佐、親佐」

十二月十八日庚申「依例講老子大炊亭、講師頼業、問者遠明、憲孝」

仁平元年（一一五一）

二月十九日庚申「依例講老子、講師憲孝、問敦任、廣季」

（仁平元年四月至十二月日記缺）

仁平二年（一一五二）

正月廿四日庚申 講老子の記事無し

（仁平二年三月至六月日記缺）

七月廿七日庚申「依例講老子、講師憲孝、問者登宣」

九月廿九日庚申「入夜講老子、講師參議師長初度、問者憲孝」

（仁平二年十月至同三年六月日記缺）

仁平三年（一一五三）

八月三日庚申「依例講老子、講師登宣、問者頼業」

（仁平三年十月至十二月日記缺）

仁平四年（一一五四）

一月七日庚申「今夜講老子、講師俊通、問者憲孝」

（仁平四年二月至三月日記缺）

五月八日庚申「參行願寺、歸宅講老子須鶴鳴之前講之而依因明學運怠」

七月九日庚申「講老子、講師憲孝、問者廣季」

九月十日庚申「講老子、講師憲孝、問者俊通、孝善」

久壽元年（一一五四）

十一月十一日庚申「深更講老子、講師登宣、問者廣季、憲孝」

久壽二年（一一五五）

（久壽二年正月至三月日記缺）

九月十六日庚申「入夜講老子、講師登宣、問者師尚、憲孝」

十一月十六日庚申「深更講老子、講師々尚、問者憲孝」

尚、天養二年（一一四五）二月廿四日庚申に「依例講老經、有詩、講師肥前介頼業、說經論義優美、問者俊通、敦綱共二重」と見えるが、

「老經」は「老子經」ではなく、「孝經」の譌であろう。庚子日であり

「有詩」とあれば經筵のはずである。只、「台記」に於いて頼業の名が

現れるのは此れが初度と思われる。

15 『台記』久安四年（一一四八）正月十四日癸酉「今夜會學徒、作老子

論義、元日庚申、不作之故也」の記事に拠って窺われる。

- 16 「清原系圖」(續群書類從卷百七十三)は没年を「正元元年(一二五九)」とし、足利衍述「鎌倉室町時代之儒教」(東京日本古典全集刊行會 一九三二)もそれを踏襲している。教隆の没年享年と対して、また、諸古鈔本の奥書、例えば、金沢文庫旧蔵「春秋經傳集解」卷三十の「文永二年(一二六五)閏四月廿五日授直隆畢 大外記補」、或いは松岡忠良氏蔵「古文孝經」の「永仁六年(一二九八)十一月廿四日以家秘說奉授越州五品左親衛闔了 助教清原真人直隆(花押)」とも矛盾し、明かな誤伝である。「正安」の誤りと考えられる。

尚、以後、未見圖書の奥書の参照引用には、足利衍述「皇朝經籍與書識語集」(時代に於ける漢籍訓讀の國語史的研究)附録を参照する。

- 17 頼業、教隆、直隆、俊隆の比定は既に、武内義雄「老子」(東京岩波書店 一九三八・三、岩波文庫)の「はしがき」に見える。
- 18 拙稿「京都大学附属図書館蔵清家文庫『老子經抄』 翻印並びに校異・解題」(『斯道文庫論集』第二十六輯 一九九二)
- 19 芳賀幸四郎「中世禪林における老莊への関心と神仙思想」(『選集道教と日本』第三卷 東京 雄山閣 一九九七)
- 20 住吉朋彦「不二和尚岐陽方秀の学績―儒道二教に於ける―」(『書陵部紀要』第四七号 一九九六・三)
- 21 前掲注19参照
- 22 武内義雄「日本に於ける老莊學 三林希逸口義の渡来と流行」(岩波文庫「老子」附録、「武内義雄全集」第六卷諸子篇収載)また、拙稿「天理大学附属天理図書館蔵『老子道德經河上公解(抄)』 翻印並に解題(下)」(『斯道文庫論集』第三十一輯 一九九七)及び「神宮文庫蔵『老子經抄』 解題編」(『斯道文庫論集』第三十三輯 一九九九年)参照。
- 23 高橋美由紀「伊勢神道の形成と道家思想―神觀を中心として―」(『東北大学日本文化研究所報告』第一三集 一九七七、「伊勢神道の成立と展開」 大明堂 一九九四)及び、「選集道教と日本」第三

卷 所収)参照。

- 24 小林芳規「平安鎌倉漢籍訓讀の國語史的研究」(東京 東京大学出版會 一九六七)第四章第四節第六項老子經の古訓法において、訓読資料として、圖書寮本類聚名義抄所載老子訓、金澤文庫本羣書治要卷三十四所収老子、梅沢彦太郎氏蔵應安六年本老子、書陵部蔵老子經至徳三年點本が取り上げられ、訓法とその系統への詳密な言及がなされている。しかし、本文或いは其の系統に就いての言及は殆どなされていない。

- 25 狩野直喜「老子河上公注」(『讀書叢餘』 東京 みすず書房 一九八〇)所収、及び同「舊鈔本老子河上公注跋」(『支那學』第三卷第八號 一九二四・七、「支那學文叢」 東京 みすず書房 一九七三所収)、正倉院聖語蔵(鎌倉)写存卷下影印本末尾の解題及び付添の別刷は同文、但小異有り、又別刷は和文)

- 26 武内義雄「河上公老子唐本攷」四本邦伝来の諸本、及び「老子原始」第二章三河上公本の二種、また「老子の研究」第五章三河上公注の經本、参照。

- 27 古活字版「老子」には、河上公注本と虞齋口義本との両書がある。前者は、内題を「老子道經上」「老子德經下」と題し、書名として通常「老子道德經」と著録されている。後者は、四種五版が知られ、「老子虞齋口義」或いは「句解道德經」を内題とする。本稿では、言う迄もなく前者即ち、「老子道德經」が対象となる。後者は、殆ど時を同じくして刊行されたのであるが、成立伝承の事情を異にし、本文系統を考察する上では、別途に検討すべき対象である。

- 28 武内義雄「河上公老子唐本攷」四本邦伝来の諸本、及び「老子の研究」第五章三河上公注の經本

- 29 老子道德經(題簽・序題「老子經通考」)四卷 漢河上公章句 明陳元贊注 延宝八(一六八〇)刊(京 板木屋久兵衛)
- 宝永二年(一七〇五)京富倉太兵衛修本以後、後印通修されて幕末に及んだ。影印本に、民国五四年(一九六五)台北藝文印書館刊無求備齋老子集成初編所収本及び、昭和五一(一九七六)年東京汲古書院

刊和刻本諸子大成第九輯所収本がある。詳細は後述。

- 30 音註河上公老子道德經 二卷〔漢〕河上公章句 題〔宋〕呂祖謙重校〔南宋〕刊〔麻沙 劉通判宅仰高堂〕

此の本は、台北故宮博物院蔵（玄穹宝殿原蔵）の一冊で、影印本に、民国二〇年故宮博物院刊の天祿琳琅叢書所収本、同五四年台北藝文印書館刊無求備齋老子集成初編所収本（天祿琳琅叢書本の重印）がある。同書は、注文音釋の配置、王弼注の竄入、誤字脱文にいたるまで尽く「宋版」に同じであるが、内題を異にし、巻上首に「東萊先生呂祖謙重校正」との題署がある。希に字句に異同も見られるが、經注本文上、「宋版」と同本と見做してよい。何れが先行するかは、俄には鑑定は難しいが、この方がやや誤刻が多いようである。また、「東萊先生呂祖謙重校正」の題署は信じ難く、書賈の仮託であろうとされている。阿部隆一『中国訪書志』（東京 汲古書院 一九七六）及び吳哲夫『故宮善本書志』（『故宮圖書季刊』第一卷第一期、一九七〇年七月）に解題がある。

- 31 多治比郁夫「大阪府立図書館物語②伊藤家寄託本始末記」〔『難波津』八大阪府立図書館報〕四一号 一九七〇・三）参照。

32 楠山春樹「本邦旧鈔本『老子河上公注』の序について」〔道家思想と道教〕東京 平河出版社 一九九二・七）の注1参照。尚、斯道文庫収蔵の紙焼写真の原本所蔵者は「武内義雄」であり、博士生前に蒐集されたものである。楠山博士の上掲論文は、旧『内野博士還曆記念東洋学論集』（一九六四・一二）掲載分の改訂稿で、その元の注に拠れば、当時はまだ武内博士が所持され、楠山博士は金谷治博士の高誼を得て、写真版を入手された由である。斯道文庫もその頃、東北大学蔵の貴重書数点の焼付写真とともに蒐集したと思われる、金谷博士を煩わせたように仄聞している。

- 33 注25参照。

34 内藤幹治「老子河上公注の校本について」〔『集刊東洋学』第一九号 一九六八〕に対校結果として、異同二箇所が指摘されている。本異同表は其の指摘に従う。尚、上海涵芬樓影印本道蔵と書陵部蔵の道蔵

との関係については、窪徳忠「宮内庁書陵部所蔵の道蔵」〔『東方宗教』第七号 一九五五〕がある。

- 35 「天理大天理図書館蔵『老子道德經河上公解』抄」 翻印並に解題〔『学附屬天理図書館蔵』第二十九・三十・三十一輯 一九九四・九六・九七）

36 『斯道文庫論集』第二十九・三十・三十一輯 一九九四・九六・九七）『大阪府立図書館蔵漢籍目録』『同稀書解題目録』には著録されておらず、館内備付けのカード目録にも見当たらない。また同館担当者備用の館蔵貴重書関係文献類をも検索させて頂いたが、所蔵を確認することは出来なかった。尚、武内義雄『老子の研究』第五章三に、其の本からと思われる欄外書入れの引用がある。引用の文は「此ノ序ヲ葛洪ノ書トスルハ義述ニ見ユ、然ルトキ序ニアラザルカ発題ニ似タリ」で、此れは、清原宣賢撰とされる『老子經抄』（注18参照）の冒頭の文「此序ハ、洪葛力書ト云義ハ、義述ニ見タリ、雖然、序サウニモナイソ、多クハ、発題ニ似タリ」と類同である。武内引用の書入れは、『老子經抄』に拠るものと思われる。

- 37 注29参照。

諸本異同表凡例

一、此表は、河上公注「老子道德經」諸本の經文並びに注文を全巻に渡って比較し、相互に異なる箇所のある箇所全てに就いて、対照表示したものである。底本は、「老子道德經」二卷 旧題漢河上公章句 「慶長」刊 古活字版」である。従って、各条首の標出字句は、同本の字句に従う。

一、標出字句の漢字は、異同字として対処する必要を認めない場合、全て、通行字体を用いている。

例：體↓體 舍↓含 減↓減 高↓高 雖↓雖 陰↓陰 養↓養

一、標出字句中の■符は、以下に挙げる諸本異文に照らして、該当部分の文字が無いことを示す。

一、標出字句は、前後の文意文節を勘案し、適宜断句して掲出したが、それぞれの同異に対して、後に述べるようなポイント数を与える関係上、文脈上必ずしも妥当な区切り方にはなっていない場合がある。

一、標出字句の下、一符に続いて同文を有つ諸本を略称で列挙した。

一、続いて、標出字句と対照し異文を掲げ、同様に同異文を有する諸本を列挙する。

一、□符は、標出字句即ち底本の經注文と同字、■符は、該当文字が無い状態、◇符は、虫損或いは破損し欠字の状態であることを示す。

一、各異文頭に冠した①②③の数字は、底本文との隔たりを計量する為当該異文を有つ諸本に便宜上与えた量数である。原則として此の量数は、以下の基準に従って付与する。

① 一異体字（俗字・譌字・略字・通用字等）使用及び誤写に因る文字の

異同 例：暗闇、乎兮、歸皈、苦若、縣懸、堅賢、嘆歎、耻恥、着著、冲沖、妊任、樸朴、弁辨辯、無无、邪耶、諭諭、欲慾、他

② 一単字の有無・異字・熟語等文字の転倒

③ 一複字句の有無・異字句異文

④ 一複数字句の異文

尚、同文句内の異同が複数有る場合には、基準量数の合数で示す。

一、標出字句に冠した数字並びに符標は、上から、底本の葉数（序、卷上、卷下で更改）、その表裏を「オ」「ウ」で示す。オウに併記された数字は

表裏内での行数である。次に「経」「注」で經文、注文の別を示し、その

下に各標出字句に対して通し番号を付した（序、卷上、卷下で更改）。

一、「経」「注」の符は、各經文句或いは注文の初出字句に冠し、以下は、略してある。従って「経」「注」を冠しないものは、首・尾題、章題等の字句を除けば、其の直前の字句と同一句或いは同一文内の辞句である。

一、異同字句に就いて、虫損破損等で判読し難い場合は、最も蓋然性が認められる箇所にて暫定措入し、該当本略称下に「？」符を付した。

一、干干、己巳巳、未未、且且、日日等、各字の判別が困難な場合が殆どで、また書写者が明確に弁別使用していたか疑わしい場合も多い。依って、これらの文字に就いてはその校異は概ね省略した。

一、楊揚、樸撲、榷榷、挺挺等、てへん、きへんの別も同様で、異字識別の対象から原則として除いた。

一、ごく一般的な本字、古字、別体字、俗字、誤字等の異体字も、繁雜を避けて、原則として異同認定の対象から除外した。

例：惡惡惡、爲為、一壹、淫淫、隱隱、榮榮、淵淵、応應、往往、花華、蓋蓋、觀觀、奸姦姦、奔棄、婦歸、氣氣、拳拳、強強、群羣、惠惠、顯顯、効効、号號、國國、事支、兒兒、辭辭、穡穡、修脩、從從、獸獸、処處、称稱、乘乘、繩繩、讓讓、餽餽、眞眞、尽盡、隨隨、髓髓、數數、靜靜、聲聲、疎疎、争争、藏藏、総惣、體體、才弟、第、寵寵、珍珍、答答、德德、獨獨、廢廢、富富、變變、万萬、綿、与與、誉譽、來來、乱亂、龍龍、隣隣、厉厲、礼禮、等

其の他、此処に掲出した字体に相似類型する種々諸様の異体字に就いても同様に取り扱う。

一、略称で示した校異対象本、及び校合作業に使用した主たる依拠本は次の諸本である。書誌事項等の詳細は、緒言「対校諸本略解題」参照。

底本（慶長）刊古活字版

活Ⅱ（慶長）刊古活字版 異植字版

陽Ⅰ 陽明文庫蔵（室町末近世初）写本二冊

拋道文庫蔵本 拋天理圖書館蔵本

書陵 宮内庁書陵部蔵（室町）写至徳三年（一三八六）識語本二冊

龍門 阪本龍門文庫藏〔室町中期〕写本存首一卷一冊 拠原本
 無窮 無窮会図書館藏〔井上頼因旧藏〕〔近世初〕伝写天文五年（一五三六）書写清家本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真副本
 足利 足利学校遺蹟図書館藏〔室町〕写本二冊
 杏Ⅱ 杏雨書屋藏〔内藤湖南旧藏〕〔室町中期〕写本存卷下德經一冊 拠本文庫蒐集電子複写副本
 筑波 筑波大学附属図書館藏天文二一年（一五五二）写本一冊
 弘文 戸川濱男旧藏〔室町末〕写元和五年（一六一九）付与識語本合一冊 拠昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本
 斯Ⅱ 斯道文庫藏〔伊藤有不為斎・戸川濱男旧藏〕天文一五年（一五四六）写本二冊 拠昭和卅五年本文庫蒐集引伸写真副本
 梅沢 梅沢記念館藏〔戸川濱男旧藏〕應安六年（一三三三）写本二冊 拠昭和卅五年本文庫撮影引伸写真副本及
 慶Ⅰ 慶応義塾図書館藏〔戸川濱男旧藏〕天正六年（一五七八）足利学校南春写本一冊 拠昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本
 大東 大東文化大学図書館藏天正六年（一五七八）足利学校真瑞写本一冊 拠本文庫蒐集電子複写副本
 慶Ⅱ 慶応義塾図書館藏大永五年（一五二五）写本存卷上道經一冊 拠平成五年本文庫撮影引伸写真副本
 武内 瀧川君山・武内義雄旧藏〔室町〕写本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真副本
 東大 東京大学総合図書館藏〔南葵文庫旧藏〕〔室町末〕写本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真副本
 東洋 東洋文庫藏〔室町末〕写本一冊 拠本文庫蒐集引伸写真副本
 聖語 正倉院聖語藏〔鎌倉〕写本存卷下一軸 拠本文庫蒐集引伸写真副本
 拠大正一三年佐々木信綱刊影印複製本

東急 大東急記念文庫藏〔室町〕写本二冊 拠昭和卅七年本文庫撮影引伸写真副本
 斯Ⅰ 斯道文庫藏〔南北朝〕写康應二年（一三九〇）施入識語本二冊 拠原本
 杏Ⅰ 杏雨書屋藏〔内藤湖南旧藏〕〔鎌倉末南北朝初〕写存卷上道經零卷一軸 拠本文庫蒐集電子複写副本
 六地 六地藏寺藏〔室町末〕写单經本一冊 拠昭和四二年本文庫撮影引伸写真副本及
 陽Ⅱ 陽明文庫藏〔近世初〕写单經本一冊 拠原本〔对校未了〕
 仁和 仁和寺藏〔室町末近世初〕写本一冊 拠原本〔对校未了〕
 宋版 北京図書館藏〔常熟瞿氏鐵琴銅樓旧藏〕〔南宋〕建安虞氏家塾刊本 拠〔民国〕刊上海涵芬樓影印四部叢刊子部所收本
 世徳 〔明嘉靖一二年（一五三三）〕世徳堂顧春刊本 拠民国五四年台北藝文印書館刊無求備齋老子集成初編所收本
 道藏 明正統刊道藏本〔道德眞經註四卷〕道藏洞神部玉訣類知字号 拠〔民国〕刊上海涵芬樓影印道藏舉要本
 敦Ⅰ 大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十九章、首尾欠〕 敦煌出土スライン蒐集本〔S四七七〕
 敦Ⅱ 大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十九章、後半欠〕 敦煌出土スライン蒐集本〔S三九二六〕
 敦Ⅲ A 大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十八章、後半欠〕 敦煌出土スライン蒐集本〔S四六八一〕
 B 国立パリ図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十八章、七十七章首尾欠〕 敦煌出土ペリオ蒐集本〔P二六三九〕
 治要 羣書治要卷卅四所収本 宮内庁書陵部藏〔鎌倉〕写金沢文庫本 拠昭和一六年宮内省圖書寮刊影印複製本
 天理 天理図書館藏『老子道德經河上公解』〔抄〕二寛永四（一六一八）写本存道經三十七章掲出経注文 拠本文庫蒐集引伸写真副本

諸本異同表

序

- 1 札 1 老子經序一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·六地·陽II
- 2 葛洪一活II·陽I·書陵②□□□□序一無窮·筑波·慶I·大東·武内·東大·東洋③□□□□龍門·足利·弘文·斯II·梅沢·慶II·東急·斯I·六地·陽II
- 3 沢·慶II·東洋·東急·斯I·六地·陽II③見述義一武内③見述義二筑波·慶I·大東·東大
- 4 陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶II·東急·斯I·六地·陽II③述云凡五千三百二言道經二千三百八十二字一筑波·東洋③述云凡五千三百二言道經二千三百八十二字一武内③述云凡五千三百二言德經二千九百二十字一惠二千九百二十字一東大
- 5 楚苦縣一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II①□□若□龍門①□□懸一慶II·武内
- 6 李氏女妊之一活II·書陵·無窮·弘文·斯II·慶II·武内·東洋①□□任□□陽I·龍門·足利·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東急·斯I·六地·陽II
- 7 太陽曆數一活II·書陵·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·陽II①大□□□陽I·龍門·足利·東急·斯I·六地
- 8 不見其少一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II②□□少其一筑波
- 9 仕周一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·六地·陽II②□□而一東急
- 10 問禮於老子一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II②□□於礼□□弘文
- 11 子之所言一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·東大·東急·斯I·六地·陽II②□□武内·東洋
- 12 則嘉祥一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II①□喜□一慶II
- 13 不得其人一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II②□□則一慶II
- 14 蓬累而行一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·六地·陽II②菜□□一東急②□□斯II
- 15 深藏若虛一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II②□□為□一慶II
- 16 盛德容貌一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II①得□□一慶I·大東
- 17 去子之驕氣一活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II②之□□□一無窮
- 18 與多欲一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II①□夢□一足利

- 19 熊色與淫志—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
①熊□□□□—大東①□□□□涇□—東大
- 20 是皆—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②皆是—足利
- 21 無益於子之身也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘
文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ①无□□
□□□□—慶Ⅰ·大東·武内·六地
- 22 若是而已—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶
窮·梅沢·東急·陽Ⅱ
I·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地②□□□□已—無
窮·梅沢·東急·陽Ⅱ
- 23 謂諸弟子曰—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·
陽Ⅱ②□□□□□□□—陽Ⅰ
- 24 至於龍—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②□□□□—東急
- 25 乘風雲而上—活Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·
慶Ⅱ·武内·東洋·斯Ⅰ②□□雲風□□—陽Ⅰ·書陵·龍門·梅沢·
東大·東急·六地·陽Ⅱ
- 26 吾今日見老子—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·
陽Ⅱ②□□□□□□□—陽Ⅰ
- 27 其猶龍耶—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶
I·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ①□□□□邪—陽Ⅰ·梅
沢·東急·六地·陽Ⅱ
- 28 以自隱無名—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ①□□□□无□—
慶Ⅰ·大東·六地·陽Ⅱ
- 29 平王時—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
①□生□—慶Ⅱ
- 30 見周衰—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·
大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ①□□□
哀—筑波·慶Ⅰ
- 31 望見東方—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽
Ⅱ②東方望見—弘文
- 32 有來人—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②□□□□—武内
- 33 變化無常—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ①□□无
□—武内·東大·六地
- 34 喜曰—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②□□□□—無窮
- 35 已而去—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②□□□□—弘文
- 36 莫知其所終—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ
②□□□□□□□—龍門·六地
- 37 蓋—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②而□—弘文
- 38 或言—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
②□人□—弘文

39 二百餘歲一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ
Ⅱ」②■□□□一東急」

2 94

40 養壽■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·陽Ⅱ」②□□□故□一書陵·龍門·筑波·梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·六地」

41 封於段干一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①□□改□一足利」

2 95

42 瑤子宮一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①□□官一慶Ⅱ」

43 仕於漢孝文帝一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①任□□□□一慶Ⅱ」①□□老□□一武内」

44 瑕之子解一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②瑤□□□一弘文」

2 96

45 膠西王邛太傅一活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①□□□□大□一龍門」

46 因家于齊一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地」①□□□齋一陽Ⅱ」

47 興用經道一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①與□□□一無窮·慶Ⅱ」

2 97

48 竇太后一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ」①大□一龍門·六地」

49 景帝一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①京□一慶Ⅱ」

3 1

50 不得仕朝一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①□□任□一慶Ⅱ」

51 無爲一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①无□一慶Ⅰ·武内」

52 自化一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①佗一武内」

53 清淨自正一活Ⅱ·武内」①靜□□一陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」

54 太史公一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①大□□一陽Ⅰ·筑波·慶Ⅰ·大東」

3 1

55 孔子上聖一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②□□■□一慶Ⅱ」

56 吾聞之老聃一活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②□□■□□一書陵」

57 取■象■天地一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②□斯□□一無窮」②■□於□□一東洋」

58 先道而後德一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①□□后□一慶Ⅱ」②□□□誘□一東急」

3 71

59 尊故爲上—活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②

3 72

60 故三十六—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·弘文·東洋」①卅卅
□—足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」

3 73

61 萬物之剛柔—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·六地·陽Ⅱ」

3 74

62 故世四十五—足利·弘文·斯Ⅱ」②
□—梅沢·斯Ⅰ」
龍門·無窮·慶Ⅱ·東洋·斯Ⅰ·六地」③
慶Ⅰ·大東·武内·東大·東急·陽Ⅱ」

3 75

63 故法備—活Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内」②
無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」

3 76

64 數之極也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·六地」②
波·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ」

3 77

65 楚縣今陳國苦縣是也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·東急·六地·陽Ⅱ」①
□—武内」③
若

3 78

66 孝文皇帝—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①
□—父

3 79

67 皆不得居官—活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·六地·陽Ⅱ」①
□—宮—書陵·弘文」②

4 1

68 公在草庵中—活Ⅱ·書陵·筑波·弘文·慶Ⅱ·武内」①
陽Ⅰ·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·東急·

4 71

69 河上公乃出曰—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①
陽Ⅱ」①

4 72

70 階下—活Ⅱ·武内」①
弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」

4 73

71 富貴貧賤—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②
□—龍門」

4 74

72 忽然而舉上—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①
□—攀

4 75

73 高七百余丈—活Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·陽Ⅱ」②
足利·東急·斯Ⅰ·六地」

4 76

74 上無所舉—①
筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②
□—攀

4 77

75 下無所據—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①
□—慶Ⅰ·大東·武内」

4 78

76 禮謝之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」①
□—禮

4 79

77 作老子經章句—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②
□—龍門」②
□—弘文」

4 80

78 隱其姓—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·

陽Ⅱ」②□□□名□□—弘文」

79 無知者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東洋·東急·斯Ⅰ·六地」①无□□□—慶Ⅰ·大東·武內·東大·陽Ⅱ」

4打

80 故號曰河上公焉—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ」②□□□□□□□□—足利·弘文」③#号□□□□□□—慶Ⅱ」

卷上

1打

1 老子道經—上—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·東大·東洋·六地·陽Ⅱ·天理·弘文？」①□□□□□□—上—慶Ⅰ·大東」②□□□□□□—梅沢·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·宋版」②□□□□□□—仁和·世德」③□□□□□□—經上—道—慶Ⅱ」③#道德眞經註卷之一—道藏」

2 河上公章句—活Ⅱ·陽Ⅰ·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·仁和·六地·陽Ⅱ·道藏·天理」③□□□□□□—第一—書陵·龍門·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅱ·杏Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德」③□□□□□□—第一品—無窮」

1打

3 體道—第一—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□—武內·東大·東洋」③道可道章□□□—筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·仁和」③#道可道章□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·杏Ⅰ·六地·陽Ⅱ」

1 3注4 謂經術政教之道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□—慶Ⅰ·大東」

注5 非自然長生之道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·天理」②□□□□□□—道藏」

6 以無爲養神—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東急·杏Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏·天理」

1打

①无□□□□—慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·斯Ⅰ」
7 無事安民—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東急·杏Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏·天理」①无□□□□—慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·斯Ⅰ」

8 含光藏暉—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·天理」①□□□□—輝—道藏」

9 滅跡匿端—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·道藏·天理」①□□□□—宋版·世德」

10 不可稱道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·仁和·道藏·天理」②□□□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德」

1 13注11 謂富貴尊榮高世之名也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏」②□□□□□□—天理」

注12 非自然常在之名也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德」②□□□□□□—弘文」①□□□□—櫻□□□□—陽Ⅰ·斯Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·道藏·天理」①□□□□—知□□□□—世德」③愛□□□□□□—宋版」

13 當如嬰兒之未言—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·道藏·天理」①□□□□—知□□□□—世德」③愛□□□□□□—宋版」

14 鷄子之未分—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·天理」①雞□□□□—足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅱ·杏Ⅰ·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏」③雞□□□□—梅沢」

15 明珠在蚌中—活Ⅱ·陽Ⅰ·足利·筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏·天理」

武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·仁和·宋版·世德·道藏·天理」

①□□□□蜂□□書陵・龍門・無窮・梅沢「①□□□□蚌□□斯Ⅱ・杏Ⅰ」

1 16

16美玉處石間一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理「②□□□□在□□道藏」

17内雖昭昭一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道藏・天理「①□□□□照□□無窮・足利・弘文・慶Ⅱ」

18外如愚頑者也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・杏Ⅰ・仁和・天理「□□□□□□々一東洋(見消ち有り)□□□□□□矣一慶Ⅱ(字間に書写)「②□□□□□□之□□東急」②□□□□□□□□斯Ⅰ・世徳」③□□□□頭□□□□□□宋版」④□□□□頑愚□□□□道藏」

經19無名一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道藏・天理「①无□□武内」

注20無名者謂道一活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・杏Ⅰ・宋版・世徳・天理「①无□□□□□□斯Ⅱ・斯Ⅰ・仁和」②□□□□□□□□書陵・龍門・大東・東急・道藏「③无□□□□□□一慶Ⅰ・武内・東大・東洋」

21道無形一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅱ・東大・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道藏・天理「①□□无□□一慶Ⅰ・武内・東洋・斯Ⅰ・仁和」

22故不可名也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道藏・天理「②□□□□□□一慶Ⅱ」

23天地始者一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・東洋・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・天理「③□□□□□□一梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東急・宋版・世徳・道藏」

24道吐氣布化一活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

1 17

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・仁和・天理「②□□□□也□□□□一陽Ⅰ・東洋・東急・斯Ⅰ」③□□□□本也□□□□一宋版・世徳」④□□□□之本也□□□□一道藏」

25出於虛無一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・仁和・世徳・道藏・天理「①□□□□无一龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」②□□□□一梅沢」

26為天地本始也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・東大・東洋・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理「②□□□□□□□□一武内」②□□□□之□□□□一無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ」②□□□□□□□□者□□□□道藏「④□□□□之□□□□之梅沢」

1 17注27有陰陽一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・天理「②□□□□一宋版・世徳・道藏」

28有柔剛一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理「②□□剛柔一道藏」

29是其名也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・道藏・天理「②□□□□有□□□□一梅沢・宋版・世徳」③□□□□有□□□□一東大」

30萬物母者一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・世徳・道藏・天理「②□□□□一東急」②□□□□一仁和」

31天地含氣一活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道藏・天理「①□□□□合□□一陽Ⅰ」

32長大成就一活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・仁和・道藏・天理「②□□□□熟一書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳」

1 17

- 33 如母之■養子也■一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·杏I·仁和·道藏·天理」②□□□□□□□□□□矣一慶II」②□□□□□□□□如□□□□□□一弘文」②□□□□□□□□□□一斯I·宋版·世德」
- 經34 故常無欲一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶II·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·陽II·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□□□一慶I·大東·武内·東大·六地」
- 注35 妙■要也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②□□者□□一足利·弘文·斯II·慶II」
- 36 人常能無欲一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·東急·杏I·宋版·世德·道藏·天理·仁和？」①□□□□□□一慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I」③□□□□已无□□一慶II」
- 37 ■則一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②無欲□□一東大」
- 38 可以一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·天理」②■□□一道藏」
- 39 觀■道一陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·梅沢·慶II·東大·東洋·東急·斯I·仁和·宋版·世德·道藏」②□□大□□一活II·無窮·斯II·慶I·大東·武内·杏I·天理」
- 40 ■之要一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②々□□□一弘文」
- 41 要一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·天理」②■一弘文」②妙一道藏」
- 42 謂■一也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

- II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②□之□□一慶II」
- 43 一出布名道一活II·陽I·龍門·書陵·無窮·足利·筑波·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·道藏·天理」②□□□□也一弘文·斯II·慶II」③■□■□■一世德」
- 44 讚叙明是非也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·道藏·天理」③■□■□■一世德」
- 45 ■常有欲一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·杏I·六地·陽II·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②故□□□一足利·筑波·弘文·斯II·慶II·武内」
- 46 以觀其微一活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·六地·陽II·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□一無窮」
- 注47 微歸也一活II·陽I·書陵·龍門·足利·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·東急·杏I·斯I·宋版·世德·道藏·天理」①□□□一無窮·筑波·弘文·慶II·武内·東洋·仁和」
- 48 ■常有欲之人一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②故■□□□□一筑波」③常也□□□□□一足利」
- 49 ■可以觀一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·斯I·仁和·宋版·世德·道藏·天理」②則□□□一東急」
- 50 世俗之所歸趣也一活II·陽I·書陵·龍門·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·東急·杏I·斯I·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□□□□一無窮·筑波·慶II·武内·東洋」③□□□□□□□一仁和」
- 經51 此兩者同出而異名一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·

弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・六地・陽Ⅱ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□□□□□□□—慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋」

1 75注 52 有欲無欲也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」①□□□□□□—斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・仁和」

53 同出者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□□□—慶Ⅱ」

54 同出—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理」②有□□—筑波・武内」③□□□□□□—弘文・慶Ⅱ」③謂□於—道蔵」

55 人之心也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・仁和・天理」②□□□□□□—弘文・斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世徳」④□□□□□□—道蔵」

56 而異名者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理」②□□名異□□—東急」②□□□□□□—道蔵」

57 所名各異也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理」②□□□□□□—斯Ⅱ」④□□□□□□—道蔵」

58 名無欲者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」①□□□□□□—龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・仁和」

59 亡身者也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・天理」②□□□□□□□□□□—宋版・世徳」②□□□□□□□□□□—道蔵」

1 76 注 60 玄 天也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□者□□—慶Ⅱ」

61 言—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・天理」②謂—道蔵」

62 有欲之人—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・杏Ⅰ・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□□□者—東洋」

63 無欲之人—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・天理・仁和？」①无□□□□—筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・斯Ⅰ」

64 同受—氣於天也—活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・仁和・天理」①□愛□□□□□□—書陵・慶Ⅰ」②□□□□□□□□—東急・宋版・世徳・道蔵」④□□□□於□□□□—斯Ⅰ」

65 有厚薄—活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」②□薄厚—書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・仁和」

66 夫人得中和滋液—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・仁和・天理」③□□□□□□□□—無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」

67 則生賢聖—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□—聖賢—慶Ⅱ」

68 得錯亂濁辱—活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・東急・道蔵・天理」①□□□□□□—溲—書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・仁和」②□□□□—污—宋版・世徳—則生貪淫也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・仁和・宋版・世徳」②□□□□□□—筑波・道蔵・天理」

注70 稟氣—活II·大東·慶I·武內·東大·東洋·宋版·世德·道藏·

天理」②天□—陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·東急·斯I·仁和」②■□—慶II」

71有濃厚除情■欲—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·仁

和·天理」②□□厚薄□□■□—斯I·道藏」④□□厚薄□□去□—宋

版·世德」

2 枳

72謂知道要之門戶者也—活II·陽I·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·

仁和·天理」①□□和□□□□□□□□—書陵」②□□□□□□□□—

宋版·世德」②□□□□□□□□□□—道藏」

2 枳

73養身■第二—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·天理」

①□□■章□□—武內·東大·東洋」②天下■章□□—慶I·大東」

②天下皆章□□—筑波·弘文·慶II」②■□■□■□■□—書陵·龍門·

無窮·足利·斯II·東急·六地·陽II」

2 枳

74自揚已美—活II·陽I·書陵·龍門·筑波·弘文·慶I·大東·慶

II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·天理」①

□楊□□—無窮·足利·斯II·梅沢」

注75有危亡也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·筑波·斯

II·梅沢·慶II·武內·東大·東洋·東急·宋版·世德·道藏·天

理」②□□□□者—慶I·大東」②□□□□—斯I」

2 枳

76有功名也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世

德·道藏·天理」①□□切□□—大東」

77人所■争也—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·斯II·梅沢·

慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·

道藏·天理」②□□■尚□□—弘文」②□□■故□□—無窮」

經78故有無之相生—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶II·東大·東洋·陽II·東急·天理」①□□□□无□□

□—慶I·大東·武內·六地」②□□□□■□□□—斯I·宋版·世德·

道藏」

2 枳注79而爲無也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東

急·斯I·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□无□□—龍門·斯II·慶

I·大東·慶II·武內·東大·東洋」

經80難易之相成—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·六地·陽II·東急·

斯I·道藏·天理」②□□□□■□□□—宋版·世德」②□□□□生—武

內」

經81長短之相形—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·六地·

陽II·道藏·天理」②□□□□■□□□—斯I·宋版·世德」

2 枳

82見短而爲長也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·

宋版·世德·天理」④□□□□之相形□—道藏」

經83高下之相傾—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·六地·陽II·

東急·道藏·天理」②□□□□■□□□—斯I·宋版·世德」

注84見高而爲下也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·斯I·宋版·

世德·道藏·天理」③■□■□■□■□—東急」

經85音聲之相和—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·六地·陽II·

道藏·天理」②□□□□■□□□—東大·斯I·宋版·世德」

2 枳

86上唱下必和也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·宋版·

世德·道藏·天理」②□□□□如□□—斯I」

經87前後之相隨—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·六地·陽II·

天理」①□□后□□□□—慶II」②□□□□■□□□—斯I·宋版·世德·道

藏」

注88 上行下必隨也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理」②□□□□□□□□―道蔵」

2 97 經89 處無爲之事―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

大東・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」
①□□□□□□―龍門・慶Ⅰ・武内・六地・治要」②□□□□□□―梅
沢・陽Ⅱ」

注90 以身師導之也―活Ⅱ・龍門・無窮・足利・筑波・梅沢・慶Ⅱ・東洋・

斯Ⅰ・宋版・世徳・天理」①□□□□□□―陽Ⅰ・弘文・東大」①
□□□□道□□―書陵・武内・治要」②□□□□□□―慶Ⅰ・大東」
②□□□□□□―東急」③□□□□帥之導□―斯Ⅱ」③□□□□道□―
道蔵」

2 93 經91 萬物作焉―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽
Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」②□□□□□□―斯Ⅱ」

注92 各自動作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東大・斯Ⅰ・天理」②□□□□□□―陽Ⅰ・
武内・東洋・東急・治要」②□□□□□□―宋版・世徳」⑤□□□□□□

■―道蔵(此の注、次の經文句下に有り)

經93 而不辭―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・
陽Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□□□―治要」

注94 不辭謝而逆止也―活Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・

慶Ⅱ・東大・天理」②□□□□□□□□之―筑波」②□□□□□□□□
之―梅沢」②□□□□□□□□之也―治要」②□□□□□□□□―書陵・
龍門・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」③□□□□□□□□
上■―陽Ⅰ」

注95 元氣生萬物―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理・治要」②无□□□□□□―斯Ⅱ」

2 94 96 而不有也―活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武

内・東大・東洋・天理」②□□□□□□―陽Ⅰ・書陵・龍門・梅沢・慶
Ⅱ」②□□□□□□―東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・治要」

經97 爲而不特―活Ⅱ・大東・慶Ⅱ」①□□□□特―陽Ⅰ・書陵・龍門・無

窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東
急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」

注98 不特望―活Ⅱ・書陵・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」①□□特□―陽Ⅰ・

龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理・治要」②□□□□―道蔵」③□□特■―東急」
99 其報也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・
天理・治要」②□□□□―東急・道蔵」

經100 功成而弗居―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・

慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・
道蔵」①□□□□不□―無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・天理」

2 95 注101 功成事就―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世
徳・道蔵・天理」②成功□□―梅沢」

102 退避―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・
道蔵・天理」①□□辟―東大」

103 不居其位也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」②□□
□□―東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」

經104 夫唯弗居―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽
Ⅱ」①□□不□―天理」①□□惟□□―宋版・世徳」②□□惟不□―道
蔵」③□□□□―斯Ⅱ」

注105 夫唯功成不居其位也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑

波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・斯Ⅰ・天理」①

123 黄金弃於山一活II・陽I・龍門・筑波・梅沢・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理①

文・斯II・慶I・大東・杏I・宋版・世徳②則

124 珠玉捐於淵也一活II・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・道蔵・天理①

損指一足利①指一筑波・斯II①一関一陽I②一宋版・世徳③

注125 上化清静一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・杏I・東急・治要①一淨一東大・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理②一者一東洋③

126 下無貪人也一活II・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・杏I・東急・天理①一无一陽I・龍門・梅沢・慶I・武内・東大・東洋・治要①一慶II②一慶II③一慶II④一慶II⑤一慶II⑥一慶II⑦一慶II⑧一慶II⑨一慶II⑩一慶II⑪一慶II⑫一慶II⑬一慶II⑭一慶II⑮一慶II⑯一慶II⑰一慶II⑱一慶II⑲一慶II⑳一慶II㉑一慶II㉒一慶II㉓一慶II㉔一慶II㉕一慶II㉖一慶II㉗一慶II㉘一慶II㉙一慶II㉚一慶II㉛一慶II㉜一慶II㉝一慶II㉞一慶II㉟一慶II㊱一慶II㊲一慶II㊳一慶II㊴一慶II㊵一慶II㊶一慶II㊷一慶II㊸一慶II㊹一慶II㊺一慶II㊻一慶II㊼一慶II㊽一慶II㊾一慶II㊿

3 柝注127 放鄭聲一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・杏I・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理・治要①救一足利(右旁見消ち、眉上「放」字加筆)①於一東洋(左旁見消ち、右旁「放」字加筆)②遠美人也一活II・陽I・無窮・弘文・斯II・杏I・天理①迹一足利(左旁見消ち、右旁「遠」字加筆)②也之一梅沢②一者一書陵・龍門・筑波・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋②一東急・斯I・宋版・世徳・治要④一倭一

注129 不邪淫也一活II・陽I・龍門・筑波・弘文・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東洋・東急・道蔵・天理①耶一書陵・無窮・足利・斯II・治要①一姪一杏I③一淫不惑乱一東大・斯I・宋版・世徳

3 柝經130 是以聖人之治一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・道蔵・六地・陽II・天理・治要②一宋版・世徳

注131 謂聖人治國一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・天理②說一東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・治要②猶治身也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・斯I・天理・治要②一梅沢④一如一東急④與

注132 除嗜欲一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理①一慾一无窮

3 柝經135 實其腹一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・六地・陽II・天理①一腸一慶II

注136 懷道抱一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理②一於一斯I

注137 不處權也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶II・武内・東大・東洋・杏I・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理②一弘文・慶I・大東・敦I

3 柝注138 髓滿骨堅也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・梅沢・慶II・杏I・東急・道蔵・天理①一堅一武内①一賢一筑波②一之東洋②一足利・弘文・斯II・東大

3 柝注139 髓滿骨堅也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・梅沢・慶II・杏I・東急・道蔵・天理①一堅一武内①一賢一筑波②一之東洋②一足利・弘文・斯II・東大

斯 I · 宋版 · 世德 ③ □ □ □ 賢 ■ — 慶 I · 大東

經 139 無知無欲 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 慶 II · 東洋 · 杏 I · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 · 治要 ① □ □ 无 □ — 筑波 · 東大 · 陽 II ② 无 □ 无 □ — 龍門 · 慶 I · 大東 · 武内 · 六地 · 敦 I

注 140 反朴 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ① □ 樸 — 弘文 · 斯 II · 慶 I · 杏 I · 敦 I ① □ 撲 — 梅沢 · 大東 ① □ 樸 — 足利 · 治要

141 守淳 ■ 也 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 杏 I · 東急 · 天理 ② □ □ 也 — 東洋 ② □ □ 之 □ — 梅沢 ② □ □ ■ — 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要

3 72 經 142 使夫知者不敢爲也 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 六地 · 陽 II · 天理 · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ — 東洋

注 143 不輕言也 ■ — 活 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 東大 · 杏 I · 東急 · 天理 ② □ □ □ □ ■ — 陽 I · 書陵 · 龍門 · 武内 · 東洋 · 敦 I · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ — 梅沢

經 144 爲無爲 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 II · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 · 治要 ① □ □ 无 □ — 龍門 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 敦 I · 六地 · 陽 II

注 145 動因循 ■ 也 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 天理 ① □ □ 修 ■ □ — 足利 (作「終」) · 斯 II (作「脩」) · 杏 I ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ■ — 筑波 · 梅沢 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ③ □ □ □ 脩 ■ — 治要

3 73 經 146 則無不治矣 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 II · 杏 I · 陽 II · 天理 ① □ □ 无 □ □ □ □ — 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 六地 ② □ □ □ □ □ □ ■ — 梅沢 · 東洋 · 敦 I (則無「二字欠」)

東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要

注 147 德化厚 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ① 惠 □ □ □ — 治要 ① □ □ 原 — 弘文 ② □ □ 淳 — 敦 I

148 百姓安 ■ 也 — 活 II · 陽 I · 龍門 · 無窮 · 東大 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 杏 I · 斯 I · 天理 · 治要 ② □ □ □ □ 之 ■ — 武内 ② □ □ □ □ 之 □ — 梅沢 · 東急 ② □ □ □ □ ■ — 書陵 · 東洋 · 宋版 · 世德 · 道藏

3 74 149 無源 ■ 第四 — 活 II · 陽 I · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② □ □ 章 □ □ — 東大 · 東洋 ② 无 □ 章 □ □ — 武内 ③ 道冲章 □ □ — 慶 I · 大東 ③ 道冲章 □ □ — 筑波 · 弘文 · 慶 II ③ ■ ■ ■ ■ ■ — 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 杏 I · 東急 · 六地 · 陽 II · 敦 I

3 75 經 150 道冲而用之 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 宋版 · 世德

注 151 冲中也 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 東急 · 斯 I · 敦 I · 道藏 · 天理 ① 冲 □ □ □ — 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 宋版 · 世德

152 其用在中者也 ■ — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 斯 I · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ■ — 無窮 · 東急 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ — 宋版 · 世德 · 道藏

注 153 或常也 — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① 域 □ □ □ — 足利

3 76 154 不盈滿也 ■ — 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 東大 · 杏 I · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ ■ — 武内 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏

經155 淵兮一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・

六地・陽Ⅱ・道藏・天理①□乎一宋版・世徳

注156 道淵深一活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・敦Ⅰ・東急・斯Ⅰ・

宋版・世徳・道藏・天理①□除一陽Ⅰ

157 不可知也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・斯Ⅰ・宋

版・世徳・道藏・天理②□□□□一敦Ⅰ・東急

158 似爲萬物宗祖也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・

天理②□□□□一東急④□□□□之□□□□一斯Ⅰ・宋

版・世徳・道藏

3 77 注159 欲銳情進取功名一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘

文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東

急・斯Ⅰ・敦Ⅰ・道藏・天理①□□精□□□□一宋版・世徳

160 當挫止之一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯

Ⅰ・世徳・道藏・天理①□□上□一宋版

161 法道不自見也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・

道藏・天理②(欠) □□□□一敦Ⅰ②□□□□□□一斯Ⅰ・宋版

③□□□□同□□一世徳

4 11 經162 解其紛一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・

六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道藏・天理①□□忿一敦Ⅰ

注163 紛結恨也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯

Ⅰ・道藏・天理①忿□□□□一敦Ⅰ①□□根□□一宋版・世徳

164 念道無爲一活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・杏

Ⅰ・東急・世徳・道藏・天理①□□无□□一陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・大

東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版

165 以解釋之也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・

天理②□□□□一斯Ⅰ・宋版・世徳・道藏

注166 獨見之明一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋

版・世徳・敦Ⅰ・道藏・天理②□□□□一足利

167 當如闇昧一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・道

藏・天理①□知□□一宋版・世徳①□□暗□一足利

168 不當以囉亂人也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・

斯Ⅰ・世徳・道藏・天理①□□□擢□□□一宋版②□□□□

□於□□一東洋②□□□□□□一敦Ⅰ

經169 同其塵一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・六地・

陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏・天理③□□□□一斯Ⅱ

注170 與衆庶同垢塵一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・

天理①□□塵□□□一斯Ⅱ・杏Ⅰ②□□塵洞□□一足利(洞右

旁見消ち、眉上に「同」字を加筆)③□□□□一道藏

171 不當自別殊也一活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大

東・杏Ⅰ・天理②□□□□□□之□一東急②□□□□□□一陽

Ⅰ・書陵・龍門・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世

徳④□□□□殊別□□一道藏

經172 湛兮似或存一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・

斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・天理②□□□□若□□一宋版・世徳・道藏

4 13 注173 道湛然安靜一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·
斯Ⅰ·敦Ⅰ·道藏·天理」②當□□□□□□—宋版·世德」

174 故能長存—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯
Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□□□□—天理」

175 不亡也—活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東
大·杏Ⅰ·東急·天理」②□□□□□□—梅沢」②□□□□□□—慶Ⅱ」②
□□□□□□—足利」②□□□□□□—書陵·龍門·武内·東洋·斯Ⅰ·宋
版·世德·道藏」

經176 不知其誰之子—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·
斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·敦Ⅰ·道藏·天理」②□□□□□□—宋版·世
德」

4 柱注177 不知道所從生也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·
弘文·斯Ⅱ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·天理」②□□□□□□
□□□□□□—梅沢」②□□□□□□□□□□□□—東急」②□□□□□□□□□□
慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□□□□□□□—道藏」

經178 象帝之先—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯
Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」①□□□□□□—六地」

注179 道似存—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·
天理」①□□□□□□—敦Ⅰ」③□□□□□□—宋版·世德·道藏」

180 天帝之前—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·筑波·梅沢·慶Ⅱ·武内·東
大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□—先—無
窮·足利·慶Ⅰ·大東·杏Ⅰ」④□□□□□□—者先—弘文·斯Ⅱ」

181 此言—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏·天理」②□□□□□□—東大·東洋」

182 先天地生也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·
宋版·世德·道藏·天理」③□□□□□□—斯Ⅱ·敦Ⅰ」

4 柱
183 至今存者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯
Ⅰ·天理」①□□□□□□—敦Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□—道藏」

184 以能安靜—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·道藏·天理」①似□□□□□□—慶Ⅱ」

185 不勞煩也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·杏Ⅰ·天理」②□□□□□□—梅沢·武内·東
大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」

4 柱
186 欲使人修身法道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·
弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·
東急·天理」②□□□□□□□□□□□□—敦Ⅰ·宋版·世德·道藏」

4 柱
187 虛用—第五—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」
②□□□□□□—武内·東大·東洋」③天地章□□□□—筑波·弘文·慶
Ⅰ·大東·慶Ⅱ」③□□□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·
杏Ⅰ·東急·六地·陽Ⅱ·敦Ⅰ」

4 柱
188 任自然也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·天理·治要」①住□□□□□□—慶Ⅱ」②□□□□□□—道藏」

經189 以萬物爲羈狗—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·杏Ⅰ·六地·敦Ⅰ·道藏·天理·治要」①□□□
□□□□□□—弘文·梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋
版·世德」

4 柱
190 人最爲貴—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯
Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」③□□□□□□—治要」

191 天地視之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·梅沢·慶
Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋版·世

4 95 注207 無有屈竭—活Ⅱ·書陵·無窮·弘文·梅沢·大東·杏Ⅰ·東急·世

德·天理」①无□□□—陽Ⅰ·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·慶

Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅰ」②□□□□—道藏」

208 時揺動之益—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·斯Ⅰ·世德·敦Ⅰ·天理」

①□□□□—筑波」②□□□□—東急」②□□□□—慶Ⅰ·

大東」②□□□□—宋版·道藏」

209 出聲氣也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德·

天理」②□□□□—梅沢」②時□□□□—慶Ⅰ·大東」②□□□□

□□—敦Ⅰ·道藏」

4 96 經210 多言數窮—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·六

地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」①夢□□□—足利」

注211 口開舌舉—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·六

地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」①聞□□□—龍門」

212 有禍患也—陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·天理」①□□□

忠□□—活Ⅱ」②□□□□—梅沢」②□□□□—斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅰ·道藏」

4 97 注213 愛氣希言也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·杏Ⅰ·東急·天理」

②□□□□—東洋」②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·

道藏」

5 41 214 成象—第六—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天

理」②□□□□—章□□□—武内·東大·東洋」③谷神—章□□□—慶

Ⅰ·大東」③谷神不死章□□□—筑波·弘文·慶Ⅱ」③—

—書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·杏Ⅰ·東急·六地·陽Ⅱ·敦

Ⅰ—

5 42 經215 谷神不死—活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·六

地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」②浴□□□—書陵」

注216 谷養也—活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏·天理」②浴□□□—書陵」②□□□—神—敦Ⅰ」

217 則不死也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·宋

版·世德·天理」②□□□□—敦Ⅰ·斯Ⅰ·道藏」

218 謂五臟之神也—活Ⅱ·陽Ⅰ·天理」①□□□□—書陵·龍門·

無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東洋·

杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·弘文?」③□□□—藏魂□□—東大」

③□□□—藏□□—敦Ⅰ」③□□□—道藏」

219 腎藏精—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·敦Ⅰ·天理」②賢□□□—足利(見消ち有り)」④—脾

□意—道藏」

220 脾藏—志—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·

斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理」④腎—精與□—道藏」

221 五臟盡傷—活Ⅱ·陽Ⅰ·天理」①—藏□□—書陵·龍門·無窮·足

利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東

洋·杏Ⅰ·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏」

222 則五神去也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·慶Ⅱ·武内·

東大·東洋·杏Ⅰ·天理」②□□□□—矣—足利·弘文·斯Ⅱ·慶

Ⅰ·大東」②□□□□—矣—梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·

②□□□□—道藏」

注223 言不死之道—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·杏Ⅰ·東急·

斯Ⅰ·敦Ⅰ·道藏·天理」②□□□□—有—宋版·世德」

224 在於玄牝一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·梅沢·慶II·武
内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理②
□□□□一足利·弘文·斯II·慶I·大東·杏I

225 玄天也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·
世德·敦I·道藏·天理①□□□□世一慶I

226 從鼻入藏於心一陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·
宋版·世德·敦I·道藏·天理①徙□□□□一活II

227 五氣清微一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·斯I·宋
版·世德·敦I·道藏·天理①□□□□徵一東急

228 其鬼曰魄一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯
I·宋版·道藏·天理①□□□□魄一敦I②□□□□兆一世德

229 魂者雄也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅
沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋
版·世德·敦I·道藏·天理②□□□□一弘文

230 於人鼻一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·杏I·天理②□□□□一東
洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏

231 與天通一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯
I·宋版·世德·敦I·天理②□□□□道一—道藏

232 從口入藏於膈一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·東大·天理
①□□□□□□胃一足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武
内·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏

233 五性一陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·
慶II·杏I·斯I·宋版·世德②□□味一活II·無窮·梅沢·武内·
東大·東洋·東急·敦I·道藏·天理

234 濁辱一活II·陽I·弘文·東大·東急·斯I·宋版·道藏·敦I·
天理①□□薄一書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·慶I·大
東·慶II·武内·東洋·杏I②□□厚一世德②□□乱一梅沢

235 爲形體一活II·陽I·天理②□□骸一書陵·龍門·無窮·足利·
筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·
杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏

236 骨肉一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·慶I·大東·慶II·弘文·足利·
斯II·龍門·武内·東大·東洋·梅沢·杏I·東急·斯I·宋版·
世德·道藏·天理①□□内一筑波①□□穴一敦I

237 其鬼曰魄一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯
I·宋版·敦I·道藏·天理①□□□□魂一世德

238 魄者雌也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯
I·宋版·世德·敦I·天理②□□□□道藏

239 主出入一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·斯I·世德·
宋版·天理②□□□□一敦I·東急·道藏

240 於人口一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·
天理②□□□□一敦I②□□□□一宋版·世德·道藏

241 與地通一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯
I·敦I·道藏·天理②□□天□□一宋版·世德

242 口爲牝也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·
宋版·天理②□□□□□□之一梅沢②□□□□一敦I·道藏②
□□□□世德

243 謂天地之根一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·

斯I·六地·陽II·敦I·道藏·天理」②□□□□■□□□□■宋版·世德」
注244 根元也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·
世德·敦I·道藏·天理」①□□□□■慶II」

5 71

245 是乃—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·

宋版·世德·敦I·天理」②乃是—道藏」

246 ■天地之元氣—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·大東·慶I·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·

敦I·天理」②通□□□□□□□□□□—杏I·宋版·世德·道藏」

247 所從往來也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·

斯I·天理」②□□□□□□□□□□—宋版·世德·敦I·道藏」

經248 綿綿乎若存—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·六地·天理」②□□□□

■□□□—梅沢·慶I·大東·斯I·陽II·宋版·世德·敦I·道藏」

注249 呼吸喘息—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·道

藏·天理」①□□□□□□□□□□—宋版·世德·敦I·

5 72

250 復若■無有■也—活II·書陵·無窮·筑波·弘文·杏I·東急·天

理」①□□□□■无□□□□—龍門·足利·斯II·慶I·大東·慶II·武

内·東大·東洋·斯I」②□□□□■□□□□□—梅沢」

■—世德」③□□□□■无□□□□—陽I·宋版·敦I」④□□□□■可□□□□■

■—道藏」

注251 當寬舒—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·

宋版·敦I·道藏·天理」②常□□□□—世德」

252 ■急疾勤勞也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·

世德·天理」②■□□□□□□□□□□—宋版」②■□□□□□□□□□□—武内·敦I」

④為□□□□□□□□—道藏」
5 73 253 韜光■第七—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·道藏·天理」②

□□□□■章□□□□—武内·東大·東洋」③天長■章□□□□—慶I·大

東」③天長地久章□□□□—筑波·弘文·慶II」③■□□□■□□□□—書

陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六地·陽II·敦I」

5 74 注254 論教人也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·弘文·斯II·梅沢·慶

I·大東·慶II·武内·東大·東洋·天理」①論□□□□—足利」①

喻□□□□—東急·斯I·宋版·世德」②□□□□■—筑波」③喻□□□□

■—敦I」③教喻□□□□—道藏」

5 75 注255 獨長且久者—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·

宋版·世德·敦I·天理」②□能□□□□□□—道藏」

以其安靜■—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·天理」

②□□□□□□□□—龍門·慶II·武内·東大」③□□□□□□□□—自然—道藏」

257 施不求報—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·東急·斯I·敦I·道藏·天

理」②□□□□■—慶II」②□□□□—榮□□□—宋版」②□□□□—責□□□—世德」②

□□□□—神—大東」

5 76

258 求自饒之利—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·

宋版·敦I·道藏·天理」②□□□□□□□□—私—世德」

259 自與也■—無窮·足利·弘文·斯II·大東·天理」①□輿■—活

II」②與自□□□□—東急」②□□□□□□—之—梅沢」②□□□□—之也—陽I·書

陵·龍門·筑波·慶I·慶II·武内·東大·東洋」②□□□□—矣—道

藏」②□□□□■—斯I·宋版·世德·敦I」

經260 故能長生—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅

沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽

II·宋版·世德·敦I·道藏·天理」②□□□□—自—弘文」

5 77 注261 長生不終也—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

注 279 水在天爲霧露一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏

6 71

注 280 在地爲泉源也一活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理②

② 慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理②

經 281 而不爭一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東洋·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 又 慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東急·陽Ⅱ

注 282 水獨靜一活Ⅱ·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 爭一陽Ⅰ·無窮·梅沢·東急②

龍門·足利·筑波·斯Ⅱ②

6 71 注 283 流居之也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理②

② 慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理②

經 284 故幾於道矣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·六地·陽Ⅱ·東急·敦Ⅰ·天理②

② 慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

注 285 水性一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理③

③ 梅沢

286 幾與道同也一活Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東急·天理②

② 于 慶Ⅰ·大東②

書陵·龍門·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏

注 287 水性善喜於地一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·敦Ⅰ·天理①

① 喜

6 72 注 288 在草木之上活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 即流而下活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 則 斯Ⅰ

290 有似一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理①

① 在 慶Ⅱ

291 於牝動一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②

② 斯Ⅰ

292 而 下人 也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理②

② 從 無窮②

經 293 心善淵一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·足利·弘文·斯Ⅱ·武內·東大·東洋·梅沢·六地·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理②

② 善心 敦Ⅰ

注 294 水性空虛一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·世德·天理②

② 心 東急·敦Ⅰ②

295 淵深清明也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·天理②

② 東急·斯Ⅰ·宋版

6 73 經 296 與善仁一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理①

① 人 道藏

注 297 不與盈也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

② 東急·斯Ⅰ·宋版

版・世徳・道蔵・天理②□□□□□―敦Ⅰ

注298 水内影■照形―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理②□□□□□―筑波

299 不失其■情也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・

宋版・世徳・天理②□□□□□―道蔵④□□□□□―物□□□―敦Ⅰ

6 74 經300 政善治―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・

道蔵・天理①正□□□―斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ

注301 無有―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

東急・世徳・道蔵・天理①无□□―龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・

東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・敦Ⅰ

注302 不洗清且平也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・

道蔵・天理②流□□□□□―足利②□□□□□―龍門・敦Ⅰ

注303 能方能圓―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大

東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天

理①□□□員―無窮・足利・東急③□□□員―弘文

304 曲直隨形也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理②□□□□□之―

梅沢②□□□□□―東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵

6 75 注305 應期而■動―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・

大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・

道蔵・天理①□□□□□―足利(右旁に見消ち、眉上に「期」字

を加筆)②□□□上□□―筑波②□□□能□―弘文

306 不失天時也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天理②□□□

□□□―斯Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世徳④□□□□□―敦Ⅰ①有怨尤

水者―大東

注307 壅之則止―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世

徳・敦Ⅰ・道蔵・天理①□□□上―陽Ⅰ

308 聽從人也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・龍門・道

蔵・天理①听□□□―慶Ⅰ・大東②□□□―敦Ⅰ

6 76 經309 故無尤■―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・斯Ⅱ・梅沢・東洋・東急・斯Ⅰ・陽

Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理①无□□―龍門・慶Ⅱ・武内・東

大・六地・敦Ⅰ②□□□矣―無窮・足利・筑波・弘文・慶Ⅰ・大

東

注310 無有―活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・大東・杏Ⅰ・東急・

世徳・道蔵・天理①无□□―陽Ⅰ・龍門・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・

武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・敦Ⅰ

311 怨尤水者也―活Ⅱ・慶Ⅰ・無窮・足利・梅沢・大東・杏Ⅰ・斯Ⅰ・

宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理②患□□□―陽Ⅰ・書陵・龍門・

筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急

6 77 312 運夷■第九―活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天

理②□□□章□□―武内・東大・東洋③恃而■章□□―慶

Ⅰ・大東③恃而盈之章□□―筑波③恃而盈之章□□―弘文・慶

Ⅱ③■□□―書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・六

7 11 經313 恃而盈之―書陵・龍門・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・杏

Ⅰ・六地①持□□□―陽Ⅰ・無窮・梅沢・東大・東急・斯Ⅰ・陽

Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理①特□□□―活Ⅱ・弘文・斯

Ⅱ・慶Ⅱ

314 不如其已―活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・六

地・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理②□□□也―書陵

注315 恃滿必傾―活Ⅱ・書陵・龍門・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東

洋・杏Ⅰ①持□□□―陽Ⅰ・無窮・梅沢・東大・東急・斯Ⅰ・宋

版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理」①特□□□□—弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ」

316 不如此也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□—龍門」②□□□□者□□—東洋」②□□□□之□—敦Ⅰ」

7 2 經 317 揣而銳之—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・六地・宋版・世徳・道蔵・天理」①□□掬□—敦Ⅰ」

注 318 先揣之後—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理」①□□惴□□—慶Ⅰ」③□□□□后—筑波」

319 必棄捐也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理」①□□指□—筑波」①□□損□—梅沢・東洋」②□□□□—斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」

7 3 注 320 嗜欲傷神—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・敦Ⅰ・天理・治要」①□□慾□□—無窮・筑波・世徳」①奢□□□—道蔵」

321 財多—累身也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理」①賤□□□□—足利（左旁に見消ち、眉上に「財」字を加筆）」②□□□□—之—梅沢」②□□□□則□□□□—東洋」②□□□□□□—弘文・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・治要」

經 322 自遺其咎—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理」②還□□□□—無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・杏Ⅰ・斯Ⅰ」④還□□□□—治要」

注 323 夫富—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・

世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理・治要」①大□□—宋版」

7 4 324 當賑貧貴—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」①□□貪□□—活Ⅱ」③□□□□—敦Ⅰ」

325 當憐賤—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理・治要」①□□財—弘文」①□□矜□□—慶Ⅰ・大東・敦Ⅰ・道蔵」

326 被禍患者也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・天理」②□□□□□□—無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□□□—東洋（地脚に「也」加筆）」②□□□□□□—敦Ⅰ・治要」④□□□□—道蔵」

經 327 退天之道—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理」②□□□□□□—足利」②□□□□□□—也—治要」

7 5 注 328 名跡稱—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・杏Ⅰ・敦Ⅰ・道蔵・天理」①□□迹□□—梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・治要」

329 遂不退—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理・治要」①逐□□□—弘文」

330 身避位—活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理・治要」①□□辟□□—書陵・龍門」③□□□□—弘文」

331 天之常道也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理」②□□□□□□—敦Ⅰ・道蔵・治要」

332 譬如—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・

7 46 敦 I · 治要 · 天理 ① 辟 □ □ □ 龍門 · 大東 ② □ □ □ □ □ 道藏

333 月滿則虧 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 · 治要 ① 因 □ □ □ □ □ 筑波 ② 滿月 □ □ □ □ 梅沢

334 物盛則衰 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 · 治要 ① □ □ □ □ □ 哀 慶 I

335 樂極則衰 也 活 II · 天理 ① □ □ □ □ □ 哀 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 杏 I · 東急 · 斯 I ③ □ □ □ □ □ 哀 者 □ □ □ □ □ 東洋 ③ □ □ □ □ □ 哀 龍門 · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 治要

7 47 336 能為 第十一 活 II · 陽 I · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ 章 □ □ □ □ □ 武内 · 東大 · 東洋 ③ 載營魄章 □ □ □ □ □ 筑波 · 弘文 · 慶 II ③ 載營魄章 □ □ □ □ □ 大東 ③ 載營魄章 □ □ □ □ □ 筑波 · 弘文 · 慶 II ③ 載營魄章 □ □ □ □ □ 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 杏 I · 六地 · 陽 II · 敦 I · 東急

7 48 337 營魄魄也 活 II · 陽 I · 慶 I · 大東 · 武内 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ③ □ □ □ □ □ 無窮 ③ □ □ □ □ □ 書陵 · 龍門 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 杏 I · 斯 I · 敦 I

338 人載魂魄之上 活 II · 陽 I · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 書陵 · 龍門

339 當愛養之 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 或 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 梅沢

340 喜怒亡魂 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① 憲 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 無窮 · 弘文 ② 憲 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 足利 (右

7 49 旁見消ち「亡」字を加筆

341 魂在肝 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ 肺 東急 (右旁見消ち)

342 魄在肺 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ 肝 筑波

343 美酒甘肴 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① □ □ □ □ □ 者 筑波

344 腐人肝肺 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 世德 · 敦 I · 天理 ① □ □ □ □ □ 肝 龍門 ② □ □ □ □ □ 肺 肝 足利 ② □ □ □ □ □ 脾 □ □ □ □ □ 宋版 ② 傷 □ □ □ □ □ 道藏

345 魂靜志道 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 魄 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 杏 I

346 魄安修德 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 壽 敦 I ③ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 得壽 宋版 · 世德 · 道藏

347 延年也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 矣 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 長 敦 I

7 53 348 能無離乎 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急 · 斯 I · 道藏 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 東大 · 六地 · 陽 II · 敦 I ② □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ 世德

7 54 349 則長存也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 杏 I · 東急

天理」②□□□□—斯I·宋版·世德·道藏」④□□□□—敦I」

350 一者道始所生—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·敦I·天理」①□□□□治□□—無窮」②□□□□德□□—道藏」

351 太和之精氣也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·武内·慶II·杏I·斯I·世德·道藏·天理」①大□□□□□□—慶I·大東·東洋·宋版」①天□□□□□□—東大」②□□□□元□□□—東急」②□□□□□□—敦I」

352 布名於天下—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·天理」②以□□□□□□—弘文」②一□□□□□□—道藏」②□□□□下□□□—敦I」

353 地得一以寧—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦·道藏·天理」②□□□□□□—慶II」

354 出爲行—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理」②□□□□法—弘文」

355 布施爲德—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理」①□□□□得—武内」

356 一之爲言—活II·陽I·無窮·慶I·大東·慶II·武内·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理」②□□□□—足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·東大·東洋」③□□□□—龍門·書陵」

357 至一—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·敦I·天理」①志□□—宋版·世德·道藏」

358 無二也—活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·杏I·世德·天理」①无□□□—陽I·龍門·筑波·慶I·大東·慶II·武内·

東大·東洋·斯I·宋版」②□□□□之—梅沢」②□□□□矣—東急」②而□□□□—道藏」③无□□□□—敦I」

359 專精氣—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·天理」②□□□□—宋版·世德·道藏」②能□□□□—敦I」

360 形體能應物—活II·陽I·天理」②□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏」

361 而柔順也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏」

362 能如嬰兒乎—活II·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·道藏·六地·陽II·天理」①□□□□—櫻□□□—陽I·杏I·斯I」②□□□□—敦I」③□□□□—櫻□□□—宋版·世德」

363 能如嬰兒—活II·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·敦I·天理」①□□□□—櫻□□□—陽I·杏I·斯I·宋版·世德」③□□□□—道藏」

364 內無思慮—活II·書陵·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·杏I·東急·世德·道藏·天理」①无□□□—陽I·龍門·足利·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·敦I」

365 外無政事—活II·陽I·書陵·無窮·弘文·梅沢·杏I·東急·宋版·世德·道藏·天理」①无□□□—龍門·足利·筑波·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I」②无□□□—敦I」

366 精神不去也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·東急·斯I·宋版·世德·天理」②□□□□□□—梅沢」②□□□□□□—敦I·道藏」

367 使潔清也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

敦I・道藏・天理」①□□□弘文」

385 謂喘息■一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋
版・世徳・敦I・天理」②□□□也一「道藏」

注386 謂呼吸也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・宋版・世
徳・道藏・天理」②□□□敦I・東急」

8 林經387 能爲雌乎一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六
地・陽II・敦I・天理」②□□無□□一「道藏」④□□無□□一「宋版・世
徳」

注388 當如應變一活II・陽I・書陵・龍門・筑波・慶II・武内・東大・東

洋・天理」②□□□一「無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大
東」③■□□一「東急・斯I・宋版・世徳・敦I・道藏」

389 和而不唱■也一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・天理」②□□□□
□□一「龍門」②□□□□之□□一「東急」②□□□□一「斯I・宋版・
世徳・敦I」②■□□□□□一「道藏」

8 杉注390 言道明白一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・敦
I・天理」②□□達□□一「宋版・世徳」②□□□□一「道藏」

391 聽之不聞一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世
徳・敦I・道藏・天理」①听□□□一「弘文」

392 彰布之於十方一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・
宋版・世徳・天理」④■□□□□□一「敦I」④□□□□□□一「道藏」
■□□□□□一「世徳・道藏」③无□□□□□一「梅沢・武内・東洋・斯I・宋版」
③无有所取■一「敦I」③■□□□□□一「弘文」

8 煥煥煌煌也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世
徳・敦I・道藏・天理」①煥々□々□一「弘文」①煥々□々□一「足利」②□□□□□
天理」①煥々□々□一「弘文」①煥々□々□一「足利」②□□□□□

敦I」②□□□□矣一「道藏」

經394 能無知乎一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・道藏・天
理」①□□无□□一「六地・陽II・敦I」①□□□□呼一「無窮」②□□□□
■一「宋版・世徳」

注395 無有能知一活II・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東急・世徳・道

藏・天理」①无□□□一「陽I・龍門・筑波・斯II・慶I・大東・慶
II・武内・東大・東洋・斯I・宋版・敦I」

396 道滿於天下者也■一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・筑波・慶II・

武内・東大・東洋・東急・天理」②□□□□□□一「梅沢」②□□
□□□□■一「足利・弘文・斯II・慶I・大東」②□□□□□□
■一「斯I・宋版・世徳・敦I」②□□□□□□一「矣」■一「道藏」

經397 生之畜之一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽
II・宋版・世徳・敦I・道藏・天理」③■□□□□□一「弘文」

8 杉注398 道生萬物而畜養也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・天理」②□□□□□□
□□之□□一「筑波・東急」②□□□□□□□□之■一「斯I・宋版・世徳・
敦I・道藏」③■□□□□□□□一「弘文」

經399 生而不有活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽
II・宋版・世徳・敦I・道藏・天理」③■□□□□□一「弘文」

注400 道生萬物一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・敦
I・道藏・天理」③■□□□□□一「弘文」

401 無所取有也一活II・書陵・龍門・無窮・足利・東急・天理」①无□□

□□□一「陽I・筑波・斯II・慶I・大東・慶II・東大」②□□□□□
■一「世徳・道藏」③无□□□□□一「梅沢・武内・東洋・斯I・宋版」
③无有所取■一「敦I」③■□□□□□一「弘文」

8 杉經402 爲而不恃一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世
徳・敦I・道藏・天理」①无□□□□□□一「陽I・筑波・斯II・慶I・大東・慶II・東大」②□□□□□
■一「世徳・道藏」③无□□□□□一「梅沢・武内・東洋・斯I・宋版」
③无有所取■一「敦I」③■□□□□□一「弘文」

II・慶II・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世德・敦I・道藏・天理」①□□□時—梅沢」①□□□特—慶I・大東・武内・東大」

注403不特望其報也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏」①□□特□□□—慶I・大東・慶II・斯II・武内・東大」②□□□□□□□—天理」②□□□□□□

注404道長養萬物—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理」③□□□□□□□長大—敦I」

405爲器用也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□□□□—斯I・宋版・世德・敦I・道藏」

注406道行德—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・天理」②□□□□□—道藏」

注407欲使人如道也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・天理」①□□□□□知□□□—道藏」②□□□□□□□—敦I」②□□□□□□□—世德」

8 93 408無用—活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・世德・道藏・天理」②□□□□□章□□□—武内・東大・東洋」③三十幅章□□□—筑波・弘文・慶I・大東・慶II」③□□□□□□□—書陵・龍門・無窮・足利・斯II・東急・六地・陽II・敦I」

8 94 經409三十幅—活II・陽I・足利・筑波・弘文・斯II・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理」①卅□□—書陵・龍門・無窮・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・六地・陽II・敦I」

410共一穀—活II・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世德・敦I・道藏・天理」①□□□穀—陽I」

注411古者車—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・道藏・天理」②□□車者—筑波」

412三十幅—活II・陽I・筑波・弘文・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理」①卅□□—書陵・龍門・無窮・足利・斯II・慶I・慶II・武内・東大・東洋・梅沢・敦I」②卅輪—大東」

413法—月數也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理」①□□□日□□□—梅沢・慶II」②□□同□□□—筑波」②□□□□□—敦I」

414共一穀者—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・道藏・天理」②□□□□□—斯II」

415穀中有孔—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・天理」②□□□□□—弘文・斯II・道藏」

416故衆輻共湊之—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・敦I」②□□□□□□□—弘文」②□□□□□□□—道藏・天理」②□□□□□□□—也—斯I」

417五臟—活II・陽I・天理」①□□藏—書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・道藏」

注418神乃歸之也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・慶I・武内・斯I・宋版・世德」①□□□□□—筑波・大東・慶II・東洋・天理」①□□及婦□□□—東大」②□□□□□—敦I・道藏」

419治國者寡能惣衆—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・天理」③□□□□□□□—道藏」

420弱—共扶強也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・弘文・斯II・慶

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·敦I·天理」②用□□□□□□□□□□宋版·世德」③於用□□□□□□□□□□道藏」

439 恐其屋之破壞」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·天理」①□□□□□□□□□□懷」足利」②□□□□□□□□□□筑波·梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏」

注440 腹中有神」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·敦I·道藏·天理」①腸□□□□□□□□□□斯I」

441 畏形之消亡也」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·天理」②□□□□□□□□□□敦I」②□□□□□□□□□□東急」④□□□□□□□□□□之」梅沢」④□□□□□□□□□□道藏」

經442 無之以爲用」活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·東急·斯I·宋版·世德·道藏·天理」

①无□□□□□□□□□□龍門·武内·東大·東洋·六地·陽II·敦I」

注443 言虛空者」活II·陽I·書陵·龍門·弘文·斯II·梅沢·武内·東大·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏」②□□□□□□□□□□无」天理」②□□□□□□□□□□空虛」无窮·足利·筑波·慶II·東洋」②□□□□□□□□□□室虛」慶I·大東」

444 乃可用盛受」物也」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·慶II·東洋·東急·天理」②□□□□□□□□□□斯I」②□□□□□□□□□□万」大東·武内·東大·敦I」④□□□□□□□□□□宋版·世德」⑥謂□□□□□□□□□□道藏」

445 虛無」活II·書陵·無窮·弘文·梅沢·大東·慶II·東急·世德·道藏·天理」①□□□□□□□□□□无」陽I·龍門·足利·筑波·斯II·慶I·武内·東大·東洋·斯I·宋版·敦I」

446 能制有形」活II·陽I·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□□□□□龍門·無窮·斯II·梅沢·慶II·武内·東大·東洋·斯I·敦I」②者□□□□□□□□□□足利·筑波·弘文·慶I·大東·東急」

447 道者」空也」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·天理」②□□□□□□□□□□虚」道藏」

448 檢欲」第十二」活II·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□□□□□□□弟」陽I」②□□□□□□□□□□章」武内·東大·東洋」③五色章□□□□□□□□□□筑波·弘文·慶I·大東·慶II」③□□□□□□□□□□書陵·龍門·無窮·足利·斯II·六地·陽II·敦I·東急」

9 47 注449 貪淫好色」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理·治要」①□□□□□□□□□□姪」筑波·敦I」②□□□□□□□□□□好淫」道藏」

450 失明也」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」②□□□□□□□□□□敦I·道藏·治要」

經451 五音令人耳聾」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II·宋版·世德·敦I·道藏·天理·治要」②□□□□□□□□□□耳人」東大」

9 48 注452 好聽五音」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理·治要」①□□□□□□□□□□聾」足利」①□□□□□□□□□□听」弘文」

453 不能聽」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理·治要」①□□□□□□□□□□听」弘文」

454 無聲之」活II·書陵·無窮·弘文·東急·宋版·世德·道藏·天理」①无□□□□□□□□□□陽I·龍門·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·敦I」②□□□□□□□□□□治要」

455 聲也」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I」②□□□□□□□□□□宋版·世德·敦I·道藏·天理」②也」治要」

經456 令人口爽」活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽

II·宋版·世德·敦I·道藏·天理·治要」②□□□□—弘文」
注457爽妄也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理·
治要」①□□□□—宋版·世德·敦I·道藏」

9 92注458人嗜於五味—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東洋·東急·斯I·敦I·
天理·治要」①□□□□—東大」②□□□□—宋版·世德·
道藏」

道藏」

459 ■則口妄—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
天理·治要」①□□□□—亡—敦I」③於□□□□—宋版·世德」③

■□□□—亡—道藏」

注460言失於道—也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
天理」②□□□□—味□□□□—宋版·世德」②□□□□—敦I·治要」
⑥□□□□—味□□□□—道藏」

9 93注461精神散亡—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·梅
沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世
德·敦I·道藏·治要·天理」①□□□□—已—足利」

462故發狂也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋
版·世德·道藏·天理·治要」②□□□□—敦I」

注463難得之貨謂—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·
世德·敦I·天理·治要」①□□□□—東急」③□□□□—道
藏」

9 74

464心貪意—欲—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·
世德·敦I·道藏·天理·治要」②□□□□—玉心□□—足利」

465不知厭足—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋
版·世德·敦I·道藏·天理」③□□□□—治要」

466身辱也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世
德·道藏·天理·治要」②□□□□—矣—東急」②□□□□—敦I」

9 95注468養神明也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·敦I·
天理·治要」①□□□□—腸—筑波·斯II·斯I」

德·敦I·道藏·天理」①□□□□—腸—筑波·斯II·斯I」

9 96注469不妄視—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理」③□□□□—妄視
—弘文·慶II·東大·宋版·世德·敦I」⑤□□□□—妄視則—道藏」

470泄精於外—也—活II·陽I·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·大東·慶I·
斯I·天理」①洩□□□□—筑波·梅沢」②□□□□—宋版·
世德·敦I·道藏」②□□□□—者□□□□—書陵·龍門·慶II·武内·東
大·東洋」②□□□□—之□□□□—東急」

9 96經471去彼取—此—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
六地·陽II·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□—取□□—敦I」

注472腹之養性也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·天理」①腸□
□□□□—東洋·斯I」②□□□□—宋版·世德·敦I」④□□□□
神—道藏」

9 97 473厭耻—第十三—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·天理」
②□□□□—武内·東大·東洋」③龍辱章□□□□—筑波·弘文·
慶I·大東·慶II」③□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯
II·東急·六地·陽II·敦I」

10 11注474身龍亦驚—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅

9 77

473厭耻—第十三—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·天理」
②□□□□—武内·東大·東洋」③龍辱章□□□□—筑波·弘文·
慶I·大東·慶II」③□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯
II·東急·六地·陽II·敦I」

10 11注474身龍亦驚—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏・天理」①□□安□□—弘文」

475 身辱亦驚也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ」②□□□□□□—筑波・斯Ⅱ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏・天理・弘文？」

10 42 注476 故皆驚也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理・弘文？」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

注477 問何謂寵—活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・敦Ⅰ・天理」①□□□□□□—寵—陽Ⅰ」②□□□□為□□□—宋版・世德」②□□□□之□□—道藏」

478 何謂辱—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」②□□為□□—斯Ⅰ・宋版・世德」②□□□□之□□—道藏」

479 寵者尊榮—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ・天理」④□□□□也—道藏」

480 辱者耻及身—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」②□□□□之□□—弘文」②□□□□辱□□—斯Ⅰ・宋版・世德」④□□□□辱也—道藏」

10 43 481 以曉人也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・天理」①□□□□—筑波」②□□□□□□—斯Ⅰ・敦Ⅰ」④為□□於□□—道藏」

經482 寵為上—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・天理」③□□□□—陽Ⅱ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

注483 寵為尊榮也—活Ⅱ・筑波・弘文・天理」②□□□□□□—陽Ⅰ・書陵・

龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ」③□□□□□□—敦Ⅰ・宋版・世德・道藏」

注484 辱為下賤也—活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・天理」②□□□□□□—梅沢」②□□□□□□—陽Ⅰ・東洋・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

10 44 注485 得寵榮驚者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・敦Ⅰ・世德・天理」②□□□□者驚—道藏」

486 如臨危也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・道藏・天理」②□□□□—武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ」②□□□□深□□—宋版・世德」

487 富不敢奢也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②□□□□者—梅沢」②□□□□者—武内」②□□□□□□—慶Ⅰ・大東」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

10 45 注488 失寵處辱也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・敦Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②□□□□—武内・東大・東洋・東急・道藏」

489 恐禍重來也—活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②敢□□□□—梅沢」②□□□□—書陵・武内・東大・東洋・敦Ⅰ・道藏」

注490 得之而驚—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」②□□□□—弘文」②□□□□—斯Ⅰ」②□□□□若□□—宋版・世德・道藏」

10 46 491 失之而—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」②□□□□—無窮・斯Ⅰ」②□□□□若—宋版・世德・道藏」

492 驚也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□者—無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大

東」②□□■斯I·宋版·世德·敦I·道藏」

注493何故畏大患至身也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·

弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·
天理」②□□□□□□□□□□■斯I·敦I」④□□□□□□■人若■□■宋
版·世德」③□□□□□□■道藏」

經494吾所以有大患者一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·斯II·梅

沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·斯I·六地·陽II·宋版·世
德·敦I·道藏·天理」①五□□□□□□□□■筑波」②□□□□□□□□

■一東洋·東急」①■□□□□□■一弘文」

10 41注495坐吾有身一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·敦
I·天理」②為□□□□□□■宋版·世德·道藏」

496■憂其勤勞一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·東洋·東急·斯I·天理」③有身
□□□□□□■武内·東大·宋版·世德·敦I·道藏」

10 41 497從欲一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·東急·斯I·宋版·世德·敦I·天理」
①縱□□■武内·東大·東洋」②□□辱一道藏」

498遇禍患也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋
版·世德·天理」②□□□□□□■敦I·道藏」

經499及吾無身一活II·陽I·書陵·梅沢·慶II·武内·東洋·東急·斯

I·宋版·世德·道藏·天理」①□□无□□龍門·東大·六地·陽
II·敦I」②□□无吾□□■無窮·足利·筑波·斯II」③□□无吾□□■弘
文·慶I·大東」

500吾有何患乎一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
六地·陽II·敦I·天理」②□□□□□□■宋版·世德·道藏」

10 42注501吾無■身一活II·書陵·無窮·東急·道藏·天理·弘文？」①□□无

■□□陽I·龍門·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·

武内·東洋·斯I」②□□有□□■世德」③□□无有□□■東大·敦I·

宋版」

502體■道自然一活II·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·
慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·道藏·天理」②□□■□□□□□■
陽I·書陵·龍門」②□□通□□□□■斯II」②□□得□□□□■宋版·世
德·敦I」

503出入無間一活II·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·東急·世德·道

藏·天理」①□□无□□陽I·龍門·筑波·斯II·慶I·大東·慶
II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·敦I」

504當有何患也■一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·天理」②□□□□

□□之矣一梅沢」②□□□□□□■之也■一東急」②□□□□□□■斯
I」②□□□□□□■宋版·世德·敦I·道藏」

10 43經505為天下者一活II·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶

II·武内·東大·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世德·敦I·道
藏·天理」②□□□□□□■陽I·書陵·龍門·弘文·六地」

506則可以一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·六地·敦I·
道藏·天理」②□□□□□□■陽II·東急」②□□□□■宋版·世德」

507寄於天下矣一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東洋·東急·六地·陽II·
天理」②□□□□□□■一東大·宋版·世德·敦I·道藏」④□□□□□□■
■一斯I」

注508人君自費其身一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
天理」②□□故□□□□■敦I」②□□□□□□■宋版·世德·道藏」

10 44 509欲為天下■主一活II·陽I·東急·天理」②□□□□□□■者一書

陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶
II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·敦I」④□□□□□□■之
者一道藏」

510 則可寄立一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·敦Ⅰ·天理」②□□□□□□□□□□梅沢」②□□□□□□□□□□止道藏」

511 不可以久也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·武內·東大·東洋·東急·

斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□□□□□敦Ⅰ·天理」②□□□□□□□□□□長□□□□□□

無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ」④□□□□□□□□□□道藏」

■託□□道藏」

經512 愛以身一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·梅沢·慶Ⅱ·武內·東

大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理」②

□身□□□□足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東」③□身■□□□□□□□□□□敦

Ⅰ

513 為天下者一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·

慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·

天理」②■□□□□□□□□□□陽Ⅰ」②以□□□□□□□□□□足利·斯Ⅱ·梅沢·陽

Ⅱ·敦Ⅰ」

514 乃可以託於天下矣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·陽Ⅱ·

斯Ⅰ·六地·天理」②□□□□□□□□□□東急」②□□□□□□□□□□

■宋版·世德·敦Ⅰ·道藏」

10 95 注515 人能愛其身一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅰ·道藏·天理」③□□□□□□□□□□弘文」

516 非為已也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏·天理」②□□□□□□□□□□敦Ⅰ」

517 以此德一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·道藏·天理」

②□□□□得一斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ」

518 為天下主者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·敦Ⅰ·天理」③□□□□□□□□□□道藏」

519 乃可以託其身一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅰ·天理」②□□□□□□□□□□慶Ⅱ」②□□□□□□□□□□道藏」

520 於萬民之上活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·敦Ⅰ·天理」④□□□□□□□□□□道藏」

521 長無咎也一活Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·世德·道

藏·天理」①□□□□□□□□□□陽Ⅰ·龍門·筑波·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武

內·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版」②□□□□□□□□□□書陵」③□□□□□□□□□□敦

Ⅰ

10 97 522 贊玄第十四活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·

天理」②□□□□□□□□□□武內·東大·東洋」③視之不見章□□

□□筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ」③■□□□□□□□□□□書陵·

龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·陽Ⅱ·敦Ⅰ」

11 11 注523 無色曰夷一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·梅沢·慶Ⅱ·東

急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」①无□□□□□□□□□□陽Ⅰ·筑波·斯

Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·敦Ⅰ」

524 言一無一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·

東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□□□□□□□陽Ⅰ·筑波·慶

Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·敦Ⅰ」

525 彩色一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·弘文·慶Ⅱ·道藏·天理」①綵□□

無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·斯Ⅰ」

①采□□梅沢·東急·宋版·世德·敦Ⅰ」

526 不可得視而見之也一活Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·

武內·東大·東洋·天理」②□□□□□□□□□□陽Ⅰ·書陵·龍門·

筑波·梅沢·慶Ⅱ·東急」②□□□□□□□□□□斯Ⅰ·宋版·世德·

敦Ⅰ」④□□□□而視■□矣一道藏」

11 12 注527 無聲曰希一活Ⅱ·書陵·龍門·梅沢·慶Ⅱ·東急·宋版·世德·道

藏·天理」①无□□□□□□□□□□陽Ⅰ·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ」②

□音□□—無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ③无音□□—慶Ⅰ·大東

528 言一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理②■□—弘文

529 無音聲一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·道藏·天理①无□□—陽Ⅰ·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ

530 不可得聽而聞之也一活Ⅱ·無窮·天理②□□□□□□□□—陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急②□□□□□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德②□□□□□□□□—敦Ⅰ③□□□□□□□□—弘文④□□□□□□□□—矣—道藏

11 13 經 531 名曰微一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理①□□□□—微—東急

注 532 無形曰微一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理①无□□□□—陽Ⅰ·筑波·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ①□□□□—微—東急

533 言一無形體一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·宋版·世德·天理①□□□□—陽Ⅰ·筑波·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ②□□□□—道藏

534 搏持而得之也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·東洋·天理②□□□□也—武内②□□□□—東急②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏

11 14 經 535 不可致詰一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理①□□□□—詰—無窮·足利

注 536 謂夷希微也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理①□□□□—微□□—東急②□□希夷□□—足利②■□□□—道藏

537 不可致詰者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理①□□□□—詰□□—無窮·足利

538 夫無色一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東急·宋版·世德·天理①□□□□—陽Ⅰ·足利·筑波·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ②■□□□—道藏

539 無音聲一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·道藏·天理①无□□—陽Ⅰ·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ

540 無形一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·道藏·天理①无□□—陽Ⅰ·足利·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ

11 15 注 541 當受之以靜一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□愛□□—筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·武内·東急②■□□□—道藏

542 強詰一活Ⅱ·陽Ⅰ·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·天理①□□—詰—無窮·足利①彊□□—書陵·龍門·梅沢·慶Ⅱ②■□□□—道藏

543 問而得之也一活Ⅱ·無窮·東急·斯Ⅰ·宋版·世德②□□□□—慶Ⅱ·天理②□□□□—陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋②□□□□—敦Ⅰ②□□□□—能□□□□—道藏

11 16 注 544 於三—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□—者—弘文②□□□□—而□□□□—無窮③■□□□—道藏

545 名之而一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德」②□□□□—敦Ⅰ・天理」②□□合□—道藏」

注546爲一也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・天理」②□□□□—慶Ⅰ・大東」②□□□□也—梅沢」②□□□□—武内・東大・東洋・敦Ⅰ・宋版・世德・道藏」

經547其上不噉—活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理」①□□□□噉—書陵・龍門・無窮・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」①□□□□噉—足利」

注548不噉噉—活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ・宋版・世德・天理」①□□噉□—書陵・龍門・無窮・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・敦Ⅰ」①□□噉□—足利」①□□噉□—道藏」

549光明—也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□□□—梅沢」②□□□□—斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ」④□□□□上下無窮極□□—道藏」

1171注550不味味有—所闇冥也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②□□□□□□□□—真□□—足利・慶Ⅰ・大東」②□□□□□□□□—宋版・世德」③□□□□□□□□—敦Ⅰ」③□□□□□□□□—道藏」④味々不□□□□□□□□—弘文」

經551繩繩—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・天理」②□□□□—無窮・筑波・武内・敦Ⅰ・道藏」

注552無窮極也—活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東急・宋版・世德・道藏・天理」①无□□□□—陽Ⅰ・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ」④无龍□□—敦Ⅰ」

1171 553一非色也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」①□□□□—危□□—慶

Ⅱ」①□□□□—大東」②□□□□—弘文」②非□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

注554不可以青黃赤白黑別—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・天理」②□□□□□□□□—梅沢」②□□□□□□□□—東急・宋版・世德」②□□□□□□□□—敦Ⅰ」②□□□□□□□□—道藏」

555一非聲也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②非□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

注556不可以宮商角徵羽聽—活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ・天理」①□□□□□□□□—微□□□□—書陵・慶Ⅰ」①□□□□□□□□—听—弘文」②□□□□□□□□—道藏」

557一非形也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②非□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

1172 558不可以長短大小度—也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」①□□□□□□□□—少□□□□—弘文」②□□□□□□□□—斯Ⅰ・宋版・世德」②□□□□□□□□—敦Ⅰ」②□□□□□□□□—大小□□□□—道藏」

經559復歸—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」①□□—敦Ⅰ・筑波・慶Ⅱ・天理」

注560於無物—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理」①无□□—慶Ⅰ・大東・東大・六地・敦Ⅰ」

1172 561復當歸—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・梅沢・慶Ⅰ・大東・東急・宋版・世德・敦Ⅰ」①□□—敦Ⅰ・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶

II・武内・東大・東洋・斯I・天理②物□□□—道藏

562 於無質也—活II・無窮・足利・弘文・斯II①□□□—筑波・慶

I・大東②□□實□—天理②□□□□—書陵・龍門・梅沢・慶

II・東急・斯I・宋版・世徳③□□□□—陽I・東大・東洋・敦

I④无於□□—武内④以□□□—道藏

1173 經563是謂—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東洋・東急・斯I・六地・陽II・

宋版・世徳・敦I・道藏・天理②□□以□□—東大

564 無狀之狀—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅

沢・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道藏・天

理①无□□□—慶I・大東・六地・陽II・敦I①□□將□□—筑

波

注565一無形狀—活II・書陵・龍門・無窮・梅沢・東急・斯I・宋版・世

徳・道藏・天理①□□无□□—陽I・足利・筑波・斯II・慶I・大

東・慶II・武内・東大・東洋・敦I②□□□□質—弘文

566 作形狀也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世

徳・天理②形狀作□—弘文②□□□□—敦I・道藏

567 無物之象—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東洋・東急・斯I・陽II・宋

版・世徳・道藏・天理①无□□□—東大・六地・敦I

1174 注568言一無物質—活II・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・東急・天理

①□□无□□—陽I・足利・筑波・斯II・慶I・大東・慶II・武内・

東大・東洋・敦I・斯I②□□□□□—宋版・世徳・道藏

569 而能爲萬物—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・

天理②□□□□□—宋版・世徳・敦I・道藏

570 設形象也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理②□□□□□—敦I・道藏

經571是謂忽怳—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶II・武内・東洋・東急・斯I・六地・陽II・道藏・天理・弘

文①□□□□恍—東大・敦I①□□□□愧—慶I・大東③□□爲

□恍—宋版・世徳

注572言—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・敦I・

道藏・天理②□□□—宋版・世徳

573 忽怳恍—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶II・武内・東洋・東急・道藏・天理①□□恍々■

東大・敦I①□□愧々■—慶I・大東②□□□□者—斯I③

□□恍恍者—宋版・世徳

574 若存若亡—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・敦I・道

藏・天理①□□□□已—足利(右旁に見消ち、眉上に「亡」字を加

筆)②□□有□□—慶II

575 不可見也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理

②□□□□■—敦I②□□□□之□—斯I・宋版・世徳④□

□得□□■—道藏

1175 經576隨之不見其後—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・六地・

陽II・敦I・天理④迎□□□□首—斯I・宋版・世徳・道藏

注577言一無影迹—活II・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・慶II・東急・

宋版・天理①□□无□□—陽I・足利・斯II・慶I・大東・武内・

東大・東洋・斯I・敦I①□□□□跡—道藏①□□□□形□—世

徳②□□无景□—筑波

578 不可得—活II・陽I・足利・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・斯I・

宋版・世徳・道藏・天理・弘文②■□□—書陵・龍門・無窮・

筑波・慶II・東大・東洋・東急・敦I

579 而隨也—活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・

慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·天理②□□
之「無窮」③□看■—宋版·世德·敦I③□見■—道藏」
經580迎之不見其首—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·六地·
陽II·敦I·天理④隨□□□□後—斯I·宋版·世德·道藏」

1176注581一無端—活II·書陵·龍門·無窮·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·
道藏·天理①□无□—陽I·足利·筑波·斯II·慶I·大東·慶
II·武內·東大·東洋·斯I③□端无—敦I」

582末不可—活II·斯I·宋版·世德·道藏·天理②□□□—陽I」
②□□—弘文·斯II·武內·東大③未■—書陵·龍門·無窮·
足利·筑波·梅沢·慶I·大東·慶II·東洋·東急·敦I」

583預待也—活II·陽I·東大·東洋·斯I·宋版·世德·道藏·天理」
①須□□—書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶
I·大東·慶II·武內·東急③須■—敦I」

584除情去欲—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世
德·道藏·天理②□□□—梅沢·敦I」

585一■自—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·
慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·斯I·東急·宋版·世德·
敦I·天理②□□□—無窮②■—道藏」

586歸已也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·
慶I·大東·東大①皈□□—弘文·慶II·武內·東洋·斯I·天
理②□□□—東急·敦I②□□之□—宋版·世德④□□之■—道
藏」

1177注587執守古道—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·
宋版·世德·敦I·天理④□□□之□—道藏」

588主—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·
慶I·慶II·東大·東洋·東急·斯I·天理②至□—筑波·大東·
武內②生□—宋版·世德·敦I·道藏」

589以御■物—活II·斯I·宋版·世德·天理②□□□—陽I·書
陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶
II·武內·東大·東洋·東急·敦I②□□萬□—道藏」

590知今之當有一也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯
II·慶I·大東·慶II·天理②□□□□□—筑波·梅沢·武
內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏④□□□□□
■—敦I」

經591能知古始—活II·陽I·天理②以□□□—書陵·龍門·無窮·足
利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東
洋·東急·斯I·六地·陽II·宋版·世德·敦I·道藏」

1211注592謂知道之綱紀也—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋②□□□□□□□□□
天理②□□□□□□□□□—宋版·世德②□□□□□□□□□—道
藏②□□□□□□□□□—無窮·梅沢·東急④□□□□□□□□□—
斯I④□□□□□□□□□—敦I」

1212 593顯德■第十五—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·
天理②□□□□□□□□□—武內·東大·東洋③古之善■章
□□□□—筑波·慶I·大東③古之善爲士章□□□—弘文·慶II—
③■—書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六
地·陽II·敦I」

1213注594謂得道之君也—活II·陽I·龍門·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·
宋版·世德·道藏·天理②□□□□□□□—敦I」

經595微妙玄通—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·大東·慶II·武內·東大·東洋·斯I·六地·陽II·宋
版·世德·敦I·道藏①微□□□□—東急①□妙□□—慶I」

注596志節微妙—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·大東·慶II·武內·東大·東洋·天理①□□微□—東
急①□□□□妙—慶I②□□□□—斯I·宋版·世德·敦I·道
藏」

12 4

597 精與天通也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理②□□□□□□―敦Ⅰ・道蔵

注 598 内視若盲―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世徳・敦Ⅰ・天理②□□□□□□―道蔵

599 反聽若聾―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道
蔵・天理①及□□□□―東大①□□□□―弘文①□□□□聲―敦
Ⅰ

12 5

600 莫知所長也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理①

②□□□□□□―斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵

注 601 謂下句也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世
徳・天理②□□□□□□―龍門・敦Ⅰ・道蔵

經 602 與兮―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・
慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世徳・天理②興

□―書陵・龍門・六地②豫□―東急・敦Ⅰ②与豫□―足利
(豫の右旁見消ち力)③屯豫□―道蔵

12 6

經 603 若冬涉川―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶

Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋
版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理①□□□□河―筑波・梅沢

注 604 與與兮―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・
武内・東大・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理②□□□□―弘文・東洋②

興興□―書陵・龍門②与々々―足利②豫豫□―敦Ⅰ・道蔵④
豫々―東急

605 若冬涉川―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理③□□人□□河―梅沢

12 7

606 心難之也―活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理②猶□□□―書陵・
無窮・斯Ⅰ・宋版・世徳②□□□□□□―東急②□□□□□□―敦
Ⅰ・道蔵

12 7 注 607 其進退―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・敦Ⅰ・天理②□□□□―道蔵

608 猶猶拘制―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・
慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・天理①□□□□抱―筑波・
慶Ⅱ①□□□□拍―斯Ⅱ②□□□□―斯Ⅰ・宋版・世徳・敦
Ⅰ②□□□□若□□―道蔵

609 若人犯法―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世
徳・敦Ⅰ・道蔵・天理②□□犯人□―弘文

610 畏四隣知之也―活Ⅱ・無窮・梅沢・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理①
②□□□□□□―陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大②□□□□□□―敦Ⅰ・東急③□□□□
己―筑波④□□鄰之知―道蔵

經 611 儼兮其如客―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・六地②□□□□若□―筑波・梅沢・武内・東大・
東洋・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理

注 612 若客因主人―活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・天理②如□□□□―書陵・梅沢・武内・東大・
東洋・東急・斯Ⅰ・敦Ⅰ④如□□畏□□―宋版・世徳④如□對□
□―道蔵

12 7 1
613 無所造作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理①无□□□□―陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋②□□□□―敦Ⅰ

經 614 氷之將釋―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・六地・陽Ⅱ・世徳・敦Ⅰ・天理①

12 7 1
613 無所造作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理①无□□□□―陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋②□□□□―敦Ⅰ

經 614 氷之將釋―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・六地・陽Ⅱ・世徳・敦Ⅰ・天理①

12 7 1
613 無所造作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理①无□□□□―陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋②□□□□―敦Ⅰ

經 614 氷之將釋―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・六地・陽Ⅱ・世徳・敦Ⅰ・天理①

12 7 1
613 無所造作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理①无□□□□―陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋②□□□□―敦Ⅰ

經 614 氷之將釋―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・六地・陽Ⅱ・世徳・敦Ⅰ・天理①

12 7 1
613 無所造作也―活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道蔵・天理①无□□□□―陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋②□□□□―敦Ⅰ

經 614 氷之將釋―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・六地・陽Ⅱ・世徳・敦Ⅰ・天理①

冰□□□—書陵·龍門·斯Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·道藏②□□□□—東洋

注615 渙者解散—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

釋者消亡—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

注617 除情去欲—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

12 72
618 日以空虛也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·道藏·天理②□□□□—梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ

經619 敦兮其若樸—活Ⅱ·陽Ⅰ·筑波·東急·陽Ⅱ·敦Ⅰ·道藏·天理①□□□□—朴—書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·六地·宋版·世德②□□□□—梅沢

注620 敦者質厚—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

621 樸者—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·東急·敦Ⅰ·道藏·天理①□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德

注622 形未分—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

注623 外無—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·弘文·梅沢·大東·東急·宋版·世德·道藏·天理①□□□□—陽Ⅰ·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅰ

624 彩文也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·天理①采□□□—東急②□□□—武内·東大·東洋③□□□—斯Ⅰ③文采□□—宋版·世德③采□□—敦Ⅰ④文彩—道藏

12 73 注625 寬大—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理②□□□□也—道藏

626 有德名功—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·敦Ⅰ·天理②□□□□功名—斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

627 無所—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·大東·東急·斯Ⅰ·世德·道藏·天理①无□□—陽Ⅰ·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·武内·東大·東洋·宋版·敦Ⅰ

628 不包客也—活Ⅱ①□□□□—陽Ⅰ·筑波·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·天理②□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東②□□□□—宋版·世德·道藏③□□□□—弘文④□□□□—東急·敦Ⅰ

12 74 注629 守本真—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·敦Ⅰ·天理②□□□□—宋版·世德②□□□□也—道藏

630 不照然也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·天理①□□□□—東急·道藏②□□□□—敦Ⅰ③□□□□—梅沢

631 不自尊也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·斯Ⅰ·天理②□□□□—東洋(左旁「尊」字加筆)②□□□□—東急·宋版·敦Ⅰ·道藏④□□□□—世德

632 —活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ

道藏·天理」①孰能—龍門·書陵」

經 633 孰能—活 II ·陽 I ·弘文·斯 II ·慶 II ·東大·斯 I ·宋版·世德·

道藏·天理」①敦□—足利」③■—書陵·龍門·無窮·筑波·梅

沢·慶 I ·大東·武内·東洋·東急·六地·陽 II ·敦 I 」

634 濁以■靜之—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·

六地·陽 II ·宋版·世德·敦 I ·天理」②□□止□□—道藏」

12 75 注 635 孰誰也—活 II ·宋版·世德·道藏·天理」③■—陽 I ·書陵·

龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·

武内·東大·東洋·斯 I ·東急·敦 I 」

636 誰能知—活 II ·宋版·世德·天理」①□□如—道藏」③■—陽

I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·梅沢·慶 I ·大

東·慶 II ·武内·東大·東洋·斯 I ·東急·敦 I 」

637 水之濁止—活 II ·斯 I ·宋版·世德·道藏·天理」②□□□—陽

I ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·慶

II ·武内·東大·東洋·東急」③□□□上—龍門」③■—敦

I 」

638 而靜之■—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·斯 II ·梅沢·慶

I ·大東·武内·東洋·東急·斯 I ·世德·道藏·天理」①□清□

■—東大」①□淨□■—宋版」②□□■—筑波·弘文」②□□□

久—慶 II 」③■—敦 I 」

639 徐徐■—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·

梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·宋版·

世德·天理」②□□■—敦 I 」②□□而—道藏」

640 自清也■—活 II ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯 II ·慶 I ·大

東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·宋版·世德·天理」②

□□□之—梅沢」②□□□之—無窮」②□□□—陽 I ·敦 I ·道

藏」

經 641 孰能安—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·

梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·六地·

陽 II ·宋版·世德·道藏·天理」②□□■—敦 I 」

12 76 642 以久■—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·梅沢·

慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·六地·天理」

②□□■—陽 II 」②□□動■—斯 II ·宋版·世德·敦 I ·道

藏」②□□動々□—弘文」

注 643 ■—活 II ·宋版·世德·道藏·天理」③孰誰也—陽 I ·書陵·

龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·

武内·東大·東洋·斯 I ·敦 I 」

644 誰能■安靜—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯 II ·

梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·宋版·

世德·敦 I ·道藏·天理」②□□々□—足利」

645 徐徐以長生也—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·宋版·

世德·道藏·天理」①□□□□—斯 I 」②□□□□—敦 I 」

經 646 ■不欲盈—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯 II ·梅

沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·六地·陽

II ·宋版·世德·敦 I ·道藏·天理」②動□□□—無窮」

12 77 注 647 保此徐生之道者—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯 II ·梅沢·慶 I ·大東·武内·東大·東洋·東急·敦 I ·天

理」②□□條□□□—慶 II 」②□□□□□—斯 I ·宋版·世

德」④□□長□□□—道藏」

648 不欲奢泰盈溢也—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·筑波·斯 II ·梅

沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·道藏·天理」②

□□□□滿□—弘文」②□□□□□—斯 I ·宋版·世德·敦

I 」③□□□□—足利」

經 649 弊不新成—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II ·梅沢·慶 I ·大東·慶 II ·武内·東大·東洋·東急·斯 I ·六

地·陽 II ·敦 I ·道藏·天理」①蔽□□□—宋版·世德」

13 卍注 650 不盈滿之人—活 II ·陽 I ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶 II ·東大·東洋·東急·斯 I ·宋版·世德·敦 I ·道藏·

天理 ② 溢 慶 I · 大東 · 武内 ② 清 斯 II

651 能守弊 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 天理 ① 蔽 宋版 · 世德 ② 弊守 敦 I

652 不為新成 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ① 不 足利 (不 字左旁に見消ち) ① 雜 敦 I

653 弊者 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 敦 I · 天理 ① 蔽 斯 I · 宋版 · 世德 ② 守 道藏

654 匿光榮也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ② 盈 道藏

655 新成者 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 武内 · 東大 · 東洋 · 東急

656 謂實功名者也 活 II · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 天理 ① 責 陽 I ② 敦 I ④ 道藏 ④ 宋版 · 世德

657 歸根 第十六 活 II · 陽 I · 梅沢 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ① 章 天理 ② 章 武内 · 東大 · 東洋 ③ 致虛極章 弘文 · 慶 I · 大東 ③ 至虛極章 慶 II ③ 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 東急 · 六地 · 陽 II · 敦 I

13 經 658 至虛極也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 天理 ② 梅沢 · 東急 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 敦 I ③ 致 道藏

注 659 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 天理 ③ 致至也 道藏

660 道人 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 敦 I · 道藏 · 天理 ④ 得 之 宋版 · 世德

661 損情去欲 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 慶 II · 天理 ① 捐 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ③ 能捐 敦 I

662 五内 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 天理 ② 藏 道藏

663 清靜 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東洋 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 淨 足利 · 梅沢 · 東大 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德

664 至於虛極也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 天理 ② 宋版 · 世德 ④ 敦 I

經 665 守靜篤也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 六地 · 天理 ② 斯 II · 梅沢 · 東急 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏

注 666 守清靜 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東洋 · 東急 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① 精 慶 II ② 淨 慶 I · 大東 · 東大 · 斯 I · 宋版 · 世德

667 行篤厚也 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 天理 ② 斯 II · 梅沢 · 慶 II · 東急 · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏

經 668 萬物並作 活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① 作 龍門 ② 煎

■筑波

注 669 並生也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏 天理 ② 之 梅沢

經 670 吾以 觀其復 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ

梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ 宋版 世德 敦Ⅰ 天理 ① 五 筑波 ② 是

道藏

13 注 671 吾以 觀見 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅

沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 天理 ② 五 視 筑波

672 無不皆 活Ⅱ 書陵 無窮 弘文 梅沢 東急 宋版 世德 道藏 天理 ① 无 陽Ⅰ 龍門 足利 筑波 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶

Ⅱ 武內 東大 東洋 斯Ⅰ 敦Ⅰ 歸復其本 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 足利 斯Ⅱ 慶Ⅰ 東急

① 皈 無窮 筑波 弘文 大東 慶Ⅱ 斯Ⅰ 天理 ② 復 歸 梅沢 武內 ② 復 東大 東洋 ② 敦Ⅰ

敦Ⅰ ③ 也 宋版 世德 道藏 念重 本也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 天理 ② 敦Ⅰ ⑥ 其 道藏

注 675 芸芸 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 敦Ⅰ 天理 ② 者 筑波 武內 東大 東

洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 道藏 華葉 盛也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東急 天理 ② 之 梅沢 ② 之 東洋 ② 斯Ⅰ 宋版

世德 敦Ⅰ ④ 花 茂 之貌 道藏 13 柀 經 677 復歸其根 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅

沢 慶Ⅰ 武內 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ 宋版 世德 敦

I 道藏 ① 皈 筑波 大東 慶Ⅱ 東大 天理

注 678 無不枯落 活Ⅱ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶

Ⅱ 東急 宋版 世德 道藏 天理 ① 无 陽Ⅰ 筑波 慶Ⅰ 大東 武內 東大 東洋 斯Ⅰ 敦Ⅰ

經 679 各復反其根 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 天理 ② 歸 慶Ⅰ 大東 ④ 反復 道藏

680 而更生也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 天理 ② 敦Ⅰ 道藏

經 681 歸根曰靜 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 武內 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏 ① 皈 大東 慶Ⅱ 東大 天理

13 注 682 不復死也 活Ⅱ 陽Ⅰ 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 斯Ⅰ 宋版 世德 天理 ② 之 梅沢

② 復不 武內 ② 東大 東洋 東急 ② 書陵 敦Ⅰ 道藏

經 683 靜曰復命 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ 道藏 天理 ③ 是謂 宋版 世德 敦Ⅰ

注 684 言 安靜者 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ

宋版 世德 天理 ① 玄 敦Ⅰ ② 能 道藏 為復還性命 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

13 柀 經 686 使不死也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 天理 ② 敦Ⅰ ③ 便 道藏

注 687 復命 使不死 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘

經 696 知常曰容一活II・東大・陽II・敦I・天理〔1〕□□□□日□□一陽I・書

藏) 窮・足利・筑波・弘文・斯II〔2〕□□□□一敦I〔4〕而□□□□一道

藏) 內・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・天理〔2〕□□□□者□□一無

窮・足利・筑波・弘文・斯II〔2〕□□□□一敦I〔4〕而□□□□一道

藏) 695 故凶也一活II・陽I・書陵・龍門・梅沢・慶I・大東・慶II・武

內・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・天理〔2〕□□□□者□□一無

窮・足利・筑波・弘文・斯II〔2〕□□□□一敦I〔4〕而□□□□一道

藏) 世德・敦I・天理〔2〕□□□□誰一慶II(眉上「詐」字を加筆)

②而□□□□一道藏) 694 妄作巧詐一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武內・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世德・敦I・天理〔2〕□□□□誰一慶II(眉上「詐」字を加筆)

②而□□□□一道藏) 699 道之所常行一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・東急・宋版・

世德・敦I・天理〔2〕□□□□誰一慶II(眉上「詐」字を加筆)

②而□□□□一道藏) 道藏・天理〔1〕忘□□□一慶I・大東〔2〕委□□□一宋版・世德

注 693 道之所常行一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・東急・道藏・天理

〔2〕□□□□者□□一東洋〔2〕□□□□一斯I・宋版・世德・敦I

經 692 妄作凶一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶II・武內・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・敦I・

道藏・天理〔1〕忘□□□一慶I・大東〔2〕委□□□一宋版・世德

注 690 知道之所常行一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘

文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・東急・斯

I・宋版・世德・敦I・天理〔2〕□□□□者□□一道藏

691 則爲明也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・東急・道藏・天理

〔2〕□□□□者□□一東洋〔2〕□□□□一斯I・宋版・世德・敦I

經 699 無一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・東急・道藏

〔2〕□□□□者□□一東洋〔2〕□□□□一斯I・宋版・世德・敦I

688 此乃一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

慶I・大東・慶II・武內・東大・東洋・天理〔1〕是□□一梅沢・東

急〔2〕敦I・宋版・世德・道藏〔2〕是□□一斯I

689 道之所常行也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘

文・慶I・大東・武內・東大・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天

理〔1〕導□□□□一斯II〔2〕□□□□者□□一東洋〔2〕□□□□

□□□□一慶II〔2〕□□□□一梅沢・敦I

②无和—筑波

705 衆邪—活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·

東急·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·天理」②□□者—書陵·龍門·梅

沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ」

706 莫當也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·天理」②□□也矣—慶

Ⅰ·大東」②□□之□—東洋」②□□—宋版·世德·敦Ⅰ·道

藏

注707公正—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·

東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅰ·道藏·天理」①□政—無窮·

足利·弘文·斯Ⅱ」②□王—筑波

708 無私則—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·東急·斯Ⅰ·道藏·

天理」①无□—陽Ⅰ·龍門·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東

大·東洋·敦Ⅰ」②无和□—筑波」②□□—宋版·世德

709 可爲天下王—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·

敦Ⅰ·天理」②□以□□□—宋版·世德·道藏

13 75

710 形一—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·敦Ⅰ·天理」③□□而靜—道藏

711 湊已躬也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·筑波·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·

武内·東大·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」①□□身—無窮·

弘文·斯Ⅱ」②倭□身—足利」②□□—敦Ⅰ·道藏」②

注712能王—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

敦Ⅰ·道藏·天理」②□正—世德

713 則德合神明—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·天理」

②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ」②□□洽□□—道藏

714 與天通也—活Ⅱ·陽Ⅰ·天理」②乃□□□—書陵·龍門·無窮·

足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·

東洋·東急·斯Ⅰ」④乃□□□—敦Ⅰ」④乃□□□矣—道藏」⑥

乃□□子—宋版·世德

13 76 注715合同也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏·天理」②□□—敦Ⅰ

注716長久也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·天理」②□□也

之—梅沢」②□□之□—東洋」②□□—宋版·世德·敦Ⅰ·道

藏

經717没身—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅱ·武内·

東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏」①歿□—

無窮·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·陽Ⅱ·天理

13 77 注718能公能王—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·敦

Ⅰ·道藏·天理」②□□□天—宋版·世德

719 弘遠—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·

敦Ⅰ·道藏·天理」①引□—斯Ⅰ

720 無殃—活Ⅱ·書陵·足利·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·道藏·

天理」①无□—陽Ⅰ·龍門·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·

東洋·敦Ⅰ」①远□—筑波」①□歿—無窮」①□殆—斯Ⅰ

721 無咎—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·道藏·天理」①无□—陽Ⅰ·龍門·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·

慶Ⅱ·武内·東大·東洋·敦Ⅰ

722 乃與天地—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏·天理」③□□—敦Ⅰ

注723俱没—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ①□歿
無窮·慶Ⅰ·大東·天理②同□—道藏

注724 不危殆也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·天理②□□□□□□—敦Ⅰ②無□□□□—無窮②終□□
□□—道藏

725 文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯
Ⅰ·宋版·世德·天理③老子道經—敦Ⅰ③道德經註卷之

二—道藏

726 弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·
天理③河上公章句第二品—敦Ⅰ③河上公章句第二—斯Ⅰ·宋

14 版·世德③河上公章句—道藏

727 淳風第十七—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理

②□□章□□□—筑波·武內·東大·東洋③太上章□□□—弘文·
慶Ⅰ·大東③太上章□□□—慶Ⅱ③□□□□□—書陵·龍門·
無窮·足利·斯Ⅱ·六地·陽Ⅱ·東急·敦Ⅰ

14 經 太上—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·

大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·
道藏·天理·治要①大□—龍門·梅沢·六地·陽Ⅱ

注729 太上—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
敦Ⅰ·道藏·天理·治要①大□—梅沢

730 上古—陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·天理①□□占—活Ⅱ②大

□□—東急②太□—斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·治要

731 無名之—書陵·足利·弘文·梅沢·東急·世德①無□□—陽
Ⅰ·龍門·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·宋版·治要②
□□號□—活Ⅱ·無窮·斯Ⅰ·道藏·天理③無□□—筑波·東

洋③無為□□—敦Ⅰ

732 君也—活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·天理①若□—陽Ⅰ②□□—敦Ⅰ·治要

733 下知—有之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·
道藏·天理·治要②□□上□□—無窮③□□□□—慶Ⅰ·大

東

734 不臣事之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·天理②

14 質朴淳也—活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·慶Ⅰ·
大東·慶Ⅱ·東大·東洋·天理·治要①□□利□□—斯Ⅱ②□□

□□□□—書陵·敦Ⅰ·道藏②□□□□也—東急②□□□□—
梅沢②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德③□□□□—武內

經736 親之譽之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·六地·陽

Ⅱ·宋版·世德·敦Ⅰ·天理·治要②□□□□—斯Ⅰ②□□而
□□—道藏

注737 恩惠可稱—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅
沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·敦Ⅰ·道藏·天理·治要②□□德□□—斯Ⅱ

738 而譽之也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶
Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·天理②□□□□—梅沢②□□□□—筑

14 波·武內·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅰ·道藏·治要

740 以治之也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東急·天理②□□□□—武內·東

大・東洋・斯I・宋版・世德・敦I・治要②

注741禁多令煩一活II・陽I・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・世德・敦

I・道藏・天理・治要①

742不可歸誠一活II・陽I・書陵・龍門・梅沢・東急・宋版・世德・敦

I・道藏・治要①

東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・天理①

〔識一字に見消ち〕

14 45 743故欺侮之也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・治要②

東洋

經744信不足焉一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽

II・宋版・世德・敦I・天理・治要②

道藏

注745君信不足於下也一活II・無窮・慶I・大東・東大・東洋・天理

②

慶II・武内・東急・斯I・敦I・道藏②

③

746

宋版・世德・天理・治要③則有巧詐民也一書陵・龍門・筑波・弘

文・斯II・慶II・武内・東急・斯I③則有巧詐民一東大・敦I

③下則欺詐於上一道藏

經747有不信焉一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・六地・陽

II・道藏・天理・治要②

③

注748

龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・

東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦I・道藏・治要

749下則應之一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・斯I・宋版・世

德・敦I・道藏・天理・治要②

14 46 750欺其君也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世德・天理・治要②

經751猶兮其實言一活II・陽I・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・

慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・

世德・敦I・道藏・天理②

注752太上之君一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・敦

I・天理①

道藏

753猶猶一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・道藏・

天理②

14 47 754失自然也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・道藏・天

理②

經755成功遂事一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・六地・陽

II・敦I・天理③功成事遂一斯I・宋版・世德・道藏

注756謂天下太平也一活II・陽I・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・

慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・天理

②

14 48 注757君上之德一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理②

758反以爲自當然也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

14 ㉞
弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・
天理」②□□□□只□□□□—宋版・世德」②□□□□□□□□—東
大」③乃□□□□□□□□—敦Ⅰ」⑥□□□□□□□□—道藏」

14 ㉟
759 俗薄■第十八—活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・天
理」②□□□□章□□□□—筑波・武内・東大・東洋」③大道■章□□
□—慶Ⅰ・大東」③大道廢章□□□□—弘文・慶Ⅱ」③■
■—書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・東急」

14 ㊱
760 大道廢焉—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六
地・陽Ⅱ・天理」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」
注761 家■有孝子—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世德・敦Ⅰ・道藏・天理」①□□□□□□—無窮」

762 戸有忠信—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世德・敦Ⅰ」②□□□□□□—臣—天理」②國□□□□—道藏」
763 仁義不見也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②□□□□□□—
筑波・武内・東大・東洋・敦Ⅰ・東急」④□□□□□□—道藏」

764 大道廢■—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」
③□□□□不用■—斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅰ」③□□□□不用而—道藏」
14 ㊲
765 有仁義—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・
敦Ⅰ・道藏・天理」①在□□□□—無窮」

766 可傳道也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」①
□□得□□□—弘文」②□□□□□□—耳—敦Ⅰ」②□□□□□□—宋版・世德・道
藏」

14 ㊳
經767 智惠出焉—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六
地・陽Ⅱ・天理」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

14 ㊴
768 賤德而貴言—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世德・敦Ⅰ・天理」②□□□□□□—道藏」
14 ㊵
769 賤質而貴文—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦Ⅰ・東急・
斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②□□□□□□—道藏」

14 ㊶
770 爲大偽奸詐也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
天理」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ」④■□□□□□—道藏」

14 ㊷
經771 六親不和焉—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・六地・天理」②□□□□□□—知□□—弘文・
東洋」②□□□□□□—梅沢・東急・敦Ⅰ・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・
道藏」

14 ㊸
772 六紀廢絕—活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶
Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」①□□□□—紀—斯Ⅰ」②
□□親□□—書陵・梅沢」②□□□□□□—東急・敦Ⅰ」④□□絕□□—宋
版」④□□親■□□—世德・道藏」

773 相収■養也—活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
大東・慶Ⅰ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②□□牧■□□—東大・
宋版・世德」②□□□□□□—之—書陵」②□□□□□□—敦Ⅰ」②□□救
□□—慶Ⅱ」②□□救□□□—筑波」④□□牧■□□—道藏」

14 ㊹
經774 國家昏亂焉—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・天理」②□□
□□□□—梅沢・東急・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」
注775 政令不行—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世德・道藏・天理」①正□□□□—敦Ⅰ」

14 ㊺
注776 邪僻爭權—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六
地・陽Ⅱ・天理」②□□□□□□—宋版・世德・敦Ⅰ・道藏」

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·敦
I·天理」①□□□□縱一慶II」①□□辟□□一世德·道藏」

777 忠臣一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·
慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·
天理」②□□信一筑波·慶I·大東」

778 匡救其君一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·敦I·
天理」②□□□□也一斯I·道藏」④□□正□□也一宋版·世德」

779 此言一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·
慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·
敦I·道藏·天理」②□□一弘文」

780 天下太平一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世
德·敦I·道藏·天理」①□□大□□一東急」

注781人盡無欲一活II·書陵·無窮·梅沢·東急·斯I·宋版·道藏·天
理·弘文？」①□□无□□一陽I·龍門·足利·筑波·斯II·慶I·
大東·慶II·武内·東大·東洋·敦I」②義□□□一世德」

782 各自潔己一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·敦
I·天理」②□□□□一宋版·世德·道藏」

783 大道之世一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·天理」
②故□□□□一道藏」②□□□□君一斯I·敦I」②□□□□
君一宋版·世德」

784 仁義沒孝慈滅一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·
宋版·世德·敦I·天理」③孝慈滅仁義沒一道藏」

785 日中盛明一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·斯I·敦I·
天理」②□□□□時一宋版·世德」②□□月□□一道藏」②□□□□

□而一東洋」
786 失光者也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
慶I·大東·武内·斯I·天理」②□□□□一東大·東洋·東急」
②□□□□矣一斯II·梅沢·慶II」②□□□□一宋版·世德·敦
I·道藏」

787 還淳一活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏·
天理」②□□□□章□□□一筑波·武内·東大·東洋」③絕聖
章□□□一慶I·大東」③絕聖棄智章□□□一弘文·慶II」③
□□□□一書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六地·陽II·
敦I」

15 村注
788 反初一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·
慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦I·
道藏·天理」②復□□一筑波·慶II」

789 守無一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·
敦I·道藏·天理」①□□无一陽I」②□□元一活II·書陵·龍門·無窮·足利·
筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·
東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏·天理」

790 五帝一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·
慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·敦I·
道藏·天理」②□□章一筑波」②□□常□□一東急(右旁見消力)」
無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·
東大·東洋·敦I」②垂□□一宋版·世德」

791 畫象一活II·陽I·東急·斯I·道藏·天理」①□□像一書陵·龍門·
無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·
東大·東洋·敦I」②倉□□一梅沢·武内·
慶I·大東·慶II·斯I·宋版·世德·天理」①倉□□一梅沢·武内·
東大·東洋·東急·敦I·道藏」

792 蒼頡一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
慶I·大東·慶II·斯I·宋版·世德·天理」①倉□□一梅沢·武内·
東大·東洋·東急·敦I·道藏」

793 作書一活II·陽I·書陵·龍門·筑波·梅沢·慶II·武内·東大·東洋·
東急·斯I·宋版·世德·敦I·道藏」②造□□一活II·無窮·足利·
弘文·斯II·慶I·大東·天理」

794 無文一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·弘文·斯II·斯I·天理」
①无□□□□一陽I·足利·筑波·慶I·大東·慶II·武内·東大·

東洋」②□□者■□—梅沢」②□□■□—東急・宋版・世徳」③

无□■□—敦I」④□□而治□—道蔵」

經795棄智—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・六地・陽II・

宋版・世徳・敦I・道蔵・天理」①弃知—東急」

154注796反■無爲也■—活II・書陵・無窮・筑波・弘文・梅沢・斯I・天理」

①□□无□□□—陽I・龍門・足利・斯II・慶I・大東・慶II・武

内・東大」②□□■□—東急・世徳・道蔵」③□□无□□矣—

東洋」③□□无□□■—宋版」④□□不无□□■—敦I」

經797民利百倍—活II・陽I・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋

版・世徳・敦I・道蔵・天理」①昏□□□—六地」①□□□陪—書

陵」

注798無私■也—活II・書陵・無窮・弘文・東急・斯I・天理」①无□■

□—陽I・龍門・足利・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大」②

无和■□—筑波」②□□也之—梅沢」②□□■—宋版・世徳・道

蔵」③无□■—敦I」③无□者—東洋」

154注799絶仁之■—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道

蔵・天理」①□□□之—敦I」②□□■—慶I・大東」

800見恩惠也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・天理」②□□□

■—東急・斯I・宋版・世徳・敦I」③□□■—道蔵」

801尚華言也■—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理」

②□□□□之—梅沢」②□□□■—敦I」④□□信■—宋版・

世徳」④□□□■—道蔵」

注802德化淳也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理」②□□□■—敦I」②□□□純□—道蔵」

注803絶巧■詐偽亂真也—陽I・龍門・足利・弘文・斯II・慶II・東急」

②□□言□□□□—活II・書陵・無窮・筑波・梅沢・慶I・大東・

武内・東大・東洋・天理」②□□□□—敦I」④□□者□

□□□—道蔵」④□□□□—治要」④□□□□—

斯I・宋版・世徳」

1546注804■—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・

筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・

東急・敦I・道蔵・天理・治要」③絶巧者詐偽亂真也棄利者—斯I・

宋版・世徳」

805塞貧路—活II」①□貪□—陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・

斯I・宋版・世徳・敦I・道蔵・天理・治要」

806閉權門也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳・

天理」②□□□之—梅沢」②□□□■—東急・敦I・道蔵」③

■—治要」

經807盜賊無有—活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶II・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理」①

□□无□—龍門・慶I・大東・武内・東大・六地・敦I・治要」

注808上化公正—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・敦

I・道蔵・天理・治要」①□□□政—宋版・世徳」

809■—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・

東急・斯I・敦I・天理・治要」②■—下—筑波・慶I・大東・慶II・

武内・東大・宋版・世徳・道蔵」③而下—東洋」

810無邪私也—活II・書陵・足利・弘文・梅沢・東急・天理・治要」①

无□□□—陽I・龍門・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東

洋」②无□和□—筑波」②□□耶□—無窮」②□□□—斯I・宋

版・世徳」③无耶□—敦I」④□□私邪■—道蔵」

1547注811所絶棄也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・天理①□□奇
□―東急②□棄絶□―斯I・宋版・世徳②□□□□―敦I④
□私弃―道蔵

注812以爲文不足者―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・
宋版・世徳・敦I・道蔵・天理③□□□□―治要

813不足以教民也―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・
天理・治要②□□□□□□―宋版・世徳・敦I④□□□□化□□―
道蔵

15引注814當如下句也―活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・
慶II・天理②□□□□□□―無窮・梅沢・慶I・大東・武内・東大・
東洋・東急・斯I・宋版・世徳・敦I・道蔵

經815見素抱朴―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・六地・宋版・世
徳・天理①□□□□梅沢・東急・陽II・敦I・道蔵・治要

注816見素者當―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋
版・世徳・道蔵・天理②□□□□―敦I③□□□□―治要

817見素―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・慶I・大東・慶II・東急・斯I・敦I・天理②抱□―武内・
東大・東洋・宋版・世徳・道蔵・治要

818守眞―活II・陽I・書陵・龍門・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・
大東・東大・東急・斯I・宋版・世徳・敦I・道蔵・治要②□頁―
無窮・筑波・慶II・武内・東洋・天理

15 72
819抱朴―者―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・慶I・大東・武内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳・天理①
□樸□□―梅沢・東急・敦I・道蔵②□□則□―慶II③□□□□
―治要

820當見―陽I・書陵・龍門・宋版・世徳・道蔵②抱―活II・無窮・

足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・
東洋・東急・斯I・敦I・天理②見―治要

821其質朴―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・道蔵・治要①□□
樸―梅沢・東急・敦I・天理②□篇□―宋版・世徳

822以示―下―活II・陽I・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶
I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・敦
I・天理②□□天□―書陵・梅沢・道蔵③□□□□―治要

823法則也―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・大東・慶II・東大・東急・天理②□□□□―慶I・
武内・東洋④□□可□□―道蔵④故可□□―宋版・世徳・敦
I④故下□□―斯I④□□□□―治要

經824少私―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・六地・陽II・宋版・
世徳・敦I・道蔵・天理・治要①小□―梅沢・斯I

注825正無私也―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶
II・東急・天理①□□無□□―龍門・慶I・大東・武内・東大・東
洋②□□无和□―筑波③□□无□□―敦I③□□□□―斯I・宋
版・世徳・道蔵・治要

注826波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東
急・斯I・敦I・天理・治要③少私者正無私也寡欲者―宋版・世
徳・道蔵

827當知足也―活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋
版・世徳・道蔵・天理①□□□□―敦I③□□□□―治要

15 73
828異俗―第二十一―活II・陽I・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理
□□□□□□甘―梅沢②□□□□章□□□―武内・東大・東洋
②□偽□章□甘―筑波③絕学□章□□□―慶I・大東③絕
学無愛章□□―弘文・慶II③□□□□―書陵・龍門・

無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ

15 74 注 829 絕學不眞 不合道文也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑

波 弘文 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東急 天理 ②

□□□□而□□□□—東洋 ② □□□□□□□□—梅沢 斯

Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏

經 830 無憂 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢

慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 陽Ⅱ 宋版

世德 道藏 天理 ① 无□□—龍門 六地 敦Ⅰ

注 831 除浮華 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 斯Ⅱ 梅沢

慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德

敦Ⅰ 道藏 天理 ② □花浮—弘文

832 無憂患也 活Ⅱ 書陵 無窮 弘文 梅沢 東急 宋版 世德 天

理 ① 无□□□—陽Ⅰ 龍門 筑波 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武

內 東大 東洋 斯Ⅰ ② □□□□—足利 ② □□□□—道藏 ③

无□□□—敦Ⅰ

經 833 唯之與阿 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 弘文 慶Ⅰ 大東 慶

Ⅱ 武內 東大 宋版 世德 道藏 天理 敦Ⅰ 梅沢 ② □□

□何—足利 筑波 斯Ⅱ 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ

15 75 注 834 而相去 活Ⅱ 陽Ⅰ 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅

沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世

德 敦Ⅰ 道藏 天理 ② 化□□□—書陵

835 疾時 賤質 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版

世德 敦Ⅰ 天理 ① □□□□—賊□—慶Ⅱ ② □□君□□—道藏

836 而貴文也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 天理 ② □□

□之□—梅沢 ② □□□□—斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏

15 76 注 837 善者稱譽 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 敦

Ⅰ 道藏 天理 ② □□和□—宋版 世德

838 諫諍也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ

梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 天理 ② □□□□—武內 東大 東急 斯

Ⅰ 敦Ⅰ ③ □靜—東洋 ③ □爭—宋版 世德 道藏

839 時 惡忠直 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文

斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ

宋版 世德 敦Ⅰ 天理 ② □君□□—道藏

840 用佞邪也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ

梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 天理 ② □□

□者□—筑波 ② □□□□—敦Ⅰ ② □邪佞—宋版 世德

④ □邪佞—斯Ⅰ 道藏

15 77 注 841 謂道人也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 宋版 世

德 道藏 天理 ② □□□□—斯Ⅰ 敦Ⅰ

842 人之所畏者 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 斯Ⅱ

慶Ⅰ 大東 武內 東大 東洋 天理 ② □□□□—弘文 慶Ⅱ

② □□□□—梅沢 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏

843 畏不絕學之君也 活Ⅱ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋

版 世德 天理 ① □□□□□□—陽Ⅰ ② □□□□□□—敦

Ⅰ 道藏

注 844 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 敦

Ⅰ 道藏 天理 ③ 不可不畏 宋版 世德

845 近令色 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 慶Ⅰ

大東 慶Ⅱ 武內 東大 東洋 斯Ⅰ 宋版 世德 敦Ⅰ 道藏

天理 ① □合□—斯Ⅱ ① □□危—梅沢 東急

846 敘仁賢也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅰ ① 殺

□□□□—龍門 筑波 斯Ⅱ 大東 武內 東大 東洋 天理 ② 移

□□□□—無窮 ② □□□□—敦Ⅰ ③ 殺□□□□—慶Ⅱ 東急

宋版 世德 ③ 殺□□□□—梅沢 ③ 殺□□人—道藏

注 847 言一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ·

梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 或 □ □ □ □ 宋版 · 世德

848 世俗 人一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 敦 I · 天理 ② □ □ □ □ 之 □ □ □ □ 道藏

849 欲進學 文一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 敦 I · 天理 ② □ □ □ □ 爲 □ □ □ □ 宋版 · 世德 ② □ □ □ □ 邪 □ □ □ □ 道藏

850 未央止也 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 敦 I

16 12 注 851 熙熙 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② □ □ □ □ 多一無窮

852 多情欲也 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 一無窮 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 一東急 · 敦 I ③ 淫放 □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏

經 853 如享大牢 一活 II · 陽 I · 龍門 · 筑波 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 六地 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 東洋 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 ② 若 □ □ □ □ □ □ □ □ 梅沢 · 東急 · 陽 II

注 854 思大牢 一活 II · 陽 I · 龍門 · 筑波 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 敦 I · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏

855 具 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 I · 道藏 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 食一梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 食一武内 · 東大 · 東洋

856 意無足時也 一活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏

天理 · 弘文 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 龍門 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I

經 857 如春登臺 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 敦 I · 道藏 · 天理 ② 若 □ □ □ □ □ □ □ □ 梅沢 · 東急 · 陽 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ 登春 □ □ □ □ □ □ □ □ 世德

16 13 注 858 萬物感動 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 足利

859 志意淫淫也 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 梅沢 ④ 意志 □ □ □ □ □ □ □ □ 然 □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏

16 14 注 860 怡然安靜 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 道藏

861 未有情欲之形兆也 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 刑 □ □ □ □ □ □ □ □ 一東急 ⑥ 無 □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

經 862 如嬰兒之 一活 II · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 六地 · 道藏 · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 櫻 □ □ □ □ □ □ □ □ 一陽 I · 宋版 · 世德 ② 若 □ □ □ □ □ □ □ □ 斯 II · 梅沢 · 東急 · 陽 II ③ 若櫻 □ □ □ □ □ □ □ □ 一斯 I

863 未歎 一活 II · 陽 I · 天理 ① □ □ □ □ □ □ □ □ 咳一書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 六地 · 陽 II ① □ □ □ □ □ □ □ □ 孩一宋版 · 世德 · 道藏

16 15 注 864 未能答偶人之時也 一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 天理 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 者 □ □ □ □ □ □ □ □ 一東洋 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 一東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ④ □ □ □ □ □ □ □ □ 答 □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

世德 ④ □ □ □ □ □ □ □ □ 答 □ □ □ □ □ □ □ □ 一道藏

經 865 備備兮一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ·

梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 天理」②

866 其若一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ·

梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 六地 · 陽 II · 天理」②

867 無所歸一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東洋 ·

東急 · 宋版 · 世德 · 道藏」① 无 □ □ □ □ 足利 · 武内 · 東大 · 斯 I · 六地 · 陽 II」①

注 868 我獨備備一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」②

869 無所一活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理」① 无 □ □ □ □ 陽 I · 龍門 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I」

870 歸就也一活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 東急 · 道藏」① 皈 □ □ □ □ 龍門 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 天理」②

16 注 871 衆人餘財一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理」①

872 餘智一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理」① 余 □ □ □ □ 弘文」

873 以爲詐也一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 斯 I · 天理」②

經 874 我獨若遺一活 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」② 而 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 藏」

書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 道藏」

16 引 875 如遺棄一活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理」① 貴 □ □ □ □ 龍門」

876 以於不足也一活 II」② 似 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理」④ 似 □ □ □ □ □ □ □ □ 者一東洋」④ 似我 □ □ □ □ □ □ □ □ 足利」

經 877 愚人之心哉一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 六地 · 陽 II · 天理」②

16 引 878 沌沌兮一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 東洋 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 天理」①

879 無所分別也一活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 東急 · 天理」③ 我獨 □ □ □ □ □ □ □ □ 筑波 · 武内 · 東大」

經 880 俗人昭昭一活 II · 陽 I · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 天理」①

881 我獨若昏一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 東急 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理」②

16 注 882 如闇昧也一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理」①

經 883 俗人察察一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理」①

經 884 我獨若遺一活 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」② 而 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 藏」

885 以於不足也一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東洋 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏」④ 似 □ □ □ □ □ □ □ □ 者一東洋」④ 似我 □ □ □ □ □ □ □ □ 足利」

886 我獨若遺一活 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」② 而 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 藏」

887 以於不足也一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東洋 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏」④ 似 □ □ □ □ □ □ □ □ 者一東洋」④ 似我 □ □ □ □ □ □ □ □ 足利」

888 我獨若遺一活 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」② 而 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 藏」

889 以於不足也一活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東洋 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏」④ 似 □ □ □ □ □ □ □ □ 者一東洋」④ 似我 □ □ □ □ □ □ □ □ 足利」

890 我獨若遺一活 II · 東大 · 東洋 · 東急 · 天理」② 而 □ □ □ □ □ □ □ □ 陽 I · 藏」

II：梅沢・慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：六地・陽II：宋版・世徳・天理」②衆□□□□道藏」

注884 察察一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・斯I：宋版・世徳・天理」③■一東急・道藏」

885 急且疾也一活II：陽I：書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：宋版・世徳・道藏・天理」②□□是□□龍門」②□□□■一慶I：大東」

注886 悶悶一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・大東・慶I：慶II：武内・東大・東洋・斯I：宋版・世徳・道藏・天理」③■一東急」

887 無所割截也一活II：書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東急・天理」①无□□□□龍門・斯II：慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋」②□□□■一筑波・世徳」③无□□□■一陽I：斯I：宋版」④□□截割■一道藏」

16 73 經888 忽一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II：慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：六地・宋版・世徳・道藏・天理」①□々□一弘文」①□■乎一梅沢・陽II」

889 若海一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II：慶I：大東・慶II：東急・六地・陽II：宋版・世徳・道藏・天理」②其□□一筑波・梅沢・武内・東大・東洋・斯I」

注890 忽忽一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：宋版・世徳・天理」②□□兮一道藏」

891 如江海之流一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・弘文・慶I：大東・慶II：斯I：宋版・世徳・道藏・天理」①□□□□洗一斯II」②若□□□□一梅沢・武内・東急」④若海江□□一筑波・東大・東洋」

892 莫知其所窮極也一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・慶I：大東・武内・東大・東洋・東急・斯I：宋

版・世徳・天理」②□□□■□□□□一慶II」②□□□□□□■一道藏」

經893 漂兮一活II：筑波・武内・東大・東洋・宋版・世徳・道藏・天理」①澗□一陽I：書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II：梅沢・慶II：東急・斯I：六地・陽II」①澗□一慶I：大東」

894 若無所止一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯I：陽II：宋版・道藏・天理」①□□无□□一慶I：大東・慶II：六地」②□□■□□一東大」②□□■□一世徳」

16 74 注895 我獨漂漂一活II：筑波・武内・東大・東洋・宋版・世徳・道藏・天理」①□□澗々一陽I：書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II：梅沢・慶I：慶II：東急・斯I」①□□澗々一東大」

896 若飛一活II：無窮・足利・梅沢・大東・武内」①□□揚一陽I：書陵・龍門・筑波・弘文・斯II：慶I：慶II：東大・東洋・東急・斯I：天理」③□□若揚一宋版・世徳」③□□若揚一道藏」

897 無所止也一活II：書陵・足利・筑波・弘文・梅沢・慶II：宋版・世徳・道藏・天理」①无□□□一陽I：龍門・無窮・斯II：慶I：大東・武内・東大・東洋・斯I」②□□□■一東急」

898 在神域也一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・弘文・斯II：慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：宋版・世徳・天理」①□□城□一足利」②□□□■一筑波・梅沢・道藏」

注899 以有爲也一活II：陽I：書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II：梅沢・慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：宋版・世徳・道藏・天理」②□□似□□□一弘文」

16 75 經900 我獨頑一活II：陽I：書陵・龍門・六地・天理」②而□□一無窮・足利・筑波・弘文・斯II：梅沢・慶I：大東・慶II：武内・東大・東洋・東急・斯I：陽II：宋版・世徳・道藏」

注901 無爲也一活II：書陵・無窮・足利・筑波・弘文・東急・天理」①无□□■□一陽I：龍門・斯II：慶I：大東・慶II：武内・東大」②□□之□□一梅沢」②□□■□一宋版・世徳・道藏」③无□□■一斯

I ③无□也矣—東洋

注902 似鄙—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理

②鄙似—宋版·世德·道藏

903 若不逮也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·宋版·世德·道

藏·天理 ①□□建□—東急 ①□□遠□—斯I

16 96 注904 我獨—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·

世德·天理 ③□□—道藏

905 與人異也—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世

德·天理 ②□□□—道藏 ②□□□—龍門

注906 食用也—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅

慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·道藏·

天理 ②貧□□—無窮 ②□□□—東急

907 母道也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·

道藏·天理 ②□□□—東急

908 我獨—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·

世德·天理 ②唯□□—道藏

909 貴用道也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋

版·世德·天理 ②□□□—道藏

16 97 虛心 第二十一—活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏·天理

□□□—梅沢 ②□□□—章□□—武内·東大·

東洋 ③孔德—章□□□—慶I·大東 ③孔德—容章□□—

慶II ③孔德之—章□□□—弘文 ③孔德之容章□□□—筑波

③□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六

地·陽II

17 12 注911 大德之人—活II·陽I·書陵·龍門·筑波·梅沢·慶II·武内·

東大·東洋·東急·天理 ②有□□□—無窮·足利·弘文·斯II·

慶I·大東·斯I·宋版·世德·道藏

912 無所不容—書陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·大東·東急·宋

版·世德·道藏·天理 ①□□□客—活II ①无□□□—陽I·龍

門·筑波·慶I·慶II·武内·東大·東洋·斯I

913 處謙卑也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋

版·世德·天理 ④□□□—道藏

17 12 注914 大德之人—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·宋版·世

德·道藏·天理 ①太□□□—斯I

915 世俗—所行—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶I·大東·慶II·東急·斯I·宋版·世德·道藏 ②□□

之□□—武内·東大·東洋·天理 ②□□□—斯II

916 從於道也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·天理 ②□□□—矣—筑波

經917 道之—爲物—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·梅沢·慶I·大東·

慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II·宋版·世德·

道藏·天理 ②□□□—於□□—足利·筑波·弘文·斯II

918 唯悅唯忽—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世

德·道藏·天理 ①□□□—龍門·慶II·六地

17 13 注919 獨悅忽—活II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·

武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·天理 ②□□

□□—陽I·書陵 ②独恍急—慶II ③□□—龍門

920 往來於其—所—也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·

弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·天理

③□□□□無定□一世德③□□□□无定□宋版③□□□□中无定□慶Ⅱ③□□□□中无定□斯Ⅰ③□□□□而無定□道藏

經921 忽兮恍兮一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世

德·天理①□□恍□龍門·慶Ⅱ·六地③恍□忽□道藏

922 其中有象一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·六地·陽

Ⅱ·天理①□□像□斯Ⅰ·宋版·世德②□□物一道藏(下

句と位置転倒)

注923 道唯一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·天理②□獨□弘文

17 44 924 忽恍無形一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·世

德·天理①□□无□陽Ⅰ·筑波·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東

洋·斯Ⅰ·宋版②□恍无□龍門·慶Ⅱ③窈冥□道藏

925 無形之中一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·天

理①无□□陽Ⅰ·龍門·筑波·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東

大·東洋·斯Ⅰ③□□宋版·世德③其□道藏

926 爲萬物設法象也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·天理①□□

說□□筑波②□□□□弘文③□□□□像□斯

Ⅰ⑤□□像□宋版·世德⑥有□□□道藏

經927 况兮忽兮一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世

德·天理①恍□□龍門·慶Ⅱ·六地③忽□恍□道藏

928 其中有物一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六

地·陽Ⅱ·宋版·世德·天理②□□象一道藏

17 45 注929 道唯况忽一活Ⅱ·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏·天理②□□忽恍一陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑

波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東③□□忽恍一慶Ⅱ

930 因氣立質也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·天理

②□□之梅沢②□□□□宋版·世德·道藏

17 46 注931 窈冥無形一活Ⅱ·無窮·足利·弘文·梅沢·慶Ⅱ·東急·世德·天

理①□□无□陽Ⅰ·書陵·龍門·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武

内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版②□□道藏

932 陰陽交會也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·

世德·天理②□□□□東急②□□□□道藏

注933 言道精氣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·道

藏·天理②□存□□宋版·世德

934 神妙甚真一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·道藏·

天理②其□□宋版·世德④道□□是□斯Ⅰ

17 47 注935 道匿功名一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·天理

②□□藏□足利·宋版·世德·道藏

936 其信一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理②□□

慶Ⅱ·道藏②□神一慶Ⅰ·大東

937 在中也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·天理②□□之梅沢③其□道藏

經938 其名不去一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道

藏·天理③□□慶Ⅰ·大東

17 47 注939 從古至今一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·道藏·天理」②自□□□□—斯I·宋版·世德」

940 不去也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·天理」②□□者□□—東洋」②□□□□—斯I·宋版·世德·道藏」

1742 注941 道稟與萬物—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」②□□□□—道藏」

942 始生—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□—斯II」③万物□□—梅沢」

943 受氣也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·慶I·大東·慶II·武内·東急·天理」②□□□□—梅沢」②□□□□—東大·東洋·斯I·宋版·世德·道藏」③□□□□—始也—斯II」

注944 我何以知從道受氣也—活II·陽I·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理」②□□□□□□□□□□—書陵·宋版·世德」④□□□□□□□□□□—道藏」

1743 注945 此今也以今萬物皆得道精氣而生—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」②□□□□□□□□□□—道藏」

946 人動作起居—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理」②□□□□□□□□□□—宋版·世德」③□□□□□□□□□□—道藏」

947 非道不然也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天理」②□□□□□□□□□□—矣—斯II」②□□□□□□□□□□—宋版·世德」③□□□□□□□□□□—道藏」

1744 注948 益謙—第二十二—活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏·天理」□□□□□□□□□□—廿—梅沢」②□□□□□□□□□□—廿—武内·東大·東洋」③曲則章□□□□□□—慶I·大東」③曲則全章□□□□—弘文·慶II」③曲則金章□□□□□□—筑波」③□□□□□□□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六地·陽II」

1744 注948 益謙—第二十二—活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏·天理」□□□□□□□□□□—廿—梅沢」②□□□□□□□□□□—廿—武内·東大·東洋」③曲則章□□□□□□—慶I·大東」③曲則全章□□□□—弘文·慶II」③曲則金章□□□□□□—筑波」③□□□□□□□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·六地·陽II」

1745 注949 則全也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·天理·治要」②□□□□□□—足利·道藏」③□□□□其身□□—梅沢·宋版·世德」③□□□□身□—慶II·斯I」

經950 枉則直—陽I·足利·筑波·武内·東急·天理」①枉□□—書陵·龍門·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·東大·斯I·六地·陽II·宋版·世德·道藏·治要」①狂□□—無窮·東洋」②□□真—活II」

注951 枉—屈已—活II·陽I·足利·筑波·慶II·武内·東急·天理」①枉□□□□—書陵·龍門·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·斯I·宋版·世德」①狂□□□□—無窮·東洋」③枉屈也□□—道藏」③□□□□—治要」

952 而申人久久—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」①□□伸□□□□—道藏」③□□□□□□□□—治要」

953 自得直也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」③而□□□□已—道藏」③□□□□□□□□—治要」

1746 經954 窪則盈—活II·陽I·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世德·天理」①窪□□□—武内」①窪□□□—書陵·龍門·慶II·六地」①窪□□□—無窮·弘文·斯II·治要」①窪□□□—足利」①依□□□—道藏」

注955 地窪下—活II·陽I·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」①□□窪□□—武内」①□□窪□□—書陵·龍門·慶II」①□□窪□□—無窮·弘文·斯II·治要」①□□窪□□—足利」①□□

1747 注955 地窪下—活II·陽I·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」①□□窪□□—武内」①□□窪□□—書陵·龍門·慶II」①□□窪□□—無窮·弘文·斯II·治要」①□□窪□□—足利」①□□

1748 注955 地窪下—活II·陽I·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」①□□窪□□—武内」①□□窪□□—書陵·龍門·慶II」①□□窪□□—無窮·弘文·斯II·治要」①□□窪□□—足利」①□□

1749 注955 地窪下—活II·陽I·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」①□□窪□□—武内」①□□窪□□—書陵·龍門·慶II」①□□窪□□—無窮·弘文·斯II·治要」①□□窪□□—足利」①□□

道藏

956 水流之 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

德 天理 治要 ② 也 東洋 ② 歸 道藏

957 人謙下 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ

梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 世德 道藏 天理 治要 ② 則 宋版

958 德歸之也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 足利 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大

東 武内 東大 斯Ⅰ 宋版 世德 ① 皈 無窮 筑波 弘文 慶Ⅱ 東洋 天理 ② 東急 道藏 治要

注 959 後己先人 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

德 道藏 天理 治要 ① 后 慶Ⅱ

17 71

960 久久 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅沢

慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 道藏 天理 治要 ① 反々 筑波

961 自新也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

版 世德 天理 治要 ② 之 道藏

注 962 自得 少 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

大 東洋 東急 道藏 治要 ③ 受取 宋版 世德

963 則得多也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯

德 道藏 天理 ② 斯Ⅰ 治要

964 天道祐謙神明託虛也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波

天理 ② 益 道藏 ④ 財多者 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅

沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 道藏 天理 治要 ② 則 足利 (見消ち有り)

966 惑於 守身 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 天理 治要 ③ 所 宋版 世德 道藏

967 惑於所聞也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 天理 治要 ② 則 東洋 斯Ⅰ 宋版 世德 道藏

經 968 為天下式 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 足利 筑波 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 六地 陽Ⅱ 宋版 世德 道藏 天理 治要 ② 以 無窮 弘文

969 抱守也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅

18 72 注 969 抱守也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯Ⅱ 梅

沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 道藏 天理 治要 ① 也 筑波 ② 東急 斯Ⅰ 宋版 世德

970 法式也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 斯Ⅰ 道藏 天理 治要 ② 法式 東急 宋版 世德

971 故能為天下 法式也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 天理 治要 ② 之 道藏

18 73 注 972 不以其目視千里之外也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑

波 弘文 斯Ⅱ 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 宋版 世德 天理 ② 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 道藏 ④ 治要

973 乃因天下之目 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 斯Ⅰ 宋版 世德 道藏 天理 ① 自 慶Ⅰ ② 故能明達也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 宋版

974 故能明達也 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅沢 慶Ⅰ 大東 慶Ⅱ 武内 東大 東洋 東急 宋版

975 財多者 活Ⅱ 陽Ⅰ 書陵 龍門 無窮 筑波 弘文 斯Ⅱ 梅

世德・天理」②□□□□□□—斯I・道藏・治要」

經975不自是故彰—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・六地・陽II・宋版・世德・道藏・天理・治要」④□□□□□□—斯I」

18 村注976聖人不自以為是而非人—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・道藏・天理」②□□□□□□□□□□□□—治要」②

977故—活II・陽I・書陵・龍門・慶II・天理」②□□能—無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・道藏・治要」②□□□□—斯I」

978彰顯於世—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東急・天理」②□□□□□□者—梅沢・慶II・武内・東大・東洋」②□□□□□□—道藏」②□□□□□□—宋版・世德・治要」③□□□□□□—斯I」

經979故有功—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世德・道藏・天理・治要」①□□巧—足利」

18 村注980伐取也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理」①代□□—筑波」③□□□□—治要」

981不自取其美—活II・陽I・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理・治要」②□□□□□□義—書陵・龍門」

982有功於天下也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東急・天理・治要」②□□□□□□□□□□—之—梅沢・斯II・慶I・大東・東急・天理・治要」②□□□□□□□□□□—之—洋・斯I・宋版・世德・道藏」

注983矜大也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・道藏」

世德・道藏・天理」③□□□□—治要」

18 村注984不自貴大—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・道藏・天理・治要」②□□□□□□—慶II」

985能—長久—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・道藏・天理・治要」②□□危□□—慶II」②□□□□—宋版・世德」

986不危也—活II・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理・治要」②□□□□—陽I・宋版・世德・道藏」

經987夫唯不爭—活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・梅沢・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世德・天理・治要」①□□惟□□—無窮・弘文・斯II・慶I・大東」②□□□□矜—道藏」

988莫—與之爭—活II・慶II・世德・天理」②□□能□□□—陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・道藏・治要」

18 村注989無能—活II・書陵・無窮・弘文・梅沢・慶II・世德・道藏・天理」①无□□—陽I・龍門・足利・筑波・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・斯I・宋版・治要」②□□□□—東急」

990與不爭者爭也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・天理」②□□□□□□—道藏・治要」

18 村注991曲從則全身—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世德・天理」①□□後□□□□—筑波」②□□□□□□□□□□—慶II—道藏」

992非虛空也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・斯II・梅沢・慶I・東急・斯I」②□□□□言—筑波・弘文・大東・武内・東大・東洋・天理」②□□空虛□□—慶II」②□□□□妄□□—宋版・世德」②□□□□

□—道藏

經993 誠全—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·

陽Ⅱ·宋版·世德·天理②故□□—道藏

994 而歸之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·

武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏

①□□—無窮·筑波·大東·慶Ⅱ·天理

1872 注995 誠實也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·天理②□□—慶Ⅱ

996 能行曲從者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·天理②已□□□□—大東

997 實全其肌體—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ①□□

□□—斯Ⅱ·天理②□□□□—世德·道藏③□□□□—飢□□

宋版

998 歸之於父母—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·

東洋·東急·宋版·道藏①皈□□□□—筑波·弘文·慶Ⅰ·

大東·慶Ⅱ·武内·東大·斯Ⅰ·天理

999 無有—活Ⅱ·書陵·無窮·弘文·梅沢·大東·東急·宋版·世德·

道藏·天理①无□□—陽Ⅰ·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·慶Ⅱ·

武内·東大·東洋·斯Ⅰ

1000 傷害之也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·天理②□□□□—

梅沢②□□□□—東急②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·道

藏

1001 虛無無—第二十三—活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理

□□□□—廿—梅沢②□□□□—章□□—廿—武内·東大·

東洋③希言—章□□□□—慶Ⅰ·大東③希言自然—章□□□□—

筑波③希言自然—章□□—廿—弘文·慶Ⅱ③

書陵·龍門·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·陽Ⅱ

1874 注1002 希言謂愛言也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·道

藏·天理②□□□□—東急③□□□□—者是□□□□—宋版·世

德

1002 自然之道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·天理

②□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

1875 注1003 言疾不能長—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·治要②□□□□—天理②□□□□—道藏

1003 暴不能久也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏·天理·治要②□□□□—梅沢

1876 經1004 天地也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢(也·地字下字間加筆)·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·

東洋·六地·陽Ⅱ·東急·斯Ⅰ·治要·天理②□□□□—宋版·世

德·道藏

注1005 孰誰也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·宋版·世德·天理·

治要③□□□□—東急·斯Ⅰ·道藏

1005 誰爲此飄風暴雨者乎—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·

宋版·世德·天理②□□□□□□□□—斯Ⅰ②□□□□□□□□

□□□□—道藏③□□□□□□□□—治要

1006 天地之所爲也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·天理②□□□□□□□□

□□—東大·東急·道藏④□□□□□□□□—梅沢④□□□□□□□□

□□—斯Ⅰ④□□□□□□□□—宋版·世德⑤□□□□□□□□—治

要」

18 勿注 終於朝暮也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ④ 能 至夕 道藏 ⑤ 治要

注 尚不能。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 · 治要 ② 筑波

19 1

102 使終朝至暮。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 · 治要 ② 從 道藏 ② 也 弘文 何況於人。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 道藏 · 天理 ② 斯 I · 宋版 · 世德 ④ 治要

104 欲為暴卒。乎。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ② 也 弘文 ② 疾 武内 · 東大 ④ 疾者也 東洋 ④ 而 慕 道藏

經 從事於道者。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 六地 · 陽 II · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② 東急 · 治要

注 從為也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ③ 治要

19 12 不 當如飄風驟雨也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 天理 · 治要 ② 者 無窮 ② 也 梅沢 ② 斯 II · 宋版 · 世德 ④ 暴 道 藏

注 謂好道人也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ④ 之 道藏

19 13 所 為。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 天理 ② 謂 宋版 · 世德

注 與道同也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 道藏 · 天理 ② 東大 · 東急 · 宋版 · 世德

注 謂好德人也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 天理 ⑥ 有 之 道藏

所 為。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 天理 ② 謂 宋版 · 世德

19 14 注 失者。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 慶 II · 東洋 · 斯 I · 天理 ② 弘文 · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 天理 ② 之 梅沢

注 謂任已失人也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 天理 ④ 自 而 道藏

注 所為與失同也。活 II · 陽 I · 書陵 · 龍門 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 慶 II · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 天理 ② 謂 宋版 · 世德 ④ 謂 道 藏

版・世徳・天理」②□□□□―道蔵

○取功榮也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理」②□□□□―梅

沢・武内・東大・東急・道蔵」④□□□□名―東洋

○則―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・

道蔵・天理」③如此□―東急

○不可―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・慶Ⅰ・

大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□以―筑波・斯

Ⅱ・武内・東大・東洋」③□□能以―東急

○久立身―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・

道蔵・天理」②□□―東急

○行道―也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天

理」②□□者□―東洋」②□□□―斯Ⅱ・道蔵

○經跨者不行―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世

徳・道蔵・天理」①歧□□□―武内

○斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・道蔵・天理」②□□貴□□―東大

○而跨―於人―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・

宋版・世徳・天理」②□□之□□―道蔵

○衆共蔽之―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世

徳・道蔵・天理」①□□其□□―武内

○使不得行―也―活Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□

□□□之□―陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ」②□□□□□―宋版・世徳・道蔵

19 55 注○人自―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・天理・治要」②凡□□―道蔵

○見其―形容―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・

道蔵・天理・治要」①□□□□害―武内(右旁容字加筆)」②□□

形□□―斯Ⅱ

○見―所行―陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶

Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・治

要」②□□其□□―活Ⅱ・無窮・道蔵・天理

○以爲應道―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋

版・世徳・天理・治要」②□□人□―道蔵

○殊―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世

徳・道蔵・天理」②―治要

○不自知其形醜―操行之鄙―也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足

利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東

急・天理・治要」②□□□□□□□□□□者□―東洋」②□□□□

□□□□□□□□□□―斯Ⅰ・宋版」④□□□□□□貌□□□□□□

―世徳」④□□□□□□□□□□而□□□□□―道蔵

19 56 注○而非―人―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・天理・治要」②□□於□□―無窮」②□□□□者―道蔵

○衆人共蔽之―活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・

武内・東大・東洋・天理・治要」②□□□□□□―陽Ⅰ・書陵・龍門・

慶Ⅰ・大東・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

○使不得彰明也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢(使不字間に「共」字有り)・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・

急・世德・天理」①无□□□□陽I・龍門・斯II・慶I・大東・武

内・東大・東洋・斯I・宋版」②□□□□由□□道藏」

100 不危■殆也一活II・天理」②■□□□□■斯I・宋版・世德」

②而□□□□道藏」②■□□□□■陽I・書陵・龍門・無窮・

足利・弘文・斯II・梅沢・慶II・東大・東洋・東急」③■□□□殆不危

一筑波・慶I・大東・武内」

經101可以為天下母一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・

陽II・宋版・世德・道藏・天理」②□□□□地□□無窮」

注102萬物精氣一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世

德・道藏・天理」①□□□□情□□龍門」

103 如母之養子■也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘

文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・天理」②

□□□□者□□東洋」②□□□□□□■斯I・宋版・世德・道

藏」

20 72 經104吾不知其名一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・

陽II・宋版・世德・道藏・天理」①五□□□□一筑波」

105 故字之曰道一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・

慶I・大東・慶II・武内・六地・天理」②■□□□□■無窮・梅沢・

東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・世德・道藏」

注106我不知一活II・陽I・書陵・龍門・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・

慶II・武内・東大・東洋・天理」②□□□□見一無窮・足利・梅沢・東

急・斯I・宋版・世德・道藏」

107 道之形容一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理」②

□□■□□一斯I・宋版・世德・道藏」

20 93 經108從道之所生一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・慶II・天理」②□□□□■□□一梅沢・武内・東大・

東洋・東急・斯I・宋版・世德」③□□□□而■□□道藏」

109 字之曰道也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・

宋版・世德・天理」②□□□□■一道藏」

經110強為之名曰大一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・

六地・陽II・宋版・世德・天理」③□□■名之□□道藏」

20 94 注111不知其名之一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理」

②□□□□■一斯I・宋版・世德・道藏」

112 強■曰大一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世德・天理」②□□名□□道藏」

113 大者一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理」

②■□□一宋版・世德」③■□一道藏」

114 高而無上一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理」

①□□□无□□陽I・龍門・筑波・慶I・大東・慶II・武

内・東大・東洋・斯I・宋版」②□□■一東急」

115 羅而無外一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶II・

世德・道藏・天理」①□□□无□□陽I・龍門・筑波・斯II・慶I・大東・武

内・東大・東洋・斯I・宋版」③□□■不□一東急」

116 無不一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・東洋・

東急・世德・道藏・天理」①无□□一陽I・筑波・慶I・大東・慶II・

武内・東大・斯I・宋版」

117 包容一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

宋版・世德・道藏・天理」①苞□□一書陵・龍門・足利・筑波・斯II・梅沢・

慶I・大東・慶II・東急」

118 故曰大也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理」②□□□□□□—道蔵」

2075 注119 在上非若地■常在下一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理」①□□□□□□□□□□—龍門」③□□□□□□□□□□—東急」

■□□□□□—東急」

118 無常處所也—活II・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・大東・慶II・東急・世徳・天理」①无□□□□□□□□—陽I・龍門・筑波・斯II・慶I・武内・東大・東洋・宋版」②□□□□□□□□□□—道蔵」③无□□□□□□□□—斯I—

注120 窮於無■窮—活II・書陵・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・道蔵・天理」①□□□□□□□□—陽I・龍門・筑波・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋」①□□□□□□□□—常□□—東急（見消ち有り）」②□□乎□□□□—斯I・宋版・世徳」

119 無所不通也—活II・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・大東・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」①无□□□□□□□□—陽I・龍門・筑波・慶I・慶II・武内・東大・東洋・斯I」①无□□□□□□—斯II」

經121 遠曰反—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・道蔵・天理」①□□□□返—六地」

注122 言其遠—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□□□—弘文」

120 不超絶—活II・筑波・武内・東洋・天理」②□□起□□—陽I・書陵・龍門・斯II・慶I・大東」②□□越□□—無窮・足利・弘文・梅沢・慶II・東大・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵」

121 乃復反—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・道蔵・天理」②□□□□□□—宋版・世徳」

122 在人身■也—活II・陽I・書陵・龍門・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東急・宋版・世徳・天理」②□□□□□□□□□□—

慶II・道蔵」②□□□□□□—東洋」②□□□□□□—中□□—無窮・筑波・斯I—

2077 注123 道大者—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理」③□□□□□□—治要」

■□□□□□—活II

123 梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理・治要」③包羅■天地—道蔵」③包羅諸天地—斯I・宋版・世徳」

124 無—活II・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・東急・天理」①无□□□□□□—龍門・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・治要」②□□所—斯I・宋版・世徳・道蔵」③无所—陽I—

125 不容也—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・斯I・宋版・世徳・天理・治要」②□□□□—梅沢・武内・東大・東洋・東急・道蔵」

126 無—活II・書陵・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・東急・天理・斯I」①无□□□□—陽I・龍門・筑波・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・治要」②□□所—宋版・世徳・道蔵」

127 不蓋—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・道蔵・治要・天理」②□□□□也—斯I・宋版・世徳」

128 無—活II・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東急・天理」①无□□—陽I・龍門・筑波・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・

129 不載—活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天理・治要」②□□所—宋版・世徳・道蔵」

130 王—大者—陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」②□□亦□□—活II」

131 無—活II・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東洋・東急・天理」

21 村

21 村

21 村

①无 陽Ⅰ・龍門・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・斯Ⅰ・治要」②所 宋版・世徳・道蔵」

不制也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理」② 東急・道蔵・治要」

注 弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・道蔵・天理・治要」④四大道天地王也云々 宋版・世徳」

經 而王居其一焉 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・道蔵・天理・治要」② 功 世徳」

注 八極之内 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・道蔵・天理・治要」② 功 世徳」

注 王居其一也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理・治要」② 東急」

注 法地安靜和柔也 活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・斯Ⅰ・道蔵・天理・治要」② 柔和 宋版・世徳」② 書陵・弘文・梅沢・東大・東洋・東急」

注 種之得五穀 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」③ 治要」

注 掘之 活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」① 堀 陽Ⅰ・書陵・龍門・梅沢・慶Ⅱ」① 大東」② 治要」

注 得甘泉 活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理」① 衆 筑波」① 耳 書陵(右旁甘字加筆訂正)」②

注 治要」

注 梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」③ 湛泊靜形 慶Ⅱ」

注 勞而 陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」① 榮 活Ⅱ」② 有 武内・東大・東洋」

注 不怨 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・道蔵・天理・治要」② 也 宋版・世徳」

注 不宜者也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」② 置 道蔵」② 制 斯Ⅰ」④ 制 宋版・世徳」④

注 天湛泊不動 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・宋版・世徳・道蔵・天理」① 檐 東急」② 檐怕 梅沢・斯Ⅰ」③ 治要」

注 施而 不求報 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理・治要」② 於 武内」② 梅沢・東大・東洋」② 之 道蔵」④ 無 所 弘文」

注 生長萬物 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」② 長生 東大」

注 無所收取也 活Ⅱ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・道蔵・天理」① 无 陽Ⅰ・龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋」② 東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」③ 无 治要」

注 臨天道 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理・治要〔④〕
經文二句及び注並に欠

214注 天當法道以活Ⅱ・天理〔③〕道〔③〕陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・

足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・道蔵〔③〕梅沢・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳〔③〕清靜不言活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東洋・東急・斯Ⅰ・天理・治要〔②〕淨〔①〕斯Ⅱ・武内・東大・宋版・世徳・道蔵

陰行精氣活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔③〕萬物自成也活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理〔②〕陽Ⅰ・龍門・慶Ⅱ・東大・東洋・治要〔②〕無窮・慶Ⅰ・大東・

215注 無所法也活Ⅱ・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理〔①〕無窮・

陽Ⅰ・龍門・慶Ⅱ・東大・東洋・治要〔②〕可〔①〕書陵・足利・弘文・斯Ⅱ・斯Ⅰ〔③〕無窮・慶Ⅰ・大東・武内

216 重徳第二十六活Ⅱ・陽Ⅰ・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理

弟廿一梅沢〔②〕章〔廿〕武内・東大・東洋〔③〕為輕根章〔廿〕弘文〔③〕為輕根章〔廿〕慶Ⅱ〔③〕為輕根章〔廿〕書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・六地・陽Ⅱ・東急

217注 則失神活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・治要〔②〕去〔①〕天理

草木之花葉活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理

〔②〕道蔵〔②〕華〔③〕本〔華〕斯Ⅰ〔④〕治要

217 根重活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔②〕其〔①〕足利・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋〔③〕治要

218 故長存也活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理〔①〕在〔②〕龍門〔②〕矣〔①〕東急〔②〕能〔③〕道蔵〔③〕治要

注 龍靜故能變化活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔③〕治要

219 虎躁活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔①〕虛〔①〕斯Ⅱ〔①〕靜〔①〕慶Ⅱ〔見消ち有り〕〔②〕治要

220 故天虧也活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理

〔①〕吠〔①〕足利〔①〕虛〔①〕武内〔②〕虧天〔①〕道蔵〔②〕能〔①〕梅沢〔③〕治要

221 經君子終日行活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・天理〔③〕聖人〔①〕宋版・世徳・道蔵

不離輻重活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・天理〔②〕輻〔①〕梅沢・東急

222 注 輻靜也活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔②〕輻〔①〕梅沢・東急

223 君子終日行活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

21 73 斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·道藏·天理」③聖人□□□□宋版·世德」

昭道不離一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏」②■□□□天理」

昭其靜與重也一活II·陽I·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·斯I·宋版·世德」②■□□□天理」②於□□□□梅沢·武内·東大·東洋·東急」②■□□□足利」②■□□□書陵·龍門·慶II」④■□□□道藏」

注昭謂宮闕一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·道藏·天理」

昭后妃所居也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」②■□□□道藏」

昭遠避而不處也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理」②■□□□道藏」

注昭疾■時主一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理·治要」①■□□□王一慶I」④■□□□道藏」

昭傷痛之■也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·東急·天理」②■□□□梅沢·武内·東大·斯I·治要」②■□□□辞一筑波」④■□□□辞一東洋·宋版·世德·道藏」

昭萬乘之主謂王者也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·天理」②■□□□斯I」②■□□□宋版·世德」③■□□□道藏·治要」

21 75 經昭輕於天下一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·六地·陽II·道藏·天理·治要」②■□□□東急·斯I·世德·宋版」

注昭王者至尊而以其身行輕躁乎一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·天理」②■□□□於□□□□道藏」②■□□□兮一斯I」③■□□□

昭疾時王奢恣輕淫■也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理·治要」③■□□□其精一

注昭王者輕淫一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·世德·道藏·天理·治要」①■□□□滔一宋版」

昭治身輕淫一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理·治要」②■□□□躁一

昭則失其精■也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·道藏·天理」②■□□□也一足利」

經昭躁則失君一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II·宋版·世德·道藏·天理·治要」③■□□□斯II」

昭躁疾一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I」②■□□

昭則失其精神也一活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理·治要」②■□□□足利」②■□□□弘文·道藏」③■

21 76 經昭輕於天下

22 村 經 巧用 第二十七 活 II 陽 I 斯 I 宋版 世德 道藏 天理 ①

弟廿 梅沢 ② 章 廿 武内 東大 東洋 ③ 善
行章 筑波 慶 I ③ 善行章 廿 弘文 大東 慶 II
③ 書陵 龍門 無窮 足利 斯 II 六地 陽 II 東急

22 村 經 善行者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II

梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 六地 道藏 天理 ② 宋版 世德

無轍跡 活 II 陽 I 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 慶 II 東洋 斯 I 道藏 天理 ① 无 龍門 慶 I 大東 六地 ① 徹 梅沢 陽 II 東急 ① 迹 宋版 世德 ③ 无 徹迹 武内 東大

注 善行道者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 斯 I 宋版 世德 道藏 天理 ② 東急

無轍跡也 活 II 書陵 無窮 足利 弘文 慶 II 天理 ① 无 陽 I 龍門 筑波 斯 II 慶 I 大東 ① 徹 梅沢 東急 ② 无 迹 武内 ② 道藏 ③ 无 徹迹 東大 ③ 无 迹 宋版 世德 ④ 无 迹者 東洋

22 村 經 善言者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 六地 天理 ② 宋版 世德 道藏

無瑕譴 活 II 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 東急 斯 I 宋版 世德 天理 ① 无 陽 I 龍門 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 六地 陽 II ① 道藏

注 善言者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 慶 I 大東 慶 II 天理 ② 梅沢 武内 東大 東洋 東急 斯 I 宋版 世德 道藏

188 擇言而出之 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 道藏 天理 ② 斯 I 宋版 世德

無瑕疵譴過 活 II 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 梅沢 大東 慶 II 東急 世德 天理 ① 无 陽 I 龍門 慶 I 武内 東大 斯 I 宋版 ② 无 東洋 ② 无 適 斯 II ③

於天下也 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 道藏 天理 ② 斯 I 宋版 世德

22 村 經 善計者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 六地 天理 ② 宋版 世德 道藏

計事者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 宋版 世德 道藏 天理 ① 討 筑波

守一不移 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 天理 ② 則 斯 I 宋版 世德 道藏

所計不多 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 宋版 世德 道藏 天理 ① 討 筑波

不用籌策 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 天理 ② 則 斯 I 宋版 世德 道藏

而可知也 活 II 陽 I 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 宋版 世德 天理 ② 不 書陵 ② 道藏

22 村 經 善閉者 活 II 陽 I 書陵 龍門 無窮 足利 筑波 弘文 斯 II 梅沢 慶 I 大東 慶 II 武内 東大 東洋 東急 斯 I 六地 天理 ② 不 書陵 ② 道藏

陽Ⅱ・道藏・天理」②□□□□宋版・世德」

1208 無關捷一活Ⅱ・陽Ⅰ・足利・筑波・東洋・斯Ⅰ・天理」①无□□□

龍門・慶Ⅰ・大東・六地・陽Ⅱ」①□□捷一書陵・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・武内・宋版・世德」①□□捷一東急・道藏」②无□捷一慶Ⅱ・

東大」②□□開捷一無窮」

注1209 守精神一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・

道藏・天理」①□□精□一世德」

1210 門戶一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・

道藏・天理」②閉□一斯Ⅱ」

1211 有關捷一活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・足利・大東・東洋・斯Ⅰ・天理」①□

捷一書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・

宋版・世德」①□□捷一東急」②□□開捷一梅沢」②□□道藏」

22 46

1212 可得開也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・道藏・天理」

②不□□□一慶Ⅱ」②□□□一斯Ⅰ・宋版・世德」

經1213 善結者一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・

陽Ⅱ・道藏・天理」②□□□一宋版・世德」

1214 無繩約一活Ⅱ・書陵・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・

斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理」①无□□一陽Ⅰ・慶Ⅰ・大

東・東大」①□□幼一斯Ⅱ・梅沢」①□□初一無窮・六地」②无□

初一龍門」

注1215 乃結其心一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道藏・

天理」②□□可□□一斯Ⅰ・宋版・世德」

22 47

1216 不如繩索一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅

沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道

藏・天理」①□□□素一斯Ⅱ・大東」

1217 可得解也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・

天理」②□□□□之梅沢」②□□□□之也一筑波」②□□□

道藏」

經1218 聖人常善救人一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・

六地・陽Ⅱ・宋版・道藏・天理・治要」②□□々々□□一慶Ⅱ」

②□□□救善□一世德」

注1219 所以常教人忠孝者一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東急・斯Ⅰ・宋版・

天理・治要」②□□□□□□□□一東洋」②□□□□□□一慶

Ⅱ・道藏」

22 47

1220 欲以救人性命也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理・治要」

②□□□□□□□□之梅沢」②□□□□□□一東急・斯Ⅰ・道

藏」④□□□□□□一宋版・世德」

經1221 故無棄人一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋

版・世德・道藏・天理」①□□□□一六地・陽Ⅱ・治要」

22 48 注1222 所以常教民一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」

②□□□□民教一無窮」②□□□□一宋版・世德・治要」③□□□

一道藏」

1223 順四時者一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②

□□□□一斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」

1224 救萬物之殘傷也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・東急・天理・治要」②□□

□□□□一慶Ⅰ」②□□□□也□□□□一龍門」②□□□□

□□一慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世德」④□□□□傷殘一道藏」

經₂₂故無棄物一活₂・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯₂・梅
沢・慶₂・武内・東洋・東急・斯₁・陽₂・宋版・世徳・道蔵・天
理₁①□□无□□一陽₁・慶₁・大東・東大・六地・治要₁

注₂₂聖人不賤石一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・斯₁・
宋版・世徳・道蔵・天理₁②□□□□一治要₁

22₇₃

注₂₂視之如一也一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東急・天理₁②□□□□
□□者□□一東洋₁②□□□□□□一宋版・世徳・道蔵₁④□□□□□□
□□一斯₁⑤□□□□□□一治要₁

注₂₂是謂襲明一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・斯₁・道
蔵・天理₁②□□□□□□一宋版・世徳

注₂₂大道也一活₂・陽₁・無窮・東急・斯₁・宋版・世徳・天理₁①
天□□□一書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯₂・梅沢・慶₁・大
東・慶₂・武内・東大②□□□□一治要₁③天□者□一東洋₁

22₇₄

經₂₂善人者一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯₂・
梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東急・斯₁・六地・陽₂・
宋版・世徳・道蔵・天理・治要₁②□□□□一東洋₁

注₂₂不善人之師也一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・六地・陽₂・
天理₁②□□□□□□一東急・斯₁・宋版・世徳・道蔵₁③□□□□□□
□□□□一治要₁

注₂₂即以一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯₂・
梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・斯₁・宋版・
世徳・天理・治要₁②則□□一治要₁

注₂₂爲人師也一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯₂・
梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東急・道蔵・天理・治要₁

②□□□□者□□一東洋₁②□□□□□□一斯₁・宋版・世徳₁②□□□□
□□一弘文₁

22₇₅經₂₂善人之資也一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯₂・
慶₁・大東・武内・東大・東洋・六地・陽₂・天理₁①□□□□之□
□□一慶₂②□□□□□□一筑波₁②□□□□□□一梅沢・東急・
宋版・世徳・道蔵・治要₁④□□□□□□一斯₁

注₂₂行不善者一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・天理₁②
□□□□一斯₁・宋版・世徳・道蔵・治要₁

注₂₂聖人獨一陽₁②□□□□猶一活₂・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
弘文・斯₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・
斯₁・宋版・世徳・天理₁②□□□□一治要₁③□□□□猶一治要₁

注₂₂教導使爲善一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・宋版・
世徳・道蔵・天理₁①□□□□□□一斯₁・治要₁

注₂₂得以給用也一活₂・陽₁・書陵・龍門・慶₂・東急・宋版・世徳₁②□
□□□□一治要₁②□□□□爲□□□一活₂・無窮・足利・筑波・弘
文・斯₂・梅沢・慶₁・大東・武内・東大・東洋・斯₁・天理₁④
□□爲□□□一治要₁

22₇₆經₂₂不貴其師一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・斯₁・六
地・陽₂・宋版・世徳・道蔵・天理₁③□□□□一治要₁

注₂₂獨無輔也一活₂・陽₁・書陵・無窮・弘文・梅沢・慶₂・東急・斯₁・宋
版・世徳・道蔵・天理₁①□□□□一陽₁・龍門・筑波・斯₂・慶
₁・大東・武内・東大・東洋②□□□□一足利(此の二字大字、
右旁に小圈有り)③□□□□一治要₁

注₂₂無所使也一活₂・陽₁・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶₂・東
急・斯₁・宋版・世徳・道蔵・天理₁①无□□□一陽₁・龍門・斯
₂・慶₁・大東・武内・東大・東洋・治要₁

注₂₂雖智大迷一活₂・陽₁・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
₂・梅沢・慶₁・大東・慶₂・武内・東大・東洋・東急・斯₁・六
地・陽₂・宋版・世徳・天理・治要₁①□□□□一治要₁

①□□知□□一治要₁

洋·斯I·宋版·世德·治要」②□能□—道藏」
幽■已也■—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·天理」②■□□
之—梅沢」②於□□■—道藏」②■□■—治要」④於□■—宋
版·斯I·世德」

23 榎經復歸—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·

慶I·武內·東大·東洋·東急·斯I·六地·陽II·宋版·世德·
道藏」①□■—筑波·大東·慶II·天理」

幽於嬰兒—活II·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·

天理」①□■—陽I·宋版」①□■櫻□—斯I·世德」

注幽復當—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·道藏·天理」

②□常—斯I」③常復—宋版·世德—

幽歸志—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·斯II·梅沢·慶I·

東急·斯I·宋版·世德」①■—筑波·弘文·大東·慶II·武內·

東大·東洋·天理」②復□—道藏」

幽於嬰兒—活II·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·

慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·道藏·天理」

①□■櫻□—陽I·宋版」①□■櫻□—世德」

幽惓然—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·

天理」①■—世德·道藏」

幽而無所知也—活II·書陵·無窮·足利·弘文·慶II·斯I·宋版·

世德·天理」①□无□□□—陽I·龍門·筑波·斯II·慶I·大東·

武內·東大·東洋」②■□□□□—梅沢·道藏」④■□□□□—東
急—

23 榎經復歸—活II·陽I·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·慶I·大東·

慶II·斯I·宋版·世德·道藏·天理·治要」①論□□—筑波·梅

沢·武內·東大·東洋·東急」①□照照—龍門」

幽喻默—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·慶I·

大東·東洋·斯I·宋版·世德·道藏·天理·治要」①論□□—筑
波·梅沢·武內·東大·東急」①□點□—慶II」

幽知昭明達—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·道藏·

天理·治要」①□照照□□—龍門」②□□□□白—宋版·世德」

幽復守之—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·

慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·

天理·治要」②□□□—弘文」②■□□—道藏」

幽以默—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武內·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·

天理·治要」①□□■—道藏」①□點□—慶II」

23 榎無所見—活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·東急·宋版·

世德·天理·道藏」①无□□—陽I·龍門·筑波·慶I·大東·慶

II·武內·東大·東洋·斯I·治要」

幽可以爲—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·斯I·天理」②□■

□—東急·宋版·世德·道藏·治要」

幽天下法式也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·斯I·

天理·治要」②□□□□—宋版·世德·道藏」

1277 ■—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武內·東大·東洋·東急·天理·治

要」③則得常在—斯I·宋版」③則德常在—世德」③其德常在—道

藏」

經幽常德不惑—活II·足利·天理」②□□□或—陽I·書陵·龍門·無

窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·武內·東急·斯I·六

地·陽II·治要」②□□□或—梅沢」②□□□或—東洋」②□□□

或—東大」②□□□武—宋版·世德·道藏」

23 引注幽爲天下法式—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·道蔵·天理·治要」②□□□□□□□□—斯I·宋版·世徳」

幽常在於已—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·斯I·宋版·世徳·天理·治要」②□□□□□□—足利·筑波·武内·東大·東洋·東急·道蔵」

幽不復—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世徳·天理·治要」②□□□□□□—東急」

幽差惑也—活II·足利·天理」②□□□□—陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·治要」

②□□□□—東大」②□□□□—梅沢」④□□□□—東洋」④□□□□—宋版·世徳·道蔵」

經幽復歸—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世徳·道蔵」

①□□□□—筑波·大東·慶II·天理」④□□□□—六地(以下四十二字欠)」

幽於無極—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶II·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世徳·道蔵·天理」①□□□□—陽I·龍門·慶I·大東·武内·東大」

注幽—德—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世徳·道蔵·天理」②復□—弘文」

幽不差惑—活II·足利·天理」②□□□□—陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I」②□□□□—東洋」②□□□□—梅沢」②□□□□—東大」②□□□□—或—慶II」②□□□□—或—武内·宋版·世徳·道蔵」

幽長生久壽—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世徳·天理」③久壽長生—道蔵」

幽復歸身—活II·陽I·龍門·無窮·足利·梅沢·武内·慶I·東急」①□□□□—書陵·筑波·弘文·斯II·大東·慶II·東大·東洋·天

理」②□□□□—宋版·斯I·世徳·道蔵」

幽於無窮極也—活II·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·慶II·東急·宋版·世徳·天理」①□□□□□□—陽I·龍門·筑波·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I」④□□□□□□—道蔵」

注幽諭尊貴—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·斯I·宋版·世徳·道蔵·天理」①諭□□□—筑波·梅沢·武内·東大·東洋·東急」④□□□□□□—治要(以下九字無し)」

23 73 幽諭汗濁也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·慶II·東洋·道蔵·天理」①諭□□□—梅沢·武内·東大·東急」②□□□□□□—斯I·宋版·世徳」③□□□□□□—治要」

幽人能知—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東急·天理」②□□□□—東大·東洋」③□□□□□□—斯I·宋版·世徳·道蔵·治要」

幽天下歸之—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·梅沢·慶I·東急·斯I·宋版·世徳·道蔵·治要」①□□□□—筑波·弘文·斯II·大東·慶II·武内·東大·東洋·天理」

幽水流入於深谷—也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·天理」②□□□□□□—東洋」②□□□□□□□□—焉—弘文·斯II」②□□□□□□□□—東急·斯I·宋版·世徳·道蔵」④□□□□□□□□—治要」

23 74 注幽常止於已也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·天理」②□□□□□□□□—斯I」④□□□□□□□□—宋版·世徳·道蔵」

23 75 經幽復歸—活II·陽I·龍門·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·武内·東洋·東急·斯I·陽II·宋版·世徳·道蔵」①□□□□—書陵·筑波·大東·慶II·天理」③德□□—東大」

幽於樸—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·東急·陽II·道蔵·天理」①□□□—武内·東大·東洋·斯I·宋版·世徳」

注128當歸身一活II・陽I・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・慶I・武

内・東大・斯I・宋版・世徳・道蔵①□■版□一書陵・筑波・斯

II・大東・慶II・東洋・天理②□□□□一東急

129於質樸一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・

慶I・大東・慶II・東急・道蔵・天理①□□朴一筑波・武内・東

大・東洋・斯I・宋版・世徳

130■一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・

道蔵・天理③散則一慶II

131不■一活II・陽I・書陵・龍門・慶II・東急・天理②□復■一

足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東洋・斯I・

宋版・世徳・道蔵②■復不一東大③□復不一無窮

132為文飾也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・天理②□□□■一梅

沢・慶II・斯I・宋版・世徳・道蔵

經133樸散則為器一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・陽II・東急・道蔵・天理①□朴

□□□一武内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳

注134萬物之樸一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・東急・道蔵・天理①□□□朴一武内・東

大・東洋・斯I・宋版・世徳②□□□■一弘文

135為器用也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理②□□□■一道蔵

136道散■為神明一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理①

②□□則□□一斯I・宋版・世徳・道蔵

137流為日月一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理②■□□□一道蔵

138分為五行■也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・慶II・東大・東急・斯I・宋版・世徳・天理①

②□□□□■一梅沢・武内・道蔵②□□□□者□一東洋

經139用之則為官長一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・

慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・

天理②□□□□■一弘文・梅沢・東洋・陽II

23 77注130聖人升用一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・宋版・世

徳・道蔵・天理①□□外□一斯I

131為■百官之元長也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵①□□■□□□无□□一斯II②□□■□□□一天

理②□散□□□□□□一弘文

24 78注132制御天下一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理②

御制□□一武内・東大・東洋・東急

133無所傷割一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・慶II・東急・世

徳・天理①无□□□一陽I・龍門・筑波・斯II・慶I・大東・武

内・東大・東洋・宋版②□□□害一道蔵④无■復□一斯I

134治身則以大道一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・道蔵・

天理②□□□□天□一宋版・斯I・世徳

135制■情欲一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋

版・世徳・天理②□御□□一道蔵

136不害■精神也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・

宋版・世徳・天理④□□於□□一道蔵

137無為■第二十九一活II・陽I・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理□

□■甘□一梅沢②□□章□甘□一武内・東大・東洋③將

欲章□□□□□□—筑波・慶Ⅰ—③將欲章□□□□—弘文・大東・慶Ⅱ—
③■□□□□□□□□□□—書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・
陽Ⅱ—

24注注③欲為天下主也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理・治要—③■□□□□□□□□□□—道藏(次經文句下有
り)

注1319 ■□□□□□□□□□□□—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・
足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・
東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・天理・治要—④將欲取天下欲為天
下主也而為之—道藏—

③治民也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・天理・治要—②□□□□□□—武内・東大・東
洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道藏—

24材注③天道—惡煩濁—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道藏・治要・天理—②□□□□□□□□—無窮—
③惡多欲也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・道藏・天理—②□□□□□□□□—弘文・武
内・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版・世徳・治要—

24材經③不可為也—活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・梅沢・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・陽
Ⅱ・宋版・世徳・道藏・天理・治要—②□□□□□□□□—書陵・龍門・足
利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・六地—

注③天下之神物也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道藏・天理・
治要—②□□□□□□□□—斯Ⅱ・武内・東大・東洋—

③神物好安靜—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世徳・道藏・天理・治要—③■□□□□□□□□□□—斯Ⅱ—
24材 ③不可以有為治也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・天理・治要—②□□□□□□□□
□□□□—梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道藏—②□□□□□□□□□□—武
内—②□□□□□□□□□□—東大・東洋—

經③為者則敗之—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地・天理—②□□□□□□□□—
無窮・梅沢・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世徳・道藏・治要—

注③敗其質性也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘
文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・天
理—②□□□□□□□□□□—東洋—②□□□□□□□□□□—宋版・世徳・道
藏—②□□□□□□□□□□—治要—

24材注③強執教之—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世徳・道藏・治要—②□□□□□□□□—取□□—天理—

③則—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道藏・天理・
治要—②人□□—斯Ⅰ・宋版・世徳—

③失其情—實—活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・
大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・世徳・天理・治要—①□□□□
情—宋版—②□□□□□□□□□□—陽Ⅰ・書陵・龍門—②□□□□□□□□—
東急—③□□□□□□□□—道藏—

③生—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・天理—②□□□□□□□□—於—斯
Ⅰ・宋版・世徳・道藏・治要—②是□□□□—慶Ⅱ—

③詐偽也—活Ⅱ・宋版・世徳・天理—①□□□□□□—治要—②□□□□
—道藏—②奸□□□□—陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘
文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ—④
姦□者□—東洋—
經③故物或行或隨—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・
陽Ⅱ・宋版・世徳・道藏・天理—②夫□□□□□□□□—斯Ⅰ—

注 遜上所行 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世徳・天理 ② 遜上之道蔵

遜下必隨之也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理 ② 遜上之道蔵

24 引 經 遜 或 响 或 吹 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶

Ⅰ・大東・慶Ⅱ・六地・陽Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天
理 ① 响 遜 無窮・梅沢・武内・東大・東洋

注 遜 响 温 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・
大東・慶Ⅱ・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理 ① 响 遜 無窮・梅
沢・武内・東洋 ② 响 温 遜 上 東大

遜 有 所 温 活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・筑波・弘文・足利・斯Ⅱ・
無窮・書陵・龍門・武内・東洋・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・
道蔵・天理 ① 遜 温 上 東大

遜 必 有 所 寒 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理 ② 遜 寒 上 道蔵

注 遜 有 所 強 大 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世
徳・道蔵・天理 ② 遜 強 上 慶Ⅱ

24 72 遜 有 所 羸 弱 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世徳・天理 ② 遜 羸 弱 上 道蔵

經 遜 或 載 或 隳 活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・梅沢・東大・六地・宋版・世
徳・道蔵・天理 ① 遜 隳 上 足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武
内 ① 遜 隳 上 大東・東洋・斯Ⅰ ① 遜 隳 上 書陵 ①

遜 隳 危 也 活Ⅱ・梅沢・東大・六地・宋版・世徳・道蔵・天理 ① 遜
隳 上 陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内 ① 遜 隳

遜 隳 危 也 活Ⅱ・梅沢・東大・六地・宋版・世徳・道蔵・天理 ① 遜
隳 上 陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内 ① 遜 隳

遜 上 慶Ⅰ・大東・東洋・斯Ⅰ ① 遜 上 書陵 ① 遜 上 東急

注 遜 有 所 危 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理 ②

遜 與 治 身 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋
版・世徳・天理 ④ 遜 上 道蔵

24 73 注 遜 謂 貪 滯 聲 色 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理・
治要 ② 遜 上 斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

遜 謂 服 飾 飲 食 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理・
治要 ① 遜 上 飯 上 慶Ⅱ ② 遜 上 宋版・世徳・道蔵

遜 謂 宮 室 臺 榭 也 活Ⅱ・慶Ⅱ ① 遜 上 陽Ⅰ・書陵・龍門・
足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・
東急・天理・治要 ③ 遜 上 樹 上 無窮 ③ 遜 上 樹 上 斯Ⅰ・
宋版・世徳・道蔵

遜 行 無 爲 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理 ① 遜 上 龍門・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・東大・東洋・治要 ③ 得 天 上 武内

遜 天 下 自 化 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・天理・治要 ①
遜 上 者 上 東洋 ② 遜 上 斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

遜 儉 武 章 第三十一 活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・
天理 ② 遜 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 慶Ⅰ・大東 ③ 以 道 佐 人 主 章 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六
地・陽Ⅱ

24 75 遜 儉 武 章 第三十一 活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・
天理 ② 遜 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 慶Ⅰ・大東 ③ 以 道 佐 人 主 章 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六
地・陽Ⅱ

遜 儉 武 章 第三十一 活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・
天理 ② 遜 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 慶Ⅰ・大東 ③ 以 道 佐 人 主 章 上 武内・東大・東洋 ③ 以 道 佐 章
上 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六
地・陽Ⅱ

24 76 經 遜 佐 人 主 者 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理・
治要 ② 遜 上 斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□■□□□■治要」

注 幽人主能以道一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」②□□□□■□□□■東大・東洋」

幽自輔佐也■一活II・陽I・書陵・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・

慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・天理」①□□□□■□□□■龍門」①□□□□化□□■筑波」②□□□□之矣一

道蔵」②□□□□■一治要」

經 幽強於天下一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・道蔵・天理・治要」②□□□□■□□□■宋版・世徳」

24 注 幽以道自佐之主不以兵革一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理」①□□□□□□□□□□■葦一筑波」④

■一治要」

幽 敵人自服也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□□□■一斯II」②□□□□■一斯I・宋版・世徳・道蔵・治要」

25 注 幽不怨於人也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・天理」②□□□□■一治要」

經 幽師之所處一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・武内・東大・東洋・東急・六地・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」①帥□□□□■一慶I・大東・慶II」②歸□□□□■一斯I」

注 幽 農事廢一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・天理・治要」②謂□□□□■一道蔵」

版・世徳・天理・治要」

幽 田不修也■一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・

慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・天理」②而□□□□■一弘文」②□□□□□□□□■一梅沢」②□□□□■一宋版・世徳・道蔵・治要」

25 注 經 幽大軍之後一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」①□□□□后一慶II」①□□□□復一龍門」②□□□□■一武内・東大・東洋」

幽 必有凶年一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯II・梅

沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」①□□□□葦一慶II」②□□□□夏一弘文」

注 幽 以惡氣一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・

慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・天理・治要」②□□□□鬼一筑波」②□□□□殺一道蔵」

幽 害五穀一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・天理・治要」②傷□□□■一道蔵」

幽 五穀盡一活II・無窮・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」②□□□□■一陽I・書陵・龍門・足利・慶II・斯I」③□□□□■一治要」

幽 則傷人■也一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・天理」②□□□□■一者一東洋」②□□□□■一龍門」②□□□□■一斯I・宋版・世徳」②

即□□□□■一道蔵」③□□□□■一治要」

經 幽 善者一活II・陽I・書陵・龍門・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵・治要」②故□□□■一無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・陽II・東急・天理」

幽 果而已■一活II・無窮・梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」②□□□□■矣一陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・六地」

25 村

幽 果而已■一活II・無窮・梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯I・陽II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要」②□□□□■矣一陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・六地」

注137行善者一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・
治要・天理④兵一宋版・世徳④用兵道蔵

不不休也一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・斯II・梅沢・慶

I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理・治要①体

一弘文②之一无窮②一斯I・宋版・世徳④

美之道蔵

注138不敢以取強焉一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶II・武内・東大・東洋・斯I・六地・陽II・天理

②敢不慶I・大東②一東急②一東急②

一宋版・世徳・道蔵・治要

注139不以一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・天理

②敢一武内・東大・東洋・治要

25 村

注140取強大之名也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘

文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東急・斯I・宋

版・世徳・道蔵・天理②者一東洋②

一治要

注141果而勿矜一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東洋・東急・斯I・六地・陽

II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要②矜勿一東大

注142當果敢謙卑一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵・天理・治要①謹一斯II

注143勿自矜大也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・

道蔵・天理②忽一斯II②慶II②

注144果而勿伐一陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・陽

II・宋版・世徳・道蔵・天理・治要①代一活II

25 村注145勿自伐一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・世徳・

道蔵・天理・治要①乃一宋版

注146取其美也一活II・陽I・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大

東・慶II・武内・宋版・世徳・道蔵・天理②甚一斯I②

一義一書陵・龍門・梅沢・東大・東洋②一東急③

一治要

注147驕欺也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵・天理②一治要

注148果敢一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

道蔵・天理③一治要

注149不以驕欺也一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理②

一筑波②人一斯I・宋版・世徳・道蔵

25 村注150當果敢至誠一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵・天理②慶II

注151不當一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世

徳・天理②道一無窮②偏一道蔵

注152不得已也一活II・陽I・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世

徳・天理②書陵・道蔵

注153勿以一活II・陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理②

為一斯I・宋版・世徳・道蔵・治要

注154強兵堅甲一活II・陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅

沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道
蔵・天理」①□□□□用一東大」②□□□□牢一無窮」③□□□□一治
要」

130 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・慶Ⅱ・東急・天理」②以一無窮・
筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・
宋版・世徳・道蔵・治要」③以備一足利（下字に見消ち）」

25 打 131 經 物 壯 則 老 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
慶 Ⅱ 武 内 東 急 宋 版 道 蔵 天 理 治 要 ① 陵 一 梅 沢
慶 Ⅰ 大 東 東 大 斯 Ⅰ 世 徳 ② 清 一 足 利 見 消 ち
「凌」を 加 筆 ② 於 一 東 洋

經 物 壯 則 老 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 六 地 陽 Ⅱ 宋
版 世 徳 天 理 道 蔵 ② 一 慶 Ⅰ 大 東

注 經 草 木 壯 極 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅱ 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 徳 道 蔵 天
理 ① 中 一 慶 Ⅰ 大 東 武 内

則 則 衰 老 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋
版 世 徳 天 理 ② 一 道 蔵

經 不 可 以 久 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 慶 Ⅱ 東 急 斯 Ⅰ 道
蔵 天 理 ② 長 一 無 窮 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶
Ⅰ 大 東 武 内 東 大 ④ 長 者 一 東 洋 ④ 長

25 引 注 經 坐 不 行 道 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 斯 Ⅰ 宋 版 天
理 ② 生 一 世 徳 ② 東 急 道 蔵

經 斷 不 道 早 已 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 慶
Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 六 地 陽 Ⅱ 宋 版 世
徳 道 蔵 天 理 ① 杲 一 書 陵 ② 亡 一 梅 沢 斯 Ⅰ

注 經 早 死 也 一 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢

慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 天 理 ① 甲 一 活
Ⅱ ② 一 斯 Ⅰ 宋 版 世 徳 道 蔵

25 引 132 經 偃 武 第 三 十 一 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 ③ 夫 飾 章 一 筑 波 慶 Ⅰ 大 東
③ 夫 佳 章 一 弘 文 ③ 夫 佳 兵 章 一 慶 Ⅱ ③

25 引 133 經 夫 飭 兵 者 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 六 地 陽 Ⅱ 天
理 ② 佳 一 東 急 斯 Ⅰ 道 蔵 ④ 佳 一 宋 版 世 徳

注 經 祥 善 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ
梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版
道 蔵 天 理 ① 喜 一 世 徳

經 不 善 人 之 器 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版
世 徳 道 蔵 天 理 ② 一 斯 Ⅱ

25 引 134 經 不 當 修 飭 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 東 大 天 理 ② 一 武 内 東 洋
斯 Ⅰ 宋 版 世 徳 ② 而 一 慶 Ⅰ ② 一 東 急 道
蔵

經 物 有 惡 之 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯
Ⅱ 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 東 急 六 地 陽 Ⅱ 天 理 ② 或 一 梅
沢 武 内 東 大 東 洋 斯 Ⅰ 宋 版 世 徳 道 蔵

注 經 無 有 一 活 Ⅱ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 慶 Ⅰ 東 大 東 洋 斯 Ⅰ
宋 版 世 徳 道 蔵 天 理 ① 无 一 陽 Ⅰ 龍 門 筑 波 斯 Ⅱ 慶 Ⅰ
東 大 東 洋 斯 Ⅰ ② 无 一 武 内

經 不 惡 之 也 一 活 Ⅱ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ
梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 天 理 ② 一 東 洋
東 急 ② 一 陽 Ⅰ 斯 Ⅰ 宋 版 世 徳 道 蔵

25 引 注 經 有 道 之 人 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 龍 門 書 陵 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 徳

道藏·天理」②言□□□□無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋」

488 不處其國也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·天理」②□□□□□□之「梅沢」②□□□□□□東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」

經489 君子居則貴左」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·梅沢·東急·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理」③是以□□□□□□足利·筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ」④

注489 貴柔弱也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」④

25 注490 貴剛強也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□族□□慶Ⅱ」②□□強剛□□筑波」

492 與君子道反」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」②□□□□之道藏」

493 所貴者異也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」②□□□□之□□武内」②□□□□□□之□□梅沢·東大·東洋」③□□□□□□道藏」

經494 故兵者」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東洋·六地·天理」②□□□□無窮·梅沢·東大·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏」

25 注495 兵革者」活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理·治要」②□□事□□書陵」③

496 不善人之器也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·天理」②□□□□

□□□□矣」東急」②□□□□□□筑波·梅沢·宋版·世德·治要」③

注497 君子之」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·天理」②□□□□筑波·梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」③

498 所貴重器也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」④□□□□之□□大東·道藏」⑤

26 注499 而用之」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理·治要」①□□而□□慶Ⅱ」②□□□□斯Ⅱ

注500 遭衰逢亂」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·天理·治要」②□□□□見」大東」②□□逆□□宋版·世德」②□□禍道藏」

501 禍欲加萬民」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」②亂□□□□道藏」③

502 以自守也」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·天理·治要」②□□□□之□□東大·東洋」②□□□□之□□武内」②□□□□筑波·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」④

26 注503 恬憺為上」活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東急·六地·陽Ⅱ·天理」①□□憺□□書陵·足利」①□□憺□□武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·治要」②

注504 不貪土地」活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理·治要」②

505 雖得勝」道藏」

26 經 幽 凶 事 上 右 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯

Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 六 地 陽 Ⅱ 天 理 治 要 ② 尚 一 宋 版 世 德 道 藏 一

注 幽 陰 道 殺 人 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 慶 Ⅰ 大 東 天 理 ① 是 以 慶 Ⅱ ①

致 一 武 内 東 大 ② 是 以 慶 Ⅱ ① 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 ② 之 一 梅 沢 ② 東 急 一 治 要 ③ 致 者 一 東 洋 ④ 主 一 道 藏 一

經 幽 偏 將 軍 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 梅 沢 東 洋 東 急 六 地 陽 Ⅱ 宋 版 世 德 道 藏 天 理 治 要 ③ 是 以 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 斯 Ⅰ

幽 居 左 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 六 地 陽 Ⅱ 宋 版 世 德 天 理 ② 處 一 慶 Ⅰ 大 東 東 急 斯 Ⅰ 道 藏 治 要 一

注 幽 居 左 者 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 天 理 ② 陽 一 宋 版 世 德 治 要 ③ 陽 位 一 道 藏 一

幽 以 其 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 宋 版 世 德 道 藏 天 理 治 要 ② 陽 者 一 斯 Ⅰ 一

幽 不 專 殺 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 天 理 治 要 ① 致 一 武 内 東 大 東 洋 ② 筑 波 慶 Ⅱ ③ 一 道 藏 一

26 經 幽 上 將 軍 居 右 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 六 地 陽 Ⅱ 宋 版 世 德 天 理 ② 處 一 東 急 斯 Ⅰ 道 藏 治 要 一 注 幽 尊 而 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 一

道 藏 天 理 ① 專 一 筑 波 ② 一 治 要 一

幽 居 右 者 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 天 理 ② 位 一 道 藏 ② 一 治 要 一

幽 以 其 主 殺 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 天 理 ① 致 一 武 内 東 大 ② 矣 一 道 藏 ② 一 治 要 ② 言 一 宋 版 世 德 ③ 致 矣 一 東 洋 ③ 主 一 東 急 一

26 經 幽 上 將 軍 於 右 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 天 理 ② 居 一 道 藏 ③ 一 治 要 一 注 幽 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 天 理 治 要 ③ 主 喪 禮 一 道 藏 一

幽 喪 禮 上 右 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 天 理 治 要 ② 尚 一 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 道 藏 ② 一 活 Ⅱ 一

幽 死 人 實 陰 也 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 宋 版 世 德 道 藏 天 理 ④ 一 治 要 一

經 幽 殺 人 衆 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 慶 Ⅱ 六 地 天 理 ② 一 梅 沢 東 洋 東 急 斯 Ⅰ 陽 Ⅱ 宋 版 世 德 ② 多 一 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 慶 Ⅰ 大 東 ③ 致 一 武 内 東 大 ④ 之 多 一 道 藏 ④ 之 多 一 治 要 一 以 悲 哀 泣 之 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅 沢 慶 Ⅰ 大 東 慶 Ⅱ 武 内 東 大 東 洋 東 急 六 地 陽 Ⅱ 宋 版 世 德 道 藏 天 理 治 要 ① 位 一 足 利 ② 一 斯 Ⅰ 一

26 經 注 幽 以 道 化 人 一 活 Ⅱ 陽 Ⅰ 書 陵 龍 門 無 窮 足 利 筑 波 弘 文 斯 Ⅱ 梅

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②

爾不敢有臣使道者也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・天理」②

Ⅰ・道藏」

26 經 爾若能守之。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理」②

注 爾守道無爲。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅱ・東急・世德・天理」①

內・東大・東洋・斯Ⅰ・宋版」③

爾從於德化也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・天理」②

Ⅰ・東洋」②

爾注爾與天地相應合。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理」②

爾天則。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅰ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②

爾下甘露。善瑞也。活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・慶Ⅰ・慶Ⅱ・東大・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②

爾武内・東洋」②

爾經爾民莫之令。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・天理」②

爾而自均焉。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②

爾能制。有形也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・天理」①

爾刑。龍門・慶Ⅰ・大東」②

爾於。斯Ⅰ・宋版・世德」④

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

27 經

爾梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・天理」②

注 爾天降。善瑞也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」③

爾莫有教令之者。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・天理」①

爾皆自均調。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」①

爾若一也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」③

爾有名萬物也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」②

爾道無名。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」①

爾制於有名。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・世德・道藏・天理」②

爾窮。梅沢・武内・東大・東洋・東急」

爾無形。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・世德・道藏・天理」①

爾武内・東大・東洋・斯Ⅰ」

爾能制。有形也。活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・天理」①

爾刑。龍門・慶Ⅰ・大東」②

爾於。斯Ⅰ・宋版・世德」④

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

爾道藏」

27 41 注 嚮有名之物一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏·天理」②□□□□□□—慶Ⅱ」

嚮盡有情欲一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏·天理」①益□□□□—筑波」

嚮叛道一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·天理」①類□—慶Ⅱ」

嚮身毀辱也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·天理」②□□□□—東洋·道藏」

27 42 注 嚮法道行德一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·道

藏·天理」②去□□□—宋版·世德」

嚮將自知之也一活Ⅱ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東大·天理」②□□□□□□—陽Ⅰ·武

内·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□□□□—東洋」

27 43 注 嚮則神靈祐助一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·天理」②□□□□□□—道藏」

嚮不復危殆也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·弘文·慶Ⅱ·天

理」(上 欠)□—杏Ⅰ」②□□□□□□—梅沢·武内·東洋·

斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②則□□□□□□—足利·筑波·斯Ⅱ·

慶Ⅰ·大東」③下□□□□—東大」④則□□□□□□—東急」

經嚮道之在天下—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·杏Ⅰ·六地·

宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□—梅沢·東急·陽Ⅱ」

嚮猶川谷之與—江海—活Ⅱ·無窮·慶Ⅰ·大東·東洋·東急·斯Ⅰ·

杏Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□□—也—陽Ⅰ·書

陵·龍門·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅱ·武内·六地」②□□□□□□
海江—東大」②□□□□□□—梅沢·陽Ⅱ」④□□□□□□
於□□也—弘文」

27 47 注 嚮譬言一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·慶Ⅱ·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·天理」①辟□—

大東」②□□—武内·道藏」②□□—世德」②言□—宋版」

嚮道之在天下—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·杏Ⅰ·

宋版·世德·天理」②□□□□□□—東急·道藏」

嚮川谷—與江海—陽Ⅰ·書陵·龍門·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東

大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□—活Ⅱ·無窮·足

利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·杏Ⅰ·天理」②□□□□□□
之—道藏」

嚮流相通也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·杏Ⅰ·天理」②□□□□

□□—梅沢」②□□□□—足利」②□□□□—東急」②相流

□□—宋版·世德」④相流□□—道藏」

27 41 嚮辨德—第三十三—活Ⅱ·陽Ⅰ·天理」□□□□—弟卅—梅

沢」①辯□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□□

章□□□□—東大」②□□□□—武内·東洋」③知人

章□□□□—慶Ⅰ」③知人—章第卅—□—大東」③知人

第卅—□—慶Ⅱ」③知人—章第卅—□—弘文」③知人—智章

□□—筑波」③□□□□—書陵·龍門·無窮·足利·斯

Ⅱ·杏Ⅰ·東急·六地·陽Ⅱ」

27 42 注 嚮是—智也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·天

理」②□□□□—斯Ⅰ·道藏·治要」④□□爲□□—宋版·世德」

注 嚮賢—不肖—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·宋版·

世德·治要·杏Ⅰ·天理」②□□□□—與□□—斯Ⅰ·道藏」

27 93

1512 是為反活Ⅱ·陽Ⅰ·龍門·無窮·斯Ⅱ·梅沢·武内·東大·東
急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋版·世德·治要·天理②□□外□□書陵·東
洋②□□外□□弘文②□□反外足利②□□智□□筑波·慶
Ⅰ·大東·慶Ⅱ②□□謂□□道藏

1513 聽無聲活Ⅱ·書陵·無窮·足利·梅沢·東急·杏Ⅰ·宋版·世德·
道藏·天理①□□无□□陽Ⅰ·龍門·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶
Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·治要①听□□□弘文

1514 内視無形活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·大東·杏
Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理①□□无□□龍門·筑波·弘文·慶
Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·治要②□□□□東急

1515 為明也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·道藏·治要·杏
Ⅰ·天理②□□□□斯Ⅰ·宋版·世德②□□者□□東洋

注1516 不過以盛力也陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·
大東·杏Ⅰ②□□□□□□活Ⅱ·天理②□□威□□梅沢·
武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·治要·慶Ⅱ④□□
□□威□□筑波⑥□□有威□□道藏

27 94 注1517 勝已情欲活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
杏Ⅰ·宋版·世德·治要·天理③□□除去□□道藏

1518 天下無有活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·大東·東
急·杏Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理①□□无□□陽Ⅰ·龍門·筑
波·慶Ⅰ·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·治要

1519 能與已爭者活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
杏Ⅰ·宋版·世德·天理·治要②□□□□道藏

1520 為強也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·天理·治要

②□□□□矣也梅沢②□□□□□□杏Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德②
□□□□道藏

27 95 注1521 知足活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·道藏·天理②□□之□□
斯Ⅰ③□□之為足足利·弘文·慶Ⅰ·大東·宋版·世德③□□
之為足治要

27 96

1522 則長保福祿活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
杏Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理②□□□□治要

1523 為富也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·宋版·世
德·治要·杏Ⅰ·天理②□□者□□東洋②□□□□道藏

1524 強行者有志活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
杏Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理②□□□□則□□治
要

注1525 強力行善活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋
版·世德·治要·天理②□□人□□弘文②□□立□□道藏

1526 有意於道活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅
沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋
版·世德·治要·天理①□□□□斯Ⅱ②□□志□□道藏

1527 道亦有意於人活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·
弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·天理②□□
□□□□之□□梅沢②□□□□□□□□□□武内·東大·東洋·宋
版·世德④□□□□志□□□□□□□□□□道藏

注1528 其所受天之精氣活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘
文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東洋·東急·斯Ⅰ·杏
Ⅰ·宋版·世德·天理②□□□□□□□□□□東大②□□□□愛□□□
□□道藏③□□□□□□□□□□治要

1529 可以長久也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·

27 97

天理」②□□□□□—斯I」②□□□□□—治要」④□□□□□—
宋版·世德·道藏」

經闕不妄者壽—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·六地·陽II·天理」②□□□□□—斯I·宋版·世德·道藏·治要」

注闕目不妄視—活II·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·杏I·宋版·世德·道藏·天理·治要」①日□□□□—陽I」①自□□□□—斯II」

闕耳不妄聽—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·杏I·宋版·世德·道藏·天理·治要」①□□□□□—听—弘文」

闕口不妄語—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·杏I·天理·治要」②□□□□□—言—東急·宋版·世德·道藏」

28 村 闕無怨惡—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·杏I·世德·道藏·天理」①无□□□□—陽I·龍門·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版·治要」

闕故—長壽—也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·杏I·天理·治要」②□□□□□—也矣—斯II」②□□□□□—者—東洋」②□□□□□—斯I·宋版·世德」④□□□□□—道藏」

28 村 闕任成—第三十四—活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏·天理」□□□□□—卅—梅沢」②□□□□□—章—東大」②□□□□□—章—武内·東洋」③大道—章—慶I」③大道—章—卅—大東」③大道—章—筑波」③大道—章—卅—慶II」③大道—章—弘文」③—書陵·龍門·無窮·足利·斯II·東急·杏I·六地·陽II」

28 村 經闕大道—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·六地·陽II·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□—無窮·東急·斯I」

28 村 經闕大道—活II·陽I·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·杏I·六地·陽II·宋版·世德·道藏·天理」②□□□□□—無窮·東急·斯I」

闕汜兮—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東急·斯I·杏I·六地·陽II·宋版·世德·天理」①□□□□□—今—東洋」①汎□□□□—弘文·道藏」

注闕言大道—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·天理」②□□□□□—斯I·宋版·世德·道藏」

闕汜汜—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·宋版·世德·天理」①□□□□□—斯I」①汎汎—道藏」

闕若浮若沈—活II·陽I·宋版·世德·天理」②□□□□□—浮—書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·天理」

闕若有若無—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·東急·杏I·宋版·世德·道藏·天理」①□□□□□—无—龍門·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·斯I」

闕視之不見—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·杏I·天理」②□□□□□—有—道藏」

28 村 注闕可左可右—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·天理」②□□□□□—斯I·宋版·世德·道藏」

28 村 注闕可左可右—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·杏I·道藏·天理」②□□□□□—宋版·世德」

闕無所—活II·書陵·無窮·梅沢·東急·杏I·世德·道藏·天理」①□□□□□—陽I·龍門·筑波·慶II·武内·東大·東洋·斯I·宋版」②而□□□□—足利·弘文·斯II」③而无□□—大東」

闕不宜也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·杏I·天理」②□□□□□—斯I·宋版·世德·道藏」

經圖萬物恃之活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅

地·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·天理①□□特□□筑波①□□持□□陽Ⅱ

而生活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·六地·

陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理②以□□梅沢

注圖恃待也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢

慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理①特□□筑波·慶Ⅱ

圖皆待道活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·道藏·杏Ⅰ·天理

①□□恃□□宋版·世德②□□得□□弘文·斯Ⅱ

28 杉

而生活Ⅱ也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東急·天理②□□者□□東洋

注圖不辭謝活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

版·世德·道藏

圖而逆止之也活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·杏Ⅰ·天理①□□上□□龍門②□□

慶Ⅱ②□□武內·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德②

不□□梅沢②□□東急④□□道

經圖功成而不名有活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·六地·陽Ⅱ·道藏·天理②□□

注圖道活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·天理

道活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·天理

28 杉

②有□□斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

經圖愛養萬物而不為主活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢

慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·六地·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理②□□書陵·龍門·筑波·慶Ⅱ

注圖不如人主活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋版·世德·道藏②□□常□□無窮②□□主人天理

道藏②□□聚□□陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東急④□□聚□□武內·東大·東洋④□□集

28 杉

圖有所收取也活Ⅱ·足利·筑波·杏Ⅰ·天理②□□斯Ⅰ·道藏②□□放□□宋版·世德

經圖常無欲活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·武內·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理①□□無

□□陽Ⅰ·龍門·慶Ⅰ·大東·東大·六地·陽Ⅱ

圖可名於小矣活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·杏Ⅰ·六地·陽Ⅱ·道藏·天理②□□斯Ⅰ·宋版·世德

版·世德·道藏·天理②怕然靜形慶Ⅱ

圖道匿德活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·杏Ⅰ·宋版·世德·天理②□□跡道藏

圖怕然活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ・杏Ⅰ・天理
①泊□□東急・道藏②恒□□宋版・世德

③無爲一活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・杏Ⅰ・
宋版・世德・道藏・天理①无□□陽Ⅰ・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・

慶Ⅱ・武内・東大・東洋・斯Ⅰ

④似若微小也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・宋版・世德・
天理①□□□少■□筑波・梅沢②□□□者□□斯Ⅰ②□□

□□□道藏

28 引經 萬物歸焉而一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・
世德・道藏①□□飯□□無窮・筑波・大東・天理③□□飯而

焉一慶Ⅱ

注 歸皆歸道一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・宋版・世德・道藏①□□飯□□筑波・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理

⑤受氣一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・

慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・宋版・世德・天理
②愛□□龍門・弘文・斯Ⅱ②□□也一道藏

⑥人主有所禁止也一活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・東大・東
急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・宋版・世德・天理②□□□□□道藏②

□□□□□陽Ⅰ・書陵・龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東
洋③□□□□□慶Ⅱ

28 引經 可名爲大矣一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・

六地・陽Ⅱ・天理②□□□□□斯Ⅰ・宋版・世德②□□於□
□一道藏

注 使各自在一活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・弘文・梅沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武
内・東大・東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・世德・天理①□□名□□書陵・龍
門・筑波・斯Ⅱ・大東・東洋・宋版②各使□□道藏

⑦故可名於大也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・杏Ⅰ・
道藏・天理②□□□□□弘文③□□不若□□宋版・世
德

28 引經 不爲滿大也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・天理②□□

□□□斯Ⅰ・宋版・世德・道藏②□□□者□□東洋②

□□自□□無窮

經 故能成其大一活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・筑波・梅沢・武内・東大・東洋・
東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理②□□□也一書
陵・龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・弘文・斯Ⅱ・六地

28 引注 以身師導一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・天理①

□□帥□□慶Ⅰ・大東②□□飯□□無窮③□□率道一道藏

⑧故一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・天理
②能一宋版・世德・道藏

⑨成其大也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・天理②□□

28 引 仁德第三十五一活Ⅱ・陽Ⅰ・宋版・世德・道藏・天理
□□□□□梅沢②□□章□□東大②□□章

□□□武内・東洋③執大象章□□□筑波・慶Ⅰ③執大
象章□□弘文・大東・慶Ⅱ③□□書陵・龍

28 引經 天下往一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘
文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・六
地・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・天理②□□於□□東洋

注 天下萬民一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋

□□□□□東洋③執大
象章□□弘文・大東・慶Ⅱ③□□書陵・龍
門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ

版・道藏・天理」②□□□物―世德」

28 71 歸往之■―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・梅沢・慶Ⅰ」①皈□□
理―無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天
理」②□□□也―東急・斯Ⅰ・宋版・世德」②□□□也―道藏」
經 往來於己■也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・
天理」②□□□□□■―梅沢・道藏」②□□□□者□―東洋」
經 安平大―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・足利・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・
陽Ⅱ」①□□□太―龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大
東・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・天理」②□□□泰―道藏」
注 萬民―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②□□物―
斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」

29 11 歸往―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・東急・
斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」①皈□―無窮・筑波・弘文・大東・慶Ⅱ・
武内・東大・東洋・天理」
經 國家安寧―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・道
藏・天理」②□□安家□―宋版・世德」
經 而―太平矣―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・天理」①□□大□□―
足利・東大」②□□致□□□―斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」
經 身安―活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・天理」②則□□□―書陵・龍門・無
窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東
洋・東急・道藏」④則□□□―斯Ⅰ・宋版・世德」
經 大壽■也―活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・東大・斯Ⅰ・宋版・世德・天理」①
太□□□―書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶
Ⅱ・武内・東急」②□□□矣□―東洋」②□□□之□―梅沢」②□□□■
―道藏」

經 樂與餌―活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・大東・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・
道藏・天理」①□□■―書陵・慶Ⅱ・武内」

29 12 注 歸美也―活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・天理」
①■□□―書陵・慶Ⅱ・武内」

1594 能―活Ⅱ・陽Ⅰ・東大・東洋・天理」②人□―書陵・龍門・無窮・
足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東急・
斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」

1595 則一留止也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世
德・天理」②□□□□□一也□―足利」②□□居□□□―道藏」②
■□□□□□―斯Ⅱ」

1596 去盈而處虛―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世德・天理」②□□□□□―道藏」

1597 忽忽―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・
世德・天理」②□□處―道藏」

1598 如過客也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」②
□□□□―斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」

29 13 經 淡■兮―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・
慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・天理」
①□□■乎―斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」①□々□―弘文」

1600 其無味―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・
慶Ⅱ・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・天理」①□无□―龍
門・筑波・武内・東大・六地・陽Ⅱ」②□味無―弘文」

注 道■出入於□―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・
宋版・世德・天理」②□止□□□□―道藏」

1602 淡淡一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
天理」①□□■一慶Ⅱ」②□□然一「道藏」

1603 有酸鹹甘苦辛也一活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅰ·天理」①□□鹹□□□□一書
陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶
Ⅱ·武内·東大·東洋·東急」②□□□□苦甘□□一宋版·世德」②
□□□□□□■一「道藏」

29 杉注 1604 足得也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·世德·
道藏·天理」②□□德□□一宋版」

1605 道無形一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·慶Ⅱ·東急·宋版·
世德·道藏·天理」①□□无□□一陽Ⅰ·龍門·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大
東·武内·東大·東洋·斯Ⅰ」

1606 有青黃白黑赤一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東洋·東急·斯Ⅰ·天理」②□□□□赤白
黑一慶Ⅱ·武内·東大·宋版·世德·道藏」

1607 可得見之也一活Ⅱ·天理」②□□□□一陽Ⅰ·龍門·弘文·斯Ⅱ·
慶Ⅱ」②□□□□■一書陵·無窮·足利·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·
武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」

29 杉注 1608 有宮商角徵羽一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·武内·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」①□□
□□微□□一筑波·慶Ⅰ·大東·東大」②□□害□□微□□一慶Ⅱ」

1609 可得聽聞也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
天理」②□□□□之■一慶Ⅱ」②□□□□之矣一梅沢」②□□而□
□□一「道藏」

注 1610 ■一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·天理」④既盡也一「道藏」

1611 用道一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·梅沢·慶Ⅱ·東

大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·天理」②■□□也一足利·弘
文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内」②謂□□■一「道藏」

29 杉 1612 國富民昌一活Ⅱ·書陵·無窮·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶
Ⅱ·武内·東大·東洋·道藏·天理」②□□安□□一斯Ⅰ·宋版·世
德」③□□■一陽Ⅰ·龍門·足利·東急」③富民国□□一弘文」

1613 無有一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅱ·
東急·宋版·世德·道藏·天理」①无□□一龍門·筑波·慶Ⅰ·大東·
武内·東大·東洋·斯Ⅰ」

1614 既盡時也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
宋版·世德·天理」②□□之□□一「道藏」

29 杉 1615 微明一第三十六一活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·天理」
□□■一卅□□一梅沢」②□□■一章□□□□一東大」②□□
■一章□□卅□□一武内·東洋」③將欲■一章□□□□一慶Ⅰ」③將
欲■一章□□卅□□一「大東」③將欲翁■一章□□一慶Ⅱ」③將欲翁
之章□□卅□□一弘文」③將欲喻之章□□□□一筑波」③■一

29 引經 1616 將欲喻之一活Ⅱ·陽Ⅰ·武内·東大·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」①
□□翁□□一書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶
Ⅰ·大東·慶Ⅱ·東洋·六地·陽Ⅱ·道藏·天理」

1617 必固張之一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·陽
Ⅱ·宋版·世德·道藏·天理」①□□悵□□一足利」

注 1618 先開張之者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·
宋版·世德·天理」②□□□□■一「道藏」

1619 欲極其奢滯也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·慶Ⅱ·武内·東大·東洋」②□□□□□□

■一東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②■□□□□□一「天理」
1620 經將欲弱之一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

□於□也—斯I·宋版·世德·道藏

168效已—活II·陽I·斯I·天理 ③ 169—書陵·龍門·無窮·足利·

筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·道藏

168欲作巧偽者—活II·陽I·無窮·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·

慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·天理

① 170功—書陵·龍門·足利·筑波

169侯王—活II·陽I·東大·斯I·宋版·世德·天理 ② 王侯—書陵·

龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·慶II·

武内·東洋·東急·道藏

169當身—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶II·東洋·斯I·宋版·世德·天理 ② 171—慶I·大東·

武内·東大·東急·道藏

169鎮撫之—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·道藏·天理

② 172—斯I·宋版·世德

169以道德也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·天理 ②

173—斯I·宋版·世德·道藏

169無名之樸—活II·陽I·道藏·天理 ① 174—朴—書陵·龍門·無

窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·慶II·武内·東大·東

洋·陽II·東急·斯I·宋版·世德 ② 无—朴—六地—(大東、

以下一行脱)

30 16注 169 侯王—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·

天理 ② 王侯—道藏

169鎮撫之—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

慶I·慶II·斯I·天理 ② 175—梅沢·武内·東大·東洋·東

急·宋版·世德·道藏

169以道德—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·天理 ② 176—化—道藏

169將不欲改—活II·陽I·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·

慶II·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·天理 ① 177—改—

斯I ① 178—攻—足利 ① 179—政—龍門 ① 180—故—

書陵·道藏

169當以清靜—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶II·東洋·宋版·世德·道藏·天理 ② 181—淨—慶

I·大東·武内·東大·東急·斯I

169導化之也—活II·陽I·足利·弘文·梅沢·慶I·大東·慶II·武

内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·天理 ① 182—書陵·龍

門·筑波·斯II ② 183—東急 ③ 184—無窮 ③ 185—道藏

—道藏

30 17 169 經 169 將自正—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·

陽II·道藏·天理 ② 186—定—宋版·世德

169 注 169 將自正安定也—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·足利·筑波·弘

文·斯II·慶I·大東·慶II·武内·東大·東洋·東急·斯I·天

理 ② 187—之—梅沢 ② 188—宋版·世德·道

藏

30 18 169 老子道—經—上—活II·陽I·書陵·龍門·無窮·筑波·

斯II·慶I·大東·東急·六地 ② 189—終—慶II ② 190—梅

沢·杏I·陽II ② 191—終—東洋 ② 192—弘文 ③ 193—終—世德 ③

194—卷—卷之—東大 ③ 195—德—德—終—

足利 ③ 196—武内 ③ 197—經—道德—斯I ③ 198—河上公—卷

199—卷—宋版 ③ 200—道德真經註—卷之二—道藏 ③

201—天理

202—天理

沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏」①□□无□□東大・六地・敦Ⅲ・治要」

注18言法道一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・敦Ⅲ・道藏・治要」②謂□□—宋版・世德」

19無所改爲也一活Ⅱ・無窮・弘文・梅沢・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅲ・道藏」①无□□□□—杏Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・治要」①□□攻□□—書陵・斯Ⅱ」②无□攻□□—陽Ⅰ」②□□□□—筑波」

經20而無以爲一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏・治要」①□□无□□—慶Ⅰ・東大・六地・敦Ⅲ」

注21無以名號爲也一活Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・道藏」①无□□□□□□—杏Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・治要」②□□□□□□—書陵・宋版・世德」③无□□□□—陽Ⅰ・敦Ⅲ」

1 引注22爲教令一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅲ・道藏・治要」①□□命一梅沢」

23施政事也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」②□□□□—東急」④□□□□—敦Ⅲ」

經24而有以爲一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏」②□□□□□□—敦Ⅲ・治要」③□□□□□□—斯Ⅱ」

注25言以爲已取名号也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」②□□□□□□—敦Ⅲ・治要」③□□□□□□—斯Ⅱ」

1 引注26謂行仁之君一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・

慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・敦Ⅲ・道藏・治要」②□□□□□□也—無窮・聖語・斯Ⅰ」

27其仁無上—活Ⅱ・書陵・無窮・弘文・斯Ⅱ・東急・聖語・斯Ⅰ・道藏」①□□无□□—陽Ⅰ・杏Ⅱ・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・敦Ⅲ」②□□爲□□—宋版・世德」

28言上仁也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」②□□□□—敦Ⅲ」

29爲仁恩也—活Ⅱ・陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・道藏」②□□□□—書陵・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ」②□□□□—大東」②□□□□—東急・宋版・世德・敦Ⅲ」

1 引注30無以爲一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・梅沢・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・陽Ⅱ・宋版・世德・道藏」①无□□□—筑波・慶Ⅰ・大東・東大・六地・敦Ⅲ」

注31無執爲也—活Ⅱ・書陵」①无□□□□—陽Ⅰ・筑波」②□□□□—梅沢・聖語・斯Ⅰ」③无以□□□□—杏Ⅱ」③□□以所□□□□—無窮・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」④□□以□□□□—東急・宋版・世德・道藏」⑤无以□□□□—武内・東大・東洋・敦Ⅲ」

注32爲義以斷割也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・世德」②□□□□□□—東急・敦Ⅲ」②□□□□□□—聖語・斯Ⅰ」②謂□□□□□□—道藏」

1 引注33爲已殺人—活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・弘文・斯Ⅱ・大東・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德」①□□斂□□—書陵・杏Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・武内・東大・東洋」①□□斂□□—梅沢・敦Ⅲ」②□□救□□—道藏」

34以成威—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅲ」②□□爲□□—道藏」

35自以奉也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵」②以□□□□—杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・

世德・道藏 ②以□□□□—梅沢 ④以□□□□—東急・敦Ⅲ

注36謂上禮之君 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・宋版・世德・敦Ⅲ・道藏

②□□□□也—無窮・聖語・斯Ⅰ

37 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅲ・道藏 ③爲之者言—弘文

38 其禮無上也—活Ⅱ・書陵・無窮・弘文・斯Ⅱ・梅沢・聖語・東急・斯Ⅰ ①□□礼无□□—陽Ⅰ・杏Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・敦Ⅲ ②□□□□—宋版・世德・道藏

39 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・聖語・東急・斯Ⅰ・敦Ⅲ ③故言上礼—武内・東大・東洋・宋版・世德・道藏 ③故言上礼也—杏Ⅱ

1 76

40 序威儀也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東洋・聖語・斯Ⅰ・道藏 ①□□義□—武内・東大 ②□□□□—東急・宋版・世德・敦Ⅲ

注41華盛實衰—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ③□□弃實—無窮 ③□□實盛—敦Ⅲ

42 飭僞煩多—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅲ ②盛□□□—道藏

43 不可—應也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德

②□□□□—東急・敦Ⅲ ②□□得□□—道藏

注44不可應—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世德・道藏・敦Ⅲ ②□□□□也—無窮・聖語・斯Ⅰ

45 上下忿爭—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世

德 ②□□怨□—道藏 ②□□急□—敦Ⅲ

46 攘臂—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅲ ①□□辟—武内

1 77

47 相仍引—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・聖語・斯Ⅰ・道藏 ②□□□□之—杏Ⅱ・武内・東大 ②□□□□之者—東洋 ②□□□□—慶Ⅰ・大東・東急・宋版・世德・敦Ⅲ

注48道衰—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東急 ②□□□□而—杏Ⅱ・無窮・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅲ

49 德化生也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ②□□□□—東急・敦Ⅲ

2 78

注50仁愛見也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ②□□□□—東急・敦Ⅲ

注51仁衰而—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ②□□□□—東急・敦Ⅲ

52 義分明也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ ②□□□□—東急・道藏 ②分□□□□—無窮 ②分□□□□—斯Ⅱ・宋版・世德 ③分□□□□—敦Ⅲ

經53失—義而後禮—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅲ ②□□□□礼—陽Ⅱ

2 79 注54言義衰則—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅲ ②□□□□—陽Ⅰ・書陵・東大・東急

□□□□—陽Ⅰ・書陵・東大・東急

□□□□—陽Ⅰ・書陵・東大・東急

□□□□—陽Ⅰ・書陵・東大・東急

□□□□—陽Ⅰ・書陵・東大・東急

55 行玉帛也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。筑波。弘文。斯Ⅱ。

梅沢・慶Ⅰ。大東。武内。東大。道蔵②。者□。東洋②。

聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世徳。敦Ⅲ。

2 33 注 56 衰薄也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。筑波。弘文。斯Ⅱ。慶

Ⅰ。大東。武内。東大。聖語。道蔵。足利。宋版。世徳。

迄闕②。者□。東洋②。東急。斯Ⅰ。宋版。世徳。

敦Ⅲ。梅沢(以下次章前半迄缺)。

57 亂之首也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯

Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。六地。陽Ⅱ②。

東急。宋版。世徳。道蔵。敦Ⅲ。

58 賤質而貴文。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。

斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。

世徳。敦Ⅲ②。道蔵。

59 正直日以少。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。

斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。宋版。世徳。

道蔵。敦Ⅲ②。貢。東急。

60 邪亂日以生也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。

斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ②。敦Ⅲ。

東急。宋版。世徳。道蔵③。耶乱。敦Ⅲ。

2 34 注 61 爲前識。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯

Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世

徳。道蔵②。謂。敦Ⅲ②。也。治要。

62 得道之華者也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。

斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋②。聖語。東

急。斯Ⅰ。宋版。世徳。道蔵。敦Ⅲ。治要。

2 35 經 63 而愚之始也。活Ⅱ。陽Ⅰ。無窮。筑波。慶Ⅰ。大東。聖語。東急。

斯Ⅰ。六地①。禹。書陵②。杏Ⅱ。足利。弘

文。斯Ⅱ。武内。東大。東洋。陽Ⅱ。宋版。世徳。敦Ⅲ。治要④。

道蔵(前句に直結、従つて前句注は本句下に有る)。

注 64 言前識之人。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。

斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。

世徳。敦Ⅲ。治要③。人之一道蔵。

65 愚闇之一活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。

慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。宋版。世徳。敦Ⅲ。

治要①。暗。東急。道蔵。

66 倡始也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。東

大。敦Ⅲ①。唱。杏Ⅱ。武内。聖語。斯Ⅰ。治要②。

慶Ⅰ。大東。宋版。世徳。道蔵③。唱之。東洋③。唱。

東急。

2 36 注 67 謂道德之君也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。

慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。東急。治要②。得道。無窮。宋版。世徳。道蔵。

斯Ⅰ。敦Ⅲ③。處身於敦朴也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘

文。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。東急②。謂。聖語。宋版。世徳。敦Ⅲ③。

淳。斯Ⅰ③。撲。治要。

68 不居其薄。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大

東。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世徳②。處。杏Ⅱ。無窮。武

内。東大。東洋。道蔵。敦Ⅲ。治要。

2 37 經 70 處其實。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。

慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。六地。陽Ⅱ。

宋版。世徳。敦Ⅲ。治要②。居。道蔵。

注 71 處忠信也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯

Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世

徳。道蔵。治要②。敦Ⅲ。

經 72 不處其華。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。筑波。慶Ⅰ。大東。武内。東

大。東洋。六地。陽Ⅱ。治要②。居。無窮。足利。弘文。斯

Ⅱ。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世徳。道蔵。敦Ⅲ。

注 73 不尚言也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯

Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。宋版。世徳。道

藏」②□□□□□—東急・敦Ⅲ」②□□□□□—治要」

2 71 注74 取此淳厚也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ」

②□□□□□—慶Ⅰ・大東・敦Ⅲ」②□□□□□—杏Ⅱ・武内・東大」③□□□□□—聖語・斯Ⅰ」④□□□□□—東洋」④□□□□□—敦」④□□□□□—東急」④□□□□□—實」⑤□□□□□—厚實」—宋版・世徳」

2 72 75 法本第三十九—活Ⅱ・陽Ⅰ・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」

②□□□□□—章□□□□□—武内・東大」②□□□□□—章□□□□□—東洋」③昔之—章□□□□□—慶Ⅰ」③昔之—章□□□□□—卅」—杏Ⅱ・大東」③昔之得一章□□□□□—筑波・弘文」③—書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅲ」

2 73 注76 一無也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・弘文・斯Ⅱ」①□□□□□—慶

Ⅰ・大東」②□□□□□—聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」②□□□□□—筑波・武内・東大・東洋」②□□□□□—亡」—足利」③□□□□□—元要」③□□□□□—元氣」—無窮」⑤□□□□□—東急・敦Ⅲ」

77 道之子也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急」②為□□□□□—聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」④為□□□□□—敦Ⅲ」④為□□□□□—治要」

經78 天得一以清—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・聖語・斯Ⅰ・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・道蔵・治要」②□□□□□—以—敦Ⅲ」

注79 言天得一故能垂象清明也—活Ⅱ・無窮」③—陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅲ・治要」

(諸本此の注文次句の下に有り)
2 74 注80 能垂象—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・治要」①能垂像—敦Ⅲ」

81 清明也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ・大東」②□□□□□—武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅲ・治要」

注82 言地得一—活Ⅱ・無窮・聖語・斯Ⅰ」②□□□□□—陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅲ・治要・足利？」

83 不動搖也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・聖語・斯Ⅰ・足利？」②□□□□□—東洋」②□□□□□—東急・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅲ・治要」

2 75 注84 變化無形也—活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ」①□□□□□—陽Ⅰ・杏Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ」②□□□□□—東急・宋版・世徳」③□□□□□—敦Ⅲ・治要」④□□□□□—道蔵」

注85 能盈滿而—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅲ」②□□□□□—治要」②□□□□□—道蔵」

2 76 86 不絕也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□□—敦Ⅲ・治要」③□□□□□—道蔵」

注87 生成也—活Ⅱ・陽Ⅰ」②□□□□□—足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」②□□□□□—筑波」②□□□□□—東急・敦Ⅲ」④以□□□□□—武内」④以□□□□□—書陵・杏Ⅱ・無窮・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」④□□□□□—治要」

經88 侯王得一—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・六地・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅲ・治要」②王侯□□□□□—無窮・聖語・斯Ⅰ・陽Ⅱ」

2 77 89 爲天下—正—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・六地」②以□□□□□—杏Ⅱ・筑波・武内・東大・東洋・陽Ⅱ・世徳・道蔵・敦Ⅲ」④以□□□□□—貞—無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・聖語・東急・斯Ⅰ・治要」④以□□□□□—爲—宋版」

注90 言侯王得一—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

慶Ⅰ·大東·東洋·東急·宋版·世德·道藏·敦Ⅲ·治要〔②〕王侯□□—杏Ⅱ·武內·東大·聖語·斯Ⅰ—

91能為天下平正也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·聖語·斯Ⅰ·治要〔①〕飛為□□□□

□—筑波〔②〕□□□□—東急·宋版·世德·道藏〔②〕□□□□—足利〔②〕□□□□—東洋〔④〕□□□□—正平—敦Ⅲ—

注92致誠也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版〔①〕戒□—道藏〔②〕誠□—世德〔②〕成□—敦Ⅲ—

93謂下五事也—活Ⅱ·陽Ⅰ·足利·弘文·斯Ⅱ·武內·東大·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅲ?—〔②〕□□□□—東急〔②〕故□□□□—道藏〔②〕□□□□—書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·慶Ⅰ·大東·東洋

□—武內·東洋·聖語·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·治要〔①〕无□□—東大·慶Ⅰ·大東·六地·敦Ⅲ〔②〕茂□□□—東急〔①〕无□□—天當有—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅲ·治要〔②〕□□□□—道藏

注95言天當有—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅲ·治要〔②〕□□□□—道藏

96陰陽弛張—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅲ?—〔①〕□□□□—武內〔①〕□□□□—施□□—東急·宋版·世德〔③〕□□□□—治要

97晝夜更用事—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅲ〔②〕□□□□—足利·宋版·世德·道藏〔③〕□□□□—治要

98欲清明無已時—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·東急·宋版·世德〔①〕□□□□—陽Ⅰ·杏Ⅱ·弘文·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅲ·治要〔③〕安靜□□□—道藏

99恐分裂不為天也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·武內·東大·東洋·東急·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅲ·治要〔②〕□□□□—下□—足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東〔②〕□□□□□□□□—宋版·世德〔②〕發□□□□□□—道藏

經100地無以寧—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·陽Ⅱ·宋版·世德·道藏·治要〔①〕无□□—東大·六地·敦Ⅲ—

3注101氣節五行—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅲ〔③〕□□□□—治要

102安靜無已時—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·東急·宋版·世德·道藏〔①〕无□□—陽Ⅰ·杏Ⅱ·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅲ·治要

103將恐發泄不為地也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ〔②〕□□□□□□□□—東急·宋版·世德·治要〔②〕□□□□—道藏〔③〕□□□□—洩□□□□—敦Ⅲ—

經104神無以靈—活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔①〕无□□—陽Ⅰ·六地·敦Ⅲ·治要

105王相囚死休廢—活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅲ?—〔①〕□□□□—體□□—陽Ⅰ·筑波〔②〕□□□□—死□□□□—道藏〔③〕□□□□—治要

注106靈無已時—活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東急·宋版·世德·道藏〔①〕无□□—陽Ⅰ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅲ·治要

107恐虛歇不為神也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅲ〔②〕□□□□□□—斯Ⅱ·東急·治要

經108谷無以盈將恐竭—活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅲ·治要

II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II · 治要」②□□貴□—道藏」

126 禹稷躬耕—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 筑波 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急」②□□□□稼—無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」

127 舜陶河濱—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」①□□□阿□—慶 I」

128 下白屋—也—活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 治要」②□□□者□—足利 · 弘文 · 斯 II」②□□□□—書陵 · 道藏 · 敦 II」

3 93 注 129 欲—尊貴—活 II · 陽 I · 無窮 · 筑波 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」②□□立□□—書陵 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東」④□□立—高—梅沢」④□□高—武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I」④立□□高—杏 II」

130 當以下為本基—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②□□□貴□□—梅沢」②□□□□□□—治要」

131 猶築墻造功—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 慶 I · 大東 · 斯 I」①□□牆□□—宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②□□墟□□—聖語」②由□□□□—東急」④□□□□—治要 (本注此れ以下無し)」

132 後必傾—危也—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 東大 · 聖語 · 斯 I」②□□□□□□—武内 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②□□□□□□—者□□—東洋」②□□□差□□□—弘文」②□□□□□□—足利」

3 94 經 133 是以王侯—活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 六地」②□□□□侯王—杏 II · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」

134 自稱—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 治要」②□□□□□□—足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 治要」②□□□□□□—謂—宋版 · 世德」③□□□□□□—道藏」

東急 · 斯 I · 治要」②□□□□曰—足利 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 敦 II」②□□□□—無窮 · 筑波 · 弘文 · 六地」②□□□□—宋版 · 世德」③□□□□曰—道藏」

135 孤寡不穀—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 敦 II · 治要」①□□□□穀—東大 · 足利 · 道藏」

注 136 孤寡—喻孤獨—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 大東 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」①□□□□論□□—梅沢 · 慶 I · 武内 · 東大 · 東洋」②□□□□□□—也—聖語 · 斯 I」③□□□□者□□□□—也—無窮」

137 不穀喻不能—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」①□□□□論□□—梅沢 · 武内」①□□□□□□—足利 · 大東」②□□□□論□□—東大」

3 95 注 138 車穀—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 武内 · 東洋 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 · 聖語？」①□□穀—大東 · 東大」

139 衆輻所湊—也—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 武内 · 東大 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 治要」①□□輪□□—梅沢」②□□□□□□—東洋」②□□□□□□—慶 I · 大東 · 宋版 · 敦 II」③□□穀□□□□—世德」

經 140 非—以賤為本邪—活 II · 陽 I · 杏 II · 武内 · 東大 · 東洋」①□□□□□□—耶—書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」②□□□□□□—敦 II · 治要」④□□□□□□—東急」

注 141 言侯王—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②□□□□侯王—足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I」②□□□□—治要」

142 至尊貴—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」

143 至尊貴—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要」

敦II・治要」②□□□□■一梅沢・聖語」

143 ■此非以賤爲■本乎一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・治要」①■□□□□□□□□爲□□一杏II」②以□□□□□□□□□□一弘文」③言□□□□□□□□一道蔵」

144 以曉■人也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・敦II」②□□□□■一宋版・世徳」②□□□□於□□一道蔵」③■□□□■一治要」

145 非乎一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵・治要」①悲□□一敦II」

注146 嗟歎之辭也一活II・陽I・書陵・足利・筑波・弘文・斯II」①□□□□一杏II・無窮・慶I・大東・武内・東大・東洋・斯I」②差嘆□□□□一梅沢・聖語」②□□□□□□■一宋版・世徳・道蔵・敦II」③□□□□■一東急」

147 致數車無車一活II・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・武内・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵」①□□□□无□□一陽I・慶I・大東・東大・聖語・斯I・六地・敦II」

3 引注148 ■一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I」③致就也一宋版・世徳・道蔵・敦II」

149 人致就車數之一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I」②■□□□□□一筑波」②□□□□□□■一宋版・世徳・道蔵・敦II」

150 爲輻爲輪一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II」①□□□□輪一斯II」②□□輪□輻一梅沢」②■□□□一東急」

151 爲數爲衡一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世

徳・敦II」①□□穀□□一東大」②□□□□■一道蔵」

152 無有名爲車者■一活II・書陵・足利・弘文・斯II・梅沢・東急・宋版・世徳・敦II」①无□□□□□□■一陽I・杏II・無窮・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I」②□□□□□□□□也一筑波」②□□□□■一道蔵」

153 以喻王侯一活II・陽I・書陵・東急・道蔵」①□□論□□一武内・東大」②□□侯王一杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・敦II」

4 引注154 不以尊号自名一活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・敦II」②□□□□□□号一東大」②□□貴□□□一無窮・聖語・斯I」

155 成其■貴也■一活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・武内・東大・聖語・東急・斯I・道蔵」②□□高□□■一無窮」②□□□□■一者□□■一東洋」②□□□□■一矣一慶I・大東」②□□□□■一宋版・世徳・敦II」

156 球如玉一活II・陽I・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・梅沢」②琢々□□一書陵・六地」②碌碌□□一無窮・道蔵」

157 落落如石一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵」②碌碌□□一敦II」

4 引注158 球喻少一活II・陽I・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II」①□□々論□□一梅沢・武内・東大・東洋」②碌碌□□一無窮・道蔵」②琢々□□一書陵」

159 落落喻多一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵」①□□論□□一梅沢・武内・東大」②碌碌□□一敦II」

160 玉少故見貴一活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II」②□□故少□□一無窮」②□□□□■一道蔵」

161 石多故見賤 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ②

162 言 不欲 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

163 如玉爲人所貴 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ②

164 當處其中也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ②

165 去用 第四十 | 活 II · 陽 I · 梅沢 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

道之動章 杏 II · 慶 I · 大東 ③ 反者道之動章 弘文 ③ 反者

4 44 注 166 反 本也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ③

167 本者 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

168 道之所以 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 大東 · 慶 I · 東急 · 敦 II ②

169 背之則亡也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

世德 ②

4 45 注 170 所以常用 | 活 II · 無窮 ②

171 故能久長也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 ②

172 天下之萬物生於有 | 活 II · 陽 I · 無窮 · 足利 · 梅沢 ②

173 天下萬物 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 敦 II ③

174 言生於有也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

175 有生於無 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 武内 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ①

4 47 注 176 道無形 | 活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 東急 · 世德 · 道藏 ①

177 故言生於無也 | 活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 梅沢 · 武内 · 東洋 · 東急 · 道藏 ①

178 本勝於華 | 活 II · 陽 I · 無窮 · 弘文 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ②

宋版 · 敦 II

世德 ②

□□葉一書陵·杏Ⅱ·筑波·梅沢·東洋·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·東急·斯Ⅰ」②□□葉□一足利」②□□從□一斯Ⅱ」

179 謙虛勝盈滿也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·武内·東大·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□於□□一慶Ⅰ·大東·東洋·東急」②□□□□□□一弘文」④□□□□

4 71 180 同異■第四十一一活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□章□□□□一武内·東大·東洋」③上土■章□□□□一杏Ⅱ·慶Ⅰ」③上土■章□□冊□□一弘文」③上土■聞道章

4 72 注181 竭■力而一活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□心□□一陽Ⅰ·書陵·足利·弘文」②□□功□□一梅沢」②□□□□一道藏」

4 73 注183 聞道治身一活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東急」②□□之■一杏Ⅱ·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□■一足利」②□□之■一道藏」

184 治國以太平一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一陽Ⅰ」

185 見財色榮譽一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一營□□一斯Ⅱ」②□□賤□□□一筑波·書陵」

186 惑於情欲一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏」①□□□□一書陵」①或□□□□一宋版·世德·敦Ⅱ」

187 復亡■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ」②□□之■一杏Ⅱ·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·宋版·世德」②□□之■一敦Ⅱ」②□□之■一道藏」④後□■

4 74 187 復亡■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ」②□□之■一杏Ⅱ·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·宋版·世德」②□□之■一敦Ⅱ」②□□之■一道藏」④後□■

東·聖語·斯Ⅰ」②□□之■一杏Ⅱ·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·宋版·世德」②□□之■一敦Ⅱ」②□□之■一道藏」④後□■

188 聞道大笑之一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏」①□□□□一足利·梅沢·慶Ⅰ·大東·敦Ⅱ」

189 貪狼一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·道藏」①□□很一聖語·斯Ⅰ」

190 多慾■一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·武内·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東」①□□欲■一無窮·梅沢·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」③□□欲心一東大」

191 謂之恐懼一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□一足利」②□□怨□□一斯Ⅰ」

192 見道質朴一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一樸一東急」

193 大笑之也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·筑波·弘文·斯Ⅱ」①□□笑□□一足利·慶Ⅰ·大東」②□□□□一武内·東大·東洋·東急」②□□□□一聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□一矣一道藏」②□□而□□□□一無窮」③□□而咲□□一梅沢」④□□而咲□□一敦Ⅱ」

194 不笑一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·弘文·斯Ⅱ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏」①□□咲一書陵·足利·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·敦Ⅱ」

195 不為下士所笑一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·斯Ⅱ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①□□□□□□一咲一書陵·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·敦Ⅱ」

196 不足名以為道■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東急」②□□□□□□一者一東洋」

德」②□□人□□敦Ⅱ·道藏」②□□■□□梅沢」

經216建德若揄一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·敦

Ⅱ」②□□□□偷一梅沢·宋版·世德·道藏」

5 4注217揄引使空虛也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ」②□□□

□□虛□□□大東」②偷□□□□□□□□□□宋版·世德·道藏」②□□□□

□□■□敦Ⅱ」

經218質直若渝一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六

地·敦Ⅱ」②□□真□□□□□□□□□□宋版·世德·道藏」

注219渝淺不明也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ」②□□□

□□□□□□東急·宋版·世德·敦Ⅱ·道藏」

5 4注220大方無隅一活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大

東·武内·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①□□□无

□□一陽Ⅰ·東大·筑波·梅沢·六地·敦Ⅱ」

注221大方正之人一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏·敦Ⅱ」①太□□□□□□梅沢」

222無委曲廉隅也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·弘文·梅沢」①无□

□□□□□□□□□□一杏Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ」

②□□□□□□□□□□一足利·東急·世德·道藏」③无□□□□□□

■□□□□□□□□□一斯Ⅱ·宋版·敦Ⅱ」③无□□□□□□者□矣一筑波」

經223大器晚成一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋

版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□□□一弘文」

5 6注224不可卒成也一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」

②□□□□□□□□□□一聖語」②□□□□□□□□□□一書陵·道藏·敦Ⅱ」

注225大音猶雷霆一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅱ」①□□□□□□當□□梅沢」②□□□□□□一道藏」

226喻常愛氣希言也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東急·宋版·世德·道藏」①論□□□□□□□□□□一無

窮·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ」②□□□□□□□□□□一敦

Ⅱ」

5 4注227大象無形一活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·武内·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①□□□无

□□一陽Ⅰ·慶Ⅰ·大東·東大·六地·敦Ⅱ」

注228質朴無形容也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅

沢」①□□□□□□□□□□一杏Ⅱ·筑波·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖

語·斯Ⅰ」②□□□□□□□□□□一東急·世德·道藏」③□□□□□□无□□

■□□□□□宋版·敦Ⅱ」③□□□□□□而无□□□□一東洋」

經229道隱無名一活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①

□□□□□□一陽Ⅰ·武内·東大·六地·敦Ⅱ」

注230使人一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅱ」②伏□□一道藏」

231無能一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·東急·世德·道藏」

①无□□一陽Ⅰ·杏Ⅱ·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·

聖語·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ」

232指名也一活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·足利·梅沢·武内·東大·東洋·東

急·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□一陽Ⅰ·書陵·弘文」②

□□□□□□一筑波·道藏·敦Ⅱ」②旨□□□□□□一慶Ⅰ·大東」④旨□者

□□一斯Ⅱ」

5 4注233且成就之也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·

大東·宋版·世德」②□□□□□□□□□□一筑波·道藏·敦Ⅱ」②□□□□

■□□□□□一無窮·聖語·東急·斯Ⅰ」②□□□□□□□□□□一梅沢·武内·

東大」④者——東洋」

5 72 234 道化 第四十二——活 II · 陽 I · 梅沢 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」②章——武内 · 東大 · 東洋」③生——杏 II · 慶 I」③生——大東」③生——書陵 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 東急 · 筑波 · 弘文」③生——書陵 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 東急 · 六地 · 敦 II」

6 地 · 敦 II」

5 73 注 235 始所生者一也——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 道藏 · 敦 II」②——慶 I · 東急 · 世德」②——大東」④——敦 II」

注 236 一生陰與陽也——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德」②——敦 II · 道藏」

5 74 注 237 和 清濁——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 敦 II」②氣——聖語 · 斯 I · 道藏」③氣——宋版 · 世德」

238 為天地人也——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」②——敦 II」

注 239 天地人共生萬物也——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 道藏」②——宋版 · 世德」②——敦 II」

240 天施地化人長養之也——活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德」②——陽 I · 東洋 · 道藏」②——杏 II」④——敦 II」

5 75 經 241 肩陰而抱陽——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II · 道藏」②——枕——斯 II」④——枕——弘文」

注 242 無不負陰而向陽——活 II · 書陵 · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東急 · 世德」①无——陽 I · 杏 II · 筑波 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 敦 II」②背——道藏」

243 廻心——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II」①回——東急 · 道藏」

244 始就日也——陽 I · 書陵 · 足利 · 弘文？」②如——活 II · 杏 II · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東急」②——無窮」②而——敦 II」④如——東洋」④而如——梅沢」④如——聖語 · 斯 I」④而——道藏」

5 76 經 245 冲氣以為和——活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 六地 · 道藏」①冲——杏 II · 足利 · 筑波 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德」③(此五字注)——敦 II」

注 246 萬物中——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II」②之——道藏」

247 皆有元氣——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」①无——大東」

248 得以和柔——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②——東急」

249 骨中有髓——活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②——弘文」

250 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

251 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

252 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

253 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

254 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

255 草木之中——活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 弘文？」①中——杏 II · 慶 I · 大東」①本——筑波」②——無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

□□者□—東洋②□□□□□□—梅沢②□□□□□□—東急·宋版·世德·敦Ⅱ

6 75 注270 強梁者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□—宋版·世德

271 謂不信玄妙—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ②為□□□□—道藏③□□□□—治要

272 背叛道德不從經教—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ①皆□□□□□□□□—道藏③□□□□—治要

273 尚勢任力也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏②□□□□—敦Ⅱ·治要

274 不得其死者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ②云□□□□□□—道藏③□□□□—治要

275 為天所絕—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ·治要②謂□□□□—道藏②□□□□—杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋②□□□□—命□□□—東急

276 兵刃所伐—活Ⅱ·無窮·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ·治要①□□□□—刀□□□—世德②為□□□□—陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·梅沢·東大·東洋②為為□□□□—武内②□□□□—加—道藏

277 王法所斂—活Ⅰ·活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·梅沢·聖語①□□□□—殺—杏Ⅱ·無窮·東大·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ③□□□□—治要

278 不得以命死也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·東急·治要②□□□□□□—武内·敦Ⅱ②□□□□—壽□□□□—梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德④□□□□—壽□□□□—道藏

經279 以為教父—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①□□□□—文—東急

注280 父始也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①文□□□—東急

281 老子—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①孝□□—書陵

282 為教戒之始也—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·宋版·世德·道藏①□□□□—書陵·無窮①□□□□—斯Ⅰ②□□□□—敦Ⅱ·治要

6 71 283 備用第四十三—活Ⅱ·陽Ⅰ·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德①偏□□□□□□—梅沢·道藏②□□□□—章□□□□—武内·東大·東洋③天下—章□□□□—杏Ⅱ·慶Ⅰ③天下—章□□□□—大東③天下之章□□□□—筑波③天下之至柔□□□□—弘文③□□□□—書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·敦Ⅱ

6 72 經284 馳騁天下之至堅—活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①馳□□□□□□—陽Ⅰ①□□□□□□—斯Ⅱ

注285 至柔者水也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·敦Ⅱ·治要②□□□□—斯Ⅱ②□□□□—聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

— 220 —

注286至堅者金石也。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。弘文。梅沢。

慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。敦II。治要。①□□賢
□□□□。筑波。②□□□□。斯II。②□□□□。斯I。
④□□□□。宋版。世德。④□□□□。道藏。

287水能貫堅。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。弘文。斯II。梅
沢。慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯I。宋版。世
德。道藏。敦II。治要。①□□□□。賢。筑波。

288無所不通也。活II。無窮。書陵。足利。筑波。弘文。斯II。梅沢。
東急。①无□□□□。陽I。杏II。慶I。大東。武内。東大。東洋。
治要。②□□□□。世德。道藏。③无□□□□。聖語。斯I。宋
版。敦II。

經289無有。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。弘文。斯II。梅沢。
慶I。武内。東洋。大東。聖語。東急。宋版。世德。道藏。②无□□
東大。筑波。六地。斯I。敦II。治要。

290入於無間。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。筑波。弘文。斯
II。慶I。大東。武内。東洋。聖語。東急。斯I。道藏。①□□无
□□。梅沢。東大。六地。敦II。治要。②□□□□。宋版。世德。

注291。活II。陽I。書陵。杏II。足利。筑波。弘文。斯II。梅沢。
慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯I。宋版。世德。治要。
②夫。無窮。東急。敦II。③夫言。道藏。

292無有。謂道也。活II。書陵。無窮。足利。斯II。梅沢。東急。宋版。
世德。①无□□□□。陽I。杏II。弘文。武内。東大。東洋。聖
語。斯I。敦II。治要。②□□□□。筑波。②□□□□。者。□□□□。
道藏。③无□□□□。慶I。大東。

293道無形質。活II。書陵。無窮。足利。弘文。斯II。東急。宋版。世
德。道藏。①□□无□□□□。陽I。杏II。筑波。梅沢。慶I。大東。武
内。東大。東洋。聖語。斯I。敦II。治要。

294出入。無間。活II。書陵。足利。弘文。梅沢。大東。東急。世德。
①□□□□。无□□□□。陽I。杏II。筑波。斯II。慶I。武内。東大。東洋。
聖語。斯I。宋版。道藏。敦II。治要。②□□□□。於□□□□。無窮。

注295通。神。群生。也。活II。陽I。杏II。無窮。足利。筑波。斯
II。慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯I。世德。②□□□□
□□□□。弘文。東急。宋版。治要。②□□□□。之
□□。書陵。梅沢。②□□□□。養。羣。□□□□。敦II。④□□於□明濟於
羣。□□。道藏。

296吾是以。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。筑波。弘文。斯II。
梅沢。慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯I。六地。
宋版。道藏。敦II。治要。②□□以是。世德。

297知無爲之有益。活II。陽I。杏II。無窮。筑波。梅沢。東洋。聖
語。東急。斯I。宋版。世德。道藏。治要。①□□无□□□□。武
内。東大。敦II。②□□□□。也。書陵。足利。弘文。斯II。慶
I。大東。③□□无□□□□。也。六地。

注298無爲而。活II。書陵。無窮。足利。弘文。梅沢。東急。世德。
①□□无□□□□。陽I。杏II。筑波。斯II。慶I。大東。聖語。武内。
東大。東洋。斯I。宋版。敦II。②□□之□□□□。道藏。

299萬物。自化成。活II。陽I。書陵。杏II。足利。筑波。弘文。斯
II。梅沢。慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯I。宋
版。世德。敦II。②万□□之□□□□。無窮。②□□□□。也。道
藏。

300知無爲之有。益於人也。活II。書陵。足利。筑波。斯II。梅沢。大
東。聖語。東急。斯I。世德。①□□无□□□□。陽I。杏
II。弘文。慶I。武内。東大。東洋。宋版。②□□□□。所□□□□
□□。無窮。②□□□□。道藏。③□□无□□□□。敦II。

注301法道不言。活II。陽I。書陵。杏II。無窮。足利。筑波。弘文。斯
II。梅沢。慶I。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯I。宋
版。世德。敦II。治要。②道法。□□□□。道藏。

302師之。活II。書陵。杏II。足利。梅沢。慶I。大東。東洋。聖語。
東急。斯I。宋版。道藏。敦II。治要。①帥□□。陽I。無窮。筑波。
弘文。斯II。武内。東大。世德。

弘文。斯II。武内。東大。世德。

弘文。斯II。武内。東大。世德。

弘文。斯II。武内。東大。世德。

303 以身也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。治要②。者。東洋②。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。敦Ⅱ④。於。道藏。

6 76 經 304 無爲之益。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏①。无。六地。敦Ⅱ。治要②。有。無窮。

注 305 法道無爲。活Ⅱ。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。梅沢。東洋。聖語。東急。世德。道藏①。无。陽Ⅰ。杏Ⅱ。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。斯Ⅰ。宋版。敦Ⅱ。治要。

306 治身則有益。精神。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。宋版。世德。敦Ⅱ②。東急。治要②。

307 有益。萬民。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。梅沢。武内。東大。東洋。東急。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ。治要②。於。方。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。聖語。斯Ⅰ。

308 不勞煩也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。東急。宋版。世德。道藏②。聖語。斯Ⅰ。敦Ⅱ。治要。

6 77 經 309 希及之。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。無窮。足利。弘文。斯Ⅱ。梅沢。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。六地。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ。治要②。矣。杏Ⅱ。筑波。慶Ⅰ。大東。

注 310 天下。人主也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ②。者。無窮②。謂。治要。

311 道。無爲之治。活Ⅱ。無窮。梅沢。聖語。斯Ⅰ。世德①。无。杏Ⅱ。武内。東大。東洋。宋版。治要②。之。書陵。足利。弘文③。之。无。陽Ⅰ。筑波。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。

③。无。敦Ⅱ③。之。道藏。

312 無爲之治。活Ⅱ。書陵。無窮。足利。弘文。梅沢。聖語。東急。斯Ⅰ。道藏①。无。陽Ⅰ。杏Ⅱ。筑波。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。治要③。宋版。世德。敦Ⅱ。

313 治身。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。道藏。治要②。身。東急②。宋版。世德。敦Ⅱ。

314 治國也。活Ⅱ。陽Ⅰ。杏Ⅱ。筑波。弘文。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。東急。宋版。世德。道藏。治要②。書陵。足利。斯Ⅱ。梅沢。聖語。斯Ⅰ②。者。皆同矣者。无窮④。

7 11 315 立戒。第四十四。活Ⅱ。陽Ⅰ。梅沢。聖語。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏②。章。武内。東大。東洋③。名与身章。杏Ⅱ。筑波。弘文。慶Ⅰ③。名與身章。大東③。

7 12 注 316 則身退也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。宋版。世德②。身則。梅沢。東急④。身則。敦Ⅱ④。必。道藏。

注 317 財多則害身也。活Ⅱ。陽Ⅰ。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏①。賤。書陵②。敦Ⅱ。

7 13 注 318 好得利則病於行也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德②。於。道藏④。

經 319 甚愛必大費。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。六地。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ①。其。筑波。

宋版。世德。道藏。敦Ⅱ①。其。筑波。

注 320 甚愛色 費精神 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 ② 者 無窮 · 東急 · 敦 II · 治要 ④ 者

也 道藏 321 甚愛財 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 筑波 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 ② 者 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 東急 · 敦 II · 道藏 · 治要 ③ 賤者 梅沢

遇禍患 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II · 治要 ① 弘文 ② 則 無窮 · 筑波 · 慶 I · 大東 ② 也 道藏

多藏必厚 亡 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② 大 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 ② 大 足利

7 柝注 324 藏於 丘墓 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ① 兵 書陵 · 弘文 ① 於 治要

325 攻劫之憂死 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② 死憂 足利

326 有發掘 之患 也 活 II · 筑波 · 武内 · 東大 · 東急 ① 堀 塚 陽 I · 書陵 ② 者 東洋 ② 塚 杏 II · 弘文 · 大東 ③ 拙塚 堀 斯 II · 慶 I ③ 冢探樞 無窮 · 斯 I ③ 堀 冢探樞 梅沢 ③ 冢樞 治要 ④ 掘發 道藏 ⑤ 堀塚 足利 ⑤ 冢探樞 聖語 · 宋版 · 世德 · 敦 II

327 絕利去欲 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道

7 柝 藏 · 敦 II · 治要 ① 施 足利 ① 怨 書陵 328 不辱於 身 也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 治要 ② 其 筑波 · 梅沢 · 武内 · 東大 · 聖語 · 斯 I ② 者 東洋 ② 東急 · 宋版 · 道藏 ③ 於 敦 II ④ 其 世德

329 知可止 則 止 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 敦 II · 治要 ② 須 道藏 ② 宋版 · 世德 ② 筑波 · 弘文 筑波 · 弘文 ② 財利不累於身 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 敦 II · 治要 ① 則 慶 I · 大東 ② 世德 ④ 乃 心 道藏

330 警色不亂於耳目 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② 亂 慶 I 終身不危殆也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 道藏 · 治要 ② 東大 · 東急 · 斯 I · 敦 II ② 宋版 ③ 怠 世德

331 知 止 足 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 治要 ② 於 道藏 ② 知 敦 II 福祿在 己 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II · 治要 ② 於 道藏

332 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

333 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

334 福祿在 己 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II · 治要 ② 於 道藏

335 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

336 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

337 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

338 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

339 民不擾 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 人 治要

354 如可屈折也。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。弘文。斯 II。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。治要 ①。何

道藏 ②。一築波。宋版。世德。敦 II ②。

者。一梅沢。

7 71 經 355 大巧若拙。一活 II。陽 I。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。斯 II。梅

沢。慶 I。大東。聖語。東急。斯 I。六地。宋版。世德。道藏。敦

II。治要 ②。如。一杏 II。武內。東大。東洋。

注 356 大巧。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。弘文。斯 II。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。

道藏。治要 ②。者。一梅沢。敦 II。

357 謂多才術也。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。弘文。斯 II。

梅沢。慶 I。大東。武內。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。

道藏。治要 ①。財。一東大 ①。方。一筑波 ②。

敦 II。

358 亦不敢見其能也。一活 II。東大 ②。聖語。東急。

斯 I。宋版。世德。道藏 ②。一梅沢 ②。示。

之。一足利。筑波。斯 II。慶 I。大東。武內 ④。示。者。

東洋 ④。敦 II。

經 359 大辨若訥。一活 II。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。斯 II。梅沢。武

內。東大。東洋。治要 ①。辯。一陽 I。杏 II。慶 I。大東。聖

語。東急。斯 I。六地。宋版。世德。道藏。敦 II。

注 360 大辨。一陽 I。書陵。足利。弘文。斯 II。治要 ①。辯。一梅沢。

東急 ②。者。一活 II。無窮。筑波。敦 II ③。弃者。武內。東大。

東洋 ③。辯者。一杏 II。慶 I。大東。聖語。斯 I。宋版。世德。道

藏。

8 361 知無疑也。一活 II。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。慶 I。大東。

東急 ①。无。一陽 I。杏 II。斯 II。梅沢。武內。東大。東洋。

治要 ③。无。一聖語。斯 I ③。智。一宋版。世德。道

藏 ⑤。言。无。一敦 II。

362 如訥者。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。斯 II。梅沢。

大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。道藏。

敦 II。治要 ①。納。一弘文。慶 I。

363 無辭也。一活 II。陽 I。書陵。無窮。足利。梅沢。大東 ①。无。

杏 II。筑波。慶 I。東洋。聖語。斯 I。治要 ①。辨。一弘

文 ②。无。辨。一武內 ②。无。弃。一東大 ②。无。乱。一斯 II ②。

一東急 ③。无。一敦 II ④。无。一宋版 ④。无。

世德。道藏。

經 364 躁勝寒。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。弘文。斯 II。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。斯 I。六地。宋版。世德。

道藏。敦 II ①。蹇。一梅沢。東急。

注 365 春夏。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。弘文。斯 II。梅沢。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。

道藏。敦 II ①。憂。一筑波。

366 陽氣躁疾於上。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。弘文。

斯 II。慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。斯 I。宋版。世德。

道藏。敦 II ①。蹇。一梅沢 ③。疾蹇。一東急。

367 寒則零落死亡也。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。弘

文。斯 II。梅沢。慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯

I。宋版。世德 ②。散。一道藏 ⑥。則寒。一死落。一敦

368 不當剛躁也。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。弘文。斯 II。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。

道藏。敦 II ①。梅沢。東急。聖語。斯 I ②。之。一筑波 ②。敦

一敦 II。

經 369 靜勝熱。一活 II。陽 I。杏 II。無窮。足利。筑波。弘文。斯 II。梅沢。

慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世德。

道藏。敦 II ①。勢。一書陵。

注 370 黃泉之下。一活 II。陽 I。書陵。杏 II。無窮。足利。筑波。弘文。梅

沢。慶 I。大東。武內。東大。東洋。聖語。東急。斯 I。宋版。世

德・道藏・敦Ⅱ ②

371 極則熱熱者 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ②

世德・道藏 ②

372 生之源也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・梅沢・武内・東大・聖語・東急・斯Ⅰ・道藏 ②

武内・東大・聖語・東急・斯Ⅰ・道藏 ②
之 足利・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東 ②
敦Ⅱ

經 373 清静 爲天下正 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・弘文・聖語・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・敦Ⅱ ②

版・世德・敦Ⅱ ②
以 杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・東急・道藏・治要 ④
淨以 東大

注 374 能清能静 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・道藏・敦Ⅱ・治要 ②

宋版・世德・敦Ⅱ ②
之 道藏 ②
治要

375 爲天下長 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ ②
之 道藏 ②
治要

376 持正則 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要 ①

特 慶Ⅰ ②
敦Ⅱ

377 無終已時也 活Ⅱ・書陵・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・宋版・世德・道藏 ①

无 矣 梅沢 ③
无有 杏Ⅱ・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ ③
无 止 慶Ⅰ・大東 ③
无 敦Ⅱ ④
有 東急

378 儉慾 第四十六 活Ⅱ・陽Ⅰ ①
欲 章 武内・東大・東洋 ③
天下 章 杏Ⅱ・慶Ⅰ ③
天下 章 册 大東 ③
天下有道章 弘文 ③
天道有道章 册

聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ③
欲 章 武内・東大・東洋 ③
天下 章 杏Ⅱ・慶Ⅰ ③
天下 章 册 大東 ③
天下有道章 弘文 ③
天道有道章 册

筑波 ③
書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・敦Ⅱ

8 杉注 379 謂人主有道也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要 ②

道藏・敦Ⅱ ②

注 380 糞者治田也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・斯Ⅰ・治要 ②

東大 ②
糞 東急・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ

381 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要 ③

治國者 敦Ⅱ

382 以治農田 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏 ②

聖語・斯Ⅰ・宋版・世德 ②
糞 敦Ⅱ

383 治身者却陽精以冀其身也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・道藏 ②

者 東洋 ②
無窮 ②
聖語・斯Ⅰ ④
治要

經 384 天下無道 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要 ①

无 東大・六地・敦Ⅱ

385 謂人主無道也 活Ⅱ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要 ①

无 陽Ⅰ・杏Ⅱ・慶Ⅰ・武内・東大・東洋 ③
无 敦Ⅱ ④
之 東急

8 杉注 386 戰伐不止 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要 ②

征 足利

387 戎馬生於郊境之上—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·

宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□□□邦□□□□□斯Ⅰ」

經388 罪莫大於可欲—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·

宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要」②禍□□□□□□□梅沢」

8 72 注389 好色淫也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ」②□淫色

□—宋版·世德·治要」②□□□□□—敦Ⅱ」②□□□□□欲—道藏」③

□姪色□—東急」

注390 富貴而—活Ⅱ·陽Ⅰ·弘文」②□□□□□—書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·

筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·

斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ·道藏·治要」

391 不能自禁禁止也—陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·治要」②□□□□□—敦Ⅱ」②□□□□□知□□□□□—無窮」②

□□知自□□□□—活Ⅱ」④□□□□知□□□□—道藏」

8 73 經392 故知足之足—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·六地·武内·東大·東洋·聖語·東急·

斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□□—治要」

注393 守真根也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏」②□□□□□—敦Ⅱ」③□□□□□—治要」

8 74 經394 常足矣—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·

道藏·治要」②□□□□□—宋版·世德·敦Ⅱ」

注395 無欲心也—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·

世德」①无□□□□□—陽Ⅰ·杏Ⅱ·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·

東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·治要」③无□□□□□—敦Ⅱ」④□□有□□□

□—道藏」

8 75 396 鑿遠—第四十七—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏」②□□□□□章□□□□□—武内·東大·東洋」③不出戶章□□□□

□—杏Ⅱ·弘文·慶Ⅰ」③不出戶章□□□□□—大東」③不出戶章

□□□□□—筑波」③□□□□□—書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·東

急·六地·敦Ⅱ」

8 76 經397 不出戶以知天下—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯

Ⅰ·六地·道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□□□—宋版·世德」

注398 知人身—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·敦Ⅱ·治要」①□□入□□—書陵」

8 77 399 所以見天下也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□知□□□

□—武内·東大·東洋」②□□□□□矣—東急·敦Ⅱ·治要」④□□

□知□□矣—梅沢」

經400 不闌牖—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·六地·敦Ⅱ」

①□□窺□□—東急·宋版·世德·道藏·治要」

401 以見天道—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六

地·敦Ⅱ·治要」②□□□□□—宋版·世德·道藏」

注402 天人相通精氣相貫—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·

斯Ⅰ·世德·道藏·敦Ⅱ」①大□□□□□□□□□—宋版」④□□□□□

□□□□□—治要」

9 403 人君清靜天氣自正—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□

□淨□□□□□—足利·東大·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」③□□淨清

□□□□□—書陵」

404 人君多欲天氣煩濁—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

9 打注420學謂政教禮樂之學也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世徳②

版·世徳②

421情欲文飭一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·慶

I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·道藏·敦II①精

422日以益多也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋②

一聖語·斯I·宋版·世徳·道藏·敦II③消損

急

9 引注423謂自然之道也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳②

情欲文飭一活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶

I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·道藏·敦II①精

425日以消損也一活II·陽I·書陵·杏II·斯II·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·斯I①清

東洋·聖語·斯I①清

大東②

II③銷

經426損之又損之一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東急·六地·敦II②

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·道藏·治要

9 引注427損情欲一活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·敦II·治要①

428又損之一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·敦II·治要②

版·世徳·敦II·治要②

者一道藏

429所以漸去之也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·道藏②

一東急·聖語·斯I②

經430以至於無爲一活II·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·道藏

①

注431當恬如嬰兒一活II·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I①

東大·東洋·聖語·東急·斯I①

淡

432無所造爲也一活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·東急·聖語·斯I②

①

II④

經433無爲而一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世徳·道藏①

無不爲一活II·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世徳·道藏①

①

注435情欲斷絶一活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世徳·道藏·敦II·治要①

無所不施一活II·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·世徳·道藏①

436無所不爲也一活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·世徳·道藏①

437無所不爲也一活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·世徳·道藏①

洋·聖語·斯I·宋版②

取

世德・道藏」②□□□□之□□□□陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」②□□□□之□□□□杏Ⅱ」②□□□□矣Ⅰ東急」③□□為□□□□一敦Ⅱ」③為□□□□一治要」④□□□□一梅沢」

經455

德善矣Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ」②□□善□□斯Ⅱ」②□□□□一宋版・世德・道藏」③得□□□□一敦Ⅱ」

10 31

注456百姓德一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏」②□□得一敦Ⅱ」

457 化聖人為善也Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ」②□□□□□□矣Ⅰ杏Ⅱ」②□□□□□□□□一東急・世德・道藏・敦Ⅱ」

經458信者吾信之Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要」②□□□□□□一梅沢」

注459百姓為信一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」②□□□□者一梅沢・敦Ⅱ」

460 因而信之也Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大」②□□□□者一東洋」②□□□□一聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要」

10 34 經461不信者吾亦信之Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要」②□□□□一慶Ⅰ・大東」

注462百姓為不信一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」②□□□□者一敦Ⅱ」

463 聖人化之Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治

要」②□□□□一杏Ⅱ・東大・東洋・東急」

464 使信也Ⅰ活Ⅱ・無窮・梅沢・武内・東大・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」②□□□□之□□□□陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」②□□□□者□□一東洋」②□□□□之□□一杏Ⅱ」③□□為□□□□一敦Ⅱ」

經465 德信矣Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・六地」①得□□一敦Ⅱ」②□□□□一東急・宋版・世德・道藏」

10 35 注466 德化聖人Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要」①得□□□□一敦Ⅱ」

467 為信也Ⅰ活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・斯Ⅰ」②□□□□之□□□□陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋」②□□□□一聖語」②□□□□一東急・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ」

經468 故聖人之在天下Ⅰ活Ⅱ・無窮」②□□□□□□□□一陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・六地」②□□□□□□一梅沢」④□□□□□□一聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ」

469 恍恍焉Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・六地」②□□□□一聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ」

10 36 注470 恍恍常恐怖一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德」②□□□□懼一道藏・敦Ⅱ」③□□□□富怖一梅沢」

471 不敢驕奢也Ⅰ活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・聖語・斯Ⅰ」②□□□□者□□一東洋」②□□□□一東急・宋版・世德・道藏」③□□□□一梅沢」③□□□□一敦Ⅱ」

注472 渾濁其心Ⅰ活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・

宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□從□□□□武內」

注491言生死之類一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·敦Ⅱ」②□□死生□□一「世德」

492各有十三一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□十有□□一「道藏」

10 76

493謂九竅四關也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」③□□□□□□一「敦Ⅱ」

494鼻不妄臭一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ」②□□□□香一「無窮·東急」③□□□□香鼻一「宋版·世德·敦Ⅱ」③□□□□香臭一「道藏」③

495□不妄言一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ」②□□□□味一「宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

496手不妄持一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□不妄不一「梅沢」②□□□□之一「東急」

497足不妄行一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·武內·東大·東洋·慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□行一「東急」

498精不妄施一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ」①情一「筑波」②□□□□神一「宋版·世德」

499其死也反是也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·世德」①□□□□及□□一「筑波·宋版」②□□□□□□一「杏Ⅱ」③□□□□此一「道藏」④□□□□□□一「道藏」

10 77

經500皆之死地十有三一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ」②□□□□□□一「宋版·世德·道藏」

11注501求生動作一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一「梅沢」

502反之十三死地也一活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ」②□□□□有□□□□一「陽Ⅰ·書陵·足利·弘文·梅沢·武內·東大·東洋·道藏」②□□□□□□一「東急·敦Ⅱ」②□□□□□□一「宋版·世德」

經503夫何故哉一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅱ」②□□□□一「東急·宋版·世德·道藏」

注504問之何故動之死地也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅱ」②□□□□一「慶Ⅰ·大東」②□□□□□□一「聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」④□□□□□□一「敦Ⅱ」

11注505以其生生之厚也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□□□□一「聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」

注506所以動之死地者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·弘文·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□也一「道藏」②□□□□□□一「杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋」③□□□□□□一「敦Ⅱ」

507求生活之事一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□治□□一「慶Ⅰ·無窮」③□□□□一「道藏」

508大厚一活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·斯Ⅱ」①太□□一「書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

11 31 509 妄行失紀也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。斯Ⅱ。

梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東洋。聖語。斯Ⅰ。①□□□□記□□。弘文。②□□□□□□。東大。東急。宋版。世德。敦Ⅱ。③□□□□於已。道藏。

注510攝養也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ。②□□者□□。東洋。

經511陸行不遇兕虎。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。六地。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ。①□□□□□□。虛。大東。②□□□□□□。猛。東急。

11 材經512入軍不被甲兵。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。六地。敦Ⅱ。道藏。②□□□□避□□。宋版。世德。

注513以敏人也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。足利。筑波。慶Ⅰ。大東。①□□□□。無窮。弘文。斯Ⅱ。聖語。斯Ⅰ。②□□□□□□。杏Ⅱ。武内。東大。東洋。敦Ⅱ。②樂□□□□。梅沢。③□□□□。殺。東急。

宋版。世德。道藏。經514無所投其角。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。斯Ⅱ。梅沢。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。世德。道藏。①无□□□□。慶Ⅰ。大東。武内。東大。六地。敦Ⅱ。②□□□□捉□□。弘文。②□□□□。

11 35 515 無所措其爪。活Ⅱ。書陵。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東洋。東急。世德。道藏。①无□□□□。陽Ⅰ。東大。六地。聖語。斯Ⅰ。敦Ⅱ。①□□□□昔□□。杏Ⅱ。②□□□□。

□□。宋版。516 無所容其刃。活Ⅱ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏。①无□□□□。陽Ⅰ。東大。六地。敦Ⅱ。

11 36 注517 虎兕無由傷。活Ⅱ。書陵。弘文。梅沢。武内。東洋。東急。世德。道藏。①□□□□。陽Ⅰ。杏Ⅱ。東大。聖語。斯Ⅰ。宋版。②兕

虎□□□□。足利。筑波。③兕虎无□□□□。無窮。慶Ⅰ。大東。敦Ⅱ。

④兕虎无田□□。斯Ⅱ。518 兵刃無從加之也。活Ⅱ。書陵。無窮。足利。弘文。斯Ⅱ。梅沢。東急。宋版。世德。①□□□□无□□□□。陽Ⅰ。杏Ⅱ。筑波。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。②□□□□□□。道藏。③□□□□无從□□。敦Ⅱ。

經519 夫何故哉。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。六地。敦Ⅱ。②□□□□□□。東急。宋版。世德。道藏。

經520 問虎兕兵甲。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。①聞□□□□□□。道藏。②兕虎□□□□。敦Ⅱ。

521 何故不害。也。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。②□□□□□□。人□□。活Ⅱ。②□□□□。之。人□□。無窮。②□□□□□□。之。梅沢。聖語。斯Ⅰ。②□□□□。之。東急。宋版。世德。道藏。敦Ⅱ。

經522 以其無死地。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。足利。弘文。武内。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏。①□□□□无□□□□。筑波。梅沢。慶Ⅰ。大東。東大。六地。敦Ⅱ。②□□□□□□。無其□□□□。斯Ⅱ。②□□□□□□。也。無窮。

11 37 注523 以其不犯上十三之死地也。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。東急。①□□□□。妃□□□□□□□□。足利。②□□□□□□□□。聖語。斯Ⅰ。敦Ⅱ。④□□□□□□□□。宋版。世德。道藏。

524 神明營護之。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。梅沢。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。世德。道藏。②□□□□□□□□。敦Ⅱ。②□□□□□□□□。當營□□□□。杏Ⅱ。無窮。筑波。弘文。慶Ⅰ。武内。東大。③□□□□□□□□。東洋。④□□□□□□□□。足利。斯Ⅱ。④□□□□□□□□。也。大東。

525 此物。活Ⅱ。陽Ⅰ。書陵。杏Ⅱ。無窮。足利。筑波。弘文。斯Ⅱ。梅沢。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。東急。斯Ⅰ。宋版。

457 注526 虎兕無由傷。活Ⅱ。書陵。弘文。梅沢。武内。東洋。東急。世德。道藏。①□□□□。陽Ⅰ。杏Ⅱ。東大。聖語。斯Ⅰ。宋版。②兕

虎□□□□。足利。筑波。③兕虎无□□□□。無窮。慶Ⅰ。大東。敦Ⅱ。

④兕虎无田□□。斯Ⅱ。518 兵刃無從加之也。活Ⅱ。書陵。無窮。足利。弘文。斯Ⅱ。梅沢。東急。宋版。世德。①□□□□无□□□□。陽Ⅰ。杏Ⅱ。筑波。慶Ⅰ。大東。武内。東大。東洋。聖語。斯Ⅰ。②□□□□□□。道藏。③□□□□无從□□。敦Ⅱ。

543 養長一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ②長養一
宋版・世徳・敦Ⅱ・道蔵

544 成熟一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・東大・
東洋・聖語・斯Ⅰ・世徳・敦Ⅱ①就一無窮・武内・東急・道蔵

① 燧一弘文・梅沢① 孰一宋版③ 育成一斯Ⅱ

545 覆育一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・
慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・
道蔵・敦Ⅱ③ 孰覆一斯Ⅱ

12 村

546 全其性命一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・道蔵・敦Ⅱ②

② 於一聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳

547 治國治身一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋
版・世徳・道蔵② 孰一敦Ⅱ

548 亦當如是也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

② 知一東大② 之梅沢・東急③ 敦Ⅱ
之敦Ⅱ

注 549 不有取以爲利一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・東急・治要② 所

也一杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・
大東・武内・東大② 所也一東洋② 所

④ 所一敦Ⅱ④ 所用一道蔵

12 村

550 爲而不恃一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世
徳・道蔵・敦Ⅱ・治要① 特一慶Ⅰ・大東

注 551 不恃望其報也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・
梅沢・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・
治要① 特一慶Ⅰ・大東② 斯Ⅱ② 斯Ⅱ

□□□□一敦Ⅱ

552 長而不宰一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋
版・世徳・道蔵・敦Ⅱ・治要② 寄一東大

注 553 不宰割一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・慶Ⅰ・大東・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ・
治要① 害一武内・道蔵② 寄一東大

12 村

554 以爲利用也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
慶Ⅰ・大東・武内・東大・聖語・東急・斯Ⅰ・治要② 之
梅沢・東洋② 養一杏Ⅱ② 宋版・
世徳④ 器一敦Ⅱ④ 道蔵

注 555 玄關一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・武内・東大・東洋・聖語・
東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ・治要① 暗一足利・筑波・弘文・
梅沢・慶Ⅰ・大東・道蔵① 晴一斯Ⅱ

556 不可得見也一活Ⅱ・杏Ⅱ・武内・東大・聖語・斯Ⅰ・治要② 謂
一無窮② 之陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘
文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東洋② 東急・宋版・
世徳・道蔵・敦Ⅱ

12 村

557 歸元第五十二一活Ⅱ・梅沢・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵
② 章一武内・東大② 章一東洋
③ 滯無一弟一陽Ⅰ③ 天下章一杏Ⅱ・慶Ⅰ・
大東③ 天下有始章一筑波・弘文③ 杏Ⅱ

書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・敦Ⅱ

12 村

558 始道也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・敦Ⅱ② 有梅沢・宋
版・世徳② 者一聖語・斯Ⅰ・道蔵② 東急
注 559 萬物母也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅱ② 之
道蔵④ 之聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳

經 560 既知其母一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯

12 16
II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏」②得□□—敦 II」

561 又以知其子—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 六地」②復□□□□—梅沢」
②□□□□—東急」②□□□□—敦 II」③復□□□□—聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」

注 562 既知得道—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I」②□□□□—宋版 · 世德 · 道藏」②□□□□—敦 II」

563 當復知一也—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版」
②□□□□—東急 · 道藏 · 敦 II」②□□□□—立□□□—世德」

12 17 注 564 已知其一—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I」②□□□□—宋版 · 世德 · 敦 II」②既□□□—道藏」

565 反無爲也—活 II · 書陵 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 聖語 · 道藏」①□□□□—陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 慶 I · 武内 · 東大 · 東洋 · 斯 I」②□□□□—東急 · 宋版 · 世德」③□□□□—敦 II」

經 566 沒身不殆—活 II · 陽 I · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 東急 · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」①歿□□□—書陵 · 無窮 · 聖語 · 斯 I」

注 567 不危殆也—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」②傾□□□—無窮」②□□□□—敦 II」

12 引注 568 目不妄視也—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德」①日□□□□—筑波」②□□□□—道藏 · 敦 II」

經 569 閉其門—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 世德 · 道藏 · 敦 II」②閉□□□—宋版」

注 570 □不妄言—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東急」②□□□□—也—東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I」②使□□□□—足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 宋版 · 世德 · 道藏」④使□□□□—敦 II」

571 說是非—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東洋 · 東急」②□□□□—之□—梅沢」④

12 17 注 572 終身不勤苦—活 II · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 聖語 · 斯 I」②□□□□—之□—陽 I · 書陵 · 武内 · 東大 · 東洋」②□□□□—東急 · 宋版 · 世德 · 敦 II」④□□□□—梅沢」④□□□□—道藏」

注 573 開目—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II」②其□□—道藏」

12 17 注 574 視情欲也—活 II · 陽 I · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德」①□□□□—書陵 · 杏 II」②□□□□—敦 II · 道藏」

注 575 益情欲之事也—活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I」①□□□□—書陵」①□□益□□□—梅沢」②□□□□—斯 II」②□□□□—慶 I · 大東 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II」

12 17 注 576 萌牙未動—活 II · 陽 I · 書陵 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 道藏 · 敦 II」①芽□□□—杏 II · 無窮 · 筑波 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 世德」

577 爲小昭然—獨見—活 II · 陽 I · 書陵 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏」①□□照□□□—杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 敦 II」③□□照々□□—斯 II」③

578 爲明—活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 聖語 · 斯 I」①□□朋□□—梅沢」②

□□□□—之猶□—無窮」

596 我則行於大道一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·敦Ⅱ」②□□於行□□一弘文」

597 躬■無爲之化也一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·大東·東
急」①□□无□□□□一陽Ⅰ·杏Ⅱ·筑波·慶Ⅰ·武内·東大·東
洋·聖語·斯Ⅰ」②□□□□□□□□一斯Ⅱ」②□□□□□□□□一世
德」②□行□□□□□□□□一道藏」③□□无□□□□□□□□一宋版」③□行无
□□□□□□一敦Ⅱ」

13 44

598 ■欲賞善一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ」②故□□□□一梅沢」

599 恐僞善生一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·敦Ⅱ」②□□□□□□□□一道藏」

600 欲信忠一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·敦Ⅱ」②□性□□一道藏」

601 恐詐忠起■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·
慶Ⅰ·大東·聖語·斯Ⅰ·道藏」②□□□□□□□□之□一梅沢」②□□□□
□□■一筑波·武内·東大·東洋·宋版·世德」③□作□□□□□□一
敦Ⅱ」④□□□□□□□□一東急」

經602 大道甚夷一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ」②□□其□□一斯Ⅰ」

13 45

注603 夷平■易也一活Ⅱ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」③□□也■
□一武内·聖語·斯Ⅰ」③□□也■大□□一陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無
窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東洋·東急」③

經604 而民好徑一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世

德·道藏」①□□□□一無窮·東大·敦Ⅱ·治要」

注605 徑邪■一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·
武内·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①一侄□□一東大」①
□耶■一足利·梅沢」②一侄耶■一無窮·敦Ⅱ·治要」②□□也一東
洋」

606 不平正也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□一治要」

607 大道甚平易一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·世德·
道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□□□□□□一東急」②□□世□□一宋版」

608 而民好從邪徑一活Ⅱ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□
□□□□耶侄一無窮·敦Ⅱ」②□□□□□□□□一陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·筑
波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋」③□□□□耶■一
足利」④□□也□□□□一東急」④□人□□耶■一治要」

609 不平正也■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ」②□□
□□之□一梅沢」②□□□□□□□□一治要」③□□□□也一宋版·世德·
道藏」③□□□□□□一敦Ⅱ」

13 46

經610 朝甚除■一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·慶
Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□□修一斯Ⅱ·梅沢」

注611 ■臺榭宮室一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·梅沢·東大·東洋·聖語·
東急·斯Ⅰ」①□□官□□一武内」①□□樹□□一足利」②高□□
□□一杏Ⅱ·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·宋版·世德·道藏·
敦Ⅱ·治要」

612 修也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·梅沢·武内·東大·
東洋」②□□一足利·弘文·慶Ⅰ·大東·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·敦Ⅱ·治要」③循■一斯Ⅱ」

注613 治失時■也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·東急·斯I·道藏」
②□□□□之□—東洋」③□□□□—宋版·世德·敦II·治要」

經614倉甚虛—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·
世德·道藏·敦II·治要」①□□□□唐—大東」

13 71注615五穀傷害—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·弘文·斯II·梅沢·慶
I·大東·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·治
要」①□□穀□□—足利·筑波·武内」②□□□□—敦II」

616國無儲也—活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·大東·東
急·宋版·世德·道藏」①□□无□□—陽I·杏II·筑波·慶I·武
内·東大·東洋·聖語·斯I·治要」③□□无□□—敦II」

經617服文繡—活II·陽I·書陵·梅沢·六地」②□□綵—杏II·無窮·
筑波·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·
宋版·世德·敦II」②□□綵—足利」②□□綵—弘文·道藏」②□□
采—治要」

注618好飭偽—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·
世德·敦II·治要」②□□僞飾—道藏」

619貴外華也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·梅
沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I」②□□□□—斯
II」②□□□□—東急·道藏·敦II·治要」④□□内□□—宋版」④

注620武且奢也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·武内·東大·聖語·斯I」②□□而□□—東
洋」②□□□□之□—梅沢」②□□□□—東急·宋版·世德·
道藏·敦II·治要」

13 71經621厭飲食財貨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·
宋版·世德·道藏」①饜□□□□—敦II」②□□貨財—弘文」

注622多嗜欲—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·
治要」①□□奢□□—聖語」①□□慾—慶I·大東」

經623無足時也—活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·大東·道藏」
①无□□□□—陽I·杏II·筑波·慶I·東大·東洋·聖語·斯I」
②□□□□之□—梅沢」②□□□□—東急·宋版·世德」③无□□□
—武内·敦II·治要」

經624是謂盜夸—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六
地·宋版·世德·敦II·治要」①□□盜誇—道藏」

13 72注625百姓不足而—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·
世德·道藏·敦II·治要」③□□□□—宋版」

626是猶劫盜—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·梅
沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·斯I·敦II·治要」①□□却
□—弘文·東大」②□□由□□—東急·宋版·世德·道藏」

627以為服飾—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋
版·世德·治要」②□□飾服—敦II」②□□致□□—道藏」

628持行夸人—活II·陽I·無窮·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東
大·宋版·世德·敦II·治要」①特□□□□—書陵·杏II·足利·東
洋」①特□□□□—筑波·斯I」①□□誇□□—道藏」②獨□□□—東
急」②□□奢□□—梅沢」③特□□奢□□—聖語」

經629親戚并隨之也—活II·無窮·梅沢·武内·治要」②□□□□—
陽I·書陵·足利·弘文·斯II·慶I·大東·東急·敦II」②□□□
□□□—杏II·筑波·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·道
藏」

經630非道也哉—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·
敦II·治要」②□□□□□□—無窮·宋版·世德」③添毀誇□□□□—
道藏」

道藏」

13 73 注 631 人君所行如是—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅱ·治要②

632 此非道—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·道藏②

利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖

語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ·治要①

633 復言也哉者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·道藏·敦Ⅱ②

634 痛傷之辭也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ②

辭—東急·宋版·世德·敦Ⅱ④

急·六地·敦Ⅱ③

13 74 注 635 修觀—第五十四—活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏②

章—杏Ⅱ·慶Ⅰ·大東③

波·弘文③

13 75 注 636 不可得引而拔也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·治要②

敦Ⅱ·道藏①

13 76 注 637 不可拔引—解脫也—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·東急·斯Ⅰ②

東洋·聖語·東急·斯Ⅰ②

東洋②

敦Ⅱ⑤

經 638 子孫以祭祀不輟—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·六

地·敦Ⅱ②

13 77 注 639 長生不死—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏②

640 世世以—久—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·世德·道藏·敦Ⅱ①

敦Ⅱ②

641 祭祀先祖—宗廟—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·武内·東大·東急·宋版·世德·道藏②

之—慶Ⅰ·大東·東洋③

642 無—絕時也—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·

大東①

無—終—東大②

宋版⑤

14 11 注 643 益壽延年—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏·敦Ⅱ③

644 為真人也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·梅沢·武内·

東大·聖語·斯Ⅰ·道藏·弘文②

足利·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東急·宋版·世德·敦Ⅱ·治要①

14 12 經 645 修之於家—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·六地·宋

版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要②

646 其德乃有餘—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·六地·敦Ⅱ②

無窮·世德·道藏·治要②

聖語·斯Ⅰ·宋

注 647 兄弟順—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏·敦Ⅱ·治要①

648 夫信妻貞—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶

14 13
I：大東・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・治要・弘文？」①□□□□真一東大・足利」②□□□□正一道蔵」
649 及於來世子孫也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・聖語・斯I・道蔵」①乃□□□□

者□一東洋」②□□□□未□□□□□□一足利」②□□□□□□一筑波」②□□□□□□一東急」②□□□□□□一治要」
14 14 注 650 愛養幼少一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・道蔵・敦II・治要」①□□□□小一聖語・斯I・宋版・世徳」

651 教誨愚鄙一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II」①□□□□幼一弘文」④誨教□□也一東急」④□□□□一治要」

652 乃無不覆及也一活II・書陵・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・大東・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵」①□□□□一陽I・杏II・慶I・東大・東洋」①□□□□乃一筑波」②□□□□一敦II」③□□□□一武内」③□□□□一治要」
經 653 修之於國一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋版・世徳・敦II・道蔵・治要」③□□□□天下□□一弘文」

14 15 注 654 君信臣忠一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・治要」②□□□□一聖□□□一道蔵」

655 仁義自生禮樂自興一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II」①□□□□禮□□□與一筑波」④□□□□一治要」
656 政平無私一活II・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・大東・宋版・世徳」①□□□□一陽I・杏II・慶I・武内・東大・東

洋・聖語・斯I・治要」②正□□□一敦II」②□□□□一東急」②□□□□修一道蔵」

657 乃爲豐厚也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵」②□□□□一弘文・敦II・治要」
14 16 經 658 修之於天下一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・筑波・梅沢・慶I・大東・聖語・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵・敦II・治要」②□□□□一足利・弘文・斯II・武内・東大・東洋・東急」

14 17 注 659 下之應上一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II・治要」②□□□□一梅沢」
660 信如影響一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・治要」②□□□□一道蔵」

661 乃爲普博也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II・治要」②□□□□一道蔵」
注 662 以修道之身一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II・治要」②□□□□一斯II」

14 17 注 663 觀不修道之人一活II・陽I・書陵・足利・筑波・斯II・慶I・大東・聖語・斯I」②□□□□身一杏II・無窮・弘文・梅沢・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵・敦II」

664 孰存孰亡也一活II・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・聖語・斯I」②□□□□存□□一陽I・書陵・梅沢・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵」④熟□□□一敦II」
注 665 觀不修道之家也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵」②□□□□一敦II」

14 72 注 666 觀不修道之鄉也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

注 667 以修道之國。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ②

世德 · 道藏 · 敦 II ②

668 觀不修道之國也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ②

I · 宋版 · 世德 ②

14 73 注 669 觀不修道之主也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

經 670 吾何以知。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 世德 · 道藏 · 敦 II ②

地 · 世德 · 道藏 · 敦 II ②

14 74 注 671 吾何以知。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I ②

斯 II ②

672 天下修道者昌。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

宋版 · 世德 · 道藏 ②

673 背道者亡。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ②

版 · 世德 · 敦 II ②

674 此觀而。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 敦 II ③

斯 II ⑤

675 知之也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 宋版 · 世德 ②

斯 I ②

14 76 注 676 玄符 第五十五。活 II · 陽 I · 梅沢 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

道藏 ②

14 77 注 677 謂含懷道德之厚者也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I ②

斯 II ②

15 11 注 679 比若父母之於赤子也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 武内 · 東大 ②

東大 ②

經 678 比之於赤子。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 六地 ②

慶 I ②

注 680 不整也。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 ②

梅沢 · 慶 I ②

經 681 猛獸不據。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

宋版 · 世德 · 道藏 ②

682 攫鳥不搏。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

宋版 · 世德 · 道藏 ②

注 683 赤子不害。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ②

斯 II ②

15 12 注 682 攫鳥不搏。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 ②

宋版 · 世德 · 道藏 ②

注 683 赤子不害。活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ②

斯 II ②

梅沢・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵

② 筑波・慶I・大東・敦II

703 有益於人者一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II

704 則爲知道之常也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・東大・東洋・東急・宋版・世徳・道蔵

① 和 ② 武内 ② 聖語・斯I ② 敦II

15 71 經 705 知常日明一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・敦II

② 知 ① 大東

注 706 日以明一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II

707 達於玄妙也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳

② 道蔵

注 708 祥長也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳

② 道蔵

709 言益生一欲自生一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・道蔵

② 言 ② 世徳

15 72 710 日以長大也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・道蔵

經 711 心使氣日強一活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地

宋版・世徳・道蔵・敦II

注 712 當專一爲和柔一活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・敦II

② 氣一無窮

713 而神氣實内一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・道蔵・敦II

15 73 714 和氣去於中一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳

② 實 ② 東急 ② 則 ② 剛強 ② 杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I

715 日以強剛也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I

② 剛強 ① 道蔵・敦II

經 716 物壯則老一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・世徳・道蔵・敦II

注 717 萬物壯一極則枯老也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳

② 精 ② 筑波

15 74 注 718 老不得道者也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I

② 梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I

注 719 早已死也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・武内・聖語・斯I・宋版・世徳

② 矣 ② 大東 ② 則 ② 足利 ② 死已 ③ 東急 ④ 道蔵

15 75 720 玄德一第五十六一活II・陽I・梅沢・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵

② 章 ③ 武内・東大・東洋 ③ 知者 ④ 章

□□□□一杏Ⅱ·慶Ⅰ·大東」③知者不言章□□□□一筑波」③知者不◇章□□□□一弘文」③知者不言章□□□□一書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·敦Ⅱ」

15 6注 721 貴行 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」④於□道一道德

722 不貴言也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□一敦Ⅱ」④於□□一道德

723 駟不 及舌多言多患也 活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大」②□□□□一陽Ⅰ·書陵·筑波·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□一敦Ⅱ」④多言多患駟不及舌□□□□一道德

15 7注 724 塞閉之者 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ」②□□□□一弘文」②□□□□一宋版」②□□□□一世德」

725 欲絕其源也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大」①□□□□一筑波」②□□□□一者□□一東洋」②□□□□一聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」③□□□□一厚」③□□□□一東急

注 726 有所銳為 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□一者一道德

16 1 727 念道無為 活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·斯Ⅰ·東急·宋版·世德·道藏」①□□□□一陽Ⅰ·杏Ⅱ·筑波·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·敦Ⅱ」

728 以挫止之也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·世德」②□□□□一聖語·斯Ⅰ·宋版·道藏·敦Ⅱ」②□□□□一梅沢

經 729 解其忿 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東急·六地·敦Ⅱ」②□□□□一杏Ⅱ·無窮·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

注 730 忿結恨 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東急」②紛□□□□一杏Ⅱ·無窮·弘文·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②言□□□□一敦Ⅱ」③紛□□根一足利

731 不休也 活Ⅱ·道藏」②□□□□一書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」③□□□□一陽Ⅰ·弘文

732 念道 恬怕 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ」③□□□□無為一宋版·世德」③□□□□之淡薄一道德

733 以解釋之也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東洋」②□□□□一武内·東急·世德·敦Ⅱ」②□□□□一聖語·斯Ⅰ」②□□□□一道德」⑤□□□□一挫止□□一宋版

16 2 注 734 當和之一 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一弘文

735 使闇昧 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□一暗□□一足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東

736 不使 曜亂人 也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·聖語·斯Ⅰ」②未□□□□□□□□一杏Ⅱ·無窮·武内·東大·東急」④□□□□一者□□一東洋」④□□□□一以□□□□之□□一梅沢」④□□□□一宋版·道藏」⑤□□□□一曜眩」⑤□□□□一世德

注 737 不當自別殊也 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」①□□□□一引□□□□一梅沢」②□□□□□□□□一敦Ⅱ」②□□□□一別自□□□□一

弘文」②□□□殊別□—道藏」

16 杉注 738 謂與天同道也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」

②□□与□□□—足利」②□□与□□通□—東急」②□□□□□□—

敦Ⅱ·道藏」

經 739 故不可得而親—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·六地·宋版·

世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□□□—聖語·斯Ⅰ」

16 杉注 740 以獨立為哀也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·斯Ⅱ·慶

Ⅰ·大東·武内·東大·東洋」②□□極□□□□—弘文」②□□□□

□□□□—足利」②□□□□□□□□□□—梅沢」②□□□□□□□□—東

急」④□□□□□□□□—聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」④□□同□

而□□□—道藏」

經 741 不可得而疏—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·道藏」①□□□□

□□—聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」

注 742 志靜無欲—活Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·聖語·東急·斯Ⅰ·道

藏」①□□□□—陽Ⅰ·杏Ⅱ·足利·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東

大·東洋·敦Ⅱ」①□□□□—然—書陵」②□□□□—故—宋版·世德」

743 與人無怨也—活Ⅱ·書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·大東」

①□□□□—陽Ⅰ·杏Ⅱ·慶Ⅰ·武内·東大·聖語·斯Ⅰ」②

与□□无死□□—筑波」②□□□□□□—東急·宋版·世德·道藏」

③与□□无□□—東洋」③□□□□—敦Ⅱ」

16 杉注 744 □不欲五味也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋」②□□□□□□□□—聖

語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

16 杉注 745 不與勇爭氣也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·武内·東大·東洋」②□□□□□□□□—足利·慶Ⅰ·大東·聖

語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

經 746 不可得而貴—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

六地·宋版·世德·道藏」②亦□□□□□□—敦Ⅱ」

注 747 不為亂世主—陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·敦Ⅱ」②□□事□□□—活Ⅱ·無窮」

748 不處闇君位也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大」②□□処□□□□—東

洋」②□□□□□□□□—東急·道藏·敦Ⅱ」③□□暗□□□□—斯

Ⅰ·宋版·世德」④□□所暗□□□□—聖語」

16 杉經 749 不可得而賤—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·六地」②亦□□□□□□—杏Ⅱ·

無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·

聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②又□□□□□□—梅

沢

注 750 不以乘權故驕—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□□□□□—道藏」

751 不以失志故屈也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東大」②□□□□□□□□—梅沢·東洋

②□□□□□□□□—武内·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」

④□□□□□□□□—道藏」

16 引注 752 諸侯不得屈—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·宋版·世德·

道藏·敦Ⅱ」②□□□□□□□□—聖語·斯Ⅰ」

753 與世沈浮—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·敦Ⅱ」②□□□□—流□□—書陵」②□□浮沈—道藏」

754 故為天下貴也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德」②□□□□□□□□—梅沢」②□□□□□□□□—敦Ⅱ」④

□□□□□□□□—道藏」

772 上下不親—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□觀—無窮

773 國家昏亂也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘
文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·治要②□□□□亂者—東
洋②□□□□亂之—梅沢②□□□□親—敦Ⅱ

774 人多技巧—活Ⅱ·陽Ⅰ·道藏·敦Ⅱ①□□□□伎—書陵·杏Ⅱ·無
窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東
洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·治要

注775 人君百里諸侯也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘
文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯
Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ③□□□□—治要

776 多技巧—活Ⅱ·陽Ⅰ①□□□□伎—書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑
波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東
急·斯Ⅰ②□□□□知—敦Ⅱ②□□□□招—道藏③□□□□知伎—宋
版·世德·治要

777 刻畫宮觀—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·
敦Ⅱ·治要②□□□□—宋版·世德·道藏

778 彫琢章服—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大
東·聖語·斯Ⅰ·敦Ⅱ①雕□□□—杏Ⅱ·武内·東大·東洋·道
藏·治要①□□□□—無窮·梅沢·東急②□□□□服章—宋版·世
德

779 奇物滋起—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ③□□□□—治要

780 飭金鏤玉—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ③□□□□—治要

版·世德·道藏·敦Ⅱ③□□□□—治要

781 文繡綵色—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ①
□□□□—書陵①□□□□—東急·世德①□□□□采—道藏③
□□□□—治要

782 日以滋起也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·筑波·大東·武内·東急·治
要②□□□□—杏Ⅱ·梅沢·東大·東洋②□□□□甚
□□□□—道藏②□□□□—足利·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ②□□□□
□□□□—聖語·斯Ⅰ④□□□□—無窮④□□□□
—敦Ⅱ④□□□□甚—宋版·世德

783 法好也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·
宋版·世德·道藏·敦Ⅱ

1744 注783 物—聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ

784 彰著則—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□著—東急

785 飢寒並至—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世
德·敦Ⅱ·治要①□□□□并—大東②□□□□近—道藏

786 盜賊多有也—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德
②□□□□—東洋②□□□□者—書陵②□□□□—
道藏·敦Ⅱ·治要

經787 故聖人云—活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ①□□□□玄—書陵③□□□□—治要

1745 注788 謂下事也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋
版·世德②□□□□—敦Ⅱ④□□□□—道藏·治要

經789 我無爲而—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅
沢·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏①

□无□□—陽I·慶I·東大·六地·敦II·治要

注790 聖人言我脩道承天—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

791 無所改作—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·道藏

17 46

792 而民自化成也—活II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·聖語·東急·斯I·宋版·世德

陵·杏II·梅沢·武内·東大·東洋

注793 聖人言—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

794 我好靜不言不教—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·東急·宋版·世德·道藏·敦II

無窮·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·斯I

道藏

795 民皆自忠正也—活II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·治要

要

17 47

796 我無事而—活II·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏

注797 我無僭役徵召之事—書陵·足利·筑波·弘文·梅沢

敦II

道藏

798 使民安其業—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I

799 故皆自富也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·道藏

17 47

800 我無欲而—活II·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏

801 民自朴—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

802 我常無欲—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·宋版·世德·道藏

803 去華文微服飭—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·聖語·斯I·道藏·敦II

804 隨我爲質朴也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東急·聖語·斯I

805 文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·敦II·治要

806 我無情而民自清—道藏

注

梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②□□□□■—治要」

825 禍因福而生—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」②福□□□□■—慶Ⅰ」③福□□禍□□■—敦Ⅱ・治要・無窮？」

826 人遭禍—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・世徳・道蔵・治要」②天□□□■—宋版」②能□□■—敦Ⅱ」

827 而能悔過—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・治要」②□□□□■—道蔵」③□□□□■—敦Ⅱ」

828 禍去而福來也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大」②□□□□■—者□□—東洋」②□□□□■—聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□■—梅沢」④□□□□■—東急・道蔵・治要」⑤福□□□□■—敦Ⅱ」

1777 注 829 人得福而—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ・治要」①□□□□禍□□—大東」②□□□□■—杏Ⅱ」

830 福去而禍來也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋」②□□□□■—足利・聖語・斯Ⅰ」②□□□□■—梅沢」④□□□□■—東急・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ・治要」

1871 注 831 禍福更相生—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ・治要」

832 誰能知—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・宋版・世徳」②□□□□■—東大・東洋」②孰□□□□■—道蔵」②□□□□■—無窮・梅沢・聖語・東急・斯Ⅰ・治要」②□□□□■—敦Ⅱ」

833 其窮極—時也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東急・治要」②□□□□■—之□□□□■—筑波・大東」②□□□□■—聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」②□□□□■—道蔵」

834 其無正—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・武内・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」①□□□□■—陽Ⅰ・大東・東大・六地・敦Ⅱ」②□□□□■—耶—無窮・梅沢・東急」

注 835 無不也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・大東・東急・世徳・道蔵」①无□□□■—陽Ⅰ・杏Ⅱ・弘文・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・敦Ⅱ」

836 其無國也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・世徳・敦Ⅱ」①无□□□■—陽Ⅰ・杏Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版」②□□□□■—道蔵」③夫无□□■—無窮」

1871 注 837 下雖正—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」②□□□□■—道蔵」

838 化上爲詐也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□■—敦Ⅱ」④□□□□■—道蔵」

1871 注 840 皆復化—上—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②□□□□■—妖□□—梅沢」②背□□□■—東急」②□□□□■—正—聖語・斯Ⅰ」

841 爲妖怪也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・梅沢・大東・武内・東洋・聖語・斯Ⅰ」①□□□□■—足利・斯Ⅱ・慶Ⅰ」①□□□□■—弘文」①□□□□■—東急・宋版・世徳・道蔵」②□□□□■—東

大」②□□詳□□一敦Ⅱ」

經842人之迷■一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋

版·道藏·敦Ⅱ」②□□□□也一無窮」②民□□□一世德」

843 其日固久矣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·

大東·六地」②□□□□□□一杏Ⅱ·弘文·梅沢·武内·東大·東洋·

聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」④□□固日□□一道藏」

注844人君迷惑一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏」①□□□□或一敦Ⅱ」

845 失正以來一活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏」①矢□□□□一陽Ⅰ」②□□□□一敦Ⅱ」

18 44

846 其日固久也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋」②□□□□以□

□一東急」②□□□□□□一聖語·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ」④□□□□已

經847聖人方而不割一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

六地·宋版·世德·道藏」②□□□□□□一敦Ⅱ」

18 45

注848不以割截人也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德」②□□□□□□一道藏·敦Ⅱ」

注849聖人廉清一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·道藏」②人聖□□□一敦Ⅱ」

850 不以傷害人也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏」②□□□□復□□□一梅沢」②□□□□□□一敦Ⅱ」

851 正己以割人清己以害人也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·

筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·斯Ⅰ」

②□□□□□□□□□□□□一東洋」③□□□□□□□□□□一東

急」③□□□□□□□□□□□□一宋版·世德·道藏」⑤□□□□□□

18 46 經852直而不肆一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋

版·世德·道藏·敦Ⅱ」①真□□□□一筑波」

注853聖人雖直一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□真一筑波」

854 曲己從人一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·

世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□以□□□一杏Ⅱ」

855 不自申也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·武内·東大·東洋·道藏」②□□□□一慶Ⅰ·大東·

東急·敦Ⅱ」②□□□□之□□一聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」

18 47

經856光而不曜一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六

地·宋版·世德·道藏」①□□□□耀一道藏」

注857有獨知之明一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·

敦Ⅱ」②□□□□見□□□一無窮·東急·道藏」

858 常如闇昧一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·弘文·武内·東大·東洋·聖

語·東急·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ」①□□□□味一杏Ⅱ」①□□□□暗□一足

利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·世德·道藏」

859 不以曜亂人也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版」②□□□□眩□□□一世德」②□□□□□□一敦Ⅱ」③□□□□耀□

18 47

860 守道第五十九一活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·

□□一道藏」

道藏〔②〕□□章□□□□東洋〔②〕□□章□□□□武內·東大〔③〕治人章□□□□杏Ⅱ·慶Ⅰ〔③〕治人章□□□□筑波·大東〔③〕治人夏天章□□□□弘文〔③〕□□□□書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·敦Ⅱ

1872注861謂人君欲治理人民也。活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大〔②〕□□□□者□□東洋〔②〕□□□□之□□書陵〔②〕□□□□足利·弘文·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ

注862當用天道順四時也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東洋〔②〕□□□□敦Ⅱ

1873注863齋愛也。活Ⅱ·杏Ⅱ·筑波·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·道藏〔②〕□□陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·弘文·梅沢·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ

864治國者。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ〔②〕□□梅沢·東急

865愛民財不為奢泰。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·世德·道藏·敦Ⅱ〔②〕□□則□□□□宋版

866治身者。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ〔②〕□□梅沢

867當愛精氣。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德〔②〕□□受□□□□東急〔②〕□□□□敦Ⅱ〔②〕□□□□而

道藏〔②〕□□放逸也。陽Ⅰ·杏Ⅱ·武內·東大〔②〕□□□□東急·宋版·世德〔②〕□□者□□東洋〔②〕□□□□書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東〔②〕□□為□□□□活Ⅱ·無

窮〔④〕□□為□□□□聖語·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ

經869夫唯齋。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·道藏·敦Ⅱ〔②〕□□惟□□世德

1874注870早先也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ〔②〕□□東洋

871服得也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔①〕□□德□□敦Ⅱ〔③〕□□者德□□東急

872則能先得天道也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔①〕財□□□□無窮〔②〕□□□□敦Ⅱ

1875經873謂之重積德。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ〔①〕□□得足利

注874謂重積德於己也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔②〕□□□□敦Ⅱ

經875則無不克。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·大東·武內·東洋〔①〕□□□□陽Ⅰ·慶Ⅰ·東大〔①〕□□剋□□聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔①〕□□克□□弘文〔②〕□□无□□剋□□六地〔②〕□□无□□克□□敦Ⅱ

1876注876剋勝也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋〔①〕克□□□□弘文·敦Ⅱ〔①〕剋□□聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏

877重積德於己。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏〔②〕□□種□□□□己□□筑波〔②〕□□種□□□□敦Ⅱ

19 朽

斯I·六地·宋版·世德·敦II ③道德真經註卷之三—道藏」

896 弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·六地·宋版·世德」③老子德經經下—東急」③老子德經下—敦II」③道德真經註卷之四—道藏」

897 文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·六地」③河上公章句第四—聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II」③河上公章句—道藏」

898 居住 第六十一—活II·陽I·梅沢·聖語·斯I·宋版·世德·道藏」②—章—武内·東大·東洋」③治大國章—杏II·筑波·弘文·大東」③治大國章—慶I」③—書陵·無窮·足利·斯II·東急·六地·敦II」

19 66 經 899 若烹小鮮—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·六地·宋版·世德·道藏」①—享—東急·敦II·治要」

900 鮮魚也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·敦II·治要」②—宋版·世德」

901 烹小魚—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·道藏」①—享—東急·敦II·治要」

902 不去腸—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II」②—腹—無窮·弘文·東大」③—治要」

903 不去鱗—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II」②—鮮—東大」②—削—無窮」③—治要」

904 恐其糜也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·治要」①—麋

19 朽

905 精氣散去也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I」②—之—慶I」②—東急」③—治要」⑤—宋版·世德·道藏」⑤—敦II」

經 906 以道莅天下者—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·敦II·治要」②—宋版·世德·道藏」

19 91 注 907 治天下—則—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·治要」②—者—敦II」②—道藏」

908 鬼不敢見其精神以犯人也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·治要」②—道藏」④—神—敦II」

經 909 非其鬼不神其神不傷人—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·敦II·治要」④—道藏」

19 92 注 910 其鬼非無精神也—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·東急·世德」①—无—陽I·杏II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版」③—无—敦II·治要」④

911 邪不入正—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·世德」①—耶—無窮·敦II·治要」②—非—宋版」③—斯II·道藏」

912 不能傷自然之民也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·治要」②—者—東洋

② 宋版·世德 ④ 傷能 ④ 人 聖語·斯
斯II·道藏

經913 非其神不傷人 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·

宋版·世德·道藏·敦II·治要 ③ 斯II

914 聖人亦不傷人 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

六地·世德·敦II·道藏·治要 ② 宋版

注915 非鬼神不能傷害人 活II·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·慶I·大東·武内·東洋·東急·宋版·世德·治要 ②

陽I·書陵·梅沢·東大·聖語·斯I ② 其

傷害 人 活II·陽I·書陵·無窮·筑波·梅沢·大東·武内·

東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II·治要 ②

于 杏II·足利·弘文·斯II·慶I ④ 敢 道藏

19 74 917 鬼 活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·

慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·

治要 ② 神 無窮·道藏·敦II

918 不敢干人也 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·梅沢·

慶I·武内·東大·東洋 ② 之 筑波·大東·宋版·世

德 ② 斯II ② 東急·治要 ②

聖語·斯I·道藏 ③ 敦II

注919 而兩不相傷也 活II·陽I·書陵·足利·筑波·梅沢·大東 ②

杏II·無窮·弘文·斯II·慶I·武内·東大·東洋·

聖語·東急·斯I·宋版·世德 ④ 敦II ⑤

道藏

經920 故德交歸焉 活II·陽I·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·慶I·

武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏

版 杏II·筑波·大東 ① 交 梅沢 ①

得 敦II

19 75 注921 夫兩不相傷則 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·敦II

② 宋版·世德·道藏 ③ 東急

922 人得治於陽鬼得治於陰 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑

波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋

版·世德·道藏·敦II ③ 梅沢 ③

東急

923 人得全其性命鬼得保其精神 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·

弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·

宋版·世德·敦II ① 金 筑波 ②

道藏 ③ 東急

924 故德 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·東洋·聖語·斯I·宋版·世德 ① 得 敦II

② 武内·東大·道藏 ③ 東急

19 76 925 交歸之也 活II·陽I·書陵·足利·斯II·慶I ① 皈 杏

II·無窮·筑波·弘文·大東·東洋 ② 武内 ② 焉

梅沢 ② 焉 聖語·斯I·宋版·道藏 ② 世

德·敦II ③ 東大 ③ 東急

926 謙德 第六十一 活II·陽I·梅沢·聖語·斯I·宋版·世

德·道藏 ② 章 武内·東大·東洋 ③ 大國者

章 杏II·慶I·大東 ③ 大國者下流章 筑

波·弘文 ③ 書陵·無窮·足利·斯II·東

急·六地·敦II

20 11 經927 大國者下流 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·

宋版·世德·道藏·敦II ① 梅沢

注928 治大國 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·道藏 ② 者 敦II

929 當如 居下流 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世

德 ② 知 武内 ② 君 足利 ③ 江海者 道藏

930 不逆 細微也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東洋 · 東急 ① 徵 足利 · 東

大 ② 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ④ 於 敦 II

20 注 931 大國者 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 武内 · 東大 · 東洋 · 敦 II ② 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏

932 天下 士民之 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ① 土 書陵 ② 之 道藏

933 所交會也 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 梅沢 · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 ① 支 筑波 ② 之 足利 · 弘文 · 斯 II · 慶 I ② 書陵 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II

注 934 牝 陰類也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東洋 ② 陽 東大 ② 者 無窮 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II

935 柔 和 活 II · 陽 I · 書陵 ② 謙 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II

936 而不倡也 活 II · 杏 II · 足利 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 道藏 ① 唱 陽 I · 書陵 · 無窮 · 梅沢 · 東大 · 聖語 · 東急 · 斯 I ① 昌 宋版 · 世德 ② 弘文 ③ 唱 武内 · 東洋 · 敦 II

20 經 937 牝常以 靜勝牡 活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋

版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 其 杏 II ④ 其 牝 斯 II

注 938 女所以能屈 男 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 敦 II ②

於 聖語 · 斯 I · 道藏 ④ 勝 於 宋版 · 世德

939 陰勝陽 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ③ 勝陽陰 道藏

940 以其安靜 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 敦 II ② 聖語 · 斯 I · 世德 · 道藏 ④ 盡 宋版

941 不先求也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I ② 東急 · 敦 II ② 之 宋版 · 世德 ② 之 道藏

經 942 以靜 爲下 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 故 筑波 · 大東

943 陰道以安靜 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ② 道藏

944 爲謙下也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 ② 者 東洋 ② 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ③ 東洋 道藏

經 945 則取 小國 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武内 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② 於 書陵 · 六地

注 946 能謙下之則常有之也 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘

筑波・弘文」③
六地・東急・敦II・梅沢(空一行、以下六十九章迄同)

20 96 經 964 道者萬物之奧」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・梅沢・武内・東

大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II・治要」②
□□□□□□也」足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・六地」

注 965 道爲萬物之藏」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳・敦II・治要」②□□□□□□道蔵」

966 無所不容也」活II・書陵・無窮・足利・弘文・斯II・慶I・東急・

宋版・世徳・道蔵」①无□□□□□陽I・杏II・梅沢・大東・武内・
東大・東洋・斯I」②□□□□□書□□筑波」③无□□□□□聖語」③

无□□□□□敦II・治要」

經 967 善人之寶」活II・陽I・梅沢・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・

敦II」②□□□□□也」書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・六地・治要」

20 96 注 968 以道爲身寶」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・
世徳・道蔵・敦II」②□□□□□聖語」②□□□□□之□□治要」

969 不敢違失也」活II・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・

大東・斯I」②□□□□□陽I・書陵・武内・東大・道蔵」②
□□□□□之□□東洋」④□□□□□東急・宋版・世徳・敦II・
治要」④故□□□□□梅沢」⑤故□□□□□建□□聖語」

注 970 道者」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・
道蔵・敦II・治要」②□□□□□東大」

971 不善人之所保倚」活II・陽I・聖語・敦II」②□□□□□也」

書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・
武内・東大・東洋・東急・斯I・道蔵・治要」④□□□□□也」

宋版・世徳」

972 遭患逢急」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳・道蔵・治要」②謂□□□□□敦II」

20 97 注 973 猶知自悔卑下也」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・

弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東急・聖語」②□□□□□
□□者□□東洋」②□□□□□之□□梅沢」②□□□□□
□□敦II・治要」②□□□□□自知□□□□□斯I」④□□□□□自知□□
□□□□□宋版・世徳」④□□□□□柔□□道蔵」

注 974 美言者」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・敦II」
②□□□□□梅沢・聖語・道蔵」

975 獨可於市耳」活II・無窮・聖語・東急・斯I・宋版・世徳」②

□□□□□以□□□□□陽I・書陵・梅沢」②□□□□□杏II・足
利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋」④□□□□□
以□□□□□敦II」④□□□□□以□□□□□者」道蔵」

976 夫市交易而退」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II・

梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・
道蔵」②□□□□□東急」③□□□□□弘文・敦II」

977 不以相宜」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯I」②□□□□□
梅沢・東急・宋版・世徳・敦II」④□□□□□售」道蔵」

21 札

978 善言美語」活II・陽I・書陵・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・大

東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦
II」②美□□□□□杏II・慶I」②□□□□□善□□無窮」

979 求者欲疾得」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳・道蔵」②□□□□□疾欲□□敦II」

980 賣者欲疾售也」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳」②□□□□□道蔵・敦II」

經 981 尊行可以加人」活II・陽I・書陵・杏II・無窮・梅沢・武内・東

大・東洋・聖語・東急・斯I・

大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II ②
□□□□於□—足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東

21 42 注 882 人有尊貴之行—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II ② □□□□

983 自別異於凡人—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·敦II ② □□□□—道藏 ③ 凡 □□□□—宋版 ③ □□□□

984 未足以尊道也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·東急 ② □□□□
□□□□—東洋 ② □□□□—斯I·宋版·世德·道藏·敦II

21 43 注 985 人雖不善—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II ② □□□□—聖語

986 無有棄民—活II·書陵·足利·弘文·斯II·東急·宋版·世德·道藏 ① 无 □□□□—陽I·杏II·筑波·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·敦II ③ □□□□—立天子 □□□□—無窮

987 德化淳也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏 ② □□□□—東大 ② □□□□—敦II

21 44 注 988 教化不善人也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急 ② □□□□—斯I·敦II ④ □□□□—宋版·世德·道藏

經 989 有拱壁—活II·陽I·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·武内·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II ① □□□□—壁—書陵·足利·梅沢·大東·東大

21 45 990 坐進此道—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏 ② □□□□—敦II

注 991 雖有美壁—活II·陽I·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II ① □□□□—壁—書陵·足利·梅沢·東大 ② □□□□—玉—道藏

992 以先驅馬而至—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·道藏 ② □□□□—杏II·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II

993 不如—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·敦II ② 故 □□□□—東急·聖語·宋版·世德

994 坐進此道也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·道藏 ② □□□□—東急·斯I·宋版·世德·敦II

經 995 古之所以貴此道者何—活II·陽I·書陵·無窮·梅沢·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·敦II ② □□□□—道藏 ② □□□□—杏II·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋

21 46 996 不日求以得—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·六地·道藏·敦II ② □□□□—梅沢·聖語·宋版·世德

注 997 古之所以貴此道者—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·道藏·敦II ② □□□□—東急

998 不日遠行求索—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急 ① □□□□—素—杏II·斯II ② □□□□—斯I·宋版·世德·道藏·敦II ④ 以其 □□□□—聖語

21 47 999 近得之於身也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語 ② 在 耶 道藏·敦II

經 有罪以免邪 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·六地·斯I ① 耶

注 有罪 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II ② 者 道藏

亂世 闇君 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·敦II ① 時暗 足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·道藏 ③ 時暗 東急

妄行刑誅也 活II·無窮·斯I ② 陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·宋版·世德·道藏·敦II

解死 免於衆邪也 活II·陽I·杏II·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I ① 耶 無窮·足利·東急 ③ 耶 世德·敦II ⑤ 厄 耶 道藏

注 道德洞達 活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·斯I ② 遠 無窮·東洋·聖語·東急·宋版·世德·道藏·敦II ③ 治要

無不覆濟 活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·東急·世德·道藏 ① 无 陽I·杏II·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·敦II·治要

斷全身治國 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II ② 弘文 ③ 治要

恬然無爲 活II·書陵·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·東急·世

德·道藏 ① 无 陽I·杏II·筑波·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·敦II·治要

21 ㄅ 故可爲天下 貫也 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·斯II·梅沢·慶I·武内·東大·聖語·斯I·宋版·世德 ② 敦II·治要 ④ 以 道藏

21 ㄅ 恩始 第六十三 活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏 ② 章 武内·東大·東洋 ③ 爲無章 杏II·慶I ③ 爲無爲章 筑波·弘文·大東 ③ 書陵·無窮·足利·斯II·梅沢·聖語(空一行、以下同)·東急·六地·敦II

21 ㄅ 經 爲無爲 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏 ① 无 六地·敦II·治要

21 ㄅ 因成循故 活II·陽I·杏II·足利·筑波·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I·道藏 ① 脩 書陵·無窮·弘文·梅沢·東急·聖語·宋版·世德·敦II ③ 治要

無所造作也 活II·書陵·杏II·足利·弘文·斯II ① 无 陽I·無窮·筑波·大東·聖語 ② 梅沢·慶I·治要 I·宋版·世德 ③ 无 改 道藏 ⑤ 无 爲

經 無事 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·武内·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏 ① 无 大東·東大·六地·敦II·治要

21 ㄅ 豫設備 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·敦II ① 說 ① 東大 ① 預 道藏 ② 有 宋版·世德 ③ 治要

除煩省事也 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・
世徳①□順□□□慶I②□□□□道蔵・敦II・治要①
經味無味一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵①□无

2195注味道意也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋
版・世徳・道蔵・治要②□□□□一敦II

經大小多少一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・六地・宋
版・世徳・道蔵・敦II①□少□□一斯I

注陳其戒令也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳・道蔵②□□□□一敦II

欲大反小一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世
徳・道蔵・敦II①□□□少一斯I

欲多反少一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・梅
沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世
徳・道蔵・敦II①□□□及一斯II

自然之道也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世
道蔵②□□□□一慶I・聖語②□□□□一敦II

2196注絶禍於未生也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II
梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・
世徳①□過□□□□一弘文②□□□□□□一敦II・治要②□□□□
□□□□一道蔵

注欲圖難事一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋
版・世徳・敦II・治要③□□□□一道蔵

注欲圖難事一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋
版・世徳・敦II・治要③□□□□一道蔵

2197 必當於易時未及成也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑
波・梅沢・大東・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・道蔵・治要②
□□□□□□□□之□一武内②□□□□□□□□之□一慶I②
□□□□□□□□一敦II②□□□□□□□□一弘文②
□□□□□□□□一聖語③□□□□反□□□一斯II④
先□□□者□□□□一世徳

注欲爲大事一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅
沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世
徳・道蔵・敦II・治要②□□□□小一足利

必作於小一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・斯II・
慶I・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・
治要①□□□□□□□□少一筑波・大東②□□□□□□□□一敦
II②亦□□□□□□□□一梅沢④□亂從小□□少時一弘文

禍亂從小來也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・
世徳・道蔵・治要①□□□□少一慶I②□□□□□□□□一敦II

難事必作於易一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・
宋版・世徳・道蔵・敦II・治要②□□□□亦□□□一梅沢

大事必作於細一活II・陽I・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・
世徳・道蔵・敦II・治要②□□□□□□□□一書陵・六地

221 聖人終不爲大一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
六地・宋版・世徳・敦II・治要②大□□□□□□一道蔵

注處謙虛也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋
版・道蔵・治要②□□□□一敦II④□□□□□□一世徳

注共歸之也一活II・陽I・書陵・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・武
内・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵・治要①□返□□一杏II・無

注共歸之也一活II・陽I・書陵・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・武
内・聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵・治要①□返□□一杏II・無

窮·筑波·大東·東大·東洋」②□□□□—東急·敦II」

22 卅經幽輕諾必寡信—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·六地·

宋版·世德·敦II·道藏·治要」②□□□□—真□—聖語」

注幽不重言也—活II·陽I·杏II·無窮·筑波·梅沢·慶I·大東·

武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·治要」

②□□□□之□—弘文·足利·書陵」②□□□□之□—斯II」②□□□□

—敦II」

注幽不慎患也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·道藏·治要」②□□□□—敦II」

22 卅注幽猶進退重—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·治要」②於□□□□—梅沢」②猶□□□□—敦II」

注幽欲塞其源也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·治要」

②□□□□□□—斯I·宋版·世德·敦II」②□□□□故□□—道藏」

注幽終無難—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏」①□□□□—東

大·敦II·治要」②□□□□—弘文」②□□□□—矣—筑波·

慶I·武内」③□□□□—矣—大東·六地」

22 卅注幽無患難之事—活II·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·東急·

世德·道藏」①无□□□□—陽I·杏II·梅沢·慶I·大東·武内·

東大·東洋·聖語·斯I·宋版·敦II·治要」

注幽由避害—深也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·

治要」②□□□□之□□—慶I」②猶□□□□—宋版·世德」②□□

□□□□—敦II」

22 卅 關守微—第六十四—活II·陽I·斯I·宋版·世德·道藏」②□□

□□□□—武内·東大·東洋」③其安—章□□□□—杏

II·慶I·大東」③其安易持章□□□□—筑波·弘文」③□□□□

—書陵·無窮·足利·斯II·梅沢·聖語·東急·六地·

敦II」

22 卅經幽其安易持—活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世

德·道藏·敦II·治要」①□□□□—特—書陵」②□□□□—武内」

注幽易守持也—活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·斯I·宋版·世德·治要」

①□□□□—特—書陵」②□□□□之□—東洋」②□□□□—東急·

敦II·道藏」

注幽情欲禍患—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·東急·斯I·宋版·世

德·道藏·敦II·治要」②□□□□—乱—東洋」

22 卅 注幽易謀止也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·道藏」②□□□□—

東洋」②□□□□—東急·敦II·治要」②□□□□—正—斯I·宋

版·世德」

注幽禍亂未動於朝—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

宋版·世德·敦II·治要」③□□□□—至萌—道藏」

注幽情欲未見於色—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·敦II·治要」①□□□□—施—大東」

22 卅 注幽易破除也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·斯I·道藏·治要」

②□□□□—者—東洋」②□□□□—東急·宋版·敦II」④除破

—世德」

注幽其未彰著—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·大

東·東大·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II」①□□□□—着—杏

II·弘文·慶I·武内·東洋·聖語·治要」

微小時一活II·陽I·無窮·足利·斯II·梅沢·東急」①□□少□□
弘文」②□□□□書陵·杏II·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋

版·世德·道藏·敦II·治要」③□□少□□一筑波·慶I·大東」
賜易散去也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·道
藏·治要」②□□□□□□一慶I·敦II」④□□亡□□一東急」

經 賜爲之於未有一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·敦II·治要」②□□兮□□一無窮」
22 93 注 賜以 未有 一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·東急·治要」②□□於□□一杏II·武内·東大·東
洋」②□□於□□一聖語·斯I·宋版·世德·道藏·敦II」

賜 萌牙之時一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅
沢·慶I·大東·東大·聖語·斯I·宋版·敦II·治要」①□□芽

□一杏II·武内·東洋·東急·世德·道藏」
賜 塞其端也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·

梅沢·慶I·大東·東大·聖語·東急·斯I·宋版·世德·治要」
①■寒□□□□一弘文」②■□□□也之一武内」②■□□□之□□

東洋」②■□□□□□一道藏」④豫□□□□一敦II」
經 賜治之於未亂一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·
六地·世德·道藏·敦II·治要」②□□乎□□乱一無窮」

注 賜於未亂之時一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

宋版·世德·道藏·治要」②當□□□□□□一敦II」
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏」①□□豪□□一書
陵·無窮·足利·梅沢·聖語·六地·敦II·治要」

注 賜從小成大也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·武内·東大·聖語·治要·梅沢?」②□□□□

者□一東洋」②□□□□□□一東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦
II」

經 賜九層之臺一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·六地·宋

版·世德·道藏·敦II·治要」①□□皆□□一東急」
22 95 注 賜從卑立高也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·聖語·東急」②□□爲□□一東
大」②□□□□者□一東洋」②□□□□一治要」④□□至□□

■一斯I·宋版·世德·道藏·敦II」
22 96 注 賜從近至遠也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·聖語」②□□爲□□一東大」②
□□□□者□一東洋」②□□□□一東急·斯I·宋版·世德·

道藏·敦II·治要」
經 賜爲者 敗之一活II·杏II·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·東急·

聖語·宋版·世德·道藏·敦II·治要」②■則□□一陽I·書陵·
足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·六地」②□□則□□一斯I

注 賜廢於自然一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅
沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世

德·道藏·敦II·治要」②□□□□一無窮」
賜 有爲於義廢於仁恩一活II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·

慶I·大東」①□□□□□□□□思一東洋」②□□□□□□一陽
I·書陵·武内·東大·聖語·東急·斯I·道藏·敦II」③□□□□

①无□□□□□□□□□□陽I·杏II·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·東大·斯I·宋版②□□□□□□□□□□東急·道藏③□□无□□□□□□□□□□武内·敦II④□□无□□□□□□□□□□者□□東洋

經經民之從事一活II·陽I·書陵·無窮·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要②故□□□□□□□□□□杏II·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東

經於幾成而敗之一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要②故□□□□□□□□□□之敗一東大

注注民人之爲事一活II·無窮·聖語②□□□□□□□□□□陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·宋版·世德·道藏·敦II·治要②□□□□□□□□□□斯I·道藏

經而貪位一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·治要①□□□□□□□□□□足利②□□□□□□□□□□梅沢②□□□□□□□□□□於□□□□□□□□□□聖語

經奢泰盈滿一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II·治要②而□□□□□□□□□□道藏

經而敗之也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·治要②□□□□□□□□□□梅沢·敦II②□□□□□□□□□□道藏④□□□□□□□□□□斯I·宋版·世德

經經慎終如始一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·武内·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要②□□□□□□□□□□敗□□□□□□□□□□大東·東大②□□□□□□□□□□敗□□□□□□□□□□

弘文

經無敗事一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·東洋·東急·聖語·斯I·宋版·世德·道藏①无□□□□□□□□□□梅沢·武内·東大·六地·敦II·治要②□□□□□□□□□□矣一足利·筑波·弘文·斯II③无□□□□□□□□□□矣一東大

注注終當如始一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·治要②慎□□□□□□□□□□東洋②□□□□□□□□□□斯II

經不當懈怠也一活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語②□□□□□□□□□□慶I②□□□□□□□□□□書陵·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·治要

注注欲人所不欲一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II·治要②□□□□□□□□□□東急②□□□□□□□□□□敦II③□□□□□□□□□□

經聖人欲伏一光一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II②□□□□□□□□□□藏□□□□□□□□□□聖語②□□□□□□□□□□輶□□□□□□□□□□道藏③□□□□□□□□□□

經聖人欲質朴一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II①□□□□□□□□□□樸一治要

經人欲於色一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·敦II·治要②□□□□□□□□□□宋版·世德

經聖人欲於德也一活II·陽I·杏II·無窮·梅沢·武内·斯I·宋版·世德②□□□□□□□□□□也□□□□□□□□□□聖語②□□□□□□□□□□東大·東

I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ① □ □ □ □ 脩 | 無窮 · 足利 · 治要

經 112 不敢有 所造為 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ③ □ □ □ □ 自然 □ □ □ □ 無窮

經 113 恐遠本也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ② □ □ □ □ 道藏 ② □ □ □ □ 敦 II · 治要

23 ㄅ

經 114 淳德 第六十五 | 活 II · 陽 I · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ② □ □ □ □ 杏 II · 筑波 · 慶 I · 大東 ③ 古之善為道者章 □ □ □ □ 弘文 ③ 聖語 · 東急 · 六地 · 敦 II | 書陵 · 無窮 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 聖語 · 東急 · 六地 · 敦 II

23 ㄆ

經 115 說古之善 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 敦 II · 治要 ② 治 □ □ □ □ 宋版 ② 謂 □ □ □ □ 世德

經 116 以道 治身 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要 ② □ □ □ □ 無窮 · 敦 II

經 117 治國也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 ② □ □ □ □ 者 □ □ □ □ 梅沢 · 聖語 ② □ □ □ □ 者 □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要

經 118 非以明民 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ 人 | 梅沢

注 119 不以道教民 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ② 非 □ □ □ □ 治要 ③ □ □ □ □ 敦 II

23 ㄇ

經 120 明知 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 弘文 · 梅沢 · 大東 · 武內 · 東大 · 聖語 · 東急 · 世德 ① □ □ □ □ 智 | 宋版 · 道藏 · 治要 ② 使 □ □ □ □ 杏 II · 無窮

足利 · 筑波 · 斯 II · 慶 I · 東洋 ③ 使 □ □ □ □ 斯 I ③ 敦 II

經 121 斡巧也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I ① 功 □ □ □ □ 筑波 ② 民 □ □ □ □ 足利 · 東急 ② □ □ □ □ 治要 ③ 巧詐 □ □ □ □ 宋版 · 世德 · 道藏 ③ 敦 II

經 122 將以愚之 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要 ② □ □ □ □ 斯 II ③ 敦 II

注 123 將以道德教民 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 治要 ③ 敦 II

經 124 使質朴 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 道藏 · 敦 II ① 撲 | 治要 ② 朴質 | 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德

經 125 不詐偽也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 聖語 · 治要 ② □ □ □ □ 者 □ □ □ □ 東洋 ② □ □ □ □ 之 □ □ □ □ 杏 II ② □ □ □ □ 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ③ □ □ □ □ 為 □ □ □ □ 東急

24 ㄏ 經 126 以其智多 | 活 II · 無窮 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ① □ □ □ □ 杏 II · 治要 ② □ □ □ □ 多智 | 陽 I · 書陵 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 六地 · 斯 I

注 127 文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 治要 ③ 民之所以難治者 | 敦 II ③ 民之不可治理者 | 道藏

經 128 以其智大多 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 筑波 · 弘文 · 斯 II ① □ □ □ □ 太 □ □ □ □ 杏 II · 無窮 · 足利 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ 知太 □ □ □ □ 聖語 ② □ □ □ □ 宋版 · 世德

經 129 而為巧偽也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文

德·道藏」②□□□□□者□□□□□一杏Ⅱ·武内·東大·東洋·聖語」②
□□□□□之□□□□□一書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東」②
□□□□□□□□□□□一敦Ⅱ」

經156常知措式一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·慶Ⅰ·大東·武
内·六地」①□□□□□一筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·東大·東洋·聖
語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

注157能知一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏」①□□□□□智一東大」②常□□□□一敦Ⅱ」

24 46 158治身及治國之法式一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·
弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·
斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□□□□□□□□一道藏·敦Ⅱ」

159謂與天同德也一活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏」②□□□□□□□□□□□一書陵·東急·敦Ⅱ」

經160深矣遠矣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一弘文」

注161玄德之人一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一東急」④言□□□□□一聖語」

24 47 162深不可測一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯
Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·世
德·道藏·敦Ⅱ」①□□□□□□□□□□□一則一宋版」

163遠不可極也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏」②□□□□□□□□□□□一東洋」②□□□□□□□□□□□一敦Ⅱ」

164欲施與人也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·斯Ⅰ·道藏」②□□□□□□□□□□□
一東洋」②□□□□□□□□□□□一弘文·斯Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一東

急·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一宋版·世德」
24 47 經165乃至大順一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘
文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·六
地·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一斯Ⅰ·宋版·世德」③然後□□□□□
□□□□□一道藏」

注166故能至大順一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·梅沢·慶
Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦
Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一弘文·斯Ⅱ·聖語」③□□□□□□□□□□□
窮」

167順天理也一活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德」②□□□□
□□□□□□□□□□□一陽Ⅰ·書陵」②□□□□□□□□□□□一敦Ⅱ」④□□□□
□□□□□□□□□□□一東急」④□□□□□□□□□□□一聖語」④大□□者□□□□
□□□□□□□□□□□一道藏」

24 47 經168後已第六十六一活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」
②□□□□□□□□□□□一武内·東大·東洋」③江海□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□一杏Ⅱ·慶Ⅰ」③江海□□□□□□□□□□□一筑波·大東」
③江海為百谷王章□□□□□□□□□□□一弘文」③□□□□□□□□□□□一書
陵·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·聖語·東急·六地·敦Ⅱ」

24 48 經169所以能為百谷王者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·
弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·
斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一治要」
170以其善下之故一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·
六地·敦Ⅱ」②□□□□□□□□□□□一宋版·道藏·治要」④□□□□□□□□□□□
世德」

注171江海一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅沢·
慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏·敦Ⅱ·治要」②□□□□□□□□□□□者一弘文」

24 48 172以卑下故一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

24 44 173

174

175

藏·敦II·治要 ①虚 ②也 ③也 ④也 ⑤也 ⑥也 ⑦也 ⑧也 ⑨也 ⑩也 ⑪也 ⑫也 ⑬也 ⑭也 ⑮也 ⑯也 ⑰也 ⑱也 ⑲也 ⑳也 ㉑也 ㉒也 ㉓也 ㉔也 ㉕也 ㉖也 ㉗也 ㉘也 ㉙也 ㉚也 ㉛也 ㉜也 ㉝也 ㉞也 ㉟也 ㊱也 ㊲也 ㊳也 ㊴也 ㊵也 ㊶也 ㊷也 ㊸也 ㊹也 ㊺也 ㊻也 ㊼也 ㊽也 ㊾也 ㊿也

25 22

注 190 以光明蔽後 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 筑波 弘文 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I 宋版 世徳 道蔵 敦II 治要 ①先 ②足利 ③無有欲害之者也 活II 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 東急 ④無 ⑤陽I 杏II 斯II 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 斯I ⑥無 ⑦心 ⑧世徳 ⑨無 ⑩武内 東大 東洋 聖語 斯I ⑪無 ⑫心 ⑬世徳 ⑭無 ⑮武内 東大 東洋 聖語 斯I ⑯無 ⑰心 ⑱世徳 ⑲無 ⑳武内 東大 東洋 聖語 斯I ㉑無 ㉒心 ㉓世徳 ㉔無 ㉕武内 東大 東洋 聖語 斯I ㉖無 ㉗心 ㉘世徳 ㉙無 ㉚武内 東大 東洋 聖語 斯I ㉛無 ㉜心 ㉝世徳 ㉞無 ㉟武内 東大 東洋 聖語 斯I ㊱無 ㊲心 ㊳世徳 ㊴無 ㊵武内 東大 東洋 聖語 斯I ㊶無 ㊷心 ㊸世徳 ㊹無 ㊺武内 東大 東洋 聖語 斯I ㊻無 ㊼心 ㊽世徳 ㊾無 ㊿武内 東大 東洋 聖語 斯I

25 23

注 192 聖人 恩深厚 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 足利 筑波 弘文 文 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I 宋版 世徳 道蔵 敦II 治要 ②有 ③聖語 ④思 ⑤斯II ⑥如 ⑦宋版 世徳 道蔵 ⑧共推進以爲主 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 足利 筑波 弘文 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I ⑨無有 活II 書陵 無窮 足利 筑波 弘文 東急 宋版 世徳 道蔵 ⑩無 ⑪陽I 杏II 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 斯I 敦II

196 厭之者也 活II 陽I 書陵 聖語 ②杏II 筑波 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 ③足 ④無窮 東急 斯I ⑤道蔵 ⑥敦II ⑦足利 ⑧弘文 斯II

經 197 以其不爭 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 足利 筑波 弘文 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I 六地 宋版 世徳 道蔵 ②非 ③敦II

25 24

注 198 無厭聖人 活II ②時 ③書陵 足利 弘文 斯II 東急 宋版 世徳 ④無 ⑤時 ⑥陽I 杏II 無窮 筑波 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 斯I 敦II ⑦時 ⑧道蔵

199 是由聖人不與民爭先後也 活II 陽I 書陵 杏II 筑波 弘文 斯II 慶I 大東 斯I ①興 ②足利 ③武内 東大 東洋 東急 宋版 世徳 道蔵 ④聖人由 ⑤人 ⑥聖語 ⑦非 ⑧人 ⑨之所致 敦II

25 25

注 200 皆爭 有爲 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 足利 筑波 弘文 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I 敦II ②宋版 世徳 ③於 ④道蔵 ⑤無與吾 活II 書陵 無窮 筑波 弘文 斯II 東急 ①興 ②足利 ③陽I 杏II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 斯I ④爭 ⑤宋版 世徳 ⑥無有 ⑦聖語 敦II ⑧有 ⑨道蔵

201 爭 無爲者也 活II 陽I 書陵 杏II 足利 筑波 弘文 梅沢 東急 聖語 ①無 ②無窮 斯II 慶I 大東 武内 東大 ③宋版 世徳 ④無 ⑤斯I 敦II ⑥於 ⑦道蔵 ⑧無 ⑨東洋 ⑩於 ⑪三寶 ⑫第六十七 活II 陽I 斯I 宋版 世徳 道蔵 ⑬章 ⑭武内 東大 東洋 ⑮天下皆 ⑯章 ⑰杏II 慶I 大東 ⑱天下皆謂章 ⑲筑波 弘文 ⑳書陵 無窮 足利 斯II 梅沢 聖語 東急 六地 敦II

25 27 經 202 皆謂我 大 活II 陽I 書陵 杏II 無窮 足利 筑波 弘文 斯II 梅沢 慶I 大東 武内 東大 東洋 聖語 東急 斯I

六地·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□道□□道藏」

1266 似不肖一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□背一梅沢」②□□傾□□一聖語」

注1267 謂我德大一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·宋版·世德」②皆□□□□一杏Ⅱ·無窮·梅沢·武內·東大·東洋·聖語·東急·道藏·敦Ⅱ」

1268 我則詳愚一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·武內·東洋·聖語·東急」①□□詐□□一足利·東大·斯Ⅰ」①□□伴□□一筑波·大東·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」

1269 似不肖也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·筑波·慶Ⅰ·大東·東急」②□□□□一斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□者□□一足利·弘文·斯Ⅱ·東洋」②□□若□□□□一杏Ⅱ·武內·東大·聖語」④□□若□□□□一敦Ⅱ」④□□背者□□一梅沢」

25 引經 1270 夫唯大一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」③□□□一聖語」

1271 故似不肖一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□背一梅沢」

注1272 夫獨名德大者一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ」②唯□□□□□□一宋版·世德」②□□自□□□□一道藏」③□□□□一聖語」

1273 為身害故一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□之□□一道藏」③□□□□一聖語」

1274 詳愚一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·武內·東急」①詐□□一足利·東大·斯Ⅰ」①洋□□一東洋」①伴□□一筑波·大東·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□□一聖語」

1275 似若不肖一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」②□□□背一梅沢」②□□□一敦Ⅱ」③□□□一聖語」

1276 無所分別一活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·東急·世德·道藏」①无□□□一陽Ⅰ·杏Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ」②□□□一聖語」

25 引經 1277 無所割截一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·斯Ⅱ·東急·宋版·世德·道藏」①无□□□一杏Ⅱ·無窮·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·斯Ⅰ·敦Ⅱ」①□□析□□一弘文」②□□□一聖語」

1278 不賤人而自貴也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·東大·東急」①□□賊□□□□一武內」②□□□□□□□□一東洋」②□□□□□□□□一斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」③□□□□□□□□一聖語」

經1279 若肖久矣一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②□□背□□一梅沢」

注1280 肖善也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ」②背□□一梅沢」②□□□一道藏」

1281 謂辨惠也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·宋版·世德」①□□弁□□一武內·東大·東洋」①□□辯□□一東急」②□□辯慧□□一東急」③□□辯慧□□一敦Ⅱ」④□□□□一聖語」

1282 若大辨惠之人一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·宋版」①□□弁□□□一武內·東大·東洋」①□□辯□□□一東急·敦Ⅱ·道藏」②□□夫□□□□一聖語·世德」

1283 身高自貴一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□一聖語」②□□自高□□一道藏」

25 引經 1284 身高自貴一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□一聖語」②□□自高□□一道藏」

1285 身高自貴一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武內·東大·東洋·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」②□□□□一聖語」②□□自高□□一道藏」

幽行■觀察之政一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·
世德·道藏·敦II②□□其□□一足利

幽所從來久■矣一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·大東·東急·
聖語·宋版·世德·道藏②□□□□也一弘文·斯II·慶I·武
内·東大②□□□□之也一東洋②□□□□一足利·斯I·
敦II②□□□□矣也一梅沢

經幽■其細也■一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·六地·敦II②□□□□
梅沢·東急·宋版·世德②久□□□□一聖語②□□□□夫一斯
I·道藏

注幽言辨惠者一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅
沢·慶I·大東·斯I·宋版·世德①□□□□一杏II·東大·東
洋①□□辯□□一聖語·東急·道藏·敦II③□□弁□□一武内

幽唯如小人也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·
宋版·世德·敦II②□□□□一道藏

25 74 幽非長者■也一活II·陽I·杏II·無窮·筑波·梅沢·慶I·大東·
武内·東大·東洋·聖語②□□□□矣□□一足利②□□□□矣■一書
陵·弘文·斯II·東急·敦II②□□□□一斯I·宋版·世德·
道藏

經幽夫我有三寶一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·
宋版·世德·敦II②□□□□□□一弘文②□□□□□□一道藏·治
要

幽持而寶之一活II·陽I·書陵·杏II·足利·梅沢·武内·東大·東
洋·東急·六地·宋版·世德②□□□□保□□一無窮·筑波·弘文·斯
II·慶I·大東·聖語·斯I·道藏·敦II·治要

注幽■抱持而保倚之也一活II·陽I·書陵·杏II·筑波·梅沢·大東·
武内·東大·東洋·聖語②可□□□□□□□□一無窮②□□□□□□

□□□□一足利·弘文·斯II·慶I②□□□□□□□□一東急·
道藏·敦II·治要②□□□□□□□□一斯I·宋版·世德

25 75 注幽愛百姓若赤子■也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·
弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大②□□□□□□□□一者□□
東洋②□□□□□□□□也々一聖語②□□□□□□□□一東急·斯
I·宋版·世德·敦II·治要④□□□□□□□□一道藏

注幽賦歛一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·世德·
道藏·敦II·治要①□□儉一宋版

25 76 注幽不為倡始也一活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅
沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏
②□□□□□□□□一筑波·大東·敦II·治要②□□□□□□□□一書陵

大東·東大·宋版·道藏①□□唱□□一陽I·無窮·梅沢·武内·
東洋·聖語·東急·治要②□□□□□□□□一斯I②□□敢□□□一世
德③□□唱□□一敦II

經幽■慈故能勇一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·
六地·宋版·世德·敦II·治要②夫□□□□一道藏

注幽■以慈仁故一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·
敦II·治要②□□為□□一宋版·世德④先□仁慈□一道藏

25 77 注幽■能勇於忠孝也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德④乃
□□厚□□一筑波·慶I·大東②□□□□□□□□一敦II·治要④乃
□□□□□□一道藏

注幽■身能節儉故一活II·無窮·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·

敦Ⅱ・治要〔①躬□□□□□陽Ⅰ・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋〕②□躬□□□□□書陵〕③能躬□□□梅沢〕

26 注 闕 曰用寬廣也―活Ⅱ〕①□日□□□□□無窮・聖語〕③□日□□□□□治要〕③□用日□□□□□陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内〕⑤□用日□□□□□東大・東洋〕⑤□用日□□□□□梅沢〕⑤□用日□□□□□東急〕⑤□日□□□□□斯Ⅰ〕⑤□日□□□□□矣―宋版・世德・道藏〕⑥□用日□□□□□敦Ⅱ〕

26 注 闕 不敢為天下首先也―活Ⅱ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急〕②□□□□□陽Ⅰ・斯Ⅰ〕④□□□□□宋版・世德〕④□□□□□敦Ⅱ〕⑤□□□□□道藏・治要〕

經 闕 故能成器長―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・治要〕②□□□□□慶Ⅰ〕②□□□□□成―敦Ⅱ〕

注 闕 成器長―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要〕②□□□□□者―東急〕③□□□□□敦Ⅱ〕

闕 謂得道人也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要〕②□□□□□敦Ⅱ〕

闕 為道人之長也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要〕④□□□□□敦Ⅱ〕

26 注 經 闕 舍 慈且勇―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・敦Ⅱ・治要〕①捨 道 藏〕②□□□□□宋版・世德〕②□□□□□筑波・弘文・大東・六地・道 藏〕

注 闕 今世之人―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急〕②□□□□□梅沢・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要〕

26 注 闕 但為奢泰也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要〕②□□□□□敦Ⅱ〕

26 注 闕 但為武勇也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世德〕④□□□□□勇武―道藏・敦Ⅱ・治要〕

經 闕 舍 儉且廣―活Ⅱ・陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世德・敦Ⅱ・治要〕②□□□□□書陵・足利・斯Ⅰ・六地・道藏〕

經 闕 後且先―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・聖語・東急・六地・宋版・世德・敦Ⅱ・治要〕②□□□□□足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・大東・斯Ⅰ・道藏〕

注 闕 為人先也―活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・筑波・梅沢・大東・東大・聖語〕②□□□□□陽Ⅰ・書陵・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ・治要〕④務先人―道藏〕

經 闕 死矣―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要〕則□□□□□無窮〕

26 注 經 闕 入死道也―活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語〕②□□□□□者―武内・東洋〕②□□□□□東急・斯Ⅰ・道藏・敦Ⅱ・治要〕④□□□□□地―宋 版・世德〕

經 闕 仁以守則固―活Ⅱ・陽Ⅰ・杏Ⅱ・慶Ⅰ・大東・東洋・東急〕②或

□□□□□□—武内·東大②■□□□□—筑波②■□□□□□—書陵·無窮·足利·弘文·斯Ⅱ·梅沢·聖語·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要

26 卍注 卍并心一意—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ③■□□□□—治要

卍故以戰則勝敵—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ②■□□□□□—治要

卍則堅固也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·東急·治要②■□□□□—東洋②■□□□□—斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ

經 卍天將救之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德②■□□□□□—無窮③■□□□□□—以善—道藏③■□□□□□—敦Ⅱ

卍以慈衛之—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏③■□□□□□—敦Ⅱ

26 卍注 卍天將救助善人—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏②■□□□□□—足利②■□□□□□—以□□□□□—無窮②■□□□□□—敦Ⅱ

卍能自營助也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·武内·東大·東洋·慶Ⅰ·大東·聖語·東急·斯Ⅰ·道藏②■□□□□□—宋版·世德④■□□□□□—敦Ⅱ

26 卍注 卍第六十八—活Ⅱ·陽Ⅰ·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏②■□□□□□—武内·東大·東洋③■善為■章□□□□□—杏Ⅱ·慶Ⅰ③■善為士章□□□□□—筑波·弘文·大東③■□□□□□—書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·東急·六地·敦Ⅱ·梅沢·聖語

26 卍注 卍善為士者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德③■古之□□□□□—道藏·敦Ⅱ

26 卍注 卍禁邪於胸—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德①■耶□□□□□—斯Ⅱ·敦Ⅱ②■□□□□□—心胸—道藏

26 卍注 卍絕禍於未萌—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏②■□□□□□—筑波·慶Ⅰ

卍無所誅怒也—活Ⅱ·書陵·足利·弘文·斯Ⅱ·東急·宋版·世德·道藏①■无□□□□□—陽Ⅰ·無窮·梅沢·慶Ⅰ·武内·東大·聖語·斯Ⅰ②■□□□□□—之□—筑波③■无□□□□□—之□—大東③■无□□□□□—杏Ⅱ③■无□□□□□—敦Ⅱ⑤■无□□□□□—之□—東洋

經 卍善勝敵者—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·道藏·敦Ⅱ②■□□□□□—宋版·世德

卍不與—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·敦Ⅱ②■□□□□□—爭—道藏

26 卍注 卍來遠以德—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ①■□□□□□—足利

26 卍注 卍不與敵戰—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ②■□□□□□—爭—宋版·世德·道藏

26 卍注 卍而敵自服也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ②■□□□□□—爭—宋版·世德·道藏

26 卍注 卍而敵自服也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ②■□□□□□—爭—宋版·世德·道藏

26 卍注 卍而敵自服也—活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ②■□□□□□—爭—宋版·世德·道藏

版・世徳・道蔵・敦Ⅱ・治要」②□□□□無窮」

注 斷薄外 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・敦Ⅱ・治要」②□□□□也」道蔵」

斷 厚内 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶

Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・治要」②□□□□梅

沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」④淳□□□無窮」

28 材 斷 匿寶藏徳 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・道

蔵・敦Ⅱ・治要」②□□□□懷」宋版・世徳」

斷 不以示 人也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・

宋版・世徳」②□□□□於□□□道蔵」④

為 貴 治要」

28 材 斷 知病 第七十一 活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵

②□□□□章□□□□武内・東大・東洋」③□□□□

杏Ⅱ・弘文・慶Ⅰ・大東」③□□□□不知上章□□□□筑波」③

28 材 注 斷 知道 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・

世徳・敦Ⅱ」②□□□□而」道蔵」

斷 言不知 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・

大東・武内・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②不言

□□□□杏Ⅱ・梅沢・東大・東洋」

斷 是乃徳之上 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘

文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・聖語」②□□□□者□□東

洋」②□□□□慶Ⅰ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」⑤

經 斷 不知知病 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・梅沢・東大・東洋・聖語・

東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②□□□□矣」杏Ⅱ・足利・

筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・六地」

注 斷 不知道 言知 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・

斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・

宋版・世徳・敦Ⅱ」②□□□□而□□□道蔵」

斷 是乃徳之病 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘

文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東急」②□□□□者

□□□□東洋」②□□□□斯Ⅰ・宋版・敦Ⅱ」②□□□□上

□□□□聖語」③□□□□道蔵」④□□□□世徳」

28 材 注 斷 夫唯能病苦衆人有 強知之病 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足

利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・東急・斯

Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」①□□□□若□□□□大東」②

□□□□此疆□□□□聖語」④

道蔵」

28 材 斷 是以 不自病也 活Ⅱ・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□乃

□□□□陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東

大・東洋・聖語」②□□□□則□□□□無窮」②□□□□敦

Ⅱ」④以是乃□□□□足利・斯Ⅱ」④

經 斷 以其病 活Ⅱ・弘文」②□□□□之」筑波」②□□□□病」陽Ⅰ・書

陵・杏Ⅱ・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東

洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」

注 斷 無此強知之病者 活Ⅱ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・東

急・宋版・世徳・道蔵」①无□□□□陽Ⅰ・杏Ⅱ・梅沢・慶

Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・敦Ⅱ」

斷 以其常苦衆人有此病 也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・

筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・聖語・東急」

②□□□□之□□□□東洋」②□□□□

□□□□宋版・世徳・敦Ⅱ」④□□□□道蔵」此の注

文、前句「夫唯能病是以不病」下在在り」

28 材 注 斷 以此非人也 活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・

梅沢・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・世徳・敦Ⅱ」①□□□□比

□—宋版②悲—道藏

故不自病—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·敦II②也—無窮②云—道藏

夫—聖人—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·梅沢·慶

I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦

II②唯—弘文·斯II②—道藏

懷通達之智—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·敦II

①知—大東·宋版·世德·道藏

託於不智者—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I①知—

宋版·世德·道藏·敦II②—梅沢

質朴忠正—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·敦II②—道藏

小人不知道意—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·敦II①少—梅沢

行強知之事—活II·陽I·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·敦II

①智—書陵②爭—宋版·世德③疆—爭—

東大

滅壽消年也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·

慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德②滅—

足利·梅沢②也—聖語②—

道藏·敦II

愛己—第七十二—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏

②章—武内·東大·東洋③民不畏—章—

杏II·慶I③民不畏—筑波·弘文·大東③—

則大害至—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道藏·敦II③太—矣—無窮

當愛精神—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世

德·道藏②是—東洋③大害者諸—敦II

謂死亡也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德②—敦II②畏—道藏

當愛精神—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

敦II②—宋版·世德③保養精—道藏

承天順地也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德②—

之—慶I②—斯II·東急·道藏③順地承天

—敦II

無狹其所居—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏

①无—梅沢·大東·六地·敦II

注謂—心居神—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·

宋版·世德·敦II④人—道藏

當寬柔—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·敦II④常—道藏

不當急狹也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德②—

也矣—筑波·大東②—慶I②—

洋」②□□□□□□□□□□—東急・斯I・宋版・世德・道藏・敦II」②
尚□□□□□□□□□□—慶I」

29 注 296 注 296 自見自貴—活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・斯II・梅
沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世
德・道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—貴自—弘文—

取此自知自愛也—活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・聖語・東急」②□□□□□□
□□□□—東洋」②□□□□□□□□□□—無窮」②□□□□□□□□□□—
宋版・世德・道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—和□□□□□□□□□□—斯I」

29 任爲 297 任爲 297 第七十三—活II・陽I・梅沢・斯I・宋版・世德・道
藏」②□□□□□□□□□□—武内・東大・東洋」③勇於敢
□□□□□□□□□□—杏II・慶I」③勇於敢
□□□□□□□□□□—筑波」③
勇於敢則殺章□□□□□□□□□□—弘文・大東」③
窮・足利・斯II・聖語・東急・六地・敦II」

29 引 297 引 297 勇於敢則斂—活II・陽I・書陵・梅沢・武内・東大・東洋・六地」
①□□□□□□□□□□—殺—杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・
聖語・東急・斯I・宋版・世德・道藏・敦II」

注 298 勇於敢有爲—活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・慶I・大東・武内・道藏」②□□□□□□□□□□—杏II・東大・東洋・
聖語・東急・斯I・宋版・世德・敦II」

29 則 298 則 298 殺身也—活II・陽I・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
慶I・大東・聖語・東急」①□□□□□□□□□□—書陵・梅沢・武内・東大・
東洋」②即□□□□□□□□□□—斯I・宋版・世德」②□□□□□□□□□□—道藏」④
□□□□□□□□□□—敦II」

29 注 292 注 292 則活其身也—活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・東大・聖語」②□□□□□□□□□□—武内・東急・斯
I・宋版・世德・道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—者□□□□□□□□□□—東洋」②□□□□□□□□□□—
治□□□□□□□□□□—大東」

世德・道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—知□□□□□□□□□□—聖語」③常知□□□□□□□□□□—斯II」

注 299 謂敢與不敢也—活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯
II・梅沢・慶I・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世
德・道藏」②□□□□□□□□□□—大東・敦II」②兩□□□□□□□□□□—無
窮」

29 活 299 活 299 活身為利—活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世德・
道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—也—無窮・斯I」

29 殺 299 殺 299 殺身—活II・陽I・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・
大東・東洋・聖語・東急・宋版・世德・道藏・敦II」①致□□□□□□□□□□—書陵・
杏II・武内・東大・斯I」

29 爲 299 爲 299 爲害也—活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・聖語・東急・斯I」②□□□□□□
□□□□—東洋」②□□□□□□□□□□—宋版・世德・道藏・敦II」

29 天 299 天 299 天之所惡—活II・陽I・書陵・杏II・足利・筑波・弘文・斯II・梅
沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋
版・世德・道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—下□□□□□□□□□□—無窮」

29 知 299 知 299 知天之意之故—活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・
梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世德・
道藏・敦II」②□□□□□□□□□□—杏II」②□□□□□□□□□□—之□□□□□□□□□□—聖語」

29 不 299 不 299 不犯之也—活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・
慶I・大東・東大・東洋・道藏」②□□□□□□□□□□—陽I・斯II」②□□□□□□□□□□—武内・東急」②□□□□□□□□□□—由—聖語」④而□□□□□□□□□□—敦II」

難於勇敢一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·梅沢·慶
Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道
藏·敦Ⅱ②□□□□—弘文·斯Ⅱ

29 ㄱ
關況無聖人之德一活Ⅱ·陽Ⅰ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·聖語·東急·
世德①□□□□□□□□—杏Ⅱ·無窮·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東
大·東洋·斯Ⅰ·宋版·敦Ⅱ①□□□□□□□□—書陵·道藏

關而欲行之乎一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·斯Ⅱ·慶Ⅰ·武内·
聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德②□□□□□□□□—也一足利·筑波·弘
文·梅沢·大東·東大·東洋②□□□□□□□□—敦Ⅱ②□□能□□
□□—道藏

經關天之道不爭一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
慶Ⅰ·大東·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ②□□□□□□□□—
杏Ⅱ·梅沢·武内·東大·東洋·東急·聖語

注關天不與人爭一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□□□□□—東急

關而人自畏之也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·武内·東
大②□□□□□□□□—者□□□□□□□□—東洋②□□□□□□□□—筑
波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏②
□□□□□□□□—梅沢②□□□□□□□□—治要③
□□□□□□□□—自人□□□□□□□□—足利④
□□□□□□□□—皆□□□□□□□□—敦Ⅱ

29 ㄴ
筑波·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·
斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①無聖人之德而欲行之乎也—
弘文

經關一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋
版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要①天之道不一弘文

注關自動以應時也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語②□□□□□□□□—梅
沢·東急·斯Ⅰ·道藏·敦Ⅱ·治要④□□□□□□□□—宋版·世德

29 ㄷ
經關不召而自來一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·
宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□□□□□—來一弘文

關天不呼召萬物一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□□□□□—無窮

關皆一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·治要③万物□□—敦Ⅱ

關負陰而一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏·敦Ⅱ①贖□□□□—梅沢·治要

經關向陽也一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·東急·道藏·治要②□□□□者
□□—東洋②□□□□□□—斯Ⅱ·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ

經關禪然而善謀一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·
宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□□□□□—聖語

注關天道雖寬博一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·
世德·道藏·敦Ⅱ·治要②□□□□□□□□—緝一斯Ⅱ

關善謀慮人事一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·梅
沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世
德·道藏·敦Ⅱ·治要①□□□□□□□□—斯Ⅱ④而□□修□□
□□—無窮

30 ㄹ
經關修善行惡一活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·
梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德·
道藏·敦Ⅱ·治要②故□□□□□□—無窮·東急

爾各蒙其報也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德」②

經天網恢恢。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶

德·道藏·敦Ⅱ·治要」①

爾疎而不失。活Ⅱ·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶

Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要」①

注爾天所羅網。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ·治要」②

爾恢甚大。活Ⅱ·陽Ⅰ·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大

東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·道藏·敦Ⅱ·治要」①

①倏々

爾雖疎遠。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·斯Ⅰ·宋版·世德·治要」①

爾司察人。善惡。活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·慶Ⅰ·大東·聖語·東急·宋

版·世德·敦Ⅱ·治要」①

波·弘文·斯Ⅱ·武内·東大·東洋·斯Ⅰ」②

爾無有所失也。活Ⅱ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文」①

②

爾制惑。第七十四。活Ⅱ·陽Ⅰ·梅沢·斯Ⅰ·宋版·世德·道

藏」②

大·東洋」③

筑波·大東」③

民常不畏。章

30 注爾刑罰酷深。活Ⅱ·陽Ⅰ·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·慶Ⅰ·大

東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·敦Ⅱ·治要」①

爾民不聊生。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅

沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·治要」①

爾故不畏死也。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏」①

爾治身者。活Ⅱ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ·治要」①

爾嗜欲傷神。活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ·治要」①

爾貪財殺身。活Ⅱ·陽Ⅰ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·東洋·聖

語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ」①

梅沢·武内·東大」①

爾民不畏之也。活Ⅱ

窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖

語·宋版·世德」④

知

知

注爾不寬其刑罰。活Ⅱ·書陵·無窮·筑波·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·

東大・東洋・聖語・東急・敦Ⅱ・治要①□□□□罰陽Ⅰ・杏Ⅱ
②□□□□足利・弘文・斯Ⅱ・斯Ⅰ③□□□□罰宋版・世
德⑤當□□罰道藏

30 卅

○設刑罰法活Ⅱ書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ
大東・武内・東大・東洋・東急・治要①□□罰陽Ⅰ・杏Ⅱ
②□□□□之□無窮・斯Ⅰ②□□□□聖語・宋版・世德・道
藏・敦Ⅱ

○以死懼之也活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語②□□□□
東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要

○若使民常畏死活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・斯Ⅰ・六地
宋版・世德・道藏・敦Ⅱ・治要②□□□□人□□□聖語

○除已之所殘剋活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅱ①□□
□□剋斯Ⅰ・宋版・世德②□□□□刻聖語・治要④□□
□□刻道藏

○教民去利欲也活Ⅱ陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文
斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版
世德①□□□□怨□□書陵②□□□□者□東洋②
□□□□教Ⅱ・治要④□□□□之道藏

30 卅

○經吾得執而殺之活Ⅱ陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ
慶Ⅰ・大東・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要
①□□□□致□書陵・梅沢・武内・東大・六地②□□執得□□
敦Ⅱ

○孰敢矣活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢
慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・六地・敦Ⅱ・治要

②敢孰□□弘文②□□□□斯Ⅰ・宋版・世德・道藏

○以道教化活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋
版・世德・敦Ⅱ・治要②□□□□道藏

30 卅

○民不從活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道
藏・敦Ⅱ・治要②□□□□後梅沢・慶Ⅰ

○乃應王法活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世
德・道藏・敦Ⅱ・治要②□□□□平□陽Ⅰ

○執而殺之活Ⅱ陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ
大東・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・治要①□□□□
□書陵・杏Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋④吾□得□□敦Ⅱ

○不先道德化之活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘
文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯
Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ・治要④□□□□人□道藏

○先刑罰也活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶
Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・治要①□□□□罰
□□陽Ⅰ②□□□□者□無窮②□□□□敦Ⅱ③
□□□□罰斯Ⅰ・宋版・世德③□□□□罰□杏Ⅱ⑤
□□□□罰者□道藏

30 卅

○經常有司殺者活Ⅱ陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ
慶Ⅰ・大東・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ①□□
□致□書陵・梅沢・武内・東大・東洋・六地

○司殺者天活Ⅱ陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ
慶Ⅰ・大東・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ①□□致
□□書陵・梅沢・武内・東大②□□□□謂□道藏

○居高臨下活Ⅱ陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世
德・道藏・敦Ⅱ②□□□□聖語

嚮司察人過一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・斯II・梅沢・慶I・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・敦II②□□殺□□一筑波・弘文・大東②□□寮□□一聖語②□□之□一道蔵

嚮天網恢恢一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II②□□□一聖語

嚮踈而不失者是也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・斯I①疏□□□□□一東急・敦II②□□□□□一道蔵③疏□□□□□一聖語③□□□□□一宋版・世徳

30 73 經嚮夫代司殺者一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵・敦II①□□□□一梅沢・武内・東大①□□伐□□□一杏II

注嚮司殺有常一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・聖語・東急・敦II②□□察□□一杏II・武内・東大・東洋・道蔵②□□者□□一斯I②□□者□□一宋版・世徳

30 74 嚮秋成冬藏一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・敦II②□□收□□一宋版・世徳・道蔵

嚮斗杓運移一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・梅沢・慶I・武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・敦II①□□柄□□一筑波・弘文・大東・東急①□□枸□□一足利・斯II②□□□□一道蔵

嚮以節度行之一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II②□□□□一道蔵

道蔵・敦II②夫□□一無窮

嚮欲代殺之一活II・陽I・書陵・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東急・斯I・宋版・世徳・道蔵・敦II①□□□□一敦II・梅沢②□□□□之□□一東洋③□□□□之敦□□一東大③□□之敦□□一武内④□□□□之□□一無窮・聖語

嚮勞而無功也一活II・書陵・無窮・足利・斯II・梅沢・聖語・宋版・世徳・弘文①□□□□无□□□一陽I・杏II・慶I・大東・武内・東大・斯I①□□□□巧□□一筑波②□□□□一東急②乃□□□□□一道蔵③□□□□无□□者□□一東洋③□□□□无□□□□一敦II

30 75 經嚮夫代大匠斲一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・六地②□□□□者一聖語・斯I・宋版・世徳・道蔵②□□□□一敦II

嚮希有不傷其手矣一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・道蔵①□□□□□□乎□□一筑波②□□□□復□□□一聖語②□□□□□□□□一宋版②□□□□□□□□一敦II④□□□□□□□□者一世徳

注嚮人君行刑討一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・敦II①□□□□罰一杏II・斯II・宋版・世徳・道蔵

嚮猶拙人代大匠斲一活II・陽I・足利・筑波・弘文・斯II・大東・東急・斯I・宋版・世徳②□□□□夫□□□□一杏II・慶I・武内・東大・東洋②□□□□□□□□一書陵・無窮・梅沢④□□□□夫□□□□□□□□一敦II⑥□□代□□□□□□一聖語⑥□□□□夫□□□□□□□□一木也一道蔵

嚮則方圓一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・敦II②必□□一道蔵

嚮不得其理一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

158 還自傷 活II·陽I·書陵·杏II·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·敦II

弘文·斯II·大東

159 代天殺者 活II·陽I·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

書陵·杏II·梅沢·武内·東大

160 失紀網 活II·陽I·書陵·杏II·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·敦II

161 還受 足利

162 不得其紀網 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·敦II

163 還受其殃 活II·書陵·杏II·無窮·足利·梅沢·武内·東大·東急·聖語·斯I·宋版·世德

164 文·斯II·慶I·大東

165 貪損 第七十五 活II·陽I·弘文·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏

166 杏II·慶I

167 民之飢章

168 武内·東大·東洋

169 民之飢章

170 筑波·大東

171 書陵·無窮·足利·斯II·聖語·東急·六地·敦II

172 梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·道藏·敦II·治要

173 以其上食稅之多 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·梅沢·慶I·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要

174 武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要

175 也 足利·筑波·弘文·斯II·大東

176 注 活II·陽I·書陵·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

177 治要 活II·陽I·書陵·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

178 武内·東大·東洋·聖語

179 天 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

180 所以飢寒者 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

181 稅食下 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

182 梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

183 治要 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

184 大多也 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

185 是以飢 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

186 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

187 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

188 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

189 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

190 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

191 活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

版・敦Ⅱ②□□世德②□而□□道藏

156 知堅強者死一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ①□□疆□□東大①□賢□□筑波②□□道藏

157 柔弱者生也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏②□□□□敦Ⅱ

158 兵強則不勝一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・敦Ⅱ・道藏①□疆□□東大

31 17 注 159 強大之兵一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ①疆□□東大

160 輕戰樂殺一活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ①□□敦一書陵・杏Ⅱ・武内・東大

161 強故不勝也一活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・聖語・道藏②□□□□陽Ⅰ・書陵・武内・東洋・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ③疆□□東大

162 木強則共一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ①疆□□東大

32 11 注 163 木強大一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・筑波・慶Ⅰ・大東・弘文・足利・斯Ⅱ・武内・東洋・東急・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德①疆□□東大②□□者一無窮・梅沢・敦Ⅱ②□□則道藏

164 枝葉共生其上也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東急・聖語②□□弱□□武内④□□弱□□斯Ⅰ・宋版・世德④□□弱□□東大④□□弱□□者一東洋④□□

□□道藏・敦Ⅱ

165 強大處下一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏①疆□□東大②故疆□□敦Ⅱ

166 輿物造功一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ②与□□東洋・東急

32 11 注 167 小物處上一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・宋版・世德・道藏②故□□斯Ⅰ③木在□敦Ⅱ

168 天道一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・道藏・敦Ⅱ②郊□東大②之□東急②大□斯Ⅰ・宋版・世德

169 抑強扶弱一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ①疆□東大②□□快一無窮

170 自然之效也一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・聖語・東急①□□郊一東大②□□斯Ⅰ・宋版・世德・敦Ⅱ②□□道藏

32 11 注 171 天道第七十七一活Ⅱ・陽Ⅰ・弘文・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏②□□章□□東大・東洋③□□章□□九一武内③□□之章□□杏Ⅱ③□□之章□□筑波・慶Ⅰ・大東③□□書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・聖語・東急・六地・敦Ⅱ

32 11 注 172 其猶張弓乎一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世德・道藏・敦Ⅱ②□□梅沢

173 天道暗昧一活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・斯Ⅰ・宋版・世德・道藏①□□闇□□杏Ⅱ・無窮・武

內·東大·東洋·聖語·東急·敦Ⅱ

1574 以為喻也 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德 | ② |

者 | 東洋 | ② | 之 | 無窮 | ② | 東急·道藏·

敦Ⅱ

32 31 經 1575 不足者與之 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·六地·

宋版·世德·道藏·敦Ⅱ | ② | 東急

32 31 注 1576 和調之 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯Ⅰ·宋版·世

德·道藏·敦Ⅱ | ② | 氣 | 東急

1577 如是乃可用 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德 | ② | 耳 | 敦Ⅱ | 也 | 道藏

1578 抑高舉下 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯

Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋

版·世德·敦Ⅱ | ① | 與 | 道藏

1579 損強益弱 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

道藏·敦Ⅱ | ① | 疆 | 東大 | ② | 疆而 | 東洋

1580 天地之道也 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·足利·筑波·弘文·梅沢·慶

Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·東急·斯Ⅰ | ② | 矣 | 斯

Ⅱ | ② | 者 | 無窮 | ② | 聖語 | ② | 矣 | 斯

道藏·敦Ⅱ | ② | 宋版·世德 | ④ |

32 31 經 1581 而補不足也 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·六地 | ② |

梅沢·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ

注 1582 損有餘而益謙 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德·敦Ⅱ | ③ | 盈 | 道藏

1583 常 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·慶Ⅰ·

大東·武内·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ | ③ | 天道 | 杏Ⅱ·梅沢·東

大·東洋·東急·聖語 | ④ | 天道 | 道藏

1584 以中和為上 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·敦Ⅱ | ② | 者

| 東洋 | ② | 東急·斯Ⅰ·宋版·世德·道藏 | ② |

| 也 | 聖語

經 1585 人之道 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·

慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·

世德·道藏 | ② | 梅沢·敦Ⅱ

32 31 注 1586 人 | 道 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·足利·筑波·弘文·斯Ⅱ·梅沢·

慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·

敦Ⅱ | ② | 之 | 無窮·道藏

1587 則與天道反也 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·

宋版·世德 | ② | 敦Ⅱ | 道藏

注 1588 損貧以奉富 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘文·

慶Ⅰ·大東·東洋·聖語·東急·斯Ⅰ·宋版·世德·敦Ⅱ | ① | 貪

| 書陵·筑波·大東·武内 | ③ | 益 | 道藏

1589 奪弱以益強 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·弘

文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·聖語·斯Ⅰ·宋版·世德 | ① |

| 疆 | 東大 | ② | 者 | 東洋 | ② | 矣 | 斯

經 1590 孰能以有餘奉天下 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·杏Ⅱ·無窮·足利·筑波·

弘文·斯Ⅱ·梅沢·慶Ⅰ·大東·武内·東大·東洋·聖語·六地 |

② | 以 | 東急 | ② | 以 | 斯Ⅰ·宋版·

世德·敦Ⅱ | ② | 道藏

1591 唯有道者 | 活Ⅱ·陽Ⅰ·書陵·無窮·足利·斯Ⅱ·梅沢·武内·

東大·東急·斯Ⅰ·六地·宋版·世德·道藏·敦Ⅱ | ② | 乎 |

II ①疆 ②政 ③書陵・弘文・梅沢

莫之能勝 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・六

地・道蔵・敦II ②知 ③宋版・世徳

注160 能懷山襄陵 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵 ①壞 ②慶I ③壞陵壞山 敦II

摩鐵消銅 活II・陽I・書陵・無窮・梅沢・東洋・東急・敦II ①

鉄 杏II・筑波・大東・武内・東大 ①鉄 ②弘文・斯

II ①鐵 ②足利・斯I ②銅 ③聖語 ②磨鉄 ④慶

I ②磨鐵 ③宋版・世徳 ③磨水銷 ④道蔵

注162 莫能勝水而成功也 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・

筑波・弘文・斯II・慶I・大東・東大・東洋・東急・斯I・宋版・

世徳 ②以 ③武内 ④敦II ②

之 ①梅沢 ② ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

其無以能易之 活II・陽I・書陵・無窮・聖語・斯I ①

无 ②梅沢・武内・六地 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

杏II・東急・道蔵 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

敦II ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

以 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

也 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

足利・筑波・弘文・斯II ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

注164 夫攻堅強者 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・

世徳・道蔵・敦II ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

無以易於水也 活II・書陵・足利・斯II ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

杏II・梅沢・慶I・武内・東大 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

東 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

者 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

斯I・宋版・敦II

經166 弱之勝強 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・梅沢・慶I・大東・武内・東洋・聖語・斯I・六地・宋

版・世徳・敦II ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

び注、次句の下に在り

33 注167 陰能消陽也 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・筑波・弘文・斯II・

梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

經168 柔之勝剛 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・

六地・宋版・世徳・敦II ③ 故 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

注169 舌柔齒剛 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯

II・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世

徳・道蔵・敦II ① 活 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

齒先舌亡也 活II・陽I・無窮・足利・梅沢・武内・東大 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

者 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

之 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

敦II ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

也 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

聖語 ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

敦II ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

舌存齒 ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

33 注170 知柔弱者久長 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・

道蔵・敦II ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

剛強者折傷也 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・

梅沢・慶I・大東・武内・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・

敦II ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

筑波 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

經171 莫能行 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・梅沢・慶I・武内・

東洋・聖語・東急・斯I・六地・宋版・世徳・道蔵・敦II ② 而 ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

注172 耻謙卑 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・

慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・世徳・敦II

① 恥□□□—梅沢·宋版·道藏

經幽好強梁也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·世德①□疆□□□—東大②□□□者
□—東洋②□□□□—足利·東急·斯I·宋版·道藏·敦II

33 6 經幽聖人云—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋
版·世德·道藏②□□言□—梅沢②□□言□—敦II

注幽謂下事也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋
版·世德·敦II④□□□□—道藏

經幽謂社稷之主—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·
斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·六地②
□□□□□—斯I·宋版·世德·道藏·敦II

注幽人君—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·道藏·
敦II②□□□□—宋版·世德

經幽受國之垢濁者—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·道藏·敦II①
□□□□□□—無窮②□□□□□□—斯I·世德③愛□□□□
□□□—宋版

經幽若江海不逆小流—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II②
□□□□□□—杏II·武内·東大·東洋·聖語

經幽則能長保社稷—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘
文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·道
藏·敦II②□□□□□□—斯I·宋版·世德

經幽爲一國之君主也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·弘文·
斯II·慶I·大東·武内·東大·聖語②□□□□□□—東洋
②□□□□□□—道藏②□□□□□□—筑波·梅沢·東

急·斯I·宋版·世德④□□□□□□—敦II

經幽受國不祥—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·
慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·六地·道藏·敦II①
□□□□□□—杏II·弘文·斯I·宋版·世德②
□□□□□□—宋版·世德·道藏·敦II

33 7 經幽謂天下之王—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·
慶I·大東·武内·六地②□□□□□□—杏II·梅沢·東大·東洋·
聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

注幽自與代民—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋
版·世德·敦II③歸己□□—道藏

經幽愛不祥之殃—①受□□□□—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足
利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖
語·東急·斯I·宋版·世德·敦II③□□□□—道藏

經幽則可以王有天下也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·
斯II·慶I·大東·武内·東大①□□□□□□—足利
②□□□□□□—東洋②□□□□□□—斯I·宋版·
世德·敦II②□□□□□□—聖語②□□□□□□—
梅沢·東急④□□□□□□—道藏

33 7 注幽此乃正直之言—活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯
II·梅沢·慶I·大東·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道
藏·敦II②□□□□□□—武内②□□□□□□—杏II④
□□□□□□—東大

經幽以爲反言也—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·
梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I②□□□□□□
□—無窮·東急②□□□□□□—宋版·世德·道藏·敦II

33 7 經幽任契第七十九—活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏
②□□□□□□—弘文·武内·東大·東洋③和大章□□□□
□—杏II·慶I·大東③和大怨章□□□□—筑波③□□□□□□

33 7 經幽和大怨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶
I·大東·武内·東大·聖語·斯II·聖語·東急·六地·敦II

33 7 經幽和怨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶
I·大東·武内·東大·聖語·斯II·聖語·東急·六地·敦II

33 7 經幽和怨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶
I·大東·武内·東大·聖語·斯II·聖語·東急·六地·敦II

33 7 經幽和怨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶
I·大東·武内·東大·聖語·斯II·聖語·東急·六地·敦II

33 7 經幽和怨—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·梅沢·慶
I·大東·武内·東大·聖語·斯II·聖語·東急·六地·敦II

I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 六地 · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② □ □ □ □ 者 | 足利 · 斯 II

注 闕 殺人者死 | 活 II · 陽 I · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ① 敏 □ □ □ □ | 書陵 · 杏 II · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 武內 · 東大

闕 傷人者刑 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② □ □ □ □ | 杏 II

闕 以相和報 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 敦 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ 也 | 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 聖語 · 道藏 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 之也 | 東洋

33 95 注 闕 必有餘怨 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 聖語 · 道藏 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 之也 | 東洋

闕 及於良民也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 矣 | 弘文 · 大東 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 東急 · 敦 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 足利 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 道藏

注 闕 一人吁嗟 | 活 II · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 世德 · 道藏 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 陽 I · 書陵 · 足利 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 東急 · 聖語 · 斯 I · 敦 II

闕 則失天 | 心 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 無窮

33 96 闕 爲善也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 無窮 · 足利 · 筑波 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 弘文 · 斯 II · 敦 II

經 闕 執左契 | 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ① □ □ □ □ 契 | 書陵 · 足利 · 東急

注 闕 執左契合符信 | 活 II · 陽 I · 杏 II · 斯 II · 東大 · 東洋 · 聖語 · 敦 II ① 報 □ □ □ □ □ □ □ □ | 武內 ① □ □ □ □ 契 □ □ □ □ | 書陵 · 足利 ② □ □ □ □ □ □ □ □ 也 | 無窮 · 筑波 · 弘文 · 梅沢 · 大東 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 ③ □ □ □ □ 契 □ □ □ □ 也 | 東急 ⑤ □ □ 右契 □ □ □ □ 也 | 慶 I ⑤ □ □ □ □ □ □ □ □ | 治要

闕 無文字法律 | 活 II · 書陵 ① 无 □ □ □ □ □ □ □ □ | 陽 I ② □ □ □ □ 書 □ □ □ □ | 足利 · 弘文 · 斯 II · 東急 · 宋版 · 世德 ③ 无 □ □ □ □ □ □ □ □ | 無窮 · 筑波 · 梅沢 · 慶 I · 大東 · 聖語 · 斯 I · 敦 II · 治要 ④ □ □ □ □ 書 □ □ □ □ | 道藏 ⑤ 无 □ □ □ □ □ □ □ □ 也 | 杏 II · 武內 · 東大 · 東洋

闕 刻契合符 | 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 書陵 · 慶 I · 足利 · 東急

33 97 闕 以爲信也 | 活 II · 陽 I · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 慶 I · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 斯 II · 敦 II ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 無窮 · 梅沢

注 闕 刻契之信 | 陽 I · 杏 II · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 斯 I · 宋版 · 世德 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 契 □ □ □ □ | 書陵 · 足利 · 慶 I · 無窮 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 · 道藏 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 治要

闕 不責人以他事也 | 活 II · 無窮 · 慶 I · 聖語 · 東急 · 斯 I · 宋版 · 世德 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 化 □ □ □ □ | 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 敦 II · 書陵 · 杏 II · 足利 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 大東 · 武內 · 東大 ④ □ □ □ □ □ □ □ □ | 矣 | 東洋

34 11 經 闕 有德司契 | 活 II · 陽 I · 杏 II · 無窮 · 筑波 · 弘文 · 斯 II · 梅沢 · 大東 · 武內 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ① □ □ □ □ □ □ □ □ | 書陵 · 足利 · 慶 I · 東急

注 闕 司察契信而已也 | 活 II · 無窮 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 陽 I · 杏 II · 筑波 · 斯 II · 大東 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 弘文 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③ □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③

經 闕 司察契信而已也 | 活 II · 無窮 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 陽 I · 杏 II · 筑波 · 斯 II · 大東 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 弘文 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③ □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③

注 闕 司察契信而已也 | 活 II · 無窮 · 梅沢 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 陽 I · 杏 II · 筑波 · 斯 II · 大東 · 東大 · 東洋 · 聖語 · 斯 I · 宋版 · 世德 · 道藏 · 敦 II · 治要 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 弘文 ② □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③ □ □ □ □ □ □ □ □ | 聖語 ③

□□□□耳■—武内③□□契□□□□—書陵·足利·慶一·東急

經無德司徹—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏①

无□□□—梅沢·武内·大東·六地·敦II·治要

注無德之君—活II·書陵·足利·筑波·弘文·斯II·東急·宋版·世德·道藏①无□□□—陽I·杏II·無窮·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·敦II·治要

內·東大·東洋·聖語·斯I·敦II·治要
背其契信—活II·陽I·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·世德·道藏·敦II·治要①

□□契□—書陵·慶I·東急①□□□言—宋版②皆□契□—足利

163司人■所失也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語·治要②□□之□□

34 經無天道無親—活II·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II

□□无□—陽I·大東·武内·六地·敦II·治要
常與善人■—活II·陽I·書陵·梅沢·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要·弘文?②□□□也—杏II·無窮·足利·筑波·斯II·慶I·大東·武内·東大·東洋

注無有親疏—活II·書陵·聖語·東急①无□□□—陽I·武内·斯II·治要①□□□□—足利·弘文·斯II·宋版·世德·道藏②无□□□—杏II·無窮·筑波·梅沢·慶I·大東·東大·東洋·敦II

164與■司契者也—活II·陽I·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·大東·武内·東大·東洋·斯I·宋版·世德·治要①□□契□□—書陵·足利·慶I·東急②□□之□□□—聖語②□□□—敦II②□□□□同□—道藏

165獨立■—第八十一活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏

34 村 166獨立■—第八十一活II·陽I·梅沢·斯I·宋版·世德·道藏

②□□章□□□—武内·東大·東洋②独□□章□□—弘文③小國■章□□□—杏II·慶I·大東③小國寡民章□□—筑波③■—書陵·無窮·足利·斯II·聖語·東急·六地·敦II

34 村 經小國寡民—活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·六地·宋版·世德·道藏·敦II·治要①少國□□—無窮

注猶以為小—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·斯II·梅沢·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·治要①□□□少—筑波·弘文·大東②獨□□□—慶I

167儉約—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道藏·敦II·治要③國示□□—道藏

168不為奢泰■—活II·陽I·書陵·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·道藏②□□□—梅沢·東急·斯I·宋版·世德·敦II·治要②□□□也—無窮·武内·聖語④□□□也—杏II·東大·東洋

169猶若寡之—活II·陽I·書陵·足利·筑波·弘文·斯II·慶I·大東·聖語?②□□□—杏II·梅沢·武内·東大·東洋·東急②□□□小—無窮·斯I②□□□少—宋版·世德·敦II②□□□—道藏·治要

170不敢勞■也—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·聖語

171有什伯—活II·陽I·書陵·六地·宋版·世德·道藏·敦II②□□□□—杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東洋③□□民□□□—無窮·東大·斯I·聖語?③□□民□□—東急

注使民—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II

34 村 經使民—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II

34 村 經使民—活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳」②□□□□□□—道蔵・敦Ⅱ」③□□□□□□—治要」

経173 雞狗之聲—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・宋版・世徳・敦Ⅱ」①鷄□□□□—梅沢・治要」②□□大□□—道蔵」

34 76 経174 民至老—死—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・六地・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②使□□□□□□—梅沢」②□□□□□□—宋版」

注175 其無情欲也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・東急」①□□无□□□□□□—杏Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東大・斯Ⅰ・聖語？」②□□□□□□□□—宋版・世徳・道蔵」③□□无□□□□□□—武内・東洋・敦Ⅱ」③□□无□□□□□□—無窮」③□□无□□□□□□—治要」

34 71 176 顯質—第八十一—活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」②□□□□□□□□—武内・東大・東洋」②頭□□□□□□—弘文」③信言—章□□□□□□—杏Ⅱ・慶Ⅰ・大東」③信言不美章□□□□□□—筑波」③□□□□□□—書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・聖語・東急・六地・敦Ⅱ」

35 177 信言者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・道蔵・敦Ⅱ」②□□□□□□—東急」②□□□□□□—宋版・世徳」

178 如其實也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」②□□□□□□—聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」

179 不美者—活Ⅱ・陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」①不□□□□□—東急」②□□□□□□—書陵」

179 朴且質也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵」①樸□□□□□—道蔵」②□□□□□□—聖語・敦Ⅱ」

注177 美—言者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・敦Ⅱ」②滋□□□□□—斯Ⅰ」④滋□□之□□□—宋版・世徳・道蔵」

35 172 孳孳—華辭也—活Ⅱ・無窮」②□□□□□□—陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・敦Ⅱ」③□□□□□□—詞—斯Ⅰ・宋版・世徳」⑤□□□□—美□□—道蔵」

173 不信者—活Ⅱ・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」②□□□□□—陽Ⅰ・書陵・足利・斯Ⅱ・慶Ⅰ」

174 飭僞—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ・治要」②好□□□—無窮」

175 多空虛也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・治要」②□□□□□—慶Ⅰ・敦Ⅱ」

経176 善者不辨—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ」①□□□□□—辯—杏Ⅱ・慶Ⅰ・聖語・東急・六地・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」

注177 善者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・敦Ⅱ」①□□者□□—足利」

178 以道修身也—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・道蔵」②□□□□□□—梅沢・聖語・東急・斯Ⅰ・宋版・世徳・敦Ⅱ」

179 不辨者—活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・大東・武内・東大・東洋・斯Ⅰ」①□□弁□□—杏Ⅱ」①□□辯□□—慶Ⅰ・東急・敦Ⅱ・道蔵」③□□□□□—聖語・宋版・世徳」

179 不文采也—活Ⅱ・陽Ⅰ・杏Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・東洋」①□□彩□□—武内・東大・道蔵」②□□□□□—之

宋版·世德」⑤采文■□一梅沢·聖語·敦II」③采文■□一斯I·

35 経圖辨者不善一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·大東·東大·聖語·斯I」①辯□□□一杏II·慶I·武内·東

洋·東急·六地·宋版·世德·道蔵·敦II」

注圖辨者一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·梅沢·

大東·東大·聖語·斯I」①弁□□一杏II·武内·東洋」①辯□□一慶

I·東急·宋版·世德·道蔵·敦II」

謂巧言■一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·敦II」②

也一斯I·宋版·世德·道蔵」

舌致患也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·

世德·道蔵」②謂□□□一聖語」②■□□一敦II」

土有玉掘其山一活II·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·梅沢·東大·

東急·聖語·斯I·道蔵」①□□□一堀□□一陽I·書陵·足利·慶

I」①□□□一握□□一東大·武内」②山□□□一東洋·宋版·

世德」③□□□一於□□一敦II」

水有珠■一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道蔵·敦II」②□□□一也一弘文」

35 辨口多言■一活II·陽I·書陵·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·大東·斯I·敦II·聖語？」①弁□□□一杏II·武内·東

大·東洋」①辯□□□一慶I·東急·宋版·世德」③辯□□□者一

道蔵」

亡其身也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·道蔵·聖語？」②□□

一東急·斯I·宋版·世德·敦II」

注圖守一元也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世德·道

蔵」②□□無□一足利·東急」②□□□一敦II」

35 注圖多見聞■一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·

世德·道蔵·敦II」④謂□□□一也一無窮」

不知者一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·梅沢·

慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世德·

道蔵·敦II」②□□□一斯II」

742 失要真也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·斯I·宋版·世

德·道蔵」②□□□一東急·敦II」

注圖積■德一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯II·

梅沢·慶I·武内·東大·東洋·東急·斯I·宋版·世德·道蔵·

治要」②□□行一東大」②□□不□一敦II」③不積□一聖語」

743 不積財■一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·梅

沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世

德·道蔵·敦II·治要」②□□□一也一無窮」

744 以教愚一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·道蔵·敦II」①□□以□□一治要」

35 以與貧也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋版·世

德·道蔵」①□□與貧□一武内」②□□□一敦II·治要」

35 注圖已愈有德■也一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·

斯II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·聖語」②□□□者□一東

洋」②□□□一東急·斯I·宋版·世德·道蔵·敦II」

注圖既以財賄一活II·陽I·書陵·杏II·無窮·足利·筑波·弘文·斯

II·梅沢·慶I·大東·武内·東大·東洋·聖語·東急·斯I·宋

版·世德·道蔵·治要」②□□貨一敦II」

749 布施與人一活II·陽I·書陵·杏II·足利·筑波·弘文·斯II·

慶I·大東·武内·聖語·東急·斯I·宋版·世德·道蔵·治要」

②有■□□□□梅沢・東大②有□□□□□無窮③■□□□□
敦II④有■□□□□東洋

170 財益多一活II・陽I・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅
沢・慶I・大東・聖語・東急・敦II・治要②而□□□□□杏II・武
内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳・道蔵

170 光無有一活II・書陵・無窮・足利・筑波・斯II・東急・宋版・世徳・
道蔵①□□□□□陽I・杏II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東
洋・聖語・斯I・敦II・治要③无光□□□□□弘文

35 引 170 盡時也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・斯
II・慶I・大東・武内・東大・聖語・東急・斯I・宋版・世徳②
□□□□□東洋②□□□□□之□□□□□梅沢②□□□□□道蔵・敦II・治
要

注 170 令長大一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・
慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・宋版・世徳・
敦II・治要②□□□□□天一筑波・道蔵

170 無所傷害之也一活II・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・東急①
无□□□□□陽I・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋②
□□□□□宋版・世徳②□□□□□道蔵③无□□□□□
□□□□□杏II・聖語・斯I③无□□□□□敦II⑤无□□□□□
治要

35 引 170 注 170 法天所施爲一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・梅沢・慶I・
武内・東大・東洋・斯I・宋版・世徳・道蔵・治要②□□□□□有□□
□□□□□筑波・斯II・大東・聖語・東急・弘文②□□□□□无□□□□□
敦II

170 成事就一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯I・
宋版・世徳・敦II・治要②□□□□□道蔵

170 不與下爭功名一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘
文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・聖語・東急・斯
I・宋版・世徳・敦II・治要②□□□□□天□□□□□道蔵

35 引

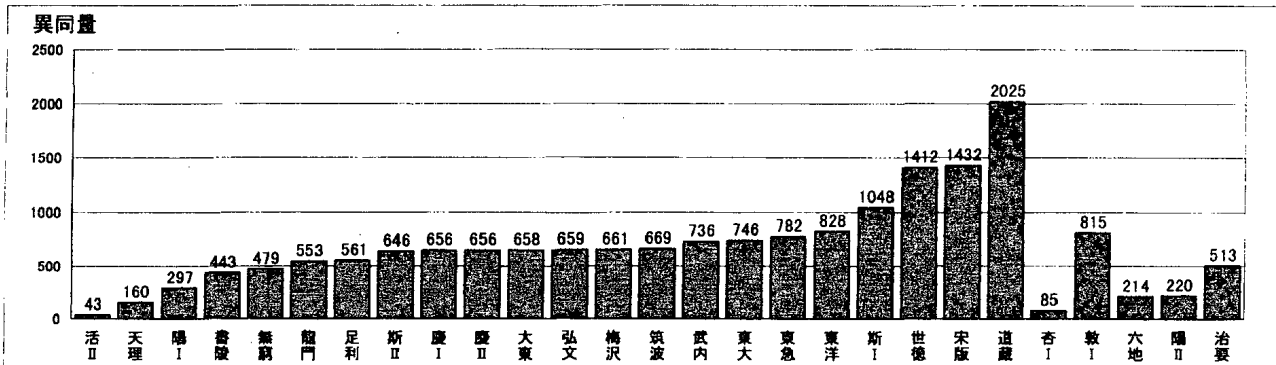
170 全其聖功也一活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・梅沢・慶I・
武内・東大・東洋・聖語・斯I・宋版・世徳・治要②□□□□□之
□□□□□筑波・弘文・斯II・大東②□□□□□東急・道蔵・敦II

170 老子德經下活II・陽I・書陵・杏II・斯II・梅沢・
慶I・武内・東急・六地・敦II②□□□□□之終一東
洋②□□□□□卷□□□□□無窮②□□□□□卷
■終一世徳②□□□□□一足利③□□□□□卷
□卷之□□□□□東大③□□□□□終一弘文③□□□□□
□□□□□之□□□□□終一筑波・大東③河上公□□□□□
斯I③河上公□□□□□終一宋版③道德真經註卷之四一
道蔵

170 活II・陽I・書陵・杏II・無窮・足利・筑波・弘文・
斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・東急・斯I・六地・
宋版・世徳・道蔵③河上公章句一敦II

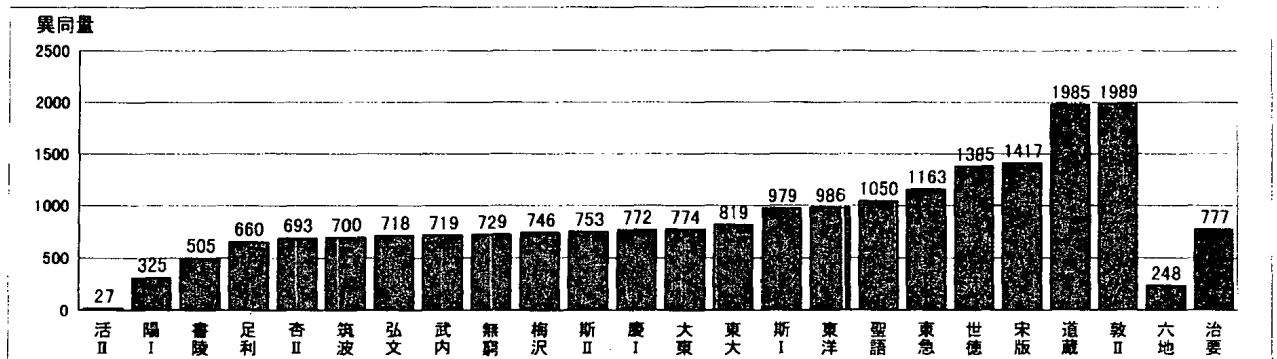
附表1 (活Iと諸本との異同量 巻上)

章次	活II	天理	陽I	書院	無窮	龍門	足利	斯II	慶I	慶II	大東	弘文	梅沢	筑波	武内	東大	東急	東洋	斯I	世徳	宋版	道蔵	杏I	教I	六地	陽II	治要
1	2	8	6	18	27	16	27	37	31	50	30	39	26	19	36	24	33	23	38	50	47	61	16	—	4	3	—
2	0	4	13	11	9	16	9	26	14	10	13	13	9	9	17	12	27	13	29	31	29	39	—	—	6	4	—
3	0	1	5	11	10	13	14	13	17	8	19	16	19	11	15	15	18	25	32	40	41	33	5	12	7	5	44
4	0	2	4	7	7	7	15	14	8	13	8	9	12	6	13	11	17	17	21	39	41	31	8	18	4	3	—
5	1	2	1	5	9	9	9	11	14	7	13	10	20	9	12	10	14	18	16	17	21	28	7	22	3	5	9
6	3	2	3	12	10	9	16	14	17	11	16	14	17	9	13	11	17	13	15	35	28	49	13	38	3	5	—
7	1	0	6	5	5	11	6	4	8	15	10	8	11	12	11	11	10	6	8	18	17	29	—	25	5	6	—
8	0	0	8	11	12	18	12	13	15	9	16	15	14	18	11	13	16	10	21	15	19	21	0	39	4	5	—
9	2	2	3	7	11	10	11	10	11	6	10	15	11	12	6	6	9	13	12	13	13	19	8	23	3	4	16
10	0	2	11	16	13	27	27	23	20	23	18	43	27	24	23	31	26	22	42	59	66	75	12	87	7	6	—
11	0	13	5	10	10	15	14	13	15	16	20	15	14	18	21	18	16	17	22	37	38	60	—	38	8	8	—
12	0	2	2	5	3	6	8	5	4	9	4	10	2	7	5	11	8	6	5	19	19	34	—	27	3	3	14
13	0	4	14	15	15	15	18	23	21	14	21	27	19	18	21	24	17	20	31	57	60	83	—	63	6	11	—
14	0	11	27	24	31	23	34	27	46	36	48	37	31	47	48	45	37	41	48	62	61	101	—	100	9	7	—
15	0	3	20	33	27	31	33	29	30	27	26	32	34	31	34	32	43	35	38	44	45	78	—	82	9	10	—
16	0	6	8	16	26	20	21	29	29	24	31	20	34	36	24	29	27	37	38	63	62	86	—	78	6	8	—
17	3	5	7	18	8	18	10	18	11	15	11	12	14	16	19	16	21	15	33	34	37	49	—	49	6	4	17
18	0	2	1	7	5	4	4	6	6	9	6	8	8	9	5	9	14	11	10	34	31	49	—	30	5	7	—
19	8	12	6	12	19	12	14	14	27	21	25	11	25	25	27	23	26	31	28	49	50	59	—	54	5	4	36
20	0	6	17	16	22	26	25	30	26	31	26	26	45	37	33	35	53	44	66	72	70	109	—	30	12	20	—
21	1	2	8	10	5	16	11	19	16	22	15	13	11	14	8	10	5	12	24	32	34	61	—	—	0	0	—
22	2	6	6	9	16	13	16	15	16	28	17	20	21	18	21	21	21	25	37	35	41	61	—	—	7	6	47
23	0	8	3	6	9	8	6	12	10	9	8	14	21	9	14	19	21	15	18	40	40	73	—	—	8	3	24
24	2	2	10	11	9	13	15	16	15	9	16	15	12	13	16	15	21	22	15	32	32	47	—	—	6	4	24
25	3	2	30	20	29	35	16	28	36	31	32	21	24	28	40	45	40	40	56	63	67	76	—	—	6	5	33
26	0	8	0	3	3	4	11	14	6	5	5	5	10	5	9	8	13	12	13	22	21	39	—	—	3	3	29
27	4	4	7	12	13	19	11	19	20	19	17	12	19	17	20	27	19	30	45	59	57	57	—	—	9	7	37
28	0	10	12	12	15	16	7	20	17	26	24	32	26	33	38	42	37	45	52	61	64	76	—	—	9	7	33
29	0	3	6	12	15	12	10	15	11	15	11	12	9	10	20	18	18	24	27	25	26	45	—	—	5	6	11
30	2	2	4	12	15	13	18	16	18	16	21	16	13	17	13	19	11	24	21	29	27	40	—	—	5	5	39
31	3	3	12	9	8	10	23	30	28	23	30	21	27	36	41	44	41	49	58	66	64	117	—	—	5	9	68
32	2	2	8	9	9	17	21	13	15	14	16	14	18	15	25	18	21	23	19	22	24	49	2	—	7	10	—
33	2	2	4	5	3	7	8	9	12	11	10	13	6	12	8	12	9	18	23	26	27	42	5	—	3	3	26
34	0	4	7	14	18	21	9	20	19	28	21	18	15	17	16	15	12	26	36	38	40	46	7	—	6	5	—
35	0	3	6	13	13	18	19	18	17	22	19	23	12	18	21	16	16	17	22	28	28	45	—	—	5	4	—
36	0	7	2	10	6	6	13	8	8	6	8	10	9	15	6	8	7	13	8	16	14	27	0	—	6	6	—
37	2	5	5	17	14	19	20	15	22	18	17	20	16	19	26	23	21	16	21	30	31	31	2	—	9	9	6
異同量	43	160	297	443	479	553	561	646	656	656	658	659	661	669	736	746	782	828	1048	1412	1432	2025	85	815	214	220	513



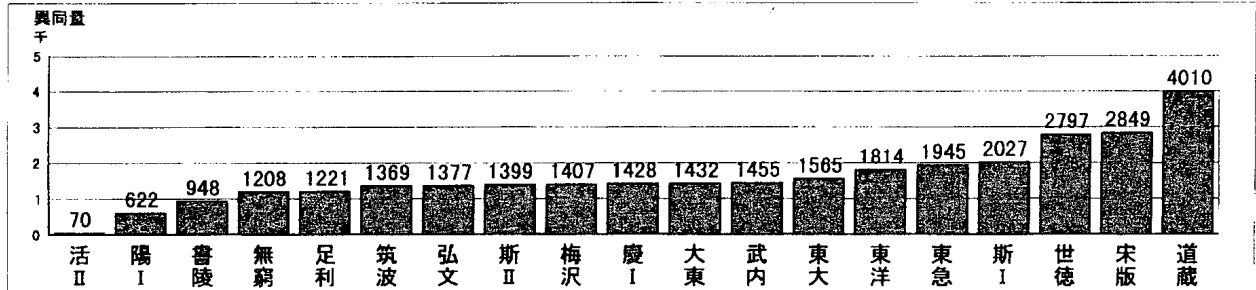
附表2 (活Iと諸本との異同量 巻下)

章次	活II	陽I	書陵	足利	杏II	筑波	弘文	武内	無窮	梅沢	斯II	慶I	大東	東大	斯I	東洋	聖語	東急	世徳	宋版	道蔵	教II	六地	治要
38	0	14	12	4	31	19	26	37	32	16	28	26	24	43	44	41	44	72	60	60	73	—	7	41
39	0	21	28	48	40	43	44	47	42	30	42	58	57	52	50	50	53	63	70	69	76	39	13	76
40	0	4	9	7	11	11	9	14	3	9	12	14	15	14	14	14	14	15	16	18	19	29	6	—
41	0	16	22	24	20	26	15	21	12	32	22	21	21	24	24	33	25	25	38	43	52	56	6	—
42	2	9	17	11	17	14	12	16	19	18	16	14	13	16	26	23	24	30	38	42	63	48	3	26
43	0	13	11	11	14	20	14	13	20	7	22	22	20	15	20	12	16	16	20	24	36	35	9	18
44	0	1	7	15	5	12	13	4	12	10	8	13	10	6	7	6	7	15	18	15	30	31	3	10
45	2	11	10	17	26	25	17	27	13	21	22	28	23	24	24	30	24	32	26	29	40	61	4	20
46	2	2	5	7	7	5	3	7	11	5	6	7	6	10	12	9	10	16	13	14	19	31	4	14
47	0	2	10	6	6	4	4	8	10	13	4	8	9	15	14	15	14	16	21	23	19	21	3	28
48	0	8	11	10	9	10	13	9	9	12	7	14	14	14	15	15	15	18	18	20	28	33	6	23
49	2	17	18	19	21	22	16	12	9	33	18	23	21	19	20	26	20	32	30	31	36	63	6	14
50	2	6	6	17	15	14	15	15	23	14	19	18	19	19	19	15	19	27	45	50	53	58	7	—
51	0	5	7	14	14	18	16	11	14	20	28	17	17	19	12	22	12	19	26	27	35	38	3	0
52	0	10	8	11	13	13	12	12	20	23	17	16	14	21	28	23	27	29	44	42	48	57	4	—
53	0	10	14	24	22	28	23	22	17	22	27	22	20	23	19	27	20	36	36	40	40	51	3	37
54	0	5	7	12	8	8	14	13	7	10	12	9	7	13	17	19	15	27	24	28	40	50	3	27
55	1	2	8	13	13	15	13	11	21	14	12	14	17	13	22	17	22	25	34	37	51	60	5	0
56	2	8	10	18	16	14	18	19	15	19	8	13	14	15	35	27	37	30	42	46	61	47	3	0
57	2	17	19	14	19	11	16	19	17	15	17	21	20	24	28	36	30	29	50	44	61	57	10	61
58	0	4	3	14	12	12	14	10	21	26	10	13	13	13	21	22	21	38	35	32	58	69	4	24
59	4	8	13	19	9	16	19	10	14	13	15	15	19	16	23	26	25	26	32	31	33	49	7	—
60	0	3	5	6	10	11	11	9	13	8	24	11	8	16	16	8	16	36	24	30	55	45	3	17
61	0	8	14	14	14	12	13	17	11	12	18	13	13	16	25	21	25	39	34	38	64	41	5	—
62	0	10	17	24	22	25	25	18	15	26	24	23	27	26	20	30	35	34	42	43	54	57	7	25
63	0	2	8	7	5	8	15	10	6	14	9	17	13	11	7	7	12	8	17	10	16	44	11	18
64	4	19	29	38	38	39	45	47	42	38	37	49	48	45	60	56	46	57	56	56	81	84	16	67
65	0	4	11	14	19	20	19	11	15	14	20	16	17	11	24	21	33	24	35	34	43	64	5	18
66	0	7	6	16	17	14	14	23	17	25	14	17	18	17	25	19	22	15	44	43	47	44	3	15
67	0	10	18	29	15	22	28	29	22	38	22	21	21	25	48	35	56	33	53	51	87	95	9	40
68	0	1	3	4	6	8	12	7	4	4	6	10	8	5	13	13	20	13	16	18	30	28	3	—
69	0	13	21	14	22	17	20	27	11	21	25	23	20	26	21	26	39	25	25	23	48	67	6	12
70	1	8	17	16	16	13	18	11	24	17	21	15	16	14	16	19	18	15	22	26	31	28	8	21
71	0	5	8	13	12	11	9	9	9	12	13	14	14	12	9	15	16	7	14	13	40	17	7	—
72	0	1	3	10	6	13	15	9	12	9	14	16	18	9	19	19	14	13	25	25	41	33	5	—
73	0	4	9	13	16	9	15	15	27	14	20	8	14	15	25	24	24	24	26	26	26	41	4	11
74	0	11	14	12	22	14	16	19	25	14	16	11	14	19	23	21	40	15	32	30	90	45	5	14
75	0	3	7	13	10	14	12	13	17	15	23	12	15	10	19	17	27	16	30	25	26	30	4	26
76	0	2	8	6	6	13	11	7	9	7	5	6	11	23	12	11	3	11	12	12	22	28	5	—
77	0	0	4	4	13	7	6	8	12	13	5	5	6	8	8	22	15	27	17	17	53	30	3	—
78	1	2	10	19	18	20	16	12	11	17	15	12	17	23	25	22	24	30	40	45	55	42	4	—
79	2	9	17	29	22	18	18	22	21	16	22	27	23	19	14	22	16	23	13	14	23	27	5	18
80	0	3	9	11	20	18	18	25	30	18	15	23	23	26	29	27	27	30	35	35	43	62	6	45
81	0	7	12	13	16	14	16	14	15	12	13	17	17	15	27	23	28	32	37	38	39	54	5	11
異同量	27	325	505	660	693	700	718	719	729	746	753	772	774	819	979	986	1050	1163	1385	1417	1985	1989	248	777



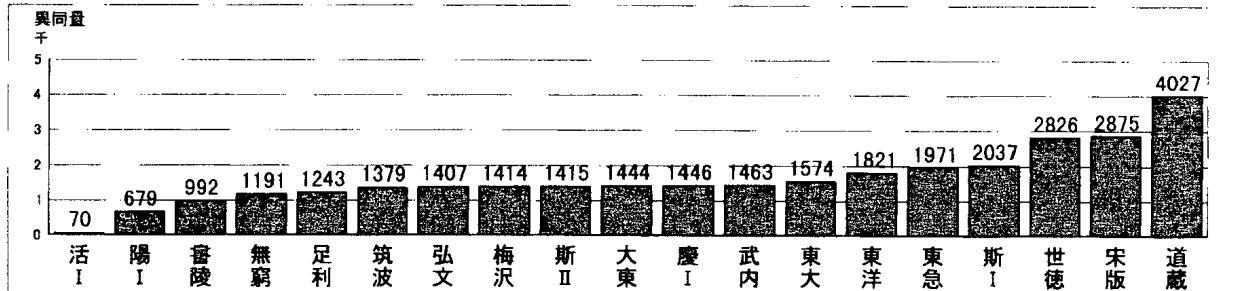
附表 3 (活 I と諸本との異同量 巻上下)

	活 II	陽 I	書陵	無窮	足利	筑波	弘文	斯 II	梅沢	慶 I	大東	武内	東大	東洋	東急	斯 I	世徳	宋版	道蔵
巻上	43	297	443	479	561	669	659	646	661	656	658	736	746	828	782	1048	1412	1432	2025
巻下	27	325	505	729	660	700	718	753	746	772	774	719	819	986	1163	979	1385	1417	1985
異同量	70	622	948	1208	1221	1369	1377	1399	1407	1428	1432	1455	1565	1814	1945	2027	2797	2849	4010



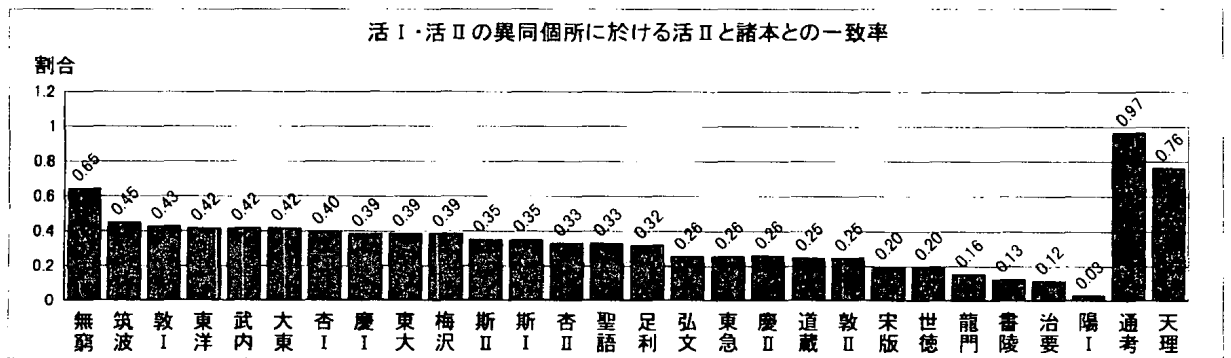
附表 4 (活 II と諸本との異同量 巻上下)

	活 I	陽 I	書陵	無窮	足利	筑波	弘文	梅沢	斯 II	大東	慶 I	武内	東大	東洋	東急	斯 I	世徳	宋版	道蔵
巻上	43	335	472	475	574	676	674	665	657	671	669	743	756	835	798	1058	1436	1454	2041
巻下	27	344	520	716	669	703	733	749	758	773	777	720	818	986	1173	979	1390	1421	1986
異同量	70	679	992	1191	1243	1379	1407	1414	1415	1444	1446	1463	1574	1821	1971	2037	2826	2875	4027



附表5 (活I活IIの異同箇所における活IIと諸本との一致の状況)

		無窮	筑波	敦	東洋	武内	大東	杏I	慶I	東大	梅沢	斯II	斯I	杏II	聖語	足利	弘文	東急	慶II	道藏	敦II	宋版	世徳	龍門	書陵	治要	陽I	通考	天理		
1	1	序	62	○	○	—	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—	○	○	—	—	—	—	○	—	—	○	○	—		
2	3	上	39	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
3	6		233	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
4	8		313	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
5	11		731	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
6	12		789	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	○	○	
7	13		793	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
8	14		803	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
9	15		820	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
10	17		950	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
11	18		1057	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
12	19		1136	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
13	20		1148	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	—	—	○	○	
14	21		1236	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	22		1238	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	26		1454	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	27		1507	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	28		1516	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	29		1649	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	30	下	244	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	31		360	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	32		391	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	—	—	—	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
23	33		476	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	34		521	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	—	—	—	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	
25	35		747	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	36		797	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	37		868	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	38		882	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
29	39		1080	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	40		1105	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	43		1656	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	—	—	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	
		件数		20	14	3	13	13	13	2	12	12	12	11	11	4	4	10	8	8	5	7.5	3	6	6	3	4	2	1	30	13
		割合		0.65	0.45	0.43	0.42	0.42	0.42	0.40	0.39	0.39	0.39	0.35	0.35	0.33	0.33	0.32	0.26	0.26	0.26	0.25	0.25	0.20	0.20	0.16	0.13	0.12	0.03	0.97	0.76



古活字版老子道德經 翻印

凡例

一、本翻印の底本は、

老子道德經二卷 旧題漢河上公章句 「慶長」刊 古活字である。その、経注本文全文および、巻頭序文を翻印した。

一、外題は、陽明文庫蔵本の元題簽に「老子経 上(下)」とある。その他、書誌事項の詳細については、本論を参照されたい。

一、直接使用した本は、斯道文庫所蔵の次の一本である。

大合一冊(函架番号〇九一ト九一)。後補栗皮表紙(二六・七×一八・七糎)、外題無し、題簽剝落した痕跡がある。

栗皮表紙が添えられる前の素表紙が現状では扉となっている。其の左肩に「老子河上公章句全」と墨書、右下方に「酒井誠師」と墨署あり。次に護葉一葉を附す。天地裁断されやや小振りとなっている。眉上行間に朱墨の書入れが施さる。墨筆

は誤植の訂正、まれに字句の釈義、また一本・異本・イとの校合の書入れで、特に、第二十三章を除く毎章題下に「一本作」として章頭初句を題名とする別系本(林希逸虜齋口義本によるとと思われる)の章題を墨記す。また、序の前半、第一章の全文及び第十一章等に部分的に返点・送り仮名の書入れが散見する。朱筆は、句点・圏点及び墨筆訓点の訂正書入れで、首より第十三章迄と、第十八・十九・五十五・五十六・五十八の各章に見られる。また虜齋口義、老子翼等の注説或いは校異釈義を書き留めたメモの紙片大小計十枚が挿入されている。「月明荘」(朱長方)、「慶應義塾大学/斯道文庫

蔵書」(朱長方)の印記あり。『創立計周近蒐善本展覧書目録』(附録研究社 斯道文庫編 昭和四十五年)著録。『弘文荘待賈古書目第三十七号』(昭和四十五年六月)収載本。

一、虫損に因る欠字、印字不良のため判字不能箇所においては、他の伝本等を参照した。異植字版を除けば、諸伝本間で相違する字句は認められない。

一、一頁上下二段組とし、一段に底本の一葉全十四行を当て、行字数は、原本の通りである。

一、各行頭に、半葉毎の行次数(双行注は、行次数に、右行は a、左行は b を付して区別した)を、半葉毎の第一行には、巻次、葉次数、表裏(オ・ウで標記)を示す。

一、原本本文の忠実なる復元を期し、原字を出来る限り尊重して誤植字も、底本の通りそのままに翻字した。

一、誤植字には、右旁に「、」を付し、正字を同行直下の欄脚に示す。

一、原本使用の漢字字体は、今日から見れば別体・俗字・略字と見做される異体字が多い。しかし、いずれも刊行当時の通行字体であり、近世初期の漢字文化の実情を考える上で無視できないと思われる。従って、可能な限り原形の俣に作字して、原状を伝えることに努めた。

一、但し、底本使用の古活字は、楷書もしくは、行書の書写字体によって作製されており、通行明朝体を使用する本翻字とは、当然字様は異なる。書法、運筆の相違、一字を構成する部画の配置の微妙な違いは、これを無視し、最も近似する通行の字様に従った。

一、但し、底本使用の古活字は、楷書もしくは、行書の書写字体によって作製されており、通行明朝体を使用する本翻字とは、当然字様は異なる。書法、運筆の相違、一字を構成する部画の配置の微妙な違いは、これを無視し、最も近似する通行の字様に従った。

一、但し、底本使用の古活字は、楷書もしくは、行書の書写字体によって作製されており、通行明朝体を使用する本翻字とは、当然字様は異なる。書法、運筆の相違、一字を構成する部画の配置の微妙な違いは、これを無視し、最も近似する通行の字様に従った。

序 1 才 1 老子經序

葛洪

2 老子者蓋上世之真人也其欲見於世則解

3 形選神入婦人胞中而更生示有所始當周

4 之時因母氏楚苦縣厲卿曲仁里李氏女妊

5 之八十一歲應天太陽曆數而生生有老微

6 人皆見其老不見其少欲謂之嬰兒年已八

7 十矣欲謂之老父又且新生故謂之老子名

序 1 才 1

1 重耳字伯陽仕周為守藏室史孔子適周問

2 禮於老子老子曰子之所言其人骨已朽矣

3 獨其言在耳且君子得其人則嘉祥不得其

4 人則蓬累而行吾聞之良賈深藏若虛君子

5 威德容貌若不足去子之驕氣與多欲態色

6 與淫志是皆無益於子之身也吾所以告子

7 若是而已孔子去謂諸弟子曰烏吾知其能

序 2 才 1

1 飛魚吾知其能游獸吾知其能走走者可為

2 羅游者可為緝飛者可為曾至於龍吾不能

3 知乘風雲而上吾今日見老子其猶龍耶老

4 子修道其學以自隱無名為務居周久平王

5 時見周衰乃遂去至開關令尹喜望見東方

6 有來人變化無常乃謁請之老子知喜入道

7 於是留與之言喜曰子將隱矣強為我著書

序 2 才 1

1 於是老子著上下二篇八十一章五千餘言

2 故号曰老子經已而去莫知其所終蓋老子

3 百六十餘歲或言二百餘歲以其修道而養

4 壽也老子之子名宗宗為魏將封於段干宗

5 子瑤瑤子宮宮子瑕仕於漢孝文帝而瑕之

6 子解為膠西王邛太傅因家于齊文帝興用

7 經道寶太后好老子術令景帝以教群臣不

序 3 才 1
通者不得仕朝見老子無爲自化清淨自正

2 世莫能名太史公謂之爲隱君子世莫能及

3 則黜之唯孔子上聖謂之爲龍古列傳著孔

4 子師事老子者以禮記曾子問禮於孔子孔

5 子曰吾聞之老聃其斯之謂所以分爲二篇

6 者取象天地先道而後德以經云道之尊德

7 之貴尊故爲上天以四時生地以五行成以

序 3 才 1
四乘九故三十六以應禽獸萬物之剛柔以

2 五乘九故世四十五以應九宮五方四維九

3 矧故法備因而九之故九九八十一數之極

4 也楚縣今陳國苦縣是也河上公者居河上

5 躋履爲業孝文皇帝好老子其矧牧二千石

6 有不誦老子經者皆不得居官河上公作兩

7 難與侍郎問文帝老子經意文帝不解出就

序 4 才 1
河上公公在草庵中不時出文帝就謂之曰

2 朕能使人富貴貧賤河上公乃出曰余上不

3 累天下不累地中不累人階下何能使余富

4 貴貧賤乎忽然而舉上高七百餘丈而止上

5 無所墜下無所據文帝卑辭禮謝之於是乃攀

6 下爲文帝作老子經章句隱其姓字時人無

7 知者故號曰河上公焉

上 1 才 1
老子道經上
河上公章句

2
體道第一

3b 3a 道可道謂經術政也非常道非自然長生之道
 4b 4a 養神無事安民含光藏暉名可名榮高世之
 5b 5a 也非自然常在之名也常名當如嬰
 6b 6a 昭昭外如愚頑者也無名天地之始謂道者
 7b 7a 無形故不可名也天地始者道吐有名萬物
 上 1 才 1
 1b 1a 之母有名謂天地天地有形位有陰陽有柔
 2b 2a 物長大成就如故常無欲以觀其妙
 3b 3a 也無欲則可以觀道之要謂一常有欲以觀
 4b 4a 其微以觀世俗之所欲之人可此兩者同出而
 5b 5a 異名兩者謂有欲無欲也同出者同出人之
 6b 6a 者亡身者有欲同謂之玄與無欲之人同受氣
 7b 7a 也於天玄之又玄夫人得中和滋液則生賢聖

上 2 才 1b 1a
得錯亂濁辱則生貪淫也衆妙之門能知天中復有天稟

2b 2a
中和是謂知道要之門戶者也

3
養身第二

4b 4a 天下皆知美之為美使顯彰也美斯惡已亡有危
 5b 5a 皆知善之為善有功斯不善已爭也故有無
 6b 6a 之相生為無也難易之相成為易也長短之
 7b 7a 相形為長也高下之相頡為下也音聲之相
 上 2 才 1b 1a
 1b 1a 和上唱下前後之相隨必隨也是以聖人處
 2b 2a 無為之事治也道行不言之教導之也萬物作
 3b 3a 焉各自動而不辭不辭謝而生而不有元氣
 4b 4a 物而不為而不特道所施為不功成而弗居
 5b 5a 功成事就退避夫唯弗居夫唯功成不
 6b 6a 不去福德常在不去其身也此言不行不可
 7b 7a 端之變無不動亂也

上 3 才 1

安民第三

2b 2a 不尚賢賢謂世俗之賢辯口明文離道行權去質為文也不尚者不貴之以祿不

3b 3a 尊之以官也使民不爭反自然也不貴難得之貨不爭功名也

4b 4a 言人君不御好珍黃金棄於山珠玉捐於淵也使民不為盜上化清靜下無

5b 5a 貪人不見可欲放鄭聲遠美人也使心不亂不邪是淫也

6b 6a 以聖人之治謂聖人治國猶治身也虛其心除嗜欲去亂煩也

7b 7a 實其腹懷道抱一守五神也弱其志和柔謙讓不處權也強其骨強其骨

上 3 ウ

1b 1a 愛精重施髓滿骨堅也常使民無知無欲反朴守淳也使夫

2b 2a 知者不敢為也思慮深不輕言也為無為不造作動不循也

3b 3a 則無不治矣德化厚百姓安也

無源第四

4 道沖而用之沖中也道匿名藏也或不盈或常道也

6b 6a 常謙虛不盈盈滿也淵兮似萬物之宗道淵深不可知也似為萬物宗

7b 7a 也祖挫其銳銳進也人欲銳情進取功名罕其當挫止之法道不自見也

上 4 才 1

2b 2a 紛紛結恨也當念道和其光明當如闍味不無為以解釋之也和其光言雖有獨見之

3b 3a 存言道湛然安靜故吾不知其誰之子老子言我

4b 4a 從生也象帝之先道似存天帝之前此言道乃先天地生也至今

5b 5a 煩也存者以能安靜湛然不勞欲使人修身法道也

虛用第五

7b 7a 天地不仁天施地化不以仁恩任自然也以萬物為芻狗天地

上 4 ウ

1b 1a 生萬物人最為貴天地視之聖人不仁聖人愛養如芻草狗畜不責望其報也

2b 2a 萬民不以仁恩法天地行自然者也以百姓為芻狗聖人視百姓如芻草

3b 3a 其禮意也天地之間流行故萬物自生天地之間虛和氣

4b 4a 能除情欲節滋味清五臟則神明居之也其猶橐籥乎橐籥中空虛故能有聲

5b 5a 也氣虛而不屈動而愈出言空虛無有屈竭言空虛無有屈竭

6b 6a 也氣多言數窮多事害神多言害身言空虛無有屈竭不如守

7b 7a 中不如守德於中育養精神愛氣希言也

上 5 才 1 成象第六

2b 2a 谷神不死五臟之神也肝藏魂肺藏魄心藏

3b 3a 神腎藏精脾藏志五臟傷則五神去也是謂玄牝言不死之道在於玄牝玄

4b 4a 天也於人為鼻牝地也於人為口天食人以五氣從鼻入藏於心五氣清微為精神聰明

5b 5a 音聲五性其鬼曰魂魂者雄也主出入於人鼻與天通故鼻為玄也地食人以五味從口

6b 6a 入藏於膈五性濁辱為形體骨肉血脉六情其鬼曰魄魄者雌也主出入於人口與地通

7b 7a 故口為玄牝之門是謂天地之根根元也言牝也

上 5 才 1b 1a 是乃天地之元綿綿乎若存當綿綿微妙若氣所從往來也

2b 2a 可有復若用之不勤當急疾勤勞也無有也

3 韜光第七

4b 4a 天長地久說天地長生久天地所以能長且壽以論教人也

5b 5a 久者以其不自生天地所以獨長且久者以其安靜施不求報不如人

6b 6a 居處汲汲水自饒之利奪人以自與也故能長生以其不生不利奪人以自與也

7b 7a 也終是以聖人後其身先人而身先之天下敬也

上 6 才 1b 1a 為官外其身薄人也而身存百姓愛之如父長也

2b 2a 赤子故身非以其無私耶明所祐非以其公

3b 3a 正無私故能成其私已也聖人無私而已自

4b 4a 厚故能成其私也

5 易性第八

6b 6a 上善若水上善之人如水善利萬物為霧露

7b 7a 在地而為而不爭處眾人之所惡垢濁水獨靜

上 6 才 1b 1a 流居故幾於道矣水性幾與居善地喜於地之也

2b 2a 有似於牝動而下人心善淵深清明也

3b 3a 與善仁萬物得水以生言善信不失其情也與虛不與盈也

4b 4a 政善治清且平也事善能直隨也助善

5b 5a 時動不失天時也夫唯不爭之則流聽從

6b 6a 也人故無尤無有怨尤水者也

7 運夷第九

上 7 才 1b 1a 恃而盈之不如其已盈滿也已止也特揣而

銳之不可長保揣治也先揣之金玉滿堂莫

之能守嗜欲傷神財富貴而驕自遺其咎夫

驕當賑貧貴當憐賤而反功成名遂身退天之

道言人所為功成事立名跡稱遂不退身避

則移月滿則虧物盛則衰樂極則衰也

能為第十

上 7 ㄣ 1b 1a 載營魄營魄魂也人載魂魄之上得以生

肝魄在肺美酒甘肴腐人肝肺故抱一能無

魂靜志道不亂魄安修德延年也抱一能無

離乎言人能抱一使不離於身則長存也一

名於天下天得一以清地得一以寧侯王得

一以為正平人為心出為行布施為德愬名

至一無二也專氣致柔專精氣使不亂則

也順能如嬰兒乎無政事則精神不去也除

上 8 才 1b 1a 乎不淫愛民治國治身者愛氣則身全治能

無知乎治國者呼吸精氣無令耳聞也天門

開闔天門謂北極紫宮開闔謂終始五際也

能為雌乎治身當如雌牝安靜柔弱治明白

四達言道明白如日月四通滿於天下八極

煥於十方煥能無知乎無有能知道滿生之畜

之道畜養萬物生而不有道生萬物無為而不

恃道所施為不長而不宰割以為器用也

是謂玄德言道行德玄冥不可

無用第十一

三十輻共一轂古者車三十輻法月數也共

乃歸之也治國者寡情去欲使五臟空虛神當

其無有車之用無謂空虛也轂中空虛輪得

也埴埴以為器埴和也埴土也和上當其無

上 9 才 1b 1a 有器之用器中空虛故得鑿戶牖以為室作

2b 2a 也室屋當其無有室之用言戶牖空虛人得以出入觀視室中空虛

3b 3a 人得以居處故有之以為利有物利於形器中

4b 4a 恐其屋之破壞腹中無之以為用言虛空者有神畏形之消亡也

5b 5a 受物也故曰虛無能制有形道者空也

撿欲第十二

7b 7a 五色令人目盲貪滯好色則五音令人耳聾

上 9 ㄩ 1b 1a 好聽五音則和氣去心不能聽無聲之聲也五味令人口爽爽人

2b 2a 嗜於五味則口也馬也田獵令人心發狂人精

3b 3a 妄言失於道也神散亡故發狂也唯得之貨令人行妨妨難

4b 4a 欲之貨謂金銀珠玉心貪意是以聖人為腹

5b 5a 守五性去六情節不為目精於外也故去

6b 6a 彼取此去彼目之妄視取此腹之養性也

厭耻第十三

上 10 才 1b 1a 寵辱若驚身寵亦驚身貴大患若身若至也

2b 2a 故皆驚也何謂寵辱問何謂寵辱何謂辱

3b 3a 還自問者寵為上寵為尊辱為下辱為下得

4b 4a 之若驚也得寵榮驚者處高位如臨危失之若

5b 5a 驚失者失寵處辱也是謂寵辱若驚解上得驚者恐禍重來也

6b 6a 失之而何謂貴大患若身復還自問何故吾

7b 7a 所以有大患者為吾有身吾所以有大患者

上 10 ㄩ 1b 1a 勞念其飢寒觸情及吾無身吾有何患乎吾使

2b 2a 無身體道自然輕舉昇雲出入故貴以身為

3b 3a 天下者則可以寄於天下矣言人君自貴其

4b 4a 天下不可以久也愛以身為天下者乃可以託

5b 5a 於天下矣言人君能愛其身非為已也乃欲

6b 6a 者乃可以託其身於萬民之上長無咎也

贊玄第十四

上
11
才
1b 1a
視之不見名曰夷無色曰夷言一無彩色聽

2b 2a
之不聞名曰希無聲曰希言一無音聲搏之

3b 3a
不得名曰微無形曰微言一無形體此三者

4b 4a
不可致詰三者謂夷希微也不可致詰者夫

5b 5a
傳當受之以靜水之以神故混而為一也混合

6b 6a
而為一也其上不皦皦言一在天上不其下

7
不昧言一在天下不昧緇緇不可名動行無

上
11
ウ
1b 1a
窮極也不可名者一非色也不可以宮商角徵羽聽一

2b 2a
非形也不可以復歸於無物之物質也復當歸

3b 3a
是謂無狀之狀言一無形狀而能無物之象

4b 4a
言一無物質而能是謂忽恍言一忽忽恍恍

5b 5a
見隨之不見其後言一無影迹不迎之不見

6b 6a
其首除一情去欲一自歸已也執古之道以御

7b 7a
今之有御聖人執守古道主一也能知古始是

上
12
才
1b 1a
謂道紀人能知上古本始有一

顯德第十五

2
古之善為士者謂得道也微妙玄通玄天也言

3b 3a
天通也深不可識道德深遠不可識知內視

4b 4a
也夫唯不可識故強為之容謂也與兮若冬

5b 5a
涉川舉事難加重慎與與兮猶兮若畏四隣

6b 6a
其進退猶猶拘制若人儼兮其如客若客因

上
12
ウ
1b 1a
然無所造作也渙兮若冰之將釋亡除情去欲日以

2b 2a
也空虛敦兮其若樸敦者質厚樸者形未分曠

3b 3a
兮其若谷曠者寬大谷者空虛不有渾兮其

4b 4a
若濁渾者守本真濁者不自尊也孰能濁以靜

5b 5a
之徐清孰誰也誰能知水之濁孰能安以久

6b 6a
之徐生誰能安靜以久保此道者不欲盈保

7b 7a
欲奢泰盈溢也夫唯不盈故能弊不新成夫

上 13 才 1b 1a
不盈滿之人能守弊不為新成弊者
匿光榮也新成者謂貴功名者也

歸根第十六

3b 3a 2
至虛極也道人損情去欲五內清靜至於虛極也守靜篤也守

4b 4a
靜行篤萬物並作物並生也萬物並生也吾以觀其復言

5b 5a
復其觀見萬物無不皆歸夫物芸芸芸芸華各

6b 6a
復歸其根言萬物無不枯落各歸根曰靜靜

7b 7a
根也根安靜柔弱謙靜曰復命言安靜者是

上 13 才 1b 1a
使不復命曰常道復命使不死此乃知常曰明

2b 2a
能知道之所常不知常妄作凶不知道之所

3b 3a
詐則失神知常曰容能知道之所常行則容

4b 4a
乃公無私衆邪莫當也公正無私則

5b 5a
治身正則形一神明王乃天能王則德合神

6b 6a
天乃道與道合同也道乃久與道合同乃

7b 7a
身不死能公能王通天合道四者純備道德

上 14 才 1b 1a
也殆淳風第十七

2b 2a
太上知有之太上謂上古無名之君也下

3b 3a
臣事之質其次親之譽其德可見恩惠可

4b 4a
也其次畏之設刑法以其次侮之不可歸誠

5b 5a
故欺侮信不足焉於君信不足有不信焉下則

6b 6a
欺其君也猶乎其貴言猶貴重於言恐離道

7b 7a
然也自成功遂事謂天下百姓皆謂我自然

上 14 才 1b 1a
反不知君上之德厚以為自當然也

俗薄第十八

3b 3a
大道廢焉有仁義大道之時家有孝子戶有

4b 4a
惡逆生乃有仁智慧出焉有大偽智惠之君

5b 5a
言賤質而貴文下則應六親不和焉有孝慈六

6b 6a
乃有孝慈相收養也國家昏亂焉有忠臣政

7b 7a
不行上下相怨邪僻爭權乃有忠臣匡救其

上15才1b1a 各自潔己不知貞大道之世仁義沒
孝慈滅猶日中盛明衆星失光者也

選淳第十九

絕聖 絕聖制作反初守無五帝畫象蒼棄智
絕聖 絕聖制作反初守無五帝畫象蒼棄智

棄智 棄智反民利百倍無私也絕仁棄義仁絕
無為也民利百倍無私也絕仁棄義仁絕

之見 之見思也棄民復孝慈德化絕巧偽亂真
義之尚華言也棄民復孝慈德化絕巧偽亂真

也棄 也棄利權門也閉盜賊無有無邪私也此三
也棄利權門也閉盜賊無有無邪私也此三

者謂 者謂上三事以為文不足以為文不足者文
所謂上三事以為文不足以為文不足者文

故令 故令有所屬句當如下見素抱朴素守真不尚
當如下見素抱朴素守真不尚

質文 質文也抱朴者當見其少私私也寡欲足也
質文也抱朴者當見其少私私也寡欲足也

異俗第二十

絕學 絕學不真不無憂除浮華則唯之與阿
絕學不真不無憂除浮華則唯之與阿

相去 相去幾何疾時賤質而貴文也善之與惡
相去幾何疾時賤質而貴文也善之與惡

相去 相去何若何善者稱譽惡者諫諍也能相去
相去何若何善者稱譽惡者諫諍也能相去

之所 之所畏者畏不絕學之人之所畏不可不畏
之所畏者畏不絕學之人之所畏不可不畏

上16才1b1a 賢也 仁荒兮其未央哉進學文未央止也衆
色敏仁荒兮其未央哉進學文未央止也衆

人熙 人熙熙情欲也如享大牢具意無足時也如
熙熙情欲也如享大牢具意無足時也如

春登 春登臺登陰陽交通萬物感動我獨怕兮其
春登臺登陰陽交通萬物感動我獨怕兮其

未兆 未兆有情欲之形兆也如嬰兒之未孩兒未
未兆有情欲之形兆也如嬰兒之未孩兒未

能答 能答偶人備備兮其若無所歸窮鄙無所歸
能答偶人備備兮其若無所歸窮鄙無所歸

也衆 也衆人皆有餘餘智以為詐也我獨若遺
也衆人皆有餘餘智以為詐也我獨若遺

我獨 我獨如遺棄我愚人之心哉守一不移如愚
我獨如遺棄我愚人之心哉守一不移如愚

人之 人之沌沌兮別也俗人昭昭明也我獨若
人之沌沌兮別也俗人昭昭明也我獨若

昏如 昏如闇俗人察察且疾也我獨悶悶所割無
昏如闇俗人察察且疾也我獨悶悶所割無

也忽 也忽兮若海流莫知其窮極也我獨若無
也忽兮若海流莫知其窮極也我獨若無

所止 所止我獨漂漂若飛揚無所衆人皆有以有
所止我獨漂漂若飛揚無所衆人皆有以有

也我 也我獨頑為也似鄙不逮也我獨異於人
也我獨頑為也似鄙不逮也我獨異於人

人獨 人獨與而貴食母我獨貴用道也
人獨與而貴食母我獨貴用道也

虛心 虛心第二十一
虛心第二十一

上 17 才 1b 1a 孔德之容 孔大也 大德之人無所不唯道是

2b 2a 從世獨也 大德之人不隨道之為物 唯悅唯

3b 3a 忽道之於萬物 獨悅忽兮 悅兮 其中有象 唯

4b 4a 忽悅無形 設法象也 悅兮 忽兮 其中有物 唯

5b 5a 主化因氣 立質也 營 窈兮 冥兮 其中有精 唯

6b 6a 窈冥無形 其中有精 實 其精甚真 言道精氣

7b 7a 非有其中 有信 信在 中也 其自古及今 其名

上 17 才 1b 1a 不去 道常在 不去也 以閱衆甫 始也 言道

2b 2a 稟與萬物 始生 吾何以知衆甫之然哉 我知

3b 3a 從道受氣 以此而生 今也以今萬物 皆得道精氣

益 謙 第二十二

5b 5a 曲則全 曲已從衆 不枉則直 枉已而申 人

6b 6a 窪則盈 謙下德歸之也 弊則新 後已先人

7b 7a 久自新也 久少則得 道自祐 謙神 明託虛也 天多

上 18 才 1b 1a 則惑 財多者惑於守身 學 是以聖人抱一為

2b 2a 天下式 抱守也 式法也 聖人守一也 乃不自見

3b 3a 故明 因聖人下之目 以視故 千里之外也 乃不自

4b 4a 是故彰 非聖人不自以為是也 而不自伐 故有功

5b 5a 伐取也 聖人德化 流行不自 不自矜 故長 矜

6b 6a 故能長久 不自危也 夫唯不爭 故天下莫與之

7b 7a 爭 此言天下賢與不肖 古之所謂曲則全者

上 18 才 1b 1a 豈虛言哉 傳古言曲從則全 誠全而歸之 實

2b 2a 也能行曲 從者實全 其肌體 歸之於父母 無有傷害之也

虛無 第二十三

4b 4a 希言自然 希言謂愛言也 愛 飄風不終朝 驟

5b 5a 雨不終日 飄風疾風也 驟雨暴雨也 孰為此

6b 6a 者天地也 孰誰也 誰為此 飄風暴 天地尚不

7b 7a 能久 朝不終也 而況於人乎 風暴雨尚不能使

上 19 才 1b 1a 終朝至暮何況於人欲為暴卒乎故從事於道者為事當如

2b 2a 道安靜不當如飄風驟雨也道者同於道也道者謂好道人所

3b 3a 為與道同也德者同於德德者謂好德人也同於

4b 4a 失者同於失失者謂任己失人也同於道

5b 5a 者道亦樂得之亦樂得之也道同於德者德亦

6b 6a 樂得之亦樂得之也同於失者失亦樂得之

7b 7a 亦樂得之也失信不足焉則應君以不信也

上 19 ㄨ 1b 1a 不信龍風從虎水流濕火就燥也

苦思第二十四

3b 3a 跛者不立跛也則不可久立身行道也跛者

4b 4a 不行自以為貴而跨於人眾自見者不明自

5b 5a 見其形容以為好自見所行為應自是者

6b 6a 不彰自以為是而非人眾人自伐者無功所

7b 7a 則自伐取其功美自矜者不長好自矜大者

上 20 才 1b 1a 也其於道也曰餘食贅行伐之人在治國之

2b 2a 道日賦歛餘祿物或惡之害故物無有不畏

3b 3a 惡之故有道者不處不處其國也

象元第二十五

4 有物混成先天地生謂道無形混沌而成萬

6b 6a 寂兮寥兮獨立而不改無形獨立者無匹雙

7b 7a 不改者化周行而不殆道通行天地無所不

上 20 ㄨ 1b 1a 腐無不貫穿可以為天下母道育養萬物精

2b 2a 也吾不知其名故字之曰道容我不知當何以

3b 3a 名之見萬物皆從道之強為之名曰大不知

4b 4a 之強曰大大者高而無上羅大曰逝非若天

5b 5a 常在非若地常在下逝曰遠無窮布氣天

6b 6a 地無所遠曰反復反在人身上故道大天

7b 7a 大地大王亦大不蓋地大者無不載王天者無

上 21 才 1b 1a 無不域中有四大而王居其一焉有八極之內

2b 2a 一居其人法地五穀掘之得甘泉勞而不怨有

3b 3a 功而地法天生萬物無所收取也天

4b 4a 法道陰行精氣萬物自成也道法自然道性

5b 5a 無所法也

6 重德第二十六

7b 7a 重為輕根人君不重則不尊治身不重則失

上 21 ウ 1b 1a 長存靜為躁君則身危龍靜故能變化身不躁

2b 2a 虧天是以君子終日行不離輜重輜靜也君

3b 3a 道不離其雖有榮觀燕處超然榮觀謂宮闕

4b 4a 居也超然遠也奈何萬乘之主奈何者疾時主

5b 5a 之主謂而以身輕於天下王者至尊而以其

6b 6a 王奢恣輕則失臣身輕淫則失其精也臣治

7b 7a 則失君身躁疾則失其精神也

上 22 才 1 巧用第二十七

2b 2a 善行者無轍跡堂善行道者求之於身不下善

3b 3a 言者無瑕譏無瑕疵譏過於天下也則善言十

4b 4a 者不用籌策善以道計事者守一不移也善

5b 5a 閉者無關鍵而不可開神者不如閉情欲守精

6b 6a 鍵可得善結者無繩約而不可解善事者乃道結

7b 7a 其心不如繩是以聖人常善救人常教人所以

上 22 ウ 1b 1a 孝者欲以救故無棄人使其所也常善救物

2b 2a 聖人所以常教民順四時故無棄物聖人而

3b 3a 貴玉視之是謂襲明謂襲明大道也故善

4b 4a 人者不諱人之師也即以為人師也聖人不諱

5b 5a 人者諱人之資也資用也人行不善者聖人

6b 6a 也不貴其師輔也無不愛其資使也雖智大迷

7b 7a 人雖自以為智言此是謂要妙知微妙要道也

上 23 才 1

反朴第二十八

上 24 才 1b 1a

制御天下無所傷割治身則以大道制情欲不害精神也

知其雄守其雌為天下谿

無為第二十九

顯當復守之以卑微去雄之強梁就雌之柔和如是則天下歸之如水之流入深谿也

將欲取天下欲為天而為之治民也欲以有為為吾見

為天下谿常德不離

其不得已我見其不得天道惡煩濁人心惡多欲也天

歸於嬰兒

下神器不可為也

為天下式

為治為者則敗之敗其質性也執者失之

可以為天下式

情實生詐偽也故物或行或隨必隨之也

復歸於無極

或呶或吹

知其榮守其辱

或載或墮

為天下谷

有為治國是以聖人去甚去奢去泰

足止也人能為天下

此三者處中和行無為則天下自化也

散則為器用也

以道佐人主者

明流為日月分

道謂人主能以不以兵強於天

官長百官之元長也

下順天任德敵人自服也其事好選

上 23 才 1

反朴第二十八

上 24 才 1b 1a

制御天下無所傷割治身則以大道制情欲不害精神也

知其雄守其雌為天下谿

無為第二十九

顯當復守之以卑微去雄之強梁就雌之柔和如是則天下歸之如水之流入深谿也

將欲取天下欲為天而為之治民也欲以有為為吾見

為天下谿常德不離

其不得已我見其不得天道惡煩濁人心惡多欲也天

歸於嬰兒

下神器不可為也

為天下式

為治為者則敗之敗其質性也執者失之

可以為天下式

情實生詐偽也故物或行或隨必隨之也

復歸於無極

或呶或吹

知其榮守其辱

或載或墮

為天下谷

有為治國是以聖人去甚去奢去泰

足止也人能為天下

此三者處中和行無為則天下自化也

散則為器用也

以道佐人主者

明流為日月分

道謂人主能以不以兵強於天

官長百官之元長也

下順天任德敵人自服也其事好選

上 25 才
1b 1a 還自責不師之所處荆棘生焉農事廢田大

2b 2a 軍之後必有凶年天應之以惡氣即害五善

3b 3a 者果而已行善者當果敢不敢以取強焉以不

4b 4a 果敢取強果而勿矜當果敢謙卑果而勿伐

5b 5a 當果敢推讓勿果而勿驕驕欺也果敢果而

6b 6a 不得已當果敢至誠不果而勿強果敢勿以

7b 7a 侵凌物壯則老草木壯極則枯落人壯極則

上 25 ㄨ
1b 1a 是謂不道枯老者坐不道早已不行道者

2 偃武第三十一

3b 3a 夫飭兵者不祥之器祥善也兵者驚精神濁

4b 4a 當修物有惡之兵動則有所害故萬故有道

5b 5a 者不處有道之人不君子居則賁左貴柔用

6b 6a 兵則賁右貴剛強也此言兵道與故兵者不

7b 7a 祥之器兵革者不善非君子之器非君子之

上 26 才
1b 1a 也不得已而用之謂遭衰逢亂禍欲加萬恬

2b 2a 憺為上不貪土地利勝而不美雖得勝不以

3b 3a 而美之者是樂殺人也美得勝者是為夫樂

4b 4a 殺人者則不可以得志於天下矣樂不可使

5b 5a 得志於天下為人主必吉事上左位也生凶事

6b 6a 上右陰道殺偏將軍居左偏將軍卑而居左

7b 7a 上將軍居右上將軍尊而居右言以喪禮處

上 26 ㄨ
1b 1a 之上將軍於右喪禮也殺人眾以悲哀泣之已傷

2b 2a 德薄不能以道化人戰勝以喪禮處之古者

3b 3a 將軍居喪主之位素服而哭之明君子貴德

4 聖德第三十二

5b 5a 道常無名道能陰能陽能弛能張雖小天

6b 6a 下不敢臣道樸雖小微妙無形天侯王若能

7b 7a 守之萬物將自賁侯王若能守道無為萬物

上 27 才 1b 1a 天地相合以降甘露侯王動作能與天地相

也民莫之令而自均焉天降善瑞則萬物莫

一調也始制有名始道也有名萬物也道無名

也名亦既有既盡也有名之物盡有情天亦

將知之亦將自法道行德天知之所以不殆天

不復危殆也助驚道之在天下猶川谷之與

江海和如川谷與江海流相通也

上 27 才 1 辨德第三十三

知人者智能知人好自知者明人不自知賢

形故為明也無聲內視無勝人者有力能勝人者不自

勝者強有能與已爭者故為強也知足者

富人能知足則長保強行者有志人能強力

有意於道道亦不失其所久人不自節養

7b 7a 天之精氣則死而不妄者壽妄聽口不妄語

上 28 才 1b 1a 則無怨惡於天下故長壽也

任成第三十四

大道汜兮言大道汜汜若浮若沈若有其可

左右無所不左可右萬物恃之而生物皆待道

也生而不辭逆止之也謝而功成而不名有

功也其愛養萬物而不為主道雖愛養萬物

也收取常無欲可名於小矣道無為似若微小也

上 28 才 1b 1a 萬物歸焉而不為主如人主有所禁止也

可名為大矣萬物橫來橫去使各是以聖人

終不為大名聖人法道匿德藏故能成其大人

以身師導不言而化萬

仁德第三十五

執大象天下往則天下萬民移心歸性之治

7b 7a 身則天降神明往而不害安平大萬民歸性

上 29 才 1b 1a 則國家安寧而太平矣治身樂與餌過客止

2b 2a 止也一者去盈而處虛忽如過客也留道之

3b 3a 出口淡兮其無味道出入於口淡淡非如視

4b 4a 之不足見足得也道無形非若五色有聽之

5b 5a 不足聞道非若五音有官商用之不可既道

6b 6a 治國則國富民昌治身則壽命延長無有既盡時也

微明第三十六

上 29 ウ 1b 1a 將欲噏之必固張之先開張之者欲將欲弱

2b 2a 之必固強之先遇禍患也欲將欲廢之必固

3b 3a 興之先興之者欲將欲奪之必固與之先與

4b 4a 貪心也是謂微明此四事其道柔弱勝剛強

5b 5a 柔弱先亡也剛魚不可脫淵去剛得柔不可

6b 6a 復制國之利器不可以示人也治國權者不

7b 7a 道者不可以示非其人也治身

上 30 才 1 為政第三十七

2b 2a 道常無為而無不為道以無為為常也侯王若能守

3b 3a 之萬物將自化言侯王而能守道萬物已化而欲

4b 4a 作吾將鎮之以無名之樸吾身也萬物已化效

5b 5a 已效已復欲作巧偽者侯王當身鎮撫之以道德也無名之樸亦將不

6b 6a 欲不欲以靜言侯王鎮撫之以道德民亦將

7b 7a 天下將自正能如是者天下

上 30 ウ 1 老子道經上

2

老子德經下 河上公章句

論德第三十八

下1才1 老子德經下
 2 上德不德 無上德謂太古無名號之君也德大
 3b 3a 以命其德不見故言不德也 是以有德 言其
 4b 4a 於天地和氣流 下德不失德 下德謂號謚之
 5b 5a 行民得以全也 下德不失德 君德不及上德
 6b 6a 故言下德也不失德者 是以無德 及其身故
 7b 7a 也 上德無為 言法道安靜而無以為 言無以
 下1ウ 也 下德為之 言為政事也而有以為 言以為已
 1b 1a 上仁為之 言上仁謂行仁之君其仁無上故
 2b 2a 無以為 功成事立 上義為之 斷割也而有以
 3b 3a 為成威賦下自以奉也 上禮為之 謂上禮無
 4b 4a 禮制度序威儀也 而莫之應 言禮華盛實衰
 5b 5a 離道不則 攘臂而仍之 言煩多不可應上下
 6b 6a 可應也 故失道而後德 言道衰德
 7b 7a 也 故失道而後德 化生也 失德而後仁 言

下2才1 衰而仁失仁而後義 言仁衰而失義而後禮

2b 2a 言義衰則施禮 夫禮者忠信之薄 言禮廢本

3b 3a 薄也 而亂之首也 直日以少邪亂日以生

4b 4a 也 前識者道之華 失道之實 知道之華者也

5b 5a 而愚之始也 言前識之人愚 是以大丈夫處

6b 6a 其厚 大丈夫謂道德之君也 處不居其薄 不

7b 7a 身遠道為處其實 處忠不處其華 言不尚故去

下2ウ 彼取此 去彼華薄取此淳厚也

法本第三十九

下2才1 彼取此 去彼華薄取此淳厚也
 2 昔之得一者 昔往也一無天得一以清 言天
 3b 3a 昔之得一者 昔往也一無天得一以清 言天
 4b 4a 故能垂象 地得一以寧 言地得一故能神得
 5b 5a 一以靈 言神得一故能谷得一以盈 言谷能
 6b 6a 盈滿而萬物得一以生 言萬物皆須侯王得
 7b 7a 一為天下正 言侯王得一故能其致之也 致謂

下3才 1b 1a 下五天無以清將恐裂言天當有陰陽弛張

2b 2a 欲清明無已時將地無以寧將恐發言地當

3b 3a 剛柔氣節五行不可但欲安靜神無以靈將

4b 4a 恐歇言神當有王相因死休廢不可但谷無

5b 5a 以盈將恐竭言谷當有盈縮虛實不可但欲

6b 6a 也萬物無以生將恐滅言萬物當隨時死生

7b 7a 時將恐滅亡王侯無以貴高將恐暨言侯王

下3ウ 1b 1a 下人汲汲求賢不可但欲貴故貴必以賤為

2b 2a 本言必欲尊貴當以薄賤為本若禹高必以

3b 3a 下為基言必欲尊貴當以下為本基猶築墻

4b 4a 也是以王侯自稱孤寡不殺孤寡喻孤獨不

5b 5a 殺為衆輻此非以賤為本邪言侯王至尊貴

6b 6a 此非以賤為本非乎嗟歎之故致數車無車

7b 7a 言人致就車數之為輻為輪為轂為衡為轡

下4才 1b 1a 号自名故能不欲碌碌如玉落落如石碌少

2b 2a 落落喻多玉少故見貴石多故見賤言不欲

3 去用第四十

4b 4a 反者道之動反本也本者道之所以弱者道

5b 5a 之用柔弱者道之所以天下之萬物生於有

6b 6a 天下萬物皆從天地生於有也有生於無天地神

7b 7a 蠕動皆從道生道無形故言生於無也此

下4ウ 1 同異第四十一

2b 2a 上士聞道勤而行之上士聞道自動中士聞

3b 3a 道若存若亡中士聞道治身以長存治國以

4b 4a 聲惑於情欲下士聞道大笑之下士貪狼多

5b 5a 謂之恐懼見道質朴謂不笑不足以為道不

6b 6a 下士所笑不足建言有之道建設也設言已有

7b 7a 明道若昧明道之人若暗進道若退

下 5 才 1b 1a 不及夷道若類自別殊若多比類也不上德若

2b 2a 谷上德之人若深大白若辱大潔白之人若

3b 3a 也廣德若不足若愚頑不足也人建德若掄建

4b 4a 道德之人若可質直若渝有渝淺不明也

5b 5a 大方無隅大方正之人無大器晚成大器之

6b 6a 鼎瑚璉不大音希聲大音猶雷霆待時而大

7b 7a 象無形大形象之人質道隱無名道潛隱使

下 5 ウ 1b 1a 也名夫唯道善貸且成人精氣且成就之也

道化第四十二

3b 3a 道生一者一也一生二與一陰也二生三陰

4b 4a 生和清濁三氣三生萬物也天地人共生萬物

5b 5a 也養之萬物負陰而抱陽萬物無不負陰而向

6b 6a 沖氣以為和萬物中有藏骨中有髓草木之中

7b 7a 有空虛與氣通人之所惡唯孤寡不殺而王

下 6 才 1b 1a 公以為稱孤寡不殺者處謙法空虛和柔也古

2b 2a 物或損之而益讓引之不得推或益之而損夫

3b 3a 高者速崩貪人之所教為強去柔為剛也弱

4b 4a 我亦教人為弱去剛為柔也強強梁者不得

5b 5a 其死強梁者謂不信玄妙背叛道德不從經

6b 6a 兵刃所伐王法所吾將以為教父子始也老

7b 7a 戒之人為教戒之始也

下 6 ウ 1 徧用第四十三

2b 2a 天下之至柔馳騁天下之至堅至柔者水也

3b 3a 剛水能貫堅入無有入於無間無有謂道也

4b 4a 能出入無間吾是以知無為之有益吾見道

5b 5a 萬物自化成是以知不言之教法道不言師

6b 6a 無為之益法道無為治身則有益精神天下

7b 7a 希及之天下人主也希能有及道無為

下7才1

立戒第四十四

2b 2a 名與身孰親名遂則身與貨孰多財多則得

3b 3a 與亡孰病病於行也則甚愛必大費甚愛色費

4b 4a 財遇禍患所愛者少多藏必厚亡於生多藏

5b 5a 死多藏於丘墓生有攻劫知足不辱知足之

6b 6a 去欲不辱 知止不殆知可止則止財利不累

7b 7a 則終身不 可以長久人能知止足則福祿在

下7ウ

1b 1a 者民不擾故 可長久也

洪德第四十五

3b 3a 大成若缺謂道德大成之君也若缺者其用

4b 4a 不弊其用心如是則大盈若冲謂道德大盈

5b 5a 冲者貴不敢驕 其用不窮其用心如是則大

6b 6a 直若屈大直謂修道法度正直如一也如

7b 7a 巧若拙大巧謂多才術也如拙大辨若訥大

下8才1

1b 1a 者無口辭也如訥 蹇勝寒勝極也春夏陽氣蹇

2b 2a 則寒寒則零落死亡靜勝焚黃泉之下極則

3b 3a 焚焚者生 清靜為天下正能清能靜則為天

4b 4a 也已時

儉慾第四十六

6b 6a 天下有道謂人主却走馬以糞兵甲不用却

7b 7a 却陽精以治農田治身者天下無道謂人主戎

下8ウ

1b 1a 馬生於郊戰伐不止戎馬生於罪莫大於可

2b 2a 欲好色禍莫大於不知足富貴而不能咎莫

3b 3a 大於欲得利且貪也故知足之足守真常足

4b 4a 矣無欲心也

鑿遠第四十七

6b 6a 不出戶以知天下聖人不出戶以知天下者

7b 7a 見天下所以不闕牖以見天道天道與人道同

下 9 才 1b 1a
相貫人君清靜天氣自正人君多欲其出彌
天氣煩濁吉凶利害皆由於已也

遠其知彌少謂去其家觀人家去其身觀是

以聖人不行而知知聖人不上天不入淵能不

見而名上好道下好德上好武下好力不為

而成上無所為則下無事家

亡知第四十八

為學日益學謂政教禮樂之學也日益

下 9 ㄨ 1b 1a
日損道謂自然之道也日損者損之又損之

損情欲又損之以至於無為當恬如嬰兒無

為而無不為情欲斷絕無所不為也

常以無事取治也治天下常當及其有事不

足以取天下及其好有不足則政教煩民

任德第四十九

7b 7a 6
聖人無常心循若自無心也以百姓心為

下 10 才 1b 1a
心百姓心之所便善者吾善之百姓為善之

也不善者吾亦善之百姓雖有不善者德善

矣百姓德化聖信者吾信之因百姓為信聖人

不信者吾亦信之百姓為不信聖德信矣

德化聖人故聖人之在天下休休焉

林常恐怖富貴為天下言聖人為天

其心若愚百姓皆注其耳目注用也百姓皆

下 10 ㄨ 1b 1a
也視聽聖人皆孩之聖人愛念百姓如孩育赤

也

貴生第五十

出生入死出生謂情欲出於五內魂定魄靜

勞感故生之徒十有三死之徒十有三言之

類各有三謂九竅四關也其生也目不妄

7b 7a 6b 6a 5b 5a 4b 4a 3 2b 2a
施不妄行精不妄人之生動皆之死地十有

下
11
才
1b 1a
三
之
十
三
死
地
也
夫
何
故
哉
之
問
之
何
故
動

2b 2a
以
其
生
生
之
厚
也
所
以
動
之
死
地
者
以
其
求

3b 3a
妄
行
失
紀
也
蓋
聞
善
攝
生
者
也
攝
養
陸
行
不
遇
兇
虎

4b 4a
自
然
遠
避
入
軍
不
被
甲
兵
斂
不
好
戰
以
兇
無
所

5b 5a
投
其
角
虎
無
所
措
其
爪
兵
無
所
容
其
刃
之
養
生

6b 6a
又
無
從
加
之
也
夫
何
故

7b 7a
無
死
地
神
明
營
護
之
此
物
不
敢
害
人
也

下
11
ウ
1
養
德
第
五
十
一

2b 2a
道
生
之
物
也
萬
德
畜
之
氣
而
畜
養
也
主
布
物
形

3b 3a
之
一
為
萬
物
勢
成
之
一
為
萬
物
作
寒
暑
是
以

4b 4a
萬
物
莫
不
尊
道
而
貴
德
驚
動
尊
敬
之
也
不
盡
道

5b 5a
之
尊
德
之
貴
夫
莫
之
命
而
常
自
然
召
萬
物
不
命

6b 6a
常
自
然
應
之
如
影
響
也
故
道
生
之
德
畜
之
長
之
育
之
成

7b 7a
之
熟
之
養
之
覆
之
已
乃
復
養
長
成
熟
覆
育
全

下
12
才
1b 1a
其
性
命
人
君
治
國
生
而
不
有
道
生
萬
物
不
為

2b 2a
而
不
恃
恃
望
其
報
也
不
長
而
不
宰
宰
割
以
為

3b 3a
也
利
用
是
謂
玄
德
道
之
所
行
恩
德
玄

4
歸
元
第
五
十
二

5b 5a
天
下
有
始
也
始
道
以
為
天
下
母
道
為
天
下
既
知

6b 6a
其
母
又
以
知
其
子
子
一
也
既
知
得
道
既
知
其

7b 7a
子
復
守
其
母
守
道
反
無
為
也
沒
身
不
殆
不
危

下
12
ウ
1b 1a
塞
其
兌
兌
目
也
目
閉
其
門
言
說
是
非
也
不
妄
終

2b 2a
身
不
勤
妄
言
則
終
身
不
妄
視
閉
口
不
開
其
兌
目

3b 3a
視
情
欲
也
濟
其
事
濟
益
也
益
情
終
身
不
救
成
也
亂
見

4b 4a
小
曰
明
小
昭
然
獨
見
為
明
也
守
柔
曰
強
守

5b 5a
弱
日
以
目
用
其
光
時
世
之
利
害
也
復
歸
其

6b 6a
明
復
反
其
精
神
洩
外
也
無
遺
身
殃
為
漏
失
也

7b 7a
是
謂
習
常
習
人
能
行
此
是
謂

下 13 才 1

益證第五十三

2b 2a 使我介然有知行於大道王介大也老子疾時

3b 3a 則行於大道躬無為之化也唯施是畏

4b 4a 也獨畏有所施為失道意欲賞善大道甚夷

5b 5a 夷也而民好徑而民好徑不正也大道甚平易

6b 6a 朝甚除室臺榭官田甚蕪農事廢不耕倉甚虛

7b 7a 國無儲也服文繡外華也貴帶利劍武且奢

下 13 才 1 也厭飲食財貨有餘多嗜欲無是謂盜夸

2b 2a 不足而君有餘者是猶劫盜以為服飾持非

3b 3a 道也哉言人君所行如是此非道復

修觀第五十四

5b 5a 善建者不拔建立也善以道立身立善抱者

6b 6a 不脫善不可拔引解脫也子孫以祭祀不輟

7b 7a 世以久祭孫能修道如是長生不死世修之於

下 14 才 1

1b 1a 身其德乃真修道於身愛氣養神益壽延年

2b 2a 之於家其德乃有餘修道於家父慈子孝兄

3b 3a 如是乃有餘慶及修之於卿其德乃長

4b 4a 鄙其德如是乃無不覆及也修之於國其德

5b 5a 乃豐修道於國則君信臣忠仁義自生禮樂

6b 6a 修之於天下其德乃普言人主修道於天下不

7b 7a 德如是乃為普博也故以身觀身以修道之

下 14 才 1 存孰亡也孰以家觀家以修道之家觀以卿觀

2b 2a 卿以修道之鄉觀以國觀國

3b 3a 以天下觀天下以修道之主觀吾何以知天

4b 4a 下之然哉以此者昌背道者亡以此觀而知

5b 5a 也之

玄符第五十五

7b 7a 含德之厚謂含懷道德比之於赤子神明保

下 15 才 1b 1a
之人比若父母 毒虫不螫 蜂蟻虺 猛獸不

2b 2a
擄攫鳥不搏 故赤子不害於物 物亦不害之也 仁

3b 3a
心有刺之物 還返其本 骨弱筋柔而握固 子赤

4b 4a
筋骨柔弱而持物堅固 未知牝牡之合而皤

5b 5a
作精之至也 赤子未知男女之合 會而陰終

6b 6a
日號而不啞 和之至也 聲不變易者 和氣多

7b 7a
之所致也 和曰常 人能知和氣之柔弱 有益知

下 15 才 1b 1a
常曰明 日能以明達於玄妙 行則益生 曰祥 祥言長

2b 2a
益生欲自生 心使氣曰強 而神氣實內 故形

3b 3a
柔而反使妄 有所為和氣去 物壯則老 壯萬物

4b 4a
則枯謂之不道 老不得道 早已死也 者

玄德第五十六

5
知者不言 不知者貴 行言者不知 言多患也 舌多

7b 7a
塞其兌 閉其門 絕其源也 欲挫其銳 情欲為

下 16 才 1b 1a
當念道無為 解其忿 道恬恨不休也 當念和

2b 2a
其光 雖有獨見之明 當和之 同其塵 別味也

3b 3a
是謂玄同 事是謂與天同道也 故不可得而

4b 4a
親 不以榮譽為樂 亦不可得而疏 志靜無欲

5b 5a
也 不可得而利 不欲富貴 亦不可得而

6b 6a
害 不與貪爭利 不可得而貴 不為亂世主

7b 7a
也 不可得而賤 以失志故 驕不故為天下

下 16 才 1b 1a
貴 其德如此 天子不得臣 諸侯不得屈

淳風第五十七

2
以正之國 之人至也 天使正身 以奇用兵 奇詐

3b 2a
使詐偽之 以無事取天下 使取天下 為之主

4b 4a
人用兵也 吾何以知其然哉 以此何也 老子言我

5b 5a
也 吾何以知其然哉 以此何也 老子言我

6b 6a
今日所見 天下多忌諱 而民彌貧 主也 忌諱

7b 7a
多防禁也 令煩則奸生 禁民多利器 國家滋

下
17
才
1b 1a
昏者惑於耳上下不親故國家昏亂也目聽人

多技巧奇物滋起技巧謂人君百里諸侯也多

玉文繡綵色下則以滋起也法物滋彰盜賊

多有法好也珍好之物滋生彰著則農故聖

人云謂下我無為而民自化聖人言我脩道

而成也我好靜而民自正聖人言我好靜不

也正我無事而民自富我無徭役徵召之事使

我無欲而民自朴我常無欲去華文微服

順化第五十八

其政悶悶其政教寬大悶悶其民醇醇政教

厚相親睦也其政察察其政教急疾言決其

民缺缺政教缺日以疏薄也禍兮福之所倚

過責已修善行道則禍去而福來也禍兮

禍之所伏為禍伏匿於福去而禍來也孰知其

下
18
才
1b 1a
極禍福更相生誰能其無正無不也謂人君

也正復為奇奇詐也人君不正下善復為妖

善人為妖祥也人之迷其日固久矣言人君迷

來其日是以聖人方而不割聖人行方正者

固久也是以聖人方而不割聖人行方正者

割也廉而不害人廉清則不以化民不以割

人清也以直而不肆肆申也聖人雖直曲光

而不曜如聖人雖有獨知之明常

守道第五十九

治人謂人君欲治事天道順四時也莫若

嗇嗇愛也治國者當愛民財不為嗇夫唯嗇

是謂早服早先也服得也夫獨愛民財早服

謂之重積德重積德於己也重積德則無不

尅尅勝也重積德於無不尅則莫知其極莫知其極莫知其極

下 19 才 1b 1a
則可以有社稷有國之母可以長久也國身同

2b 2a
也人能不苦則可以長久也 是謂深根固

3b 3a
勞五神不苦則可以長久也 是謂深根固

4b 4a
無使泄 長生久視之道 深根固蒂者乃長

5 居位第六十

6b 6a
治大國若烹小鮮 鮮魚也烹小魚不去腸治

7b 7a
國煩則下亂治身以道莅天下者其鬼不神

下 19 ウ 1b 1a
以道德居位治天下則鬼非其鬼不神其神

2b 2a
不傷人 正不能傷自然之民也 非其神不

3b 3a
傷人聖人亦不傷人 聖人在位不能傷害人故

4b 4a
鬼不敢夫兩不相傷 兩不相傷也 故德交

5b 5a
歸焉 陰夫兩不相傷則人得治於陽鬼得治於

6b 6a
之交歸也

7 謙德第六十一

下 20 才 1b 1a
大國者下流 治大國當如居下 天下之交國大

2b 2a
者天下士民天下之牝和而不倡也 柔牝常以

3b 3a
靜勝牡 以其安靜不先求也 以靜為下 陰

4b 4a
以安靜為故大國以下小國則取小國 能謙

5b 5a
則常有小國以下大國則取大國 此言國無

6b 6a
謙畜人則故或下以取或下而取 下者謂小

7b 7a
國小國以下大國 大國不過欲兼畜人 大國

下 20 ウ 1b 1a
失則兼并人國小國不過欲入事人 使為臣

2b 2a
各得其所欲大者宜為下 大國小國各欲得

3b 3a
謙下也

4 為道第六十二

道者萬物之奧 奧藏也道為萬物善人之寶

6b 6a
善人以道為身不善人之所保 道者不善人

7b 7a
患逢急猶知美言可以市 美言者獨可於市

下 21 才 1b 1a
不以相宜善言美語求者
欲疾得賣者欲疾售也
尊行可以加人別加

也人有尊貴之行可以自別
異於凡人未足以尊道也
人之不善何棄

之有 皇雖不善當以道化之蓋三
皇之前無有棄民德化淳也
故立天子

置三公 欲使教化雖有拱璧以先駟馬不如
不善人也
古之所以

坐進此道 雖有美璧以先駟馬而
不如坐進此道也
古之所以

貴此道者何 不日求以得者古之所以遠行末索
古之所以遠行末索

近得之有罪以免邪 行刑誅也
於身也 有罪謂遭亂世則可以
行刑誅也 修道則可以

下 21 ウ 1b 1a
解死免於故為天下貴
衆邪也 故為天下貴
全身治國恬然無為

故可為天下貴也

息始第六十三

為無為 因循故無事
所造成循故無事
無事煩省事也
味無

味深思遠慮大小多少
味深思遠慮大小多少
陳其戒令也欲大反
小欲多反少自然之

道報怨以德 禍於未生也
道報怨以德 禍於未生也
絕圖難於其易難事
圖

7b 7a 6b 6a 5b 5a 4b 4a 3 2b 2a
未當及於成也為大於其細小欲為亂從小來也天

下 22 才 1
下難事必作於易天下大事必作於細是以

聖人終不為大虛也故能成其大歸天下也夫

輕諾必寡信言不重多易必多難不慎是以聖

人猶難之 聖人動作舉事猶進退
人猶難之 聖人動作舉事猶進退
故終無難

聖人終身無患難
聖人終身無患難
之聖事由避害深也

守微第六十四

其安易持者治身治國安靜其未兆易謀
其安易持者治身治國安靜其未兆易謀
禍亂未動於朝情欲

下 22 ウ 1b 1a
未有形兆時其脆易破未見於色如脆弱易
易謀止也 其脆易破未見於色如脆弱易

破除其微易散時易散去也為之於未有

欲有所為當以未有治之於未亂於未亂之
欲有所為當以未有治之於未亂於未亂之

其門也 合抱之木生於毫末大也九層
其門也 合抱之木生於毫末大也九層

之臺起於累土高也千里之行始於足下

從近至為者敗之於有義廢於仁思有為於色

7b 7a 6b 6a 5b 5a 4b 4a 3b 3a 2b 2a 1b 1a 6 5b 5a 4b 4a 3b 3a 2b 2a
廢於精執者失之執利遇患執道全身也妄聖

下 23 才 1b 1a 人無為故無敗聖人不為殘賤故無壞敗也無

2b 2a 執故無失聖人有德以教愚有財以與貧民無所執藏故無所失於人也民

3b 3a 之從事常於幾成而敗之從為也民人之為事於功德幾成而

4b 4a 貪位好名奢泰盈滿而敗之也慎終如始則無敗事終當如始不當

5b 5a 懈怠是以聖人欲不欲聖人欲人所不欲人欲彰顯聖人欲伏光

6b 6a 人欲文飾聖人欲質朴人不貴難得之貨聖

7b 7a 不眩晃為服不學聖人學人所不學人賤石而貴玉也學不學聖人學自然

下 23 才 1b 1a 人學治世聖人學復衆人之所過衆人學問治身守道真也復衆人之所過反過本為

2b 2a 末過實為華復者使反本也以輔萬物之自然教人反本實者欲以

3b 3a 輔助萬物自然之性也而不敢為焉聖人動作因循不

4b 4a 也本

淳德第六十五

5 古之善為道者說古之善以道非以明民以治身及治國也非以明民以不

7b 7a 知道教民明將以愚之將以道德教民使質朴不詐偽也民之

下 24 才 1b 1a 難治以其智多以其智多巧偽也以智治國之

2b 2a 賊使智惠之人治國必遠道不以智治國使妄作威福為國之賊也不以智治國

3b 3a 之福直不使為邪鎊上下相親君臣同力故為

4b 4a 國之知此兩者亦楷式兩者謂智與不智也福也知此兩者亦楷式常能知智者為賊不

5b 5a 身治國之法是治常知楷式是謂玄德玄天

6b 6a 知治身及治國之法玄德深矣遠矣玄德玄德之式是謂與天同德也玄德深矣遠矣玄德之

7b 7a 可測遠不與物反矣玄德之人與萬物反異可極也與物反矣萬物欲益已玄德欲施

下 24 才 1b 1a 與人乃至大順能至大順順天理也

2 後已第六十六

3b 3a 江海所以能為百谷王者以其善下之故江海

4b 4a 以卑下故眾流歸之故能為百谷王以卑下若民歸就王者也故能為百谷王故能為

5b 5a 百谷是以聖人欲上人之欲上在民也必以身下之

6b 6a 法江海處欲先民欲在民也必以身後之而先人

7b 7a 已是以聖人處上而民不重聖人在民上為也是以聖人處上而民不重主不以尊貴處

下 25 才 1b 1a
不以為重也。處前而民不害。聖人在民前，民

親之若父母也。是以天下樂推而不厭。聖人

有欲害之者，也是以天下樂推而不厭。聖人

愛厚視民若赤子。故天下樂共以其不爭。天

推進以為主，無有厭之者也。以其不爭，天

無厭。聖人是由聖人，故天下莫能與之爭。言

不與民爭先後也。故天下莫能與之爭。言

皆爭有為無與，吾爭無為者也。

三寶第六十七

天下皆謂我大，似不肖。夫獨名德大者為身，害

也。夫唯大，故似不肖。夫獨名德大者為身，害

分別無所割截，不肖。夫獨名德大者為身，害

賤人而自貴也。若肖久矣。也。肖善也。謂辨惠

之政所從來久矣。其細也。小人也。非長者

也。夫我有三寶，持而寶之。抱持而保倚之也。

一曰慈。愛百姓也。二曰儉。賦斂若取。三曰不

敢為天下先。為執謙退也。慈故能勇。以慈於忠

下 26 才 1b 1a
不敢為天，故能成器長。成器長，謂得道人也。

今舍慈且勇。仁，但為武勇也。舍儉且廣。儉，舍其

但為奢。舍後且先。舍其後已，但死矣。此動入

秦也。夫慈以戰則勝，仁以守則固。百姓親附

也。死道。夫慈以戰則勝，仁以守則固。百姓親附

敵以守衛則堅固也。天將救之，以慈衛之。

仁之性，使能自營助也。

下 26 才 1b 1a
善為士者不武。言貴道德，不善戰者不怒。以善

道戰者，禁邪於心，絕善勝敵者，不與。善以

禍於未萌，無所誅怒也。善勝敵者，不與。善以

敵者，附近以仁來遠，以德善用人者為之下。

不與敵戰而敵自服也。善用人者為之下。

常為人執謙下也。是謂不爭之德。謂上為之

也。是謂配天。德配天也。古之極也。極是乃古之

下 27 才 1

玄用第六十九

2b 2a 用兵有言陳用兵之道老子疾時吾不敢為

3b 3a 主先舉兵也而為客客者天而不動也

4b 4a 不敢進寸而退尺侵人境墾城為退也是

5b 5a 謂行無行彼遂不止為天下賊雖攘無臂欲

6b 6a 攘臂大怒若仍無敵雖欲仍引之若執無兵

7b 7a 雖欲執持之若無兵又可持用也何者傷彼

下 27 才 1b 1a 也 禍莫大於輕敵夫禍亂之害莫大於欺輕

2b 2a 也 輕敵幾喪吾寶幾近也寶身也欺故抗兵

3b 3a 相加戰也哀者勝矣不遠於死也哀者慈仁士卒

4 知難第七十

5b 5a 吾言甚易知易行老子言吾所言圖而天

6b 6a 下莫能知莫能行好人惡柔弱也言有宗事有君

7b 7a 我所言有宗祖根本事有君臣上下世夫唯

省

下 28 才 1b 1a

無知是以不知夫唯世人也是我德之暗

2b 2a 也 知我者希則我者貴矣希少也唯達道者

3b 3a 貴也 是以聖人被褐懷玉被褐者薄外懷玉

4b 4a 示德不以

5 知病第七十一

知不知上乃德之上也不知知病不知知病

7b 7a 乃德之夫唯病病是以不病夫唯能病之苦病

下 28 才 1b 1a 是病也 聖人不病以其病聖人無此強知之

2b 2a 人有此 是以不病以此非人也故不自病夫

3b 3a 智道意而使天下質朴忠正各守純性小人精

4b 4a 神減壽

5 愛己第七十二

6b 6a 民不畏威大威至矣威害也人死則

7b 7a 兼天順地也 無狹其所居謂心居神當寬

下 29 才 1b 1a 無厭其所生託空虛喜清靜飲食不節精神忽道

2b 2a 念色邪僻滿腹夫唯不厭是以不厭夫唯獨

3b 3a 神之人洗心垢濁恬怕無是以聖人自知自

4b 4a 已之得不自見不自顯見德美於自愛自愛

5b 5a 以保精不自貴不自貴高榮故去彼取此去

6b 6a 自見自貴取此自知自愛也

7 任為第七十三

下 29 ウ 1b 1a 勇於敢則斂勇於敢有為勇於不敢則活勇

2b 2a 不敢有為則此兩者謂敢與或利或害活身

3b 3a 殺身為天之所惡惡有孰知其故意誰能知天

4b 4a 犯之是以聖人猶難之言聖人之明德猶難

5b 5a 德而欲天之道不爭而善勝天不與人爭貴

6b 6a 也不言而善應動以應時也物不自召而自來

7b 7a 天不呼召萬物皆縶然而善謀雖寬博善謀

下 30 才 1b 1a 慮人事修善行天網恢恢疎而不失網恢恢

2b 2a 甚大雖疎遠司察人善惡無有所失也

3 制惑第七十四

4b 4a 民不畏死治國者刑罰酷深民不聊生故不

5b 5a 畏之也奈何以死懼之人去情欲奈何設刑

6b 6a 罰法以死若使民常畏死當除己之所殘尅

7b 7a 而為奇者吾得執而殺之孰敢矣而民不從

下 30 ウ 1b 1a 反為奇巧乃應王法執而殺之誰敢有犯者

2b 2a 常有司殺者天網恢恢疎而不失者是也

3b 3a 夫代司殺者是謂代大匠斲有常猶春生夏

4b 4a 長秋成冬藏斗杓運移以節度行之人君欲

5b 5a 夫代大匠斲希有不傷其手矣人君行刑罰

6b 6a 匠斲則方圓不得其理還自傷代天殺

7 貪損第七十五

下 31 才 1b 1a 民之飢以其上食稅之多以其君上稅食下

2b 2a 也太多是以飢道違德故飢也民之難治以

3b 3a 其上之有為君民之多欲好有為也是以難治

4b 4a 是情偽難治也人之輕死以其求生之厚

5b 5a 也活人民所以輕貪利以自危也是以輕死

6b 6a 故輕入死地也夫唯無以生為者是賢於貴

7b 7a 生也財利不獨無以生為務者爵祿不干於意

下 31 ウ 1b 1a 使則賢於貴生者也

戒強第七十六

3b 3a 人之生也柔弱精神故柔弱也其死也堅強

4b 4a 人死和氣竭精萬物草木之生也柔脆存也

5b 5a 其死也枯槁去也故堅強者死之徒柔弱者

6b 6a 生之徒堅強者死柔弱者生也知是以兵強則

7b 7a 不勝結眾弱為一強故不勝也木強則共

下 32 才 1b 1a 木強大枝葉強大處下柔弱處上興物造功

2b 2a 扶弱自然之效也

天道第七十七

4b 4a 天之道其猶張弓乎類以為喻也高者抑

5b 5a 之下者舉之有餘者損之不足者與之弓和

6b 6a 調之如是乃可用夫抑高舉天之道損有餘

7b 7a 而補不足也常以中和為上也人之道則

下 32 ウ 1b 1a 不然天道反也損不足以奉有餘損貧以奉

2b 2a 富奪弱以孰能以有餘奉天下唯有道者誰

3b 3a 能居有餘之位自省爵祿以奉天下是以聖

4b 4a 人為而不恃恃聖人為德施不切成而不處成

5b 5a 事就不處其不欲見賢匿功不居榮名畏天

6b 6a 損有餘也

任信第七十八

下 33 才 1b 1a 天下柔弱莫過於水水圓中則圓方中則方

而攻堅強者莫之能勝水能懷山襄陵摩鐵

功其無以能易之夫攻堅強者無弱之勝強

水能滅火陰柔之勝剛舌柔齒剛齒天下莫

不知剛強者折傷也長莫能行耻謙卑好故聖

人云謂也受國之垢是謂社稷之主受國之

垢濁者若江海不逆小流則能受國不祥是

謂天下之王君能引過自與代民受國不祥是

言若反此乃正直之言也世人

任契第七十九

和大怨者刑以相和報必有餘怨任刑者失

餘怨及於安可以為善言一人可以吁嗟則失天

也是以聖人執左契古者聖人執左契合符

符以為而不責於人但刻契之信不有德司

下 34 才 1b 1a 契有德之君司察無德司徹契信而已也無德司徹契信司人所失

也天道無親常與善人善人則與司契者也

獨立第八十

小國寡民聖人雖治大國猶以為小儉約不

也使有什伯使民各不相犯也人之器而不

用器謂農器而不用者使民重死君能除害

各得其所則民而不遠徒其業故不遠遷徒

離其常雖有舟譽無所乘之繁華不好出入

遊娛雖有甲兵無所陳之無怨惡於使民復

結繩而用之去文反質信甘其食甘其蔬食

也美其服美其惡衣不安其居安其茅茨不

也樂其俗樂其質朴之隣國相望雞狗之聲

相聞相去其無情民至老死不相往來其無情

顯質第八十一

下
35
才
lb 1a

信言不美信言者如其實也美言不信美言者華辭也不信者

2b 2a

善者不辨善者以道修身

3b 3a

采辨者不善辨者謂巧言不善者舌致患也

4b 4a

辨口多言知者不博知者謂知道之士博者

5b 5a

不知博者多見聞不聖人不積聖人積德不以

6b 6a

教愚有財既以為人已愈既化已愈有德

7b 7a

也既以與人已愈多既以財賄布施與人財

下
35
ウ
lb 1a

盡時天之道利而不害天生萬物愛育之令

2b 2a

聖人之道為而不爭聖人法天所施為化成

3b 3a

能全其聖功也

4

5

老子德經下

6

7